

履修要項 2014



法 学 部

人駒澤大學

1年間の主なスケジュール

2013 (平成25) 年度		
3月	27・28日	履修要項・学生証裏面シール配付
2014 (平成26) 年度		
4月	2～5日正午	抽選登録・受講先行予約申込期間
	7～14日	履修登録申込期間 (KONECO で15日午前3時まで申込可)
	8日	前期授業開始
	16～21日	履修訂正期間 (KONECO で22日午前3時まで訂正可)
	25～28日	履修確認期間 (KONECO で29日午前3時まで確認可)
6月	2～21日	学生による授業アンケート (前期)
7月	15日	前期授業最終日
	16～18日	前期科目定期試験 (集中試験)
	22～26日、28日	前期科目定期試験
	29～31日	集中授業実施期間
	30日	追試験願受付締切
8月	1日、4・5日	集中授業実施期間
	7～17日	全学休業期間
	18～23日	前期科目追試験
	22日	前期科目成績発表・成績調査願受付
	27日	前期科目追試験成績発表・成績調査願受付 (8月28日締切)
9月	13～19日	後期履修登録・訂正期間
	16日	後期授業開始
	20日	9月卒業式
	22日	転部・転科試験願書受付 (フレBへの移籍除く)
	26～30日	履修確認期間 (後期履修登録・訂正者)
10月	13日	休日授業日 (体育の日)
	15日	開校記念日 (全学休業)
	19日	転部・転科試験
	31～11月2日	オータムフェスティバル (大学祭)
11月	10～29日	学生による授業アンケート (後期)
	24日	休日授業日 (勤労感謝の日振替休日)
12月	24～1月7日	全学休業日
1月	10日	後期授業最終日
	13～15日	後期・通年科目定期試験 (集中試験)
	19～23日、26日	後期・通年科目定期試験 (26日は土曜日振替)
	28日	追試験願受付締切
2月	9・10日、 12～14日、16日	後期・通年科目追試験 (16日は水曜日振替)
	13日	後期・通年科目成績発表・成績調査願受付 (2月21日締切)
	19日	後期・通年科目追試験成績発表・成績調査願受付 (2月21日締切)
3月	10・11日	転部・転科試験 (フレBへ) 願書受付
	16日	転部・転科試験 (フレBへ)
	25日	卒業式
	30・31日	2015年度履修要項・学生証裏面シール配付

履修要項の見方

履修要項は、前半は主に「履修・授業・試験・成績」について、後半は主に「教育課程（開設科目）」について説明する2部構成となっています。

第1章

履修	受講する科目の登録方法や履修の仕組みについて説明しています。
授業	授業を受ける際に知っておくべきことについて説明しています。
試験	試験の種類や試験の受け方について説明しています。
成績	履修した科目の成績評価について説明しています。
留学	留学に関する基本的な情報を掲載しています。
学籍	大学に登録されている籍の取り扱いについて説明しています。
事務取扱いについて	窓口対応や証明書の発行について説明しています。

第2章

教育課程の編成について	開設科目にはどのような種類があるのか、単位制度や卒業するための条件について説明しています。
開設科目	所属する学部学科で開設している科目の入学年度別の一覧と、科目ごとの履修上の注意点を掲載しています。掲載内容は毎年変更される可能性があるため、履修の際は必ず目を通す必要があります。
教職課程・資格講座	所属する学部学科で取得可能な教員免許状について説明しています。この他に、教員免許状と併せて受講できる資格講座について説明しています。
学修支援	学修相談や支援について掲載しています。
キャリア形成	大学院進学や就職に関する情報を掲載しています。
その他	その他お知らせ等を掲載しています。

毎年3月末に、履修要項を教務部の窓口で在学生全員に配布しています。履修科目を決める際に必要となる条件について掲載されているため、履修登録を行う前に一通り内容を確認してください。また、履修要項と併せて、KONECO上で閲覧できる「シラバス」、「授業時間表」の内容を確認してください。

目次

学部長挨拶		1
学部学科の理念・目的		2
学位授与の方針（ディプロマポリシー）		2
教育課程の編成方針（カリキュラムポリシー）		2
第1章 履修・授業・試験・成績について		3
I 履修・授業		5
履修	1. 履修科目の決定方法	5
	2. Web 履修登録システム（KONECO）	7
	3. 履修登録（抽選登録・受講先行予約・履修登録）	9
	4. 履修確認・履修訂正	12
	5. 後期履修	15
	6. 他学部履修	15
	7. 再履修	15
	8. シラバスの閲覧	16
授業	1. 授業期間	18
	2. 休日授業日	18
	3. 課題授業	18
	4. 補講	19
	5. 授業時間	19
	6. 授業の欠席	19
	7. 代講	20
	8. 休講	20
	9. 震災及びその他の災害・事故に伴う授業休講措置	20
	10. 教場変更・教場貸出	20
	11. 大学からの掲示・連絡	20
	12. e-learning システム（YeStudy）	21
	13. アンケートシステム	21
II 試験・成績		22
試験	1. 試験について	22
	2. 定期試験	22
	3. 授業内試験	23
	4. 追試験	23
	5. 追試験受験対象となる欠席理由	23
	6. 受験心得	24
	7. 試験時間	25
	8. 試験実施規程	25
	9. 不正受験行為者処分規程	26
成績	1. 成績評価	27

		2. GPA 制度	27
		3. 成績発表	28
		4. 成績に関する相談・調査	28
		5. 保証人への成績表送付	28
		6. 進級基準	29
		7. 進級規程に伴う警告と勧告	30
		8. 在学条件	30
		9. 原級者	30
		10. 駒澤大学進級規程	31
Ⅲ 留学			32
	留学		32
Ⅳ 学籍			33
	学籍	1. 修業年限と在学年数	33
		2. 休学	33
		3. 復学	34
		4. 退学	34
		5. 除籍	34
		6. 懲戒	34
		7. 編入学	34
		8. 再入学	35
		9. 転部・転科・転専攻・転コース	35
		10. 学生氏名・保証人	35
		11. 学生・保証人住所変更	35
		12. 学生番号	36
Ⅴ 事務取扱いについて			38
	事務取扱い	1. 窓口受付時間	38
		2. 届書・願書の受付	38
		3. 証明書発行	39
第2章 教育課程（開設科目）について			41
Ⅰ 教育課程の編成			43
	授業科目の区分と教育目標		43
	単位	1. 単位制度	44
		2. 授業科目の単位数	44
		3. 単位の認定	44
		4. 履修単位の区分（必修・選択必修・選択科目）	44
		5. 卒業必要単位における修得単位算定の流れ	45
		6. 卒業に必要な単位数	45
		7. 年間履修制限単位数	47
		8. 卒業および学位記の授与	48
		9. 9月卒業・卒業必要単位修得に伴う後期休学（半期履修）について	48
		10. 早期卒業について	49

	11. 1年次履修科目の決定順序	50
Ⅱ 開設科目		53
法律学科フレックスA		55
開設科目一覧の見方		55
教養特別履修について		57
全学共通科目		59
宗教教育科目	1. 履修上の注意	59
	2. 開設科目一覧	59
教養教育科目	1. 履修上の注意	60
	2. 開設科目一覧	60
	3. 履修不可対象科目	64
	4. 廃講科目	65
	5. 教養特別履修該当科目一覧	65
外国語科目	1. 履修上の注意	66
	2. 開設科目一覧	66
	3. 履修不可対象科目	71
	4. 廃講科目	73
	5. 教養特別履修該当科目一覧	74
保健体育科目	1. 履修上の注意	77
	2. 開設科目一覧	78
	3. 廃講科目	79
専門教育科目	1. 履修上の注意	80
	2. 開設科目一覧 ・平成21（2009）年度以降入学生 ・平成20（2008）年度以前入学生	81
他学部履修科目	1. 履修上の注意	85
	2. 開設科目一覧	86
随意科目	1. 履修上の注意	87
	2. 開設科目一覧	87
「日本語」・「日本事情」科目	1. 履修上の注意	88
	2. 開設科目一覧	89
法律学科フレックスB		91
開設科目一覧の見方		91
教養特別履修について		93
全学共通科目		94
宗教教育科目	1. 履修上の注意	94
	2. 開設科目一覧	94
教養教育科目	1. 履修上の注意	95
	2. 開設科目一覧	95
	3. 履修不可対象科目	97
	4. 廃講科目	98

外国語科目	1. 履修上の注意	99
	2. 開設科目一覧	99
	3. 履修不可対象科目	104
	4. 廃講科目	105
	5. 教養特別履修該当科目一覧	106
保健体育科目	1. 履修上の注意	107
	2. 開設科目一覧	108
	3. 廃講科目	108
専門教育科目	1. 履修上の注意	109
	2. 開設科目一覧 ・平成21（2009）年度以降入学生 ・平成20（2008）年度以前入学生	110
他学部履修科目	1. 履修上の注意	114
	2. 開設科目一覧	115
随意科目	1. 履修上の注意	116
	2. 開設科目一覧	116
政治学科		117
開設科目一覧の見方		117
教養特別履修について		118
全学共通科目		120
宗教教育科目	1. 履修上の注意	120
	2. 開設科目一覧	120
教養教育科目	1. 履修上の注意	121
	2. 開設科目一覧	121
	3. 履修不可対象科目	125
	4. 廃講科目	126
	5. 教養特別履修該当科目一覧	127
外国語科目	1. 履修上の注意	128
	2. 開設科目一覧	128
	3. 履修不可対象科目	133
	4. 廃講科目	135
	5. 教養特別履修該当科目一覧	136
保健体育科目	1. 履修上の注意	139
	2. 開設科目一覧	140
	3. 廃講科目	141
専門教育科目	1. 履修上の注意	142
	2. コース制について	142
	3. 開設科目一覧 ・政治学科（現代社会と政治コース）平成26（2014）年度以降入学生 ・政治学科（行政・公共政策コース）平成26（2014）年度以降入学生 ・政治学科（行政・公共政策コース）平成24（2012）・25（2013）年度入学生 ・政治学科（行政・公共政策コース）平成23（2011）年度以前入学生 ・政治学科（国際・地域研究コース）平成26（2014）年度以降入学生	144

		<ul style="list-style-type: none"> ・政治学科(国際・地域研究コース)平成24(2012)・25(2013)年度入学生 ・政治学科(国際・地域研究コース)平成23(2011)年度以前入学生 ・政治学科(政治とメディア研究コース)平成26(2014)年度以降入学生 ・政治学科(政治とメディア研究コース)平成24(2012)・25(2013)年度入学生 ・政治学科(政治とメディア研究コース)平成23(2011)年度以前入学生 	
		4. 履修不可対象科目	174
		5. 廃講科目	175
	他学部履修科目	1. 履修上の注意	176
		2. 開設科目一覧	177
	随意科目	1. 履修上の注意	179
		2. 開設科目一覧	179
	「日本語」・「日本事情」科目	1. 履修上の注意	180
		2. 開設科目一覧	181
	Ⅲ 教職課程・資格講座		183
		1. 受講可能な資格	183
		2. 教職課程・資格講座の登録	183
		3. 1年次の関連履修科目(教職課程)	184
		4. 学校図書館司書教諭講座・社会福祉主事講座・社会教育主事講座	184
	Ⅳ 学修支援		185
		学業不振者への勧告	185
	Ⅴ キャリア形成		186
		1. 大学院進学	186
		2. 就職(キャリアセンターの利用)	187
		3. 研究所	187
		4. 国家試験について	188
	Ⅵ その他		189
		専任教員紹介・研究室	189
事務室・掲示板案内図			
大学構内図			

学部長挨拶

法学部に入学した皆さんのなかには、裁判官・検事・弁護士・司法書士などの法律専門職、公務員、ジャーナリスト、政治家、あるいは大学院への進学など、自分の将来について明確な目標を持っている人もいるでしょうが、なんとなく法学部に入っただけのもの、まだ具体的な目標を発見できないでいる学生も少なくないのではないのでしょうか。皆さんが駒澤大学法学部での四年間をどう過ごすかによって、今後の人生設計は大きく変わってきます。将来の進路を念頭におきながら、自分の興味にしたがって積極的に勉学に取り組んでいけば、これからの目標も見えてくるはずです。

法学部のカリキュラムは、必要最小限の必修科目や選択必修科目を除いて、全学共通科目・専門教育科目のいずれについても、皆さんの多様なニーズにこたえ、かつ自主性を尊重するために、科目選択の幅を広げています。皆さんは好きな科目を自由に選択することができますし、勉学のかたわら、趣味やボランティア活動に時間を割くなど余裕のある学生生活を送ることもできるでしょう。しかし、高校までのカリキュラムと違って、皆さんの自由な選択にまかされている部分が多いということは、厳しく自己責任が問われることでもあります。

それぞれの学科・コースのカリキュラムの詳しい内容は、この『履修要項』に記載されています。皆さんはまず自分が所属する学科・コースの「教育課程」を熟読し、全学科に共通する学修生活の項目にも必ず目を通しておきましょう。卒業間近になってから後悔することのないように、『履修要項』を上手に利用してください。

科目の選択に迷ったときは、両親、先生、先輩など皆さんの適性や関心をよく知っている経験豊かな人々に相談するのもよいでしょう。そして、学期が始まったら、積極的に授業に参加してください。その際に大切なことは、日頃から政治や社会の動きに関心を持ち、疑問や課題を抱えて授業に臨むことです。とくに少人数で行われる演習や基礎演習では、先生ではなく、学生一人一人が主役ですから、各人が問題意識を持つことが重要です。自主的・積極的に問題を提起し、文献を探して調べ、発表し、参加者たちとの活発なディスカッションを繰り返すことによって、問題の正しい理解に到達することが可能になります。また、議論の過程において、学問の面白さを味わうと同時に、教師やほかの学生の人柄に触れ、卒業してからも続く生涯の師や友を得ることもできるでしょう。

皆さんが有意義な学生生活を送り、将来へのしっかりした土台を築いていくことを、心から願っています。

法学部長

学部学科の理念・目的

【法律学科】

法律学科は、専門知識として高度ではあるが基本的な教養たる法学の知識を習得させ、その上に立つ均衡のとれた社会状況判断能力を具備し、かつ、これを社会全体の健全な発展のために活用できる人材の育成を目的とする。

【政治学科】

政治学科は、政治学のみならず隣接科目を履修することにより、第1に感性と行動力を備えた実践的教養人の育成、第2に次代を担える知識と能力の涵養、第3に地域社会、国際社会で活躍できる人材の養成を目的とする。

学位授与の方針（ディプロマポリシー）

【法律学科】

- 【知識・理解】 幅広い教養と洞察力を有していること
- 【汎用的技能】 社会における法的紛争を解決するために必要な知識と応用力を体得していること
- 【態度・志向性】 法学部の学生として高い倫理観と社会的責任感をもつ人間性を有していること

【政治学科】

- 【知識・理解】 幅広い教養と洞察力を有していること
- 【汎用的技能】 現代社会における政治・行政問題の分析、解決ができる能力を有していること
- 【態度・志向性】 法学部の学生として高い倫理観と社会的責任をもつ人間性を有していること

教育課程の編成方針（カリキュラムポリシー）

【法律学科】

- ・ 宗教教育科目の必修により、宗教に対する理解を深める。
- ・ 教養教育科目の履修により、人間・社会・文化・自然に関する知識と教養を身につけさせる。
- ・ 外国語科目の履修により、コミュニケーション能力のみならず、異文化の理解をすすめる。
- ・ 基礎的法学教育（法学の基礎・導入科目、初年次からの演習）からより高度の専門教育へ、という体系的履修を通して、法的思考態度、社会を見る眼を育むとともに、論理力、分析力、問題解決力などの修得を促す。
- ・ 昼間主コース（フレックス A）では、卒業に必要な単位数128単位中、90単位を専門教育科目とする。
- ・ 夜間主コース（フレックス B）では、卒業に必要な単位数124単位中、90単位を専門教育科目とする。

【政治学科】

- ・ 宗教教育科目の必修により、宗教に対する理解を深める。
- ・ 教養教育科目の履修により、人間・社会・文化・自然に関する知識と教養を身につけさせる。
- ・ 外国語科目の履修により、コミュニケーション能力のみならず、異文化の理解をすすめる。
- ・ 専門教育科目の体系的履修制度（多彩な政治学科目とコース制、演習）を通して、法的思考態度、政治を見る眼を育むとともに、論理的思考力、分析力、問題解決力などの修得を促す。
- ・ 卒業に必要な単位数130単位中、92単位を専門教育科目とする。

第1章

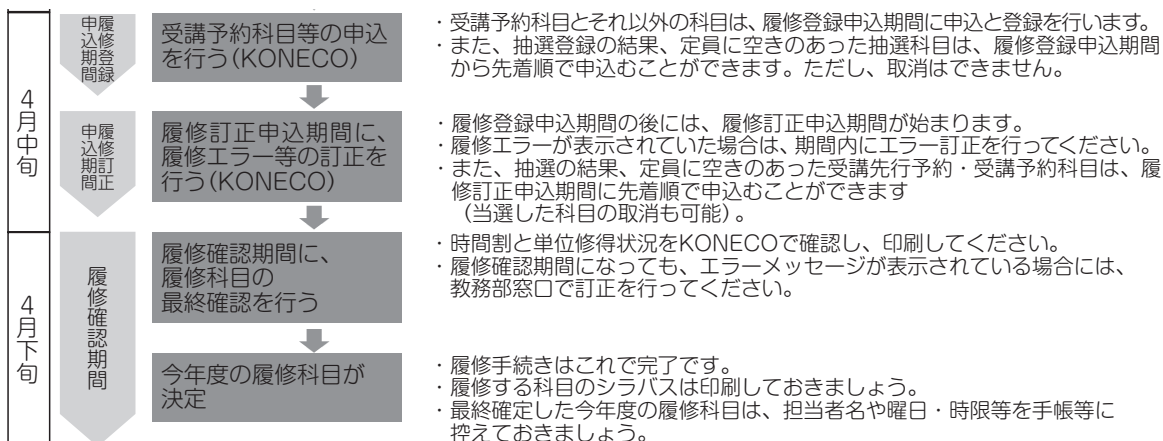
履修・授業・試験・成績について

I 履修・授業

履修

1. 履修科目の決定方法





●留意事項

- ・4月第1週目の授業は「履修のお試し期間」ではありません。担当教員からのオリエンテーションや、受講制限に関する説明が行われる場合があります。必修科目では、第1週目の授業から通常通り授業が行われることもあります。授業開始前にシラバス等をよく読み、履修意思のある科目は第1週目の授業から出席するようにしましょう。
- ・各年次に1科目以上は履修登録しなければなりません。
- ・3年次までに卒業必要単位数を満たした場合であっても、4年次に履修登録を行う必要があります。
- ・卒業必要単位数は、あくまで卒業に必要な最低単位数のことであり、4年間で修得できる単位数の上限を意味しているわけではありません。たとえば、4年次の残り不足単位数が4単位だけだったとしても、4単位分だけ履修登録するのではなく、単位を落としてしまった場合も考慮して、少し多めに履修登録をして授業を受けましょう(※4年次必修科目を除く)。
- ・『履修要項』、『授業時間表』、『シラバス』の記載内容に訂正が発生した場合は、訂正掲示がされますので、確認してください。
- ・過去に単位を修得した同一名称の科目を再度履修することはできません。

2. Web 履修登録システム (KONECO)

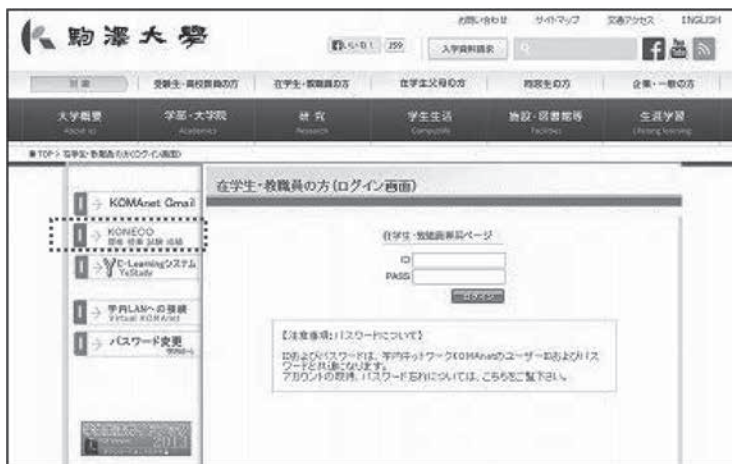
履修登録は、“KONECO (コネコ)” という Web システム上で行います。

KONECO では、履修登録の他に「個人時間割の確認」「シラバス閲覧」「成績評価の確認」「教職課程・資格講座の申請」「健康診断結果の照会」「大学からのお知らせや休講・補講・代講・教場変更等の掲示配信」「試験掲示」「学生住所・電話番号の変更」「コース登録申請 (該当学部のみ)」「教養特別履修の申請 (該当学部のみ)」といった機能があります。

● KONECO にログインする

- ・直接 URL を入力する。 <https://koneco.komazawa-u.ac.jp/>
- ・大学ホームページから開く。

「在学生・教職員の方」ページの左側メニュー「KONECO」をクリックする。



- ・ログイン画面で、KOMAnet ID とパスワードを入力する。

※ ID やパスワードを失念した場合は、総合情報センター (4号館2階事務室) へ問い合わせる。



● KONECO 利用上の注意点

- ・毎日午前3時から6時の間はメンテナンス時間のため停止しています。
- ・ログイン後、30分以上画面を放置すると自動的にログアウトされます。
- ・ログイン画面に掲示されているお知らせは、全学生に配信している掲示内容です。
- ・使用できるブラウザ
 - Internet Explorer ver.9.0～11.0
 - Firefox ver.3～26
 - Google Chrome
 - Safari
- ・推奨 OS
 - Windows Vista、Windows 7、Windows 8
- ・ポップアップブロックについて（Internet Explorer の場合）

KONECO では、ポップアップウィンドウで開く画面があります。ポップアップ表示の許可がされていない場合は、許可設定を行ってください。



- ① ポップアップ画面が表示される際に、ポップアップブロックした旨のメッセージが画面上部に表示されるので、これをクリック。
- ② 「このサイトのポップアップを常に許可」をクリック。



- ③ 「はい」をクリックで完了。
- ※ Google や Yahoo! 等が提供するツールバーには、上記とは別のポップアップブロックが機能として備わっている場合があります。KONECO 利用に不具合が生じる場合は、それらのポップアップブロックを無効にしてください。

3. 履修登録（抽選登録・受講先行予約・履修登録）

履修登録の方法は、①抽選登録、②受講先行予約、③履修登録の3つの方法により行います。それぞれの登録方法について次に説明します。

(1) 抽選登録

前期授業開始日前に、主に2年次選択必修の外国語科目（英語以外）と再クラス（仏教と人間、健康・スポーツ実習、外国語必修または選択必修科目）の抽選を行います。

抽選科目は履修要項の開設科目一覧の抽選欄に「◎抽」と表示しています。

①抽選申込画面

- ・ トップページ【履修】から【抽選申込】をクリックします。
- ・ 卒業必要単位数を参照したうえで、「科目名称」のプルダウンメニューから履修したい科目名を選択してください。

抽選申込画面のスクリーンショット。検索条件として「科目名称」が「再履修:中国語IAa」に設定されている。検索結果として「中国語IAa」が検索された。検索結果の表には、科目名、必修/選択、科目分野、外国語科目、単位数、登録希望の曜日・時限（第1～第10）が示されている。

科目分野	宗心	人文	社会	自然	IT	小計	分野	第1	第2	第3	第4	第5	第6	第7	第8	第9	第10	履修
卒業必要単位数	4	<---	16	----		16		8	4	2	6	4	12	8	6	12	4	124
履修単位数																		24
不足単位数	4	<---	16	----		16		4	4	2	4	4	12	8	6	10	6	100

②抽選科目の検索画面

- ・ 選択した科目の抽選申し込みができる曜日・時限が表示されます。
- ・ 抽選登録したい科目の登録申込希望順位を選択し、最後に「申込」ボタンをクリックします。
- ・ 抽選申込期間中であれば、何度でも申請をしなおすことができます。

検索結果のスクリーンショット。検索条件として「科目名称」が「再履修:中国語IAa」に設定されている。検索結果として「中国語IAa」が検索された。検索結果の表には、科目名、必修/選択、科目分野、外国語科目、単位数、登録希望の曜日・時限（第1～第10）が示されている。

開講期	曜日	時限	同曜日 時限の 他科目	履修コード	教員氏名	登録申込希望										申込 なし			
						第1	第2	第3	第4	第5	第6	第7	第8	第9	第10				
前期	火5		表示	0300601			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	◎
前期	木1		表示	0301201		03254701 / 英語IBa の履修が確定しています。													
前期	金1		表示	0301301			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	◎
前期	土3		表示	0301401			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	◎
前期	土3		表示	0301511			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	◎
前期	土4			0301501		0301501は既に登録されています。詳細は教務部窓口にお問い合わせください。													

※必修科目が開講されている曜日・時限は、予め科目が登録されているため、抽選科目やその他の科目をエントリーすることはできません。

※同曜日・時限に他に履修可能な科目がある場合は、「表示」ボタンをクリックして詳細を確認できます。

※抽選は年次等に関係なく、機械的にランダムで当落選が決まります。

③抽選科目の当落選確認

- ・結果発表日になったら、トップページ【履修】から【抽選申込状況一覧】をクリックし、抽選結果の確認をしてください。また、当選科目は履修登録申込の時間割画面上にも表示されています。

抽選申込状況一覧							
<p>確認 申込科目の当落選を確認してください。 当選した科目の取消はできません。 ※ 当選した科目は、履修登録申込画面に予め登録されます。 なお、当選した科目の取消は一切認められません。 ※ 抽選科目のうち、定員まで空きのある授業は、履修登録申込期間・履修訂正期間に先着順で登録することができます。</p>							
結果公開期間		9月13日(土)～9月20日(土)					
学生番号	学生氏名	年次	所属学部学科	外国語			
BK0018	駒澤 太郎 (コマザワ タロウ)	2年	仏教学部 禅学科	英語 中国語			
抽選結果	希望	開講期	曜日・時限	科目区分	履修コード / 科目名称	教員氏名	単位数
当選	第1	通年	火3	再履修	196201 / 健康・スポーツ実習		2
当選	第1	前期	火5	再履修	300601 / 中国語IAa		1
落選	第2	通年	水4	再履修	196301 / 健康・スポーツ実習		2
落選	第3	通年	水3	再履修	196311 / 健康・スポーツ実習		2
落選	第2	前期	土3	再履修	301401 / 中国語IAa		1
落選	第3	前期	土3	再履修	301511 / 中国語IAa		1

※抽選科目は、当選した科目の取消をすることはできませんので注意してください。
 ※定員に空きのある科目がある場合は、履修登録申込期間から先着順で申込が可能になります（ただし、取消不可）。

(2) 受講先行予約

前期授業開始日前に、主に例年履修者数が大人数になる科目を対象に抽選を行います。

受講先行予約科目は履修要項の開設科目一覧の抽選欄に「◎先」と表示しています。

①受講先行予約申込画面

- ・トップページ【履修】から【受講先行予約申込】をクリックします。
- ・卒業必要単位数を参照のうえ、履修したい受講先行予約科目を選択してください。

月	火	水	木	金	土
1	◎先 【4000401】 禅修 B-204 【抽選科目-申込中】	◎先 【4005801】 仏教と人間 B-204 【抽選科目-申込中】	◎先 【11254701】 英語B B-204 【抽選科目-申込中】	◎先 【40205701】 仏教と人間 B-204 【抽選科目-申込中】	
2		◎先 【4000901】 禅修 B-204 【抽選科目-申込中】			
3		◎先 【40002801】 仏教と人間 B-204 【抽選科目-申込中】			
4		◎先 【4000811】 宗教学概論 B-151 【抽選科目-申込中】			
5	◎先 【112748201】 英語IAa B-400 【抽選科目-申込中】	◎先 【11300601】 中国語Aa B-152 【抽選科目-申込中】			
6					
7					

※受講先行予約の際は、科目の混雑状況を参照することができます。
 ○…定員に余裕があります。
 △…定員まで残り僅かです。
 抽選…定員を超過しました。
 受講先行予約期間の場合は抽選となります。

- ・各曜日・時限にある「選択」ボタンをクリックし、科目選択画面一覧の「最新」ボタンをクリックすると最新の混雑状況等が表示されます。

科目選択

希望する科目のチェックボックスをクリックし、確定ボタンを押してください。
 一度申込した科目を取り直す場合は、チェックボックスのチェックを外し、確定ボタンを押してください。

申込	曜日・時限	科目区分	履修コード / 科目名称	教員氏名	単位数	状況
<input type="checkbox"/>	全5	後期	◎先 教育教員科目 ライフデザイン分野 224101 / コミュニケーション基礎		2	申込状況◎先 最新
<input type="checkbox"/>	全5	後期	◎先 教育教員科目 社会分野 216751 / 民族と文化		2	
<input type="checkbox"/>	全5	後期	◎先 宗教教員科目 必修 206001 / 仏教と人間		4	
<input type="checkbox"/>	全5	後期	◎先 教育教員科目 社会分野 216501 / 統計学		4	
<input type="checkbox"/>	全5	後期	◎先 教育教員科目 社会分野 217501 / 法曹実務		4	

確定

最新混雑状況

【選択科目】

※科目区分 (2) 11/23/23 表示

曜日・時限	科目区分	履修コード / 科目名称	教員氏名	単位数
全5	後期	◎先 教育教員科目 ライフデザイン分野 224101 / コミュニケーション基礎		2

戻る

②受講先行予約の当落選確認

- ・結果発表日になったら、トップページ【履修】から【履修登録申込】をクリックします。
- ・落選した科目は、「自動削除科目一覧」に落選したことが表示されています。
- ・当選した科目は、時間割画面上に表示されています。

※当選した受講先行予約科目は、履修訂正申込期間に取消をすることができます。

※定員に空きのある受講先行予約科目は、履修訂正申込期間に先着順で申込みすることができます。

※履修登録申込期間中の受講先行予約科目は、当選科目の取消、定員に空きのある科目の追加はできませんので注意してください。

(3) 履修登録

抽選科目、受講先行予約科目の申込期間が終了すると、履修登録申込期間が始まります。履修登録科目は、原則すべての科目に履修者数の上限を設けています。これを**受講予約科目**と呼びます。抽選科目と異なる点は、授業開始日以降に履修申込を行う点と、当選した科目は履修訂正申込期間に取消ができる点です。

受講予約科目は履修要項の開設科目一覧の抽選欄に「◎予」と表示しています。

①履修登録画面

- ・トップページ【履修】の項目より【履修登録申込】をクリックします。
- ・前期・後期別になった時間割表形式の画面が表示されます。
- ・各曜日・時限にある「選択」ボタンをクリックすると、自分が履修できる科目と最新の混雑状況等が表示されます。

※科目名の下に表示されている「申込状況」から、混雑状況がわかります。

混雑状況の説明

- …定員に余裕があります。抽選科目は先着順で登録を受付します。
- △…定員まで残り僅かです。抽選…定員を超過しました。受講予約科目は抽選となります。
- 満員…現在定員を充足しています。

4. 履修確認・履修訂正

登録した科目の修得見込単位数の集計は、履修訂正期間から確認できます。

履修訂正期間は履修登録申込期間までに当選または申込をした科目、履修確認期間は履修訂正申込期間までに当選または申込をした科目の単位集計を表示しています。

①履修確認画面

- ・ トップページ【履修】の項目より【履修確認】をクリックすると、以下の画面が表示されます。
- ・ 注意書きを一読のうえ「確認」ボタンを押してください（ポップアップが表示されます）。
- ・ 登録した科目に誤りがないか、また、履修登録した結果の単位修得状況について、確認してください。
- ・ 登録内容に誤りがない場合、画面を印刷して保管してください。

履修確認

履修を確認したら、必ずプリントアウトして保管してください。

確認

確認期間 4月16日(水)~4月28日(月)

学生番号	学生氏名	年次	所属学部学科
BK0018	駒澤 太郎 (コマザワ タロウ)	2年	仏教学部 禅学科

自動削除科目一覧(カリンダ-から自動で削除された科目の一覧を表示します。) 非表示

自動で削除された科目はありません。

確認の注意

①登録内容も確認してください。
②2年次まで卒業年次または、画面下部の見込単位数を必ず確認しましょう。
③エラーメッセージが表示された場合は、ヘルプ等を参照し、エラー内容を訂正してください。エラーが解消している場合、履修登録が完了せず、登録科目が決定しません。
④履修確認画面は履修確認期間が過ぎると表示されません。履修確認画面を必ずプリントアウトして保管しましょう。

確認

時間割		履修制限単位数	履修予定単位数【エラーを含む】 ※()は履修制限外	履修可能単位数
申込単位数状況	年間	54	24 (0)	30

曜日 時限	開講 期	必・選	科目分野	抽選	A・B	履修コード / 科目名称	教員氏名	単位 数	教場	エラー
月5	前期	必修	外国語科目			仏 248201 / 英語 II Aa		1	9-408	
月5	後期	必修	外国語科目			仏 249801 / 英語 II Ab		1	9-408	
火1	通年	必修	専門教育科目 必修			仏 000401 / 坐禅 I		4	禅研-坐禅 室	
火3	通年	必修	保健体育科目 必修	抽		仏 196201 / 健康・スポーツ実習		2	体育館	
火4	通年	必修	専門教育科目 必修			仏 002801 / 仏典・禅観解説		4	8-256	
火5	前期	必修	外国語科目	抽		仏 300601 / 中国語 I Aa		1	9-172	
水2	通年	必修	専門教育科目 必修			仏 000901 / 禅思想概説		4		
水3	前期	選択	保健体育科目 選択			仏 197502 / 生涯スポーツ実習 II (前期・基礎)		1	体育館	
木1	前期	必修	外国語科目			仏 254701 / 英語 II Ba		1	玉-204	
木1	後期	必修	外国語科目			仏 256301 / 英語 II Bb		1	玉-204	
金4	通年	必修	専門教育科目 必修			仏 006811 / 宗教学概論		4	8-151	

※「修得見込単位数」の欄を見ると、今年履修する科目の合計単位数が科目分野別にわかります。

※「不足見込単位数」は、今年履修する科目の単位を全て修得できた場合の、卒業までの残り単位数です。

単位修得状況(後期・通年科目成績認定)																	
科目分野	宗必	人文	社会	自然	Life	小計	分野	外1	外2	保体	専必	専選	卒論	広域	合計	随意	資格
卒業必要単位数	4	<	<	<	<	16	>	16									
修得単位数								4				20			24		
不足単位数	4	<	<	<	<	16	>	16	4	4	2	44	12	8	6	100	
修得見込単位数								4	1	2	16				1	24	
不足見込単位数	4	<	<	<	<	16	>	16		3	28	12	8	5	76		

※1単位は1授業時分の修得を意味し、単位修得状況は履修登録した科目の履修登録科目を基に集計する。
※卒業必要単位には、聴覚科目と講義講座科目をふくみません。
※卒論欄は、「卒業論文」が必修の場合に表示されます。

見込判定(2年次・卒業年次)	3月進級可能
9月卒業申請	
フレックスA・Bでの修得	

印刷

②履修訂正期間でエラーがある場合

- ・エラーの生じている場合は、訂正が必要です。エラー内容については、「エラー内容の確認」ボタンをクリックし、エラー内容を確認してください。

履修確認

エラー

履修登録内容にエラーがあります。内容を確認してください。詳細はヘルプを確認してください。

エラー内容の確認

確認期間 4月16日(水)～4月29日(水) 検定中につき「9月12日(金)」まで延長

学生番号	学生氏名	年次	所属学部学科	外国語
BK0018	駒澤 太郎 (コマザワ タロウ)	2年	仏教学部 禅学科	英語 中国語

自動削除科目一覧 (カレンダーから自動で削除された科目の一覧を表示します。) 非表示

自動で削除された科目はありません。

時間割

	履修制限単位数	履修予定単位数【エラーを含む】 ※()は履修制限外	履修可能単位数
申込単位数状況	年間 54	24 (0)	30

曜日 時限	開講 期	必・選	科目分野	抽選 A・B	履修コード / 科目名称	教員氏名	単位 数	教場	エラー
月5	前期	必修	外国語科目		☐ 248201 / 英語IAa		1	9-408	
月5	後期	必修	外国語科目		☐ 249801 / 英語IAb		1	9-408	
火1	適年	必修	専門教育科目 必修		☐ 000401 / 坐禅I		4	禅研一坐禅 室	
火3	適年	必修	保健体育科目 必修	抽	☐ 196201 / 健康・スポーツ実習		2	体育館	91
火4	適年	必修	専門教育科目 必修		☐ 002801 / 仏典・禅籍解説		4	8-256	
火5	前期	必修	外国語科目	抽	☐ 300601 / 中国語IAa		1	9-172	
水2	適年	必修	専門教育科目 必修		☐ 000901 / 禅思想概説		4		
水3	前期	選択	保健体育科目 選択		☐ 197502 / 生涯スポーツ実習I (前期・基礎)		1	体育館	
木1	前期	必修	外国語科目		☐ 254701 / 英語IBa		1	玉-204	
木1	後期	必修	外国語科目		☐ 256301 / 英語IBb		1	玉-204	
金4	適年	必修	専門教育科目 必修		☐ 006811 / 宗教学概論		4	8-151	

※エラーがある科目は、赤色の網掛けになります。

※主なエラーメッセージ

エラーコード	エラーメッセージ	エラー内容等
27	抽選登録なし	抽選登録科目のため、履修登録ができません。
91	先着オーバー	定員を超過したため、登録できません。
6	同一曜日・時限に2科目以上履修	該当科目の訂正をしてください。
61	同一曜日・時限に2科目以上履修 ※セメスター科目主曜日と重複	
62	同一曜日・時限に2科目以上履修 ※セメスター科目副曜日と重複	
21	同一科目を2科目以上履修	
22	重複履修確認	既に修得済みの科目と同等の科目を登録しています。履修不可科目を確認してください。
79	同時履修不可	同等科目を登録しています。履修不可科目を確認してください。
78	同一開講期の履修不可	履修前に修得する必要がある科目があります。履修条件を確認してください。

42	演習担当者エラー	演習科目と同一担当者・同一曜日時限開講の科目のみ履修可能です。 該当する科目を登録してください。
75	特定者履修科目エラー	指定された学生以外は履修できません。
77	キャンパス間移動時間エラー	玉川・駒沢キャンパス間の移動時間が不足しているため、履修登録できません。 ※キャンパス間の移動時間は約60分
72	介護等体験エラー	登録していない講座の科目のため、履修できません。
76	履修条件エラー	履修前提条件となる科目または単位数が不足しています。 履修条件を確認してください。
35	単位不足エラー	
38	前提条件科目不足エラー	
39	指定科目不足エラー	
51	履修制限単位エラー	年間履修制限を超えて登録しています。
31	他学部履修オーバー	他学部履修科目の履修制限（既修得単位を含む）を超えて登録しています。
36	昼夜制限オーバー（専門教育）	専門教育科目の分野の昼夜開講科目制限（既修得単位含む）を超えて登録しています。
40	昼夜制限オーバー（教養教育）	教養教育科目の分野の昼夜開講科目制限（既修得単位含む）を超えて登録しています。
44	保健体育オーバー	保健体育科目の履修制限単位数を超えて登録しています。 (法学部のみ)
	ロックされています。	指定科目の履修予定がある等により、履修科目の登録はできません。詳細は窓口で確認してください。

③履修訂正申込画面

- ・トップページ【履修】の項目より【履修訂正申込】をクリックすると、以下の画面が表示されます。

履修訂正申込

1 授業の選択 ▶ 2 エラー確認 ▶ 3 完了

STEP1 カレンダー内の選択ボタンをクリックするか、科目一括選択ボタンをクリックして、履修したい科目を選択してください。詳細はヘルプを確認してください。
履修登録期間内は、随時、申込内容の変更が可能です。

訂正期間 4月16日(水)～4月22日(火)

学生番号	学生氏名	年次	所属学部学科	外国語
BK0018	駒澤 次郎 (コマザワ タロウ)	2年	仏教育学部 禅学科	英語 中国語

単位修得状況(後期・通年科目成績認定) 非表示

科目分野	宗必	人文	社会	自然	Life	小計	分野	外1	外2	保体	専必	専選	卒論	広域	合計	随意	資格
卒業必要単位数	4	<---	16	----		16		8	4	2	64	12	8	6	124		
修得単位数								4			20				24		
不足単位数	4	<---	16	----		16		4	4	2	44	12	8	6	100		

※Lifeはライフデザイン分野を表します。
※卒業必要単位には、随意科目と課程選択科目をふくみません
※卒業論は、「卒業論文」が必修の場合に表示されます

自動削除科目一覧(カレンダーから自動で削除された科目の一覧を表示します。) 非表示

曜日 時限	開講 期	必・選	科目分野	履修コード / 科目名称	教員氏名	単 位 数	事 由
水3	前期	選択	保健体育科目	自197502 / 生涯スポーツ実習Ⅱ(前期・基礎)		1	落選(定員オーバー)

※エラーにより自動削除された科目が表示されます。

	月	火	水	木	金	土
1	選択	④【4】000401 坐禅Ⅰ 自 禅研・坐禅堂	選択	④【1】256301 英語Ⅱ Bb 自 五-204	選択	選択
2	選択	選択	④【4】000901 禅思想概説 自	選択	選択	選択
3	選択	②【2】196201 健康・スポーツ実習 自 体育館 《抽選科目-当選》 削除	選択	選択	選択	選択
4	選択	④【4】002801 仏典・禅籍解説 自 8-256	選択	選択	④【4】006811 宗教学概論 自 8-151	選択
5	④【1】249801 英語Ⅱ Ab 自 9-408	選択	選択	選択	選択	選択
6	選択	選択	選択	選択	選択	
7	選択					選択

※各曜日・時限にある「選択」ボタンをクリックすると、混雑状況、最新混雑状況を確認することができます。
混雑状況の説明
○…定員に余裕があります。
先着順で登録を受付します。
△…定員まで残り僅かです。
満員…現在定員を充足しています。

5. 後期履修

9月13日（土）～19日（金）は、後期履修期間です。この期間では、年間履修制限単位数の残り単位数の範囲内（前期不合格科目含む）で、後期開講科目を追加履修及び取消しをすることができます。なお、先着順での登録となります。当選した抽選科目の取消はできませんので注意してください。

6. 他学部履修 ※医療健康科学部を除く。

所属学科以外の学部・学科が、他学部履修科目として公開した専門教育科目の中から所属学科が履修を認めた授業科目を履修することができます。他学部履修科目は3年次から履修できます。履修する際は、「他学部履修科目授業時間表（PDF）」と該当科目のシラバスをよく確認してください。

履修方法の詳細については、第2章「他学部履修科目」の頁を確認してください。

7. 再履修

再履修とは、前年度もしくは前期に履修登録し、単位を修得できなかった科目を再度履修することをいいます。単位を修得できなかった場合、以下の点に注意してください。

- 再履修する科目の単位は、各年次の年間履修制限単位数に含まれます。
- 後期履修で再履修を申込みする際は、年間履修制限単位数の範囲内に限ります。
- 再履修する科目の担当教員が異なる場合でも、科目名が同じであれば同一科目の再履修と見なします。
- 再履修専用のクラス（再クラス）を開講している科目があります。再クラスがある科目は、授業時間表やシラバスの付記欄に「再クラス」と明記しています。対象科目は以下のとおりです。
 - ・「仏教と人間」
 - ・「健康・スポーツ実習」（必修の学部のみ）
 - ・必修・選択必修の外国語科目（「外国語再履修科目授業時間表 PDF」参照）
 - ・「坐禅Ⅰ」（仏教学部のみ）
 - ・「Written CommunicationⅠ・Ⅱ」「Critical Reading」「Introduction to Writing」（グローバル・メディア・スタディーズ学部のみ）
- 初修年次に、学生番号指定されていた科目を再履修する際は、学生番号に関係なく履修することができます。
- 1年次に玉川キャンパスで開講していた必修・選択必修科目の再履修は、駒沢キャンパスで行います。ただし、平成27（2015）年度から、「仏教と人間」「健康・スポーツ実習」の再クラスは、駒沢キャンパスでは開講されません（医療健康科学部を除く）。平成26（2014）年度までに単位を修得できなかった場合、入学年度に関わらず玉川キャンパスで再履修をすることになります。なお、昼休みをはさむ2～3時限を除き、

キャンパス間の連続した時限の履修登録は許可していない点に注意してください。

- (7) 履修年次に上限の決められた科目があります。自分の年次が上限を超えた場合は、それらの科目を再履修することはできません。開設科目一覧をよく確認しましょう。

8. シラバスの閲覧

シラバスとは、各科目の授業計画についてまとめられたものです。授業概要、授業スケジュール、成績評価の方法、教科書等について詳細に掲載されています。

シラバスは、KONECO から閲覧します。時間割表画面や、履修登録等の画面上に表示された科目名をクリックして閲覧できます。この他に、科目名や担当教員名を直接入力して検索する機能もあります。

①時間割表示形式画面からシラバスを閲覧する

前期 後期 非表示		月	火	水	木	金	土
1	選択		④【4】000401 坐禅Ⅰ 禅研-坐禅室	選択	①【1】254701 英語Ⅱa 玉-204	選択	④【4】070901 心理学概論 1-303 削除
2	選択	選択		④【4】000901 禅思想概説 2研-209	選択	④【4】000321 仏教漢文入門 2研-209 削除	選択
3	選択	②【2】196201 健康・スポーツ実習Ⅰ 体育館 《抽選科目-当選》	申込状況【○】 ②【2】170901 日本語文化理解Ⅰ 4-303 《受講予約科目-申込中》 削除	②【2】196311 健康・スポーツ実習Ⅱ 体育館 削除	選択	①【1】301401 中国語ⅠAa 9-175 削除	①【1】301511 中国語ⅠAa 9-403 削除
4	選択	④【4】002801 仏典・禅語解説Ⅰ 8-256	②【2】196301 健康・スポーツ実習Ⅱ 体育館 削除	申込状況【○】 ②【2】190001 経済学A 8-380 《受講予約科目-申込中》 削除	④【4】006811 宗教学概論 8-151	ロックされています。詳細は教務部窓口にお問い合わせください。 2単位、1時限長	

※時間割表形式の画面で、科目名をクリックするとその科目のシラバスが閲覧できます。
※各曜日・時限の「選択」ボタンをクリックすると、自分の所属学科で履修可能な科目名が表示されます。

②シラバス検索画面からシラバスを閲覧する

指定した検索条件に一致するシラバス一覧を表示します。
※詳細を確認する場合は、該当するシラバスの「履修コード / 科目名称」をクリックしてください。

「健康・スポーツ実習」等シラバスはこちら

条件を隠す

検索範囲 履修 すべて

学種 学部検索 大学院検索

年度 年度

配当学部

配当学科

配当年次 1 2 3 4

配当科目 / 分野 /

履修コード

科目名称 (漢字、カナ、英語含む)

担当教員氏名 (漢字、カナ、英語含む)

開講期間 前期 後期 通年

開講曜日 月 火 水 木 金 土 日 特曜日 集中

開講時限 1 2 3 4 5 6 7 8 9

開講キャンパス 駒沢 玉川 深沢

キーワード (部分一致)

クリア 検索

※シラバス検索画面では、初期設定で「検索範囲」が「履修」に指定されており、自分の所属学科で履修可能な科目だけが検索される設定になっています。

※「検索範囲」を「すべて」に変更した場合、他学部の時間割をすべて閲覧できるようになります。ただし、自分の所属学科では履修できない科目も検索されるようになってしまいます。たとえ自分の所属学科と同じ科目名があったとしても、必ずしもそれを履修できるとは限りませんので注意してください。

③シラバス照会画面

シラバス照会

PDF出力

履修コード/科目名称	000401 / 新入生セミナー	
開講年度・期	2014年 前期	開講曜日・時限
単位数	2	
付記		
担当教員氏名(カナ)	駒澤 太郎(コマザワ タロウ)	
副担当教員氏名(カナ)		
授業概要	<p>高度な専門に触れることになる大学においては、高等学校等におけるよりも更に「自立的」「主体的」な学習態度が要求されます。問題意識をもって世界に向き合う中でテーマや課題を自ら探し出し、必要な資料や文献等の調査を行い、レポートや発表によって自分の考えを他者に的確に伝え、他者の意見に真摯に耳を傾けること——専門分野を問わず、これが「自立的」「主体的」な学習の道筋です。本科目はこうした学習のための入り口であり、次の4点を共通の指針としています。</p> <p>①駒澤大学において、誇りある大学生としての自覚を養う。 ②学びの態度を「学習」から「学問」へと深化させる。 ③他者との交流を通して自己を磨く。 ④たえず流動する社会のなかで自己を方向づけ、位置づける。</p>	
到達目標(ねらい)	「自立的」かつ「主体的」な学習態度を身につけ、今後の大学生活を乗り切るものとするために、授業概要の4点は重要な柱となるはず。すべての新入生がこれらの柱の意味を理解し、大学で学ぶことの意義について考えを深めることが本科目の目標です。	
授業スケジュール	第1回	オリエンテーション
	第2回	大学で学ぶとは？
	第3回	演習1

※「PDF出力」ボタンをクリックすると、表示されているシラバスのPDFファイルをダウンロードすることができます。履修を決めた科目のシラバスはPDFファイルを保存しておくか、印刷しておきましょう。

④シラバス照会画面の用語説明

履修コード／科目名称	履修コード（各科目に付けられた固有番号）と科目名称
開講年度・期	科目の開講年度と開講期（通年・前期・後期）
開講曜日・時限	科目の開講している曜日・時限
単位数	その科目を合格すると得られる単位数
付記	科目に関する補足情報
主担当教員氏名	その科目の代表教員（採点を行う教員）の氏名
副担当教員氏名	代表教員以外の教員氏名
授業概要	その科目で行われる授業の概要について
到達目標（ねらい）	その科目で修得する知識・技術等の達成目標について
授業スケジュール	各回の授業スケジュールについて。※スケジュールはシラバス作成時点の予定であるため、授業の進捗によって変更される可能性があります
準備学習	履修に際し、事前事後の学習に関する指示
履修上の留意点	履修する際の留意点や、受講方法に関する指示
成績評価の方法	成績評価の方法（試験やレポート等）や評価割合について
教科書／テキスト	授業で使用する教科書やテキストについて。書籍の場合は購入が必要となります
参考書	受講にあたり、参考にすべき図書等について
その他	その他、担当教員からの指示やメッセージ等
関連リンク	授業に関連した URL

授業

1. 授業期間

本学では学則の定めにより、1年間を前期・後期の2つの期間に分けて授業を実施しています。

期間については、①前期または後期のみ授業が行われる半期科目と、②前期・後期両方の期間を使って授業を実施する通年科目の2種類があります。

前期	4月1日～9月15日	※夏季休業 7月29日～9月15日
後期	9月16日～3月31日	※冬季休業 12月26日～1月7日

※休業期間を利用して、集中授業が開かれる科目があります。詳しくは、「開設科目一覧」を参照してください。

2. 休日授業日

各曜日の授業日数を調整するため、特定の祝日・休日等を授業日として設定しています。授業日に振り替えた休日は、別の日程で同じ日数分を休日に置き換えています。

休日授業日

10月13日（月）	体育の日
11月24日（月）	勤労感謝の日の振替休日

3. 課題授業

休日授業日を含む通常の授業とは別に、課題授業が前期および後期に実施されます。

各科目の課題授業の実施時期や方法については教員からの指示に従ってください。シラバスに記載されている場

合もありますので注意してください。

課題授業の方法は以下にあげるものがあります。

①駒澤大学 e-learning システム「YeStudy」を活用

利用方法はホームページ>在学生・教職員の方（ログイン画面）>「YeStudy」ログイン画面の指示に従ってください。

②補講

平日の夜間時間帯や、土曜日の午後を中心に実施されます。実施日や教場については受講生に対し KONECO で配信されます。

複数の補講授業が同一時限に重なってしまった場合、必修科目を最優先し、科目担当教員に相談してください。

教員に対しては科目の重なりがあった際は学生から相談があることを伝えてあります。

③レポート提出

教員からレポート課題が出題されます。提出期限、体裁等は教員の指示に従ってください。

④ C-learning による課題提出

教員から指示があります。パソコンを利用してレポートを提出してください。このアプリの利用は、つぎのアドレスにログインが必要です。

<https://komazawa.c-learning.jp/s/>

4. 補講

各教員の授業の進行状況や休講等による不足分を調整するため、補講を実施することがあります。補講の情報は KONECO に配信されます。

開講期	実施期間	曜日・時限
前期	6月1日～前期授業最終日	平日：6・7時限、土曜日：4・5時限 ※他の時限で行われる場合もあります。
後期	11月1日～後期授業最終日	

5. 授業時間

時限	1時限	2時限	3時限	4時限	5時限	6時限	7時限
時間	9：00	10：40	13：00	14：40	16：20	18：00	19：40
	～ 10：30	～ 12：10	～ 14：30	～ 16：10	～ 17：50	～ 19：30	～ 21：10

※定期試験期間の時間帯については、「試験時間」の頁を参照してください。

6. 授業の欠席

病気・ケガ・事故・冠婚葬祭など、やむを得ない理由により授業を欠席する場合、大学には所定の欠席届がありませんので、直接各授業の担当教員に申し出てください。

可能な範囲で、欠席を証明するもの（1週間以上の傷病であれば医師の診断書等）を持参することをお勧めします。

- 休学については、教務部11番窓口へご相談ください。
- 病気・怪我などで1か月以上の入院治療を要する場合は、事前に保健管理センターへ連絡してください。
- 感染症により授業を欠席した場合で担当教員から証明書類の提出を求められた場合は、診断書のほか、「感染症」の治癒証明書（保健管理センターHP [http://www.komazawa-u.ac.jp/cms/h-kansen/] 参照）の用紙を利用して提出することもできます。

- 教職課程、博物館学講座、社会教育主事講座、社会福祉士の実習のため、他の授業を欠席をする場合、所定の欠席届を用意していますので、教務部2番窓口へ申し出てください。

7. 代講

病気・退職等の理由のため、年度の途中で担当教員が変更することを代講といいます。
代講となった授業については、KONECO に掲示します。

8. 休講

大学や授業担当教員にやむを得ない事情が発生した場合に、授業を休講することがあります。休講について連絡があり次第、KONECO に掲示します。

教場黒板への板書での休講連絡は原則として行いません。授業開始後30分を経過しても連絡がない場合は、教務部9番窓口へ申し出て、指示を受けてください。

9. 震災及びその他の災害・事故に伴う授業休講措置

(休講措置を検討する状態)

- ・東急田園都市線が運休もしくは運転を見合わせている場合
- ・台風、低気圧等により、東京23区内及びその隣接地域に「暴風警報」「暴風雪警報」「大雨警報」「大雪警報」が発表された場合

上記の場合、休講するか否かを大学が検討し、決定し次第、以下の手段でお知らせします。緊急時はアクセスが集中しますので、以下の優先順位で確認してください。

- ①パソコンからの KONECO サイト利用
- ②携帯電話からの KONECO サイト利用
- ③パソコンからの大学ホームページ利用
- ④携帯電話からの大学ホームページ利用
- ⑤大学テレフォンサービス (03-3418-9028)

10. 教場変更・教場貸出

●教場変更

教場が変更となる場合、KONECO に掲示します。継続して変更になる場合と、当日のみ変更になる場合があります。

●教場貸出

ゼミ活動で教場を使用する場合は、担当教員の承諾を得た上で、教務部窓口へ「教場使用願」を提出してください。サークル等で教場を使用する場合は、学生部へ申し出てください。


11. 大学からの掲示・連絡

大学からの掲示・連絡は、KONECO と掲示板に掲示されます。掲示板の場所と種類については、表紙裏の「事務室・掲示板配置図」を参照してください。

12. e-learning システム (YeStudy)

本学のeラーニングシステム“YeStudy (イエスタデイ)”を利用した授業科目があります。担当教員がYeStudyのコースに科目を開設している場合のみ利用できますので、担当教員の指示に従って登録してください。また、利用方法・操作方法については、1号館3階事務室の「e コンシェル」がサポートを行っています。

● YeStudy へのアクセス

<ul style="list-style-type: none">・ PC からアクセス https://yestudy.komazawa-u.ac.jp/・ 携帯電話からアクセス http://yestudy.komazawa-u.ac.jp/ <p>・ 1号館3階 総合情報センターサポート窓口 月～金 9:00～17:00 (12:30～13:30を除く) e コンシェル (メール) econ@komazawa-u.ac.jp ※長期休業期間等、サポート時間が変更になる場合があります。</p>	QR コード 
-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	-----------------------------------------------------------------------------------------------

なお、学内のパソコン利用には、KOMAnet ユーザIDが必要です。

パスワードの再発行は、4号館2階事務室にて対応しています。

詳細は総合情報センターのホームページ、または『総合情報センター利用ガイド』で確認してください。

13. アンケートシステム

本学では、FD (Faculty Development) の一環として、各教員の授業改善を目的に「学生による授業アンケート」を前期と後期の年2回実施しています。アンケート実施期間の前に、実施に関する連絡を行います。

なお、アンケートはアンケートシステム“C-learning (シーラーニング)”を利用して実施します。

システムを利用するために、事前に利用登録を行っておいてください。

<ul style="list-style-type: none">・ スマートフォン、携帯電話、PC からアクセス https://komazawa.c-learning.jp/s/・ C-learning の利用登録については、http://www.komazawa-u.ac.jp/cms/jugyo/clearning/ を参照してください。 <p>※問い合わせ先 (教務部 教育支援係)</p>	QR コード 
--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	-------------------------------------------------------------------------------------------------

Ⅱ 試験・成績

試験

1. 試験について

受講する科目の多くは、授業に出席し、試験を受けることで評価されます。

試験はいくつかの種類がありますので、自分の受講している授業がどの試験を行うのかを KONECO や掲示板等で必ず確認してください。

また、履修する科目がどのような試験を行うかについては、シラバスを参照してください。

●試験の種類

定期試験（筆記）	前期科目定期試験期間、後期・通年科目定期試験期間に行われる筆記試験。試験会場で60分間で行われる。
定期試験（レポート）	前期科目定期試験期間、後期・通年科目定期試験期間に行われるレポート試験。試験開始時間から30分以内に試験会場へ提出しなければならない。
追試験（筆記）	やむを得ない理由で定期試験を受験できなかった者のための筆記試験。
追試験（レポート）	やむを得ない理由で定期試験を受験できなかった者のためのレポート試験。
授業内試験	授業期間中に担当教員が任意で行う試験。筆記試験あるいはレポート試験等で行われる。定期試験や追試験と異なり、試験実施の告知は授業内だけで行われ、掲示がされない場合もあるので注意が必要。

※やむを得ない理由については、「5. 追試験受験対象となる欠席理由」を参照。

2. 定期試験

●定期試験の実施日程

前期科目	7月16日（水）～18日（金）	※専門教育科目集中試験
	7月22日（火）～26日（土）、28日（月）	
後期科目と 通年科目	1月13日（火）～15日（木）	※専門教育科目集中試験
	1月19日（月）～23日（金）、26日（月）	※26日は土曜日の授業科目の試験を行います。

※専門教育科目集中試験とは、専門教育科目のうち、以下の条件のいずれかに該当する科目の試験を特別な日程で実施するものです。日程および、履修中の科目が該当しているかどうかは、試験掲示を確認してください。

- ・同一教員が同一科目名の授業を複数担当している科目
- ・履修人数が大人数である科目

●定期試験の注意事項

- ・履修登録した科目のみ受験できます。従って、同一科目名、同一教員名であっても、履修登録していない開講期・曜日・時限の科目は、受験できません。
- ・定期試験はすべて駒沢キャンパスで実施します。
- ・筆記試験の代わりにレポートの提出を課せられた場合は、論題・学科・年次・学生番号・氏名を明記し、読み易く綴じて提出してください。なお、指定された曜日・時限に提出しなければなりません。
- ・試験時間割は履修登録している科目が開講している曜日・時限とし、試験日及び教場等については掲示で発表します。試験時間は通常の授業時間とは異なります。（「試験時間」の頁を参照）

3. 授業内試験

授業内試験とは、授業期間中に担当教員が任意で行う試験のことです。筆記試験あるいはレポート試験等で行われます。定期試験や追試験と異なり、試験実施の告知は授業内だけで行われ、掲示がされない場合もあるので注意が必要です。また、大人数授業の場合、普段の教場とは異なる教場で試験が行われる場合があります。

なお、試験掲示がされている科目については、掲示板・KONECO で閲覧することができます。

4. 追試験

追試験は、次項に掲載した理由により、定期試験（レポート提出を含む）を受けられなかった場合に、受験することができる試験です。

定期試験欠試者は教務部に相談のうえ、所定の「追試験受験願」に記入し、証明書を添付して下記期日までに教務部（8番窓口）の受験許可を得てください。

	追試受験願受付	追試験期間	備考
前期科目	7月30日（水）まで	8月18日（月）～23日（土）	
後期科目と 通年科目	1月28日（水）まで	2月9日（月）・10日（火）・ 12日（木）～14日（土）	
		2月16日（月）	※16日は水曜日の授業科目の追試験を行います。

5. 追試験受験対象となる欠席理由

全ての書類において、該当日時等の記載があるもの。なお原本（コピー不可）に限る。

	欠席理由	提出する証明書・書類等
A	本人の病気・負傷	医師の診断書
B	忌引	3親等以内、会葬御礼等証明するもの
C	公共交通機関の遅延	当該機関で発行された遅延証明書
D	就職試験等	公共機関・会社等が発行する受験証明書、または試験の案内状か受験票の写し
E	勤務の都合	定職者に限る、勤務先の証明書
F	交通事故	交通事故証明書
G	天災その他の災害	被災を証明するもの
H	公式試合	公式試合参加を証明するもの
I	結婚式	招待状等証明するもの
J	ボランティア参加	参加証明書
K	他大学での履修科目の試験が本学の定期試験と重複した場合	
L	資格取得のための実習等	本学の資格課程講座に限る
M	その他公的な会議・式出席	案内状等証明するもの
N	その他	学部長が特別に認めた場合、教務部所定の許可願用紙と理由が明記されている書類、証明書等

※ただし、医師の診断を要しない程度の病気や寝坊による遅刻等は、やむを得ない理由とはみなさないで注意してください。

提出する証明書・書類等についての注意事項

※全ての書類において、該当日時等の記載があるもの、なお原本（コピー不可）に限る。

A. 本人の病気・負傷

試験当日の症状の記載がある医師の診断書に限る。

C. 公共交通機関の遅延

原則、試験当日の申請に限る。遅延証明書は通学経路で利用する交通機関で発行されたものに限る（但しインターネットでの発行は不可）。

H. 公式試合

大学の部活動等で選手として参加する場合に限る。

K. 他大学での履修科目の試験が本学の定期試験と重複した場合

履修証明書あるいは試験日時等の記載のあるものに限る。

L. 資格取得のための実習等

実習先、実習期間の記載のあるものに限る。

6. 受験心得

- 1 当該科目を履修登録していなければなりません。
- 2 指定された日時・試験場で受験しなければなりません。
- 3 試験中、学生証を机上に提示しなければなりません。ただし、仮受験票を以って学生証に代えることができます。
- 4 試験開始後30分以内に当該試験場に入室しなかった者は、受験できません。
- 5 試験終了までは試験場を退場できません。
- 6 学部・学科・年次・学生番号・氏名の記入はペンまたはボールペン書きとします。
- 7 答案または受験者名簿に記名の無い者の受験は無効と扱われます。
- 8 試験場において、受験者は試験監督員の指示に従わなければなりません。
- 9 試験場の秩序を乱した者、または試験実施の妨げになる行為をした者は、主任監督の判断により退場を命じられ、学則に基づき処分されます。
- 10 試験において下記のような不正受験行為が行われた場合は、「不正受験行為者処分規程」により処分されま
す。
 - a. 代人受験
 - b. 答案の交換
 - c. カンニングペーパー等の使用
 - d. 机、辞書、身体等への書き込み
 - e. 他人の答案の転写
 - f. 言動または携帯電話等による連絡
 - g. 許可の無い教科書、ノート、参考書等の参照
 - h. 参照が許可された教科書、ノート、参考書等の貸し借り
 - i. 答案の持ち出し
 - j. その他、上記行為に準ずる行為
- 11 追試験受験者は、受験許可証を持参しなければなりません。

7. 試験時間

〈定期試験・追試験〉

時限	1時限	2時限	3時限	4時限	5時限	6時限	7時限
時間	9:30 ～ 10:30	11:00 ～ 12:00	13:00 ～ 14:00	14:40 ～ 15:40	16:20 ～ 17:20	18:10 ～ 19:10	19:40 ～ 20:40

※レポート提出は、開始後30分で受付を終了しますので遅れないよう注意してください。

8. 試験実施規程

試験実施規程

(昭和59年7月13日制定)

(目的)

第1条 この規程は、駒澤大学学則に規定する試験の実施について必要な事項を定めることを目的とする。

(試験の実施責任)

第2条 試験は、授業科目を開設する教授会等の責任のもとに実施される。

(試験の種類及び実施の時期)

第3条 試験の種類は、次のとおりとする。

(1) 定期試験 履修した授業科目の単位修得の認定のために学期末の所定試験期間内に行う試験をいう。

(2) 追加試験 (以下「追試験」という。) 病気その他やむを得ない理由で定期試験を受けることができなかった者について、所定試験期間内に行う試験をいう。

(3) 授業内試験 第1号、第2号の試験とは別に平常の授業時間内に授業科目担当者が行う試験をいう。

2 定期試験及び追試験の実施時期については、行事予定表をもってこれを定める。ただし、授業内試験については、この限りではない。

(定期試験実施本部)

第4条 定期試験及び追試験の円滑な実施のため定期試験実施本部を設ける。

2 定期試験実施本部に必要な事項については、別に定める。

(試験の方法)

第5条 試験は、筆記、口述又は実技によって行う。ただし、授業科目担当者は、レポート提出をもってこれに代えることができる。

(試験時間)

第6条 試験時間は、原則として60分とする。

(受験資格)

第7条 定期試験を受験するためには、次の各号の条件を満たしていなければならない。

(1) 当該授業科目を履修していること。

(2) 授業料その他の学費を納入していること。

2 前項の条件を満たしているときであっても、当該授業科目について、授業時間数の3分の2以上に出席していない者については、当該授業科目の受験資格が認められないことがある。

3 追試験を受験するためには、当該授業科目の追試験受験願を提出し、許可を受けなければならない。

(受験資格の喪失)

第8条 次の各号の一に該当するときは、当該授業科目の受験資格を失う。

(1) 学生証を携帯していないとき。

(2) 試験開始後30分以内に試験場に入室しなかったとき。

(3) 試験監督員の指示に従わないとき。

(4) 不正受験行為の事実が確認されたとき。

(受験心得)

第9条 試験を受ける者は、別に定める受験心得を遵守しなければならない。

(無効の答案及びレポート)

第10条 次の各号の一に該当する答案及びレポートは、無効とする。

- (1) 受験資格を有しない者の答案及びレポート
- (2) 不正受験行為により作成された答案及びレポート
- (3) 氏名、学生番号が記載されていない答案及びレポート
- (4) 指定された時間及び場所に提出されない答案及びレポート
- (5) 所定用紙以外の用紙を用いた答案

(試験監督)

第11条 試験の監督は、当該授業科目担当者の責任においてこれを行う。ただし、必要あるときは、補助試験監督員を置くことができる。

2 試験監督員は、試験場内の秩序を維持し、試験を厳正かつ円滑に実施する任にあたる。

3 試験監督要領は、別にこれを定める。

(不正受験行為の扱い)

第12条 試験監督員は、試験実施中に学生が不正受験行為をしたときは、受験を停止させ、学生証、答案用紙並びに不正受験行為に使用した物品等を証拠品とし、当該学生を伴って教務部長（又は教務課長）に報告するものとする。

2 教務部長（又は教務課長）は、試験監督員及び当該学生より事情を聴取し、不正受験行為の事実確認を行う。

3 当該学生の不正受験行為の事実を確認したとき、教務部長は、当該授業科目担当者の意見を付し、証拠品を添えた報告書を学生部長に速やかに提出するものとする。

4 試験実施後、不正受験行為が発見されたときも、前項に準じてこれを取り扱うものとする。

(不正受験行為者の処分)

第13条 不正受験行為者の処分については、別に定める。

(事務所管)

第14条 試験実施にかかわる事務は、教務部の所管とする。

附 則

この規程は、平成21年10月30日から施行する。

9. 不正受験行為者処分規程

不正受験行為者処分規程

(昭和59年7月13日制定)

(目的)

第1条 この規程は、試験実施規程第12条及び第13条並びに法科大学院試験実施規程第12条及び第13条に基づき、定期試験及び追加試験における不正受験行為者の処分に関する必要事項について定めるものとする。

(決定及び通達)

第2条 不正受験行為者の処分決定は、学部教授会又は法科大学院研究科教授会の議を経て学長が行い、本人への通達は、学部長又は研究科長が行う。

(不正受験行為の内容)

第3条 不正受験行為の内容は、次のとおりとする。

- (1) 代人受験
- (2) 答案の交換
- (3) カンニングペーパー等の使用
- (4) 机、辞書、身体等への書込み
- (5) 他人の答案の転写
- (6) 言動又は携帯電話等による連絡
- (7) 許可のない教科書、ノート、参考書等の参照
- (8) 参照が許可された教科書、ノート、参考書等の貸し借り
- (9) 答案の持ち出し
- (10) その他、上記各号に準ずる行為

(処分の種類)

第4条 不正受験行為者の処分は、次のとおりとする。

- (1) 前条第2号から第10号の不正受験行為を行った者は、譴責処分とし、当該受験科目を無効とする。

(2) 前条第1号の不正受験行為を行った者及び前条第2号から第10号の不正受験行為を再度行った者は、停学処分とし、当該期の定期試験及び追加試験期間の全受験科目を無効とする。

(3) 前条第1号を含む不正受験行為を再度行った者及び前条第2号から第10号の不正受験行為を三度行った者は、退学処分とする。

(不正受験行為を助けた者の処分)

第5条 第3条に定める不正受験行為を助ける行為を行った者は、前条の各号に準じて処分する。

(事後発覚者の処置)

第6条 試験終了後に不正受験行為が発覚したときは、第4条により処分する。

(処分の起算日)

第7条 処分の起算日は、学長の決裁日とする。

(通知及び原簿記載)

第8条 処分の内容については、本人及び保証人に通知するとともに、学籍原簿に記載するものとする。

(公示)

第9条 処分の内容は、掲示により公表するものとする。

(停学者の指導)

第10条 停学処分中の者は、当該学部長又は研究科長の指導に従わなければならない。

(事務所管)

第11条 本規程の事務所管は次の通りとする。

(1) 不正受験行為の事実確認に関しては教務部

(2) 不正受験行為に対する処分手続きに関しては学生部

附 則

この規程は、平成21年4月1日から施行する。

成績

1. 成績評価

履修科目の全授業日数のうち3分の2以上出席し、合格の成績評価を得た科目については単位を認定します。なお、追試験の成績評価は定期試験に準じます。

成績評価は下表の通りです。なお、素点に関する問い合わせについては応じられません。

●評価の記載

合格／不合格	合格				不合格		認定
素点	100点～ 90点	89点～ 80点	79点～ 70点	69点～ 60点	59点～ 0点	評価なし	認定
評価	S	A	B	C	F	空欄	T
成績評価分布	履修者全体の 5%程度	履修者全体の 30%程度					

※成績評価分布対象外の科目もあります。

2. GPA 制度

GPA (Grade Point Average) とは、S・A・B・C・Fの各評価に対して、それぞれ4.0・3.0・2.0・1.0・0.0のグレードポイントを付与し、これに各科目の単位数を掛け合わせ、その総計数を総履修単位数で割った値です。

不合格 (F)・学修放棄 (空欄) の科目のGPAの値は、0ポイントとして計算されますので、履修科目の登録を慎重に行う必要があります。不合格 (F)・学修放棄 (空欄) の科目を、翌年度以降に再履修し合格点を修得した場合、先の0ポイントは削除され合格点のポイントが加算されます。

GPAの値は、成績を参考とする選考基準等に使用されます。本学では、平成18（2006）年度以降入学生より適用しています。

《GPAの算出方法について》

$$\text{GPA} = \frac{(\text{S修得単位数} \times 4.0) + (\text{A修得単位数} \times 3.0) + (\text{B修得単位数} \times 2.0) + (\text{C修得単位数} \times 1.0)}{\text{履修登録した科目の総単位数 (F・空欄は含むがTは含まない)}}$$

※再履修した科目の単位数は、履修登録した科目の総単位数には含まれません。

※Tは単位認定科目（他大学で修得した単位を含む）。

※GPAの数値は、小数点第3位を四捨五入とする。

※卒業必要単位数に含まれない科目（随意科目、教職課程・資格講座科目）は除外されます。

3. 成績発表

成績発表はWeb（KONECO）にて行います。発表の日程は下記のとおりです。

種類	成績発表日
前期科目成績発表	平成26年8月22日（金）
前期追試験科目成績発表（集中授業含む）	平成26年8月27日（水）
後期・通年科目成績発表	平成27年2月13日（金）
後期・通年追試験科目成績発表（生涯スポーツ演習Ⅱ含む）	平成27年2月19日（木）

※その他の成績更新時期についてはKONECO [成績紹介] 内のヘルプを参照してください。

4. 成績に関する相談・調査

成績発表を確認し、以下のような場合は、所定の期間内に教務部窓口にて相談してください。

電話による問い合わせは行っていません。

- ①授業に出席し、受験した科目に評価が付いていない場合
- ②受験しなかった科目に評価が記載されている場合
- ③評価に対して、疑問点がある場合

●成績調査の申請期間

種類	対象者	申請期間
前期科目	前期終了科目履修者	成績発表日から8月28日（木）まで
後期・通年科目	後期・通年科目履修者	成績発表日から2月21日（土）正午まで

●注意事項

成績は上記期間内に申し出がない場合、了承されたものとして確定します。

必ず期間終了までに成績を確認してください。

5. 保証人への成績表送付

3月中旬以降に保証人住所に送付します。保証人住所に変更等がある場合は、必ず教務部11番窓口にて手続きしてください。

※前期終了の際は送付されません。学生本人にはKONECOにて発表します。

6. 進級基準

学業奨励を目的として、3年次への進級に際し、進級基準を設けています。

- (1) 平成26 (2014) 年度以降の入学生の進級基準 (グローバル・メディア・スタディーズ学部を除く)
(平成26 (2014) 年度以降の編入学・再入学生は、入学年度によって進級基準の適用が異なります。)

2年次終了時の成績	
進級	①卒業に必要な単位を30単位以上修得しており、 かつ ②外国語必修 I Aa および I Ab の2単位または I Ba および I Bb の2単位のどちらか※を修得している者 (日本語を必修としている留學生は、外国語必修科目で2単位以上を修得している者)
原級に留め置く	①卒業に必要な単位の修得が29単位以下の者、 または ②外国語必修 I Aa および I Ab の2単位および I Ba および I Bb の2単位が全て未修得の者 (日本語を必修としている留學生は、外国語必修科目の修得単位が1単位以下の者)
4年次終了時の成績	
原級に留め置く	在学年数が4年以上であっても、卒業に必要な単位数を修得していなければ4年次生を継続しなければならない

※< I Aa および I Ba >、< I Aa および I Bb >、< I Ab および I Ba >、< I Ab および I Bb >のセットでは条件を満たしません。

- (2) 平成25 (2013) 年度～平成18 (2006) 年度の入学生の進級基準

(グローバル・メディア・スタディーズ学部を除く)

(平成18 (2006) 年度以降の編再入学生は、入学年度によって進級基準の適用が異なります。)

2年次終了時の成績	
進級	①卒業に必要な単位を30単位以上修得しており、 かつ ②外国語必修 I A または I B のいずれか2単位を修得している者 (日本語を必修としている留學生は、外国語必修科目で2単位以上を修得している者)
原級に留め置く	①卒業に必要な単位の修得が29単位以下の者、 または ②外国語必修 I A および I B が全て未修得の者 (日本語を必修としている留學生は、外国語必修科目の修得単位が1単位以下の者)
4年次終了時の成績	
原級に留め置く	在学年数が4年以上であっても、卒業に必要な単位数を修得していなければ4年次生を継続しなければならない

(3) グローバル・メディア・スタディーズ学部の進級基準

2年次終了時の成績	
進級	卒業に必要な単位のうち30単位以上修得の者
原級に留め置く	卒業に必要な単位の修得が29単位以下の者
4年次終了時の成績	
原級に留め置く	在学年数が4年以上であっても、卒業に必要な単位数を修得していなければ4年次生を継続しなければならない

7. 進級規程に伴う警告と勧告

以下の条件に該当する者は、所属学部より警告もしくは勧告がなされます。

警告	2年次を通年で2回継続し、翌年3年次に進級できない場合
退学勧告	2年次を通年で3回継続し、翌年3年次に進級できない場合

8. 在学条件

- ・ 在学年数を4年以上経過する3年次生が、卒業に必要な単位を修得した場合でも、次年度4年次に進級し、1年間在学しなければ卒業することはできません。
- ・ 3年次までに卒業に必要な単位数を修得した場合でも、4年間（在学年数）在学しなければ卒業することはできません（経済学部、法学部を除く）。
- ・ 上述のいずれの場合も、1科目以上履修登録していなければなりません。その際、成績がFや空欄であっても卒業は可能です。

9. 原級者

- ・ 原級者は留め置かれた年次に配当されている科目を履修してください。ただし、原級に留め置かれた場合に履修できなくなる科目がありますので、不明な点は教務部窓口で相談してください。

10. 駒澤大学進級規程

○駒澤大学進級規程

平成18年4月1日制定

(目的)

第1条 この規程は、駒澤大学学則第14条に基づき駒澤大学（以下「本大学」という。）の学生の教育並びに修学指導の充実を図るため、進級及び在学について必要な事項を定める。

(進級基準単位)

第2条 学生が2年次終了までに、次項に定める単位（以下「基準単位」という。）を修得しない場合は、3年次に進級することができない。

(1) 平成25年度以前入学生（グローバル・メディア・スタディーズ学部除く）

卒業に必要な単位のうち30単位（外国語必修 I A 又は I B 2単位を含む）

(2) 平成26年度以降入学生（グローバル・メディア・スタディーズ学部除く）

卒業に必要な単位のうち30単位（外国語必修 I A a 及び I A b の2単位又は I B a 及び I B b の2単位のどちらかを含む）

(3) グローバル・メディア・スタディーズ学部所属学生

卒業に必要な単位のうち30単位

(4) 日本語を必修としている外国人留学生

卒業に必要な単位のうち30単位（外国語必修科目で2単位を含む）

(修学指導)

第3条 学生が2年次終了までに、基準単位に対して修得単位が不足する場合には、適切な指導を行い、かつ、保証人へ文書で学業に精励するよう促すものとする。

(退学勧告)

第4条 学生が在学年数4年を経過した次の学年始めに、3年次への進級ができない場合には、本大学学則第57条第3項第2号を準用し、教授会の議を経て退学を勧告する。ただし、半期休学をした学生の取り扱いは別に定める。

(在学条件)

第5条 在学年数4年以上を経過する3年次の学生が、卒業に必要な単位を修得した場合でも、次年度4年次に進級し、1年間在学しなければ卒業することができない。

(休学原級)

第6条 進級は、学年始めをもって行う。ただし、前年度において1学年（通年）休学中の学生は、進級することができない。

附 則

この規程は、平成26年4月1日から施行する。

Ⅲ 留学

グローバル化の時代と言われる今日、広い視野で積極的に活動する国際感覚豊かなグローバル人材に大きな期待が寄せられています。こうした人材になるためには、国際情勢を正しく理解し、外国の言語や文化を海外の生活習慣のなかで学ぶことが必要不可欠です。本学では国際感覚を養う学習として多彩なプログラムを用意し、意欲ある学生をバックアップしています。留学や国際交流に興味のある皆さんは、なるべく早めに国際センター事務室（深沢キャンパス）で確認してください。

詳細は、国際センター事務室発行「駒澤大学留学ハンドブック」を参照してください。

1. 交換留学

本学と国際交流協定・学生交流協定を締結している海外の大学（協定校）に、交換留学生として1年間留学する制度です。この留学期間は駒澤大学での在学期間とみなし、留学先で修得した単位は学部教授会の承認により、卒業に必要な単位に算入することができます。

出願資格・選考試験等詳細は、国際センター事務室発行「交換留学生募集要項」を参照してください。

2. 認定校留学

「認定校留学」とは、外国における、「日本の大学に相当する」高等教育機関に該当する大学の正規の学部で、現在所属している学部の専門科目と同様の科目を履修登録し、単位を修得したうえで、帰国後に本学の学部教授会を通じて本学の単位として認定される留学です。

ただし、留学先の決定から申請、諸手続きにいたるまでをすべて自分自身でおこない、留学先の授業料・滞在費等についても、自己負担となります。

留学前に本学の国際センター事務室に認定校留学の申請書類を提出し、所定の手続きをおこない、学部教授会で認定校留学の承認を受ける必要があります。

3. 短期語学セミナー

本学では協定校で、夏と春の年に2回、約1か月の短期語学セミナーを実施しています。留学の入門的コースで、1か月間ホームステイまたは大学寮に滞在しながら、外国人との交流を通して生きた語学を集中的に学習します。

この語学セミナー修了者には、随意科目として「英語（海外演習）」、「フランス語（海外演習）」または「中国語（海外演習）」の単位が認定されます（GMS 学部除く）。詳細は、国際センター事務室発行「短期語学セミナー募集要項」を参照してください。

IV 学籍

1. 修業年限と在学年数

修業年限とは、大学の教育課程修了に必要な期間のことで、本学の修業年限は4年です。

在学年数とは、大学において学生の身分を有することができる期間のことで、本学の在学年数は休学期間を除き7年以下と定められています。

2. 休学

傷病その他の理由で、学年の前期または後期、もしくは1学年の3分の1以上の授業期間を修学することができないときは、理由を付し、保証人連署のうえ願い出て休学の許可を得なければなりません。

また、在学期間が4年（4年次に1年以上在学していること）を超えている者が半期科目で卒業必要単位を修得見込となる場合は、半期の履修による半期休学（前期休学もしくは後期休学）を願い出ることができます。

●休学期間

①休学期間は前期または後期、もしくは1学年を区分とし、休学許可日（休学願受付日）から以下の期日までとします。

- a. 前期休学・・・9月15日まで
- b. 後期休学・・・当該年度末（3月31日）まで
- c. 通年休学・・・当該年度末（3月31日）まで
- d. 半期履修（後期休学）・・・2月20日まで

②引き続き休学を要する特別の事情があるときは、許可を得てさらに1か年に限り休学することができます。

③休学期間は通算4年を超えることはできません。

④休学が許可された学期または学年は在学年数に算入されません。

⑤休学理由が休学許可日より以下の期限内に消滅したときは、保証人連署の休学取り下げ願により休学を取り消すことがあります。

- a. 前期休学・後期休学・・・1か月未満
- b. 通年休学・・・2か月未満

●休学の手続き

休学願（本学所定様式）に添えて次の書類を提出してください。

- a. 傷病・・・医師の診断書
- b. 海外研修・・・修学先・修学目的・在留期間を証明する書類および在留地届
- c. その他の理由・事前の窓口相談で指示された添付書類（理由書等）

●休学手続の締切日

- a. 前期休学・・・6月30日
- b. 後期休学・通年休学・・・11月30日

※締切日は、曜日により変動することがあります。事前に相談してください。

●休学する場合の学費

休学を願い出る者は在籍料として、下記の休学願提出日に応じて、当該年度学費を納入しなければなりません。

休学願提出日

- a. 4月1日～9月20日・・・前期学費納入時期に半期分学費を納入済みのこと

- b. 9月21日～11月30日・・・前期・後期分学費を納入済みのこと

●休学原級

休学者が復学した場合の年次は以下のとおりです。

- a. 通年休学（1学年を区分とした休学）・・・従前年次に留め置き（休学原級）
- b. 前期休学・後期休学・・・次年次に進級。ただし、進級規程第2条に該当する者はこの限りではありません。

3. 復学

- ①通年休学者（1学年を区分とした休学）および後期休学者が復学する場合は、当該年度前期分学費を納入のうえ、保証人連署の復学願を4月10日までに提出し許可を得なければなりません。
- ②前期休学を許可された者が復学する場合は、保証人連署の復学願を9月20日までに提出し許可を得なければなりません。また、卒業必要単位充足により後期休学を許可された者は、保証人連署の復学願を2月20日までに提出し許可を得なければなりません。
- ③傷病で休学した場合は、通学可能なことを証明する医師の診断書が必要です。

4. 退学

傷病その他やむを得ない事由で退学しようとする者は、所定の退学願を提出し許可を得なければなりません。

- ①退学願は、退学理由を付し保証人連署で願い出なければなりません。
- ②退学願提出時に学生証を返還しなければなりません。
- ③退学年月日は次のとおりとします。
 - 当該期学費納入者・・・退学願提出日
 - 当該期学費未納者・・・学費納入済学期の最終日

5. 除籍

次の事項に該当する者は、学則第36条に基づき除籍となります。

- ①在学年数を越えた者
- ②休学期間を超え復学願を提出しない者
- ③前期、後期の納入期限までに所定の学費を納入せず、督促を受けてもなお納入しない者
- ④外国人留学生で、出入国管理および難民認定法に定める在留資格を喪失した者

6. 懲戒

- ①本大学の学則等に違反し、その他学生の本分に反する行為があった場合、学則第57条に基づき懲戒します。
懲戒は、情状により譴責、停学、退学とします。
- ②退学処分は次の事項のいずれかに該当する者に対して行います。
 - a. 性行不良で、改善の見込みがないと認められる者
 - b. 学力劣等で成業の見込みがないと認められる者
 - c. 正当の理由がなくて出席常でない者
 - d. 本大学の秩序を乱し、その他学生としての本分に反した者

7. 編入学

- ①本大学卒業生（卒業見込者を含む）が編入学を希望するときは、選考のうえ、3年次への入学を許可することがあります。
- ②編入学希望者は、入学センター（大学会館246 Tel. 03-3418-9048）に相談してください。

8. 再入学

本大学を退学した者または除籍された者で、再入学を希望する者があるときは、選考のうえ、許可することがあります。ただし、従前在学していた学部・学科および専攻のみ可能で、学生募集を停止した学部・学科・専攻・コースには再入学できません。

- ①在学期間1年未満で退学した者または除籍された者は対象外とします。
- ②退学または除籍後3年以内の者とします。(出願時を基準とする)
- ③再入学者の在学年数は、従前在学した年数と通算し7年以内とします。
- ④再入学した場合、既修得単位がすべて認定されるとは限りません。
- ⑤再入学希望者は、事務手続きが必要ですので、入学センター(大学会館246 Tel. 03-3418-9109)に相談してください。

9. 転部・転科・転専攻・転コース

本学の学生で、同一学部の他学科、同一学科の他専攻または他コースもしくは他の学部学科に転部、転科または転専攻もしくは転コースを希望する者があるときは、選考のうえ、許可することがあります。許可されたものの在学年数は、所属変更した年次に関わらず入学時期から通算します。

これについては、説明会を6月に開催しますので、希望者は5月中旬に教務部掲示板またはKONECOで日程等の確認をしてください。

※ここで対象となるコースは法学部法律学科の「昼間主コース」、「夜間主コース」を指します。その他のコースについては教務部7~10番窓口で相談してください。

10. 学生氏名・保証人

- ①学生氏名は、住民票記載事項証明書または住民票に基づき、原則としてJIS規格の文字で表示します。規格にない文字はJIS準拠のものに改めることがあります。
- ②住民票に記載されている通称名の使用を希望する者は、願い出て許可を得てください。
- ③通称名使用の許可を得た者は、在学中一貫して通称名を使用することとし、学位記、証明書、成績表、各種名簿等すべて通称名で表示します。
- ④保証人は原則として、父、母とし、やむを得ない場合は独立の生計を営む親族または縁故者とします。
- ⑤保証人は、学生の在学中の一切の事項について責任を負うものとします。
- ⑥学生・保証人の氏名住所等に変更があった時は、速やかに所定の変更届を提出してください。

11. 学生・保証人住所変更

- ・学生住所の変更方法・・・KONECO(※)または、教務部11番窓口
- ・保証人住所の変更方法・・・教務部11番窓口

※KONECOでの住所変更申請は『保証人と別居(一人暮らし・下宿・入寮等)している学生のみ』が対象です。保証人住所の変更と一部の学生(留学生等)はKONECOで申請できません。教務部11番窓口で手続きを行ってください。

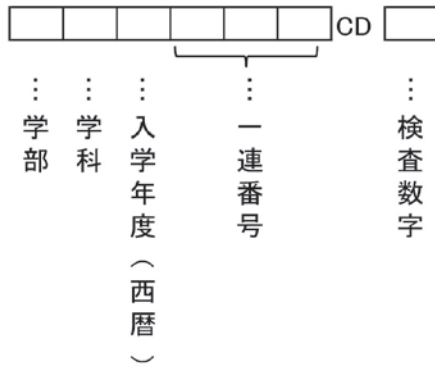
12. 学生番号

①学生番号は在学中はもとより、卒業後も不変の本人固有番号となるので正確に覚えておいてください。

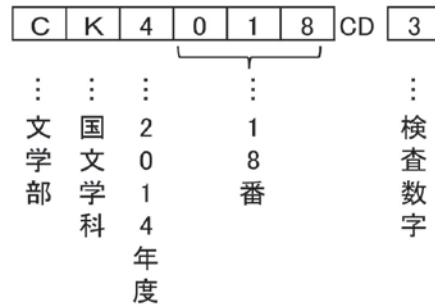
②学生番号は2種類の英字と4ケタの数字とCD1ケタの数字からなっており、その各位の英数字に次の意味を持たせてあります。

※CD（チェックデジット＝検査数字）とは、学生番号をカード読み取りや機械入力する際に番号の入力が正しいかをチェックするための数字です。

学生番号区分



(例)2014年度入学・文学部国文学科18番



学部	学科・科	専攻等	学部 コード	学科 コード	備考	
仏教			B	R	2014年度以降入学生	
	禅		B	K	2013年度以前入学者	
	仏教		B	B		
文	国文		C	K		
	英米文		C	B		
	地理	地域文化研究		N	R	
		地域環境研究		N	G	
	歴史	日本史学		C	G	
		外国史学		C	X	
		考古学		C	M	
	社会	社会学		S	K	
社会福祉学			S	B		
心理			N	B		
経済	経済		E	X		
	商		E	R		
	現代応用経済		E	G		
法	法律	フレックスA	L	K		
		フレックスB	L	B		
	政治		L	R		
経営	経営	フレックスA	M	K	2007年度以前入学者	
		フレックスB	M	B	2007年度以前入学者	
	経営		M	G		
	市場戦略		M	R		
医療健康科	診療放射線技術科		H	K		
グローバル・メディア・ スタディーズ	グローバル・メディア		G	K		

V 事務取扱いについて

1. 窓口受付時間

教務部の事務受付時間は以下のとおりです。

窓口	月～金	土		備考
	対応時間	対応時間	休止時間	
教務部	9:00～ 18:00	9:00～ 15:00	12:00～ 13:00	※履修登録期間等是对応時間を変更する場合があります。
夜間事務センター	16:00～ 21:30	16:00～ 20:00		※簡易的な業務のみ取り扱いのため、履修相談等は教務部窓口で行ってください。

2. 届書・願書の受付

	種類	要領（必要書類）	本人印	保証人印	取扱窓口
届書	改氏名届	・戸籍抄本添付 変更後速やかに届け出ること	要	不要	11番
	本籍地変更届 (都道府県名が変更された場合のみ提出)	・住民票記載事項証明書添付 変更後速やかに届け出ること	要	不要	
	保証人変更届	・在学誓書（保証書）添付 変更後速やかに届け出ること	要	要	
	住所変更届（学生・保証人）	変更後速やかに届け出ること	不要	不要	
	死亡届	・死亡を証明できる書類添付（写し可）		要	
願書	追試験受験願	・大学が認めるやむを得ない理由の証明書を添付し、締切日までに届け出ること	不要	不要	8番
	休学願	・傷病による場合は、医師の診断書添付 ・外国で修学する場合は、修学先・修学目的・在留期間を証明する書類および在留地届 ・その他の場合は、保証人連署の理由書等	要	要	11番
	復学願	・傷病により休学した場合は、通学可能なことを証明する医師の診断書添付 ・後期休学、通年休学の場合は、4月10日までに提出すること ・前期休学した場合は、9月20日までに提出すること ・卒業必要単位充足により後期休学した場合は、2月20日までに提出すること	要	要	
	退学願	・学生証添付	要	要	

※大学の定める諸届・願書の提出期限が、日曜・祝日の場合は、その翌日までとします。

3. 証明書発行

大学で発行する主な証明書は、下表のとおりです。

- ① 下表(1)に該当する証明書は、教務部前に設置した証明書自動発行機で発行します。各自が学生証を使用して、発行機を操作してください。直接、その場で証明書を受け取ることができます。証明書の種類によっては発行期間が限られていますので窓口で確認してください。
- ② 下表(2)に該当する証明書は、窓口発行になります。証明書によっては発行に時間がかかりますので、余裕をもって申し込んでください。
- ③ 発行機を利用できる時間は、日曜・祝日と大学が定める休日を除き、月～金曜日は午前9時～午後9時20分、土曜日は午前9時～午後7時20分までです（「窓口発行」と指定されている証明書は窓口取扱時間に注意してください）。ただし、夏季休業中など利用時間を短縮する時期がありますので、大学ホームページ等で窓口時間を確認してください。

証明書の種類等		取扱窓口	料金
(1)	在学証明書	証明書自動発行機	<ul style="list-style-type: none"> ● 在学生にかかわる証明書は1通200円（英文500円） ただし、以下の証明書は無料 ・ 学割証 ・ 推薦書（就職用） ・ 通学証明書 ● 卒業生にかかわる証明書は1通300円（英文600円）
	成績・卒業見込証明書（卒業年次生のみ）※1		
	成績証明書（在学生）		
	健康診断証明書（受診者のみ。5月中旬以降）		
	教員免許状取得見込証明書		
	学割証（年間10枚まで）		
(2)	卒業証明書	教務部11番窓口	
	成績証明書（卒業生）	教務部11番窓口	
	証明書（各種資格試験用）※2		
	英文による証明書	教務部2番窓口	
	資格講座単位修得（見込）証明書		
	学力に関する証明書		
	人物考査書（就職用に限る）	キャリアセンター	
推薦書（就職用に限る）※3	キャリアセンター		
通学証明書	学生部		

※1 「成績・卒業見込証明書」は、在学3年以上の4年次生に対し、その年次の履修単位数内で卒業に必要な単位数を満たすことができる場合に発行されます。

※2 「証明書（各種資格試験用）」は、会計士・税理士等の各種試験用です。

※3 「推薦書（就職用に限る）」は、求職登録者に限ります。また「調査書（進学用）」は、教務部に相談してください（各大学発行の所定の用紙持参のこと）。

その他、証明書に関することは、教務部11番窓口にご相談してください。

第2章

教育課程（開設科目）について

I 教育課程の編成

授業科目の区分と教育目標

授業科目は、次のように区分されます。

●卒業に必要な単位に含まれる科目	●卒業に必要な単位に含まれない科目
1. 全学共通科目	・ 随意科目
(1) 宗教教育科目	・ 教職課程・資格講座科目
(2) 教養教育科目	
(3) 外国語科目	
(4) 保健体育科目	
2. 専門教育科目	
3. 他学部履修科目	

各授業科目の区分には、次のような教育目標が設定されています。

授業科目の区分	教育目標
宗教教育科目	<p>本学は、仏教の教義並びに曹洞宗立宗の精神に則り、学校教育を行うことを目的として設置されており、この点が私学としての本学の特色です。宗教教育科目は、この設置の目的に基づき、全学生諸君が仏教や禅の教えについての理解を深め、宗教に対する正しい認識を身につけることを教育の目標とします。</p>
教養教育科目	<p>多角的な知識と深い教養を身につけることによって、公正な判断力を有する豊かな人間性を涵養することを教育の目標としています。</p>
外国語科目	<p>情報通信や交通手段の発達によって、世界がますます狭くなり、それに合わせて日本も国際社会の中に深く組み込まれている今日、外国の文化や社会について正確な知識を得、国際感覚を養い、諸外国の人々との交流を深めることは、大きな意義をもつはずで、そのためには、外国語の確かな運用能力を身につけることが不可欠です。</p> <p>学習者の希望・関心や進路に応じて、積極的に系統だった知識を深めるように心がけてください。</p>
保健体育科目	<p>本学の「保健体育科目」は、総合的人間性の形成を目指し以下の点に留意して開設されています。</p> <p>人間がひととして生きていくうえで、自己の身体について知り、理解を深めていくことは重要なことであり、健康の増進や、体力向上のための基本的な知識や習慣を、生涯を通じて知的・身体的財産として獲得することは、あらゆる人間活動を支える基盤であります。スポーツは、単に楽しみとしてではなく、健康や体力づくりの手段として、また、身体を認識する手段としても重要であると考えられます。</p> <p>本学の「保健体育科目」は、様々なスポーツ種目を展開し、その種目の特性に沿った活動や経験を通して、生涯を通じて健康の増進や体力の向上を図ると共に、スポーツを享受する能力を高め、ゆとりある人間社会の形成を実現する能力を学生自らが考え獲得することを目標としています。</p> <p>さらに、人間疎外条件の多い現代社会において、運動実践の過程で習得される公正、協調、克己、決断、集中などのスポーツの本質的要素であるパーソナリティーを共通の体験を通して得ることで、学生時代でなければ得られない人間関係を構築し、社会性を養い、人間愛豊かな人間を形成することを目指しています。</p>

専門教育科目	<p>【法律学科フレックスA・B共通】</p> <p>法律学科は、基礎的な教養たる法律学の知識を習得させ、その上に立つ均衡のとれた判断能力を具備し、かつ、これを社会全体の健全な発展のために活用できる人材の育成を目的とする。</p> <p>【政治学科】</p> <p>政治学科は、政治学のみならず隣接する科目を履修することにより、第1に感性と行動力を備えた実践的教養人の育成、第2に次代を担える知識と能力の涵養、第3に地域社会、国際社会で活躍できる人材の養成を目的とする。</p>
--------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

単位

1. 単位制度

大学での学修は単位制をとっています。単位制とは、授業科目を履修し、平素の学修状況・出席状況および所定の試験（レポート提出を含む）による成績評価の結果、合格することにより、授業科目ごとに定められている単位を修得していく制度です。そして、在学期間内に卒業に必要な単位をすべて修得すれば卒業することができます。

2. 授業科目の単位数

単位とは、授業科目の学修量を数字で表したものです。授業科目の単位数は1単位につき、45時間の学修を必要とする内容をもって構成することを標準としています。この時間には、教場で行われる授業時間以外に予習・復習等にあてる時間も含まれています。授業の実施方法に応じ、学修量等を考慮してそれぞれの授業科目によって単位数が決められています。

3. 単位の認定

授業科目ごとに定められた所定の単位を修得するためには、次の要件を満たさなければなりません。

- ・単位の認定を受けようとする授業科目について、履修登録をすること。
- ・履修科目の授業に出席し、必要な学修をすること。
- ・履修科目の試験（レポート提出を含む）等による成績評価を受け、合格すること。

4. 履修単位の区分（必修・選択必修・選択科目）

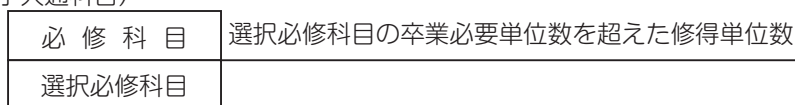
授業科目は、下表の条件に従ってグループ分けされています。

必修科目	卒業するために、必ず修得しなければならない科目
選択必修科目	卒業するために、指定された複数の授業科目群の中で、指定された科目数（単位数）を修得しなければならない科目
選択科目	自由に選択・履修でき、卒業に必要な単位に算入される科目

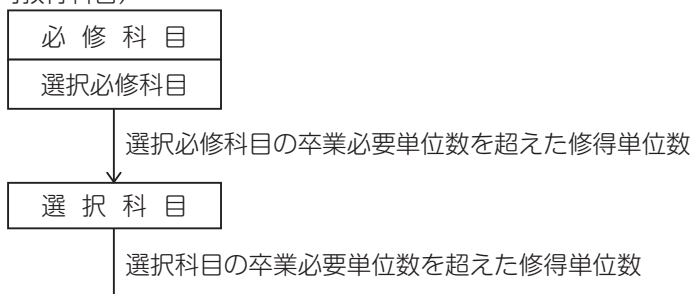
5. 卒業必要単位における修得単位算定の流れ

指定された卒業必要単位数を超えて修得した単位数は、下表のように流れます。

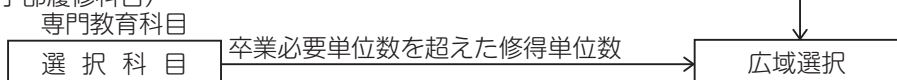
(全学共通科目)



(専門教育科目)



(他学部履修科目)



●広域選択の単位について

- ・全学共通科目の各授業科目の区分で指定されている卒業に必要な単位数を超えて修得した単位数は、広域選択の単位数となり、卒業に必要な単位数として認定されます。
- ・専門教育科目の選択必修科目に指定されている卒業必要単位数を超えて修得した単位数は、選択科目の単位数として算入されます。そして、選択科目に指定されている卒業必要単位数を超えて修得した単位数は、広域選択の単位数となり、卒業に必要な単位数として認定されます。
- ・他学部履修科目に指定されている科目を修得した単位数は、専門教育科目の選択科目として認定され、卒業に必要な専門選択の単位数として認定されます。

6. 卒業に必要な単位数

卒業に必要な単位数とは、それぞれの学部、学科を卒業し、学位を得るために必要な最低限の単位数です。

・法律学科フレックスA《平成21(2009)年度以降入学生適用》(必要最低単位数)

授業科目の区分		必修	選択必修	選択	広域選択	
全学共通科目	宗教教育科目	4			8	
	教養教育科目	人文分野		16		
		社会分野				
		自然分野				
		ライフデザイン分野				
外国語科目		10				
保健体育科目						
専門教育科目	14	8	68			
合計		128				

※ 保健体育科目の履修は、6単位を限度とします。

・法律学科フレックスA《平成16～20（2004～2008）年度入学生適用》

(必要最低単位数)

授業科目の区分		必修	選択必修	選択	広域選択	
全学共通科目	宗教教育科目	4			8	
	教養教育科目	人文分野		16		
		社会分野				
		自然分野				
		ライフデザイン分野				
	外国語科目		10			
保健体育科目						
専門教育科目		18	8	64		
合計		128				

※保健体育科目の履修は、6単位を限度とします。

・法律学科フレックスB《平成21(2009)年度以降入学生適用》(必要最低単位数)

授業科目の区分		必修	選択必修	選択	広域選択	
全学共通科目	宗教教育科目	4			6	
	教養教育科目	人文分野		16		
		社会分野				
		自然分野				
		ライフデザイン分野				
	外国語科目		8			
保健体育科目						
専門教育科目		14	8	68		
合計		124				

※保健体育科目の履修は、6単位を限度とします。

・法律学科フレックスB《平成20(2008)年度以前入学生適用》(必要最低単位数)

授業科目の区分		必修	選択必修	選択	広域選択	
全学共通科目	宗教教育科目	4			6	
	教養教育科目	人文分野		16		
		社会分野				
		自然分野				
		ライフデザイン分野				
	外国語科目		8			
保健体育科目						
専門教育科目		18	8	64		
合計		124				

※保健体育科目の履修は、6単位を限度とします。

・政治学科≪平成26（2014）年度以降入学生適用≫ (必要最低単位数)

授業科目の区分		必修	選択必修	選択	広域選択
全学共通科目	宗教教育科目	4			8
	教養教育科目	人文分野	16		
		社会分野			
		自然分野			
		ライフデザイン分野			
	外国語科目		10		
保健体育科目					
専門教育科目			40	52	
合計		130			

※保健体育科目の履修は、6単位を限度とします。

・政治学科≪平成25（2013）年度以前入学生適用≫ (必要最低単位数)

授業科目の区分		必修	選択必修	選択	広域選択
全学共通科目	宗教教育科目	4			8
	教養教育科目	人文分野	16		
		社会分野			
		自然分野			
		ライフデザイン分野			
	外国語科目		10		
保健体育科目					
専門教育科目		8	36	48	
合計		130			

※保健体育科目の履修は、6単位を限度とします。

7. 年間履修制限単位数

各年次において、修得できる単位数に上限が定められています。

・法律学科フレックスA≪平成18（2006）年度以降入学生≫

年次	1年次	2年次	3年次	4年次
履修制限単位数	50単位	48単位	48単位	48単位

・法律学科フレックスA≪平成17（2005）年度以前入学生≫

年次	1年次	2年次	3年次	4年次
履修制限単位数	60単位	56単位	56単位	68単位

・法律学科フレックスB

年次	1年次	2年次	3年次	4年次
履修制限単位数	50単位	48単位	48単位	48単位

・政治学科≪平成26（2014）年度以降入学生≫

年次	1年次	2年次	3年次	4年次
履修制限単位数	54単位	54単位	58単位	58単位

・政治学科≪平成25（2013）年度以前入学生≫

年次	1年次	2年次	3年次	4年次
履修制限単位数	50単位	48単位	48単位	48単位

●注意事項

- ・再履修する授業科目の単位数も、年間履修制限単位数に含まれます。
- ・他学部履修する授業科目の単位数も、年間履修制限単位数に含まれます。

- ・教職課程・資格講座科目および随意科目の単位は、年間履修制限単位数に含まれません。
- ・卒業必要単位数を充足していたとしても、各年次に1科目以上は履修登録しなければなりません。

8. 卒業および学位記の授与

大学に4年以上在学し、卒業に必要な単位を修得した者は卒業となります。卒業者には次の学位が与えられ、学位記が授与されます。

学部	学科	学位記名
法学部	法律学科フレックスA	学士（法律学）
	法律学科フレックスB	学士（法律学）
	政治学科	学士（政治学）

9. 9月卒業・卒業必要単位修得に伴う後期休学（半期履修）について

(1) 9月卒業

●対象者

9月15日現在で在学期間が4年（4年次に1年以上在学していること）を超えており、卒業に必要な単位を修得見込みで、9月卒業を希望する者。

●9月卒業申請

(3) の説明会に必ず出席し、所定の期間に「9月卒業申請書」を提出してください。また、9月卒業の希望を追加・取り消す場合は、前期科目定期試験期間内に必ず申し出てください。

申請がない場合は、9月卒業の対象となりませんので、注意してください。

●9月卒業申請期間

4月25日（金）～26日（土）、28日（月）

●9月卒業申請追加・取消期間

7月16日（水）～18日（金）、22日（火）～26日（土）、28日（月）【前期科目定期試験期間】

●相談窓口

教務部7～10番窓口

(2) 卒業必要単位修得に伴う後期休学（半期履修）

●対象者

9月15日現在で在学期間が4年（4年次に1年以上在学していること）を超えており、かつ前期に卒業必要単位数を充足した者で3月卒業を希望する者（9月卒業申請者は、後期休学を申請できません）。

●休学申請

(3) の説明会に必ず出席し、所定の期間に「後期休学」の手続きを行ってください。

●担当窓口

教務部11番窓口

(3) 9月卒業等説明会

平成26年4月4日（金）※時間・場所は教務部掲示板を参照のこと。

10. 早期卒業について

●対象者

- ①平成18（2006）年度以降入学生対象（転部・転科・編入学・学士入学・再入学者は対象外）
- ②本学に3年在学している者（休学期間除く）
- ③大学院進学（他大学含む）が確定している者
- ④3年次終了時に卒業必要単位数を修得している者
- ⑤2年次に卒業必要単位数84単位以上修得している者（既修得単位含む。随意科目、教職課程・資格講座科目は含まない）
- ⑥素点平均85点以上

●申請時期および合格者発表

<申請者2年次>

- ・2年次成績発表後「早期卒業希望申請者」を教務部へ提出
 - 【申請期間】平成27年2月下旬～3月上旬（詳細は教務部掲示板で確認のこと）
 - 【条件】上記⑤⑥を2年次終了時（申請時）に満たしていること
- ・早期卒業対象者（合格者）を教授会で選出
- ・合格者受験番号をHPへ掲載
 - 【掲載日】平成27年3月上旬（詳細は教務部掲示板で確認のこと）

<申請者3年次>

- ・3年次に大学院合格後、合格通知または合格を証明するものを提出
 - 【提出期間】平成27年3月上旬（詳細は教務部掲示板で確認のこと）

●申請取消時期等

- ・3年次成績発表後、「早期卒業取消申請書」を教務部へ提出
 - 【申請取消期間】平成27年2月下旬～3月上旬

●卒業時期

- ・年1回（3月）

●申請・取消窓口

- ・教務部8番窓口

11. 1年次履修科目の決定順序

下表は、卒業必要単位数と1年次に履修可能な授業科目を踏まえ、年間履修制限単位数一杯まで単位数を埋めて履修する場合の履修科目の決定順序案です。

・法律学科フレックスA

順序	科目区分	授業科目	科目数	単位数
1	宗教教育科目	仏教と人間（指定クラス）	1	4
2	外国語科目	（第1外国語）（指定クラス）	4	4
3	専門教育科目 （必修）	法学概論 憲法 民法総則 刑法総論 （指定クラス）	4	14
4	専門教育科目	新入生演習（指定クラス）	1	2
5	教養教育科目	ライフデザイン分野：新入生セミナー（指定クラス）	1	14
		人文分野 社会分野 自然分野 ライフデザイン分野		
6	専門教育科目	選択		10 以内
7	全学共通科目	選択 ※教職課程履修希望者は1年次に必ず「健康・スポーツ実習」を履修すること		
1年次履修制限単位数				50

・法律学科フレックスB

順序	科目区分	授業科目	科目数	単位数
1	宗教教育科目	仏教と人間（指定クラス）	1	4
2	外国語科目	（第1外国語）（指定クラス）	4	4
3	専門教育科目 （必修）	法学概論 憲法 民法総則 刑法総論 （指定クラス）	4	14
4	専門教育科目	新入生演習（指定クラス）	1	2
5	教養教育科目	ライフデザイン分野：新入生セミナー（指定クラス）	1	14
		人文分野 社会分野 自然分野 ライフデザイン分野		
6	専門教育科目	選択		10 以内
7	全学共通科目	選択 ※教職課程履修希望者は1年次に必ず「健康・スポーツ実習」を履修すること		
1年次履修制限単位数				50

・政治学科

順序	科目区分	授業科目	科目数	単位数
1	宗教教育科目	仏教と人間（指定クラス）	1	4
2	外国語科目	（第1外国語）（指定クラス）	4	4
3	専門教育科目 （選択必修）	政治学基礎 憲法	2	8
4	専門教育科目 （選択必修）	※以下の科目から、8単位以上修得すること 現代政治分析入門1、現代政治分析入門2 日本政治入門、現代政治理論入門、 行政学・公共政策入門、国際社会入門、国際関係入門		14
5	教養教育科目	ライフデザイン分野：新入生セミナー（指定クラス）	1	2
		人文分野 社会分野 自然分野 ライフデザイン分野		14
6	全学共通科目	選択 ※教職課程履修希望者は1年次に必ず「健康・スポーツ実習」を履修すること		8 以内
1年次履修制限単位数				54

Ⅱ 開設科目

法律学科フレックスA

開設科目一覧の見方

※開設科目一覧のサンプル

対象入学年度：法律学科フレックスA 平成21（2009）年度以降入学生

必・選	卒業必要		分野	科目名	単位	開講期	昼夜制限	配当年次				抽選	履修不可科目	本年度休講	注意事項
	科目数	単位数						1	2	3	4				
選択必修	16	単位	人文分野	科目A	4	通年		1	2	3	4	◎予		休	
				科目B	4	通年		1	2	3	4	◎先	有		
				科目C	2	半期	B	1	2	3	4	◎抽	有		

対象入学年度	開設科目一覧がどの学科・入学年度を対象としているかを表します。
必・選	履修単位の区分（必修・選択必修・選択科目）を表します。
卒業必要	卒業に必要な「科目数」と「単位数」を表します。科目数の指定がない場合は、卒業必要単位数に指定された単位数を修得してください。
分野	教養教育科目における4分野（人文分野・社会分野・自然分野・ライフデザイン分野）のどの分野に該当しているかを表します。
科目名	授業科目名を表します。
単位	授業科目に定められた単位数を表します。
開講期	授業科目に定められた開講期を表します。 「半期」：前期または後期に始まり、半年間行われる授業 「通年」：前期から始まる1年間通して行われる授業 「集中」：夏季休業期間に約1週間かけて行われる授業 「シーズン」：夏季または冬季休業期間に短期で行われる合宿等を伴う授業
昼夜制限	法律学科フレックスA・Bの教養教育科目と専門教育科目に表示があります。 ・法律学科フレックスA学生の開設科目一覧に表示される「B」は、フレックスB時間帯（月～金6・7時限、土曜3～7時限）でも履修可能（卒業までの履修制限単位数は教養教育科目12単位、専門教育科目は40単位）である科目です。
配当年次	授業科目の履修できる年次を表します。 ・下級年次に配当されている科目は、上級年次に履修可能です。 ・ただし、配当年次以外に斜線が付けられている場合は、指定された年次以外では履修できません。
抽選	抽選を伴う履修方法の種類について表します。以下の略称で表記しています。 「◎抽」：抽選科目 「◎先」：受講先行予約科目 「◎予」：受講予約科目
履修不可科目	「履修不可対象科目一覧」の記載有無を表します。 履修不可対象科目一覧は、対象の入学年次の開設科目一覧の最後に掲載されています。
本年度休講	本年度の授業科目の休講有無を表します。休講の場合は「休」と表記しています。 ただし、「昼夜制限」欄に「B」の付いた科目はフレックスB時間帯では開講している場合がありますので、法律学科フレックスBの開設科目一覧の「本年度休講」欄を確認してください。

注意事項	<p>履修時に必要な注意事項を表します。</p> <p>「学生番号指定」：履修するクラスが学生番号で指定されている科目です。学生番号指定については、『授業時間表』で確認できます。</p> <p>「受講制限」：主に担当教員が自ら履修者数を制限している授業科目です。</p> <p>「再クラス」：再履修になった場合、再クラスでの履修となります。詳しくは、第1章 I 「再履修」の頁を参照してください。</p> <p>「玉川キャンパス」：玉川キャンパスで授業が行われる授業科目です。</p> <p>「種目・定員」：保健体育科目について、開講されている種目と定員数です。</p>
------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

教養特別履修について

全学共通科目の外国語科目において、所定の授業科目および単位数を満たすことにより、その科目区分において一定の学修成果を満たしたことを「修了証」の発行によって証明します。幅広く開講されている全学共通科目の中で、体系性を伴った履修を行うことにより、学生の皆さんの若々しい知的関心を啓発し、深化させ、涵養する一助とすることを目的としています。

修了証を発行するためには、所定の期間内に教養特別履修の登録を済ませておく必要があります。

●教養特別履修コース修了証修得までの流れ

履修科目登録

コース毎の取得条件を確認し、希望するコースに必要な科目の登録をしてください。

既修得科目も含みコース認定科目として取り扱います。必要な科目は計画的に修得してください。

履修訂正期間終了後の科目追加登録はできませんので、希望するコースに必要な科目が不足しないよう注意してください。

コース登録

下記の登録期間に、KONECOの「教養特別履修登録」画面より、希望コースを登録してください。

学部・学科により選択できる開講コースが異なります。

希望コースに必要な科目の履修・修得状況の確認期間は、登録期間終了後になります。

詳細な日程はKONECOにてお知らせします。

成績発表

前期は8月末・後期は2月中旬にKONECOにより成績発表が行われますので、科目修得状況を確認してください。

コース修了証の発行

登録済みのコースにおける必要科目を取得した場合、下記の期間においてコースの修了証を教務部ロビーの証明書自動発行機より発行します。

●教養特別履修の登録期間

前期 4月29日（火）～7月19日（土）

後期 9月29日（月）～1月10日（土）

●教養特別履修のコース修了証の発行

前期 9月16日（火）～

後期 3月13日（金）～

（注意）卒業年次生は卒業式当日までの発行となります。

3月末～4月2日までは、証明書自動発行機の停止期間となりますので、注意してください。

・教養特別履修コースの種類

コース名	目標	備考
「教養特別履修（自然科学）」	高校では学ぶ機会が少ない自然科学分野の科目を体系的に履修し、オールラウンドな自然科学の基礎知識を身につける。	※「教養特別履修該当科目一覧」は、教養教育科目の最後に掲載しています。
「教養特別履修（英語）」	体系的に外国語科目を学ぶことを目標とする。	※「教養特別履修該当科目一覧」は、外国語科目の最後に掲載しています。
「教養特別履修（ドイツ語）」		
「教養特別履修（フランス語）」		
「教養特別履修（中国語）」		
「教養特別履修（スペイン語）」		
「教養特別履修（ロシア語）」		

全学共通科目

宗教教育科目

1. 履修上の注意

- ①宗教教育科目は、全学共通科目として設置され、必修科目と選択科目に分かれており、定められた単位を修得しなければなりません。
- ②同一名称の科目でも、曜日、時限、担当教員によって内容が異なる場合があります。詳細は『シラバス』を参照してください。
- ③選択科目として修得した単位数は、宗教教育科目として認定され、卒業に必要な広域選択の単位数に算入されます。

2. 開設科目一覧

法律学科フレックス A

必・選	卒業必要		科目名	単位	開講期	配当年次				抽選	履修不可科目	本年度休講	注意事項
	科目数	単位数											
必修	1科目	4単位	仏教と人間	4	通年	1							《学生番号指定》 《再クラス》 《玉川キャンパス》
選択			坐禅	2	半期	1	2	3	4	◎先			

教養教育科目

1. 履修上の注意

- ①教養教育科目は、全学共通科目として設置され、選択必修科目として定められた単位を修得しなければなりません。
- ②教養教育科目は、人文分野、社会分野、自然分野およびライフデザイン分野に分かれています。平成25（2013）年度以前は、人文分野、社会分野、自然分野および総合分野に分かれていました。平成25年度までに修得した単位数は、修得時の分野で認定されています。但し総合分野の単位数は、ライフデザイン分野の単位として認定されます。
- ③同一名称の科目でも、曜日、時限、担当教員によって、内容が異なる場合があります。詳細は、『シラバス』を参照してください。
- ④「卒業に必要な単位数」の指定を超えて修得した単位数は、教養教育科目の各分野の科目として認定され、卒業に必要な広域選択の単位数に算入されます。
- ⑤フレックスB時間帯（月～金曜日6・7時限、土曜日3～7時限）に開講されている教養教育科目を卒業までに12単位まで修得できます。

2. 開設科目一覧

法律学科フレックス A

必・選	卒業必要		分野	科目名	単位	開講期	昼夜制限	配当年次				抽選	履修不可科目	本年度休講	注意事項
	科目数	単位数						1	2	3	4				
選択必修	↑	16単位	人文分野	宗教学	4	通年	B	1	2	3	4	◎予	有		平成25（2013）年度以前に入学し、平成25（2013）年度までに「宗教学」を未修得の学生は、「宗教学」・「世界の宗教」・「現代社会と宗教A」・「現代社会と宗教B」のうち1科目しか履修できません。
				世界の宗教	4	通年		1	2	3	4	◎予	有		平成25（2013）年度以前に入学し、平成25（2013）年度までに「宗教学」を未修得の学生は、「宗教学」・「世界の宗教」・「現代社会と宗教A」・「現代社会と宗教B」のうち1科目しか履修できません。
				人間観 A	2	半期		1	2	3	4	◎予	有		
				人間観 B	2	半期		1	2	3	4	◎予	有		
				価値観	4	通年		1	2	3	4	◎予	有		
				制度とモラル	4	通年		1	2	3	4	◎予	有		
				現代と倫理	4	通年	B	1	2	3	4	◎予	有		
				東洋倫理	4	通年		1	2	3	4	◎予	有		
				科学と技術	4	通年		1	2	3	4	◎予	有		
				近代科学の成立と展開	4	通年		1	2	3	4	◎予	有		
				科学方法論と現代論理	4	通年	B	1	2	3	4	◎予	有		
				知の技法	4	通年		1	2	3	4	◎予	有		
				西洋思想の源流	4	通年		1	2	3	4	◎予	有		
				近代の人間観と世界観	4	通年	B	1	2	3	4	◎予	有		
				日本美術	4	通年		1	2	3	4	◎予	有		
				西洋芸術	4	通年		1	2	3	4	◎予	有		
				音楽	4	通年		1	2	3	4	◎予	有		
				歴史学	4	通年	B	1	2	3	4	◎予			

法律学科フレックス A

必・選	卒業必要		分野	科目名	単位	開講期	昼夜制限	配当年次				抽選	履修不可科目	本年度休講	注意事項
	科目数	単位数						1	2	3	4				
選択必修	16 単位	人文分野	文学	4	通年	B	1	2	3	4	○予				
			実務表現Ⅰ（話すこと）	2	半期		1	2	3	4	○予	有			
			実務表現Ⅱ（書くこと）	2	半期		1	2	3	4	○予	有			
			人文地理学	4	通年		1	2	3	4	○予				
			教育心理	4	通年		1	2	3	4	○予				
			英語圏文化研究 a	2	半期		1	2	3	4	○予				
			英語圏文化研究 b	2	半期		1	2	3	4	○予				
		経済学	4	通年	B	1	2	3	4	○予	有		・「経済学 A・B」の両方もしくはどちらかの単位を修得済の場合、「経済学」を履修することはできません。また「経済学 A・B」と「経済学」を同時に履修することはできません。		
		経済学 A	2	半期		1	2	3	4	○予	有		・「経済学」の単位を修得済の場合「経済学 A・B」を履修することはできません。また「経済学 A・B」と「経済学」を同時に履修することはできません。		
		経済学 B	2	半期		1	2	3	4	○予	有				
		政治学	4	通年	B	1	2	3	4	○予					
		民族と文化 A	2	半期		1	2	3	4	○予	有				
		民族と文化 B	2	半期		1	2	3	4	○予	有				
		日本の文化と社会	4	通年		1	2	3	4	○予	有				
	アジアの社会と文化	4	通年		1	2	3	4	○予	有					
	文化人類学概論	4	通年	B	1	2	3	4	○予	有					
	統計学	4	通年	B	1	2	3	4	○予	有		・「統計学 A・B」の両方もしくはどちらかの単位を修得済の場合、「統計学」を履修することはできません。また「統計学 A・B」と「統計学」を同時に履修することはできません。			
	統計学 A	2	半期		1	2	3	4	○予	有		・「統計学」の単位を修得済の場合「統計学 A・B」を履修することはできません。また「統計学 A・B」と「統計学」を同時に履修することはできません。			
	統計学 B	2	半期		1	2	3	4	○予	有					
	社会学	4	通年		1	2	3	4	○予	有		・「社会学 A・B」の両方もしくはどちらかの単位を修得済の場合、「社会学」を履修することはできません。また「社会学 A・B」と「社会学」を同時に履修することはできません。			
	社会学 A	2	半期	B	1	2	3	4	○予	有		・「社会学」の単位を修得済の場合「社会学 A・B」を履修することはできません。また「社会学 A・B」と「社会学」を同時に履修することはできません。			
	社会学 B	2	半期	B	1	2	3	4	○予	有					
	教育学	4	通年		1	2	3	4	○予						
	社会科学論 A	2	半期	B	1	2	3	4	○予	有					
	社会科学論 B	2	半期	B	1	2	3	4	○予	有					
	現代社会と宗教 A	2	半期		1	2	3	4	○予	有		平成25（2013）年度以前に入学し、平成25（2013）年度までに「宗教学」を未修得の学生は、「宗教学」・「世界の宗教」・「現代社会と宗教 A」・「現代社会と宗教 B」のうち1科目しか履修できません。			

法律学科フレックス A

必・選	卒業必要		分野	科目名	単位	開講期	昼夜制限	配当年次				抽選	履修不可科目	本年度休講	注意事項		
	科目数	単位数						1	2	3	4						
選択必修	16単位	自然分野	社会分野	現代社会と宗教 B	2	半期		1	2	3	4	○予	有	平成25 (2013) 年度以前に入学し、平成25 (2013) 年度までに「宗教学」を未修得の学生は、「宗教学」・「世界の宗教」・「現代社会と宗教 A」・「現代社会と宗教 B」のうち1科目しか履修できません。			
			応用倫理学	4	通年		1	2	3	4	○予	有					
			現代文明と哲学	4	通年		1	2	3	4	○予	有					
			都市論	4	通年		1	2	3	4	○予	有					
			心理学	4	通年 集中	B	1	2	3	4	○予	有	・「心理学 I・II」の両方もしくはどちらかの単位を修得済の場合、「心理学」を履修することはできません。また「心理学 I・II」と「心理学」を同時に履修することはできません。 ・通年と集中で開講される講座があります。 ・集中の講座については「シラバス」掲載日程を確認の上、履修登録してください。『授業時間表』では「集中」と表示されます。				
			心理学 I	2	半期		1	2	3	4	○予	有	・「心理学」の単位を修得済の場合「心理学 I・II」を履修することはできません。また「心理学 I・II」と「心理学」を同時に履修することはできません。				
			心理学 II	2	半期		1	2	3	4	○予	有					
			人類学 I	2	半期		1	2	3	4	○予	有					
			人類学 II	2	半期		1	2	3	4	○予	有					
			宇宙科学 I	2	半期		1	2	3	4	○予	有					
			宇宙科学 II	2	半期		1	2	3	4	○予	有					
			化学 I	2	半期		1	2	3	4	○予	有					
			化学 II	2	半期		1	2	3	4	○予	有					
			物理学 I	2	半期		1	2	3	4	○予	有					
			物理学 II	2	半期		1	2	3	4	○予	有					
			数学 I	2	半期		1	2	3	4	○予	有					
			数学 II	2	半期		1	2	3	4	○予	有					
			数学 III	2	半期		1	2	3	4	○予	有					
			数学 IV	2	半期		1	2	3	4	○予	有					
			自然誌 I	2	半期		1	2	3	4	○予	有					
			自然誌 II	2	半期		1	2	3	4	○予	有					
			自然環境論	2	半期	B	1	2	3	4	○予	有					
			地球科学 I	2	半期	B	1	2	3	4	○予	有					
			地球科学 II	2	半期	B	1	2	3	4	○予	有					
			生物学 I	2	半期	B	1	2	3	4	○予	有					
			生物学 II	2	半期	B	1	2	3	4	○予	有					
			自然観察実習	2	半期		1	2	3	4	○予						
			ライフデザイン分野				コンピュータ基礎	2	半期 集中	B	1	2	3	4	○先		・半期と集中で開講される講座があります。 ・集中の講座については、「シラバス」掲載の日程を確認し、履修してください。『授業時間表』では「集中」と表示されません。

法律学科フレックス A

必・選	卒業必要		分野	科目名	単位	開講期	昼夜制限	配当年次				抽選	履修不可科目	本年度休講	注意事項	
	科目数	単位数						1	2	3	4					
選択必修	16 単位	↓	ライ フ デ ザ イ ン 分 野	コンピュータ応用Ⅰ	2	半期		1	2	3	4	○予	有		・履修に当たり、「コンピュータ基礎」の単位を修得済であることが望ましい。	
				コンピュータ応用Ⅱ	2	半期		1	2	3	4	○予	有			
				新入生セミナー	2	半期		1								《学生番号指定》
				キャリアを考えるⅠ	2	半期			2				○予			・「Ⅱ」と同時履修すること。
				キャリアを考えるⅡ	2	半期			2				○予			・「Ⅱ」は「Ⅰ」と同時に履修すること。または、2年次で「Ⅰ」の単位を修得済であること。
				ITリテラシーA	2	半期		1	2	3	4	○予				
				ITリテラシーB	2	半期		1	2	3	4	○予				
				ITリテラシーC	2	半期		1	2	3	4	○予				
				ITリテラシーD	2	半期		1	2	3	4	○予				
				メディアと文化入門	2	半期		1	2	3	4	○予				
				メディアと文化発展	2	半期		1	2	3	4	○予				
				コミュニケーション文化入門	2	半期		1	2	3	4	○予				
				コミュニケーション文化発展	2	半期		1	2	3	4	○予				
				ライフデザイン入門	2	半期		1	2			○予				
駒澤大学の歴史	2	半期		1	2	3	4	○予								

3. 履修不可対象科目

下表の旧科目名で単位を修得済みの場合、現行科目名を履修することはできません。

現行科目名	旧科目名	修得年度	現行科目名	旧科目名	修得年度
世界の宗教	宗教学	平成25 (2013)年度以前	統計学A	統計学	平成25 (2013)年度以前
現代社会と宗教 A			統計学B		
現代社会と宗教 B			社会学 A	社会学	
人間観 A	倫理学	社会学 B			
人間観 B		社会科学論 A	社会科学論		
価値観		社会科学論 B			
制度とモラル		都市論	総合Ⅶ		
現代と倫理		心理学 I	心理学		
東洋倫理		心理学 II			
応用倫理学		人類学 I	人類学		
科学と技術		人類学 II			
近代科学の成立と展開		科学史	宇宙科学 I	宇宙科学	
科学方法論と現代論理	論理学	宇宙科学 II			
知の技法		化学 I	化学		
西洋思想の源流		化学 II			
近代の人間観と世界観	哲学	物理学 I	物理学		
現代文明と哲学		物理学 II			
日本美術		芸術学	数学 I	数学	
西洋芸術	実務表現	数学 II			
音楽		数学 III			
実務表現 I (話すこと)		数学 IV	情報数学		
実務表現 II (書くこと)	経済学	自然誌 I	自然誌		
経済学 A	経済学	自然誌 II			
経済学 B		自然環境論 (2単位)	自然環境論 (4単位)		
民族と文化 A	文化人類学	地球科学 I	地球科学		
民族と文化 B		地球科学 II			
日本の文化と社会		生物学 I	生物学		
アジアの社会と文化		生物学 II			
文化人類学概論		コンピュータ応用 I (ライフデザイン分野・2単位)	コンピュータ応用 (自然分野・4単位)		
		コンピュータ応用 II (ライフデザイン分野・2単位)			

4. 廃講科目

下表の科目は、廃講年度以降は開講されません。ただし、廃講となった科目の単位を廃講年度以前に修得済みの場合、卒業に必要な単位数として算入され、成績表に記載されます。

廃講科目名	廃講年度	廃講科目名	廃講年度
哲学	平成26（2014）年度以降	コンピュータ応用	平成26（2014）年度以降
倫理学		自然誌	
論理学		自然環境論（4単位）	
科学史		情報数学	
芸術学		総合Ⅰ	
実務表現		総合Ⅱ	
社会科学論		総合Ⅲ	
文化人類学		総合Ⅳ	
数学		総合Ⅴ	
物理学		総合Ⅵ	
化学		総合Ⅶ	
生物学		総合Ⅷ	
人類学		教育の思想	平成20（2008）年度以降
地球科学		教育と社会	
宇宙科学		発達と学習の心理学	
		カリキュラムと学習	
		法学・憲法	平成19（2007）年度以降

5. 教養特別履修該当科目一覧

「教養特別履修（自然科学）」

領域	配置科目	単位	必要単位数
古典的科目	人類学Ⅰ	2	6
	人類学Ⅱ	2	
	宇宙科学Ⅰ	2	
	宇宙科学Ⅱ	2	
	化学Ⅰ	2	
	化学Ⅱ	2	
	物理学Ⅰ	2	
	物理学Ⅱ	2	
	数学Ⅰ	2	
	数学Ⅱ	2	
	数学Ⅲ	2	
	数学Ⅳ	2	
	地球科学Ⅰ	2	
	地球科学Ⅱ	2	
自然誌	自然誌Ⅰ	2	2
	自然誌Ⅱ	2	
自然環境論	自然環境論	2	2
自然観察実習	自然観察実習	2	2
合計必要単位			12

外国語科目

1. 履修上の注意

- ①外国語科目は、全学共通科目として設置され、選択必修科目と選択科目に分かれています。選択必修科目としての外国語と選択科目としての外国語は、1年次から両方を履修することもできます。いわゆる第2外国語は、選択科目として履修することができます。
- ②同一名称の科目でも、開講期、曜日、時限、担当教員によって、内容が異なる場合があります。詳細は、『シラバス』を参照してください。
- ③選択科目として修得した単位数は、外国語科目として認定され、卒業に必要な広域選択の単位数として算入されます。
- ④習熟度別クラス編成について
2014（平成26）年度入学生より、英語を選択必修科目として履修する入学者は、全員「英語科目クラス分けテスト」を受験し、そのテストの成績により履修レベルを初級・中級・上級のいずれかに決定しています。（原則的に履修レベルは2年次においても継続されます。）
ただし、英語Ⅱ Da・Ⅱ Dbはレベル分けの対象外です。
なお、初級と上級の授業は、駒沢キャンパスで行います。玉川キャンパスで開講されている「英語Ⅰ Ba・Ⅰ Bb」は、中級のみ受講できます。
- ⑤英語選択科目について
英語選択科目は3つのレベルで開講されます。履修する前にクラス分けテストは行いませんが、次のウェブページの説明を読み、自分の英語力にふさわしいレベルの科目を受講してください。
外国語科目について：http://www.komazawa-u.ac.jp/cms/gaikokugo_risyu

2. 開設科目一覧

法律学科フレックス A

必・選	卒業必要		科目名	単位	開講期	配当年次	抽選	履修不可科目	本年度休講	注意事項
	科目数	単位数								
入学手続時に指定した外国語の ⅠAa・ⅠAb・ⅠBa・ⅠBb 選択必修	4	4	英語ⅠA a	1	半期	1			有	《学生番号指定》 《再クラス》
			英語ⅠA b	1	半期	1			有	
			英語ⅠB a	1	半期	1			有	《学生番号指定》 《玉川キャンパス》 《再クラス》
			英語ⅠB b	1	半期	1			有	
			ドイツ語ⅠA a	1	半期	1			有	《学生番号指定》 《再クラス》
			ドイツ語ⅠA b	1	半期	1			有	
			ドイツ語ⅠB a	1	半期	1			有	
			ドイツ語ⅠB b	1	半期	1			有	
			フランス語ⅠA a	1	半期	1			有	
			フランス語ⅠA b	1	半期	1			有	
			フランス語ⅠB a	1	半期	1			有	
			フランス語ⅠB b	1	半期	1			有	
			中国語ⅠA a	1	半期	1			有	
			中国語ⅠA b	1	半期	1			有	
			中国語ⅠB a	1	半期	1			有	
			中国語ⅠB b	1	半期	1			有	
			スペイン語ⅠA a	1	半期	1			有	
			スペイン語ⅠA b	1	半期	1			有	
スペイン語ⅠB a	1	半期	1			有				
スペイン語ⅠB b	1	半期	1			有				

法律学科フレックス A

必・選	卒業必要		科目名	単位	開講期	配当年次				抽選	履修不可科目	本年度休講	注意事項
	科目数	単位数				1	2	3	4				
↓	6科目	6単位	ロシア語ⅠA a	1	半期	1					有		《学生番号指定》 《再クラス》
			ロシア語ⅠA b	1	半期	1					有		
			ロシア語ⅠB a	1	半期	1					有		
			ロシア語ⅠB b	1	半期	1					有		
↑	6科目	6単位	英語ⅡA a	1	半期		2				有		《学生番号指定》 《再クラス》
			英語ⅡA b	1	半期		2				有		
			英語ⅡB a	1	半期		2				有		
			英語ⅡB b	1	半期		2				有		
			英語ⅡD a	1	半期		2				有		《学生番号指定》
			英語ⅡD b	1	半期		2				有		
			ドイツ語ⅡA a	1	半期		2			◎抽	有		《再クラス》
			ドイツ語ⅡA b	1	半期		2			◎抽	有		
			ドイツ語ⅡB a	1	半期		2			◎抽	有		
			ドイツ語ⅡB b	1	半期		2			◎抽	有		
			ドイツ語ⅡD a	1	半期		2				有		《学生番号指定》
			ドイツ語ⅡD b	1	半期		2				有		
			フランス語ⅡA a	1	半期		2			◎抽	有		《再クラス》
			フランス語ⅡA b	1	半期		2			◎抽	有		
			フランス語ⅡB a	1	半期		2			◎抽	有		
			フランス語ⅡB b	1	半期		2			◎抽	有		
			フランス語ⅡD a	1	半期		2				有		《学生番号指定》
			フランス語ⅡD b	1	半期		2				有		
			中国語ⅡA a	1	半期		2			◎抽	有		《再クラス》
			中国語ⅡA b	1	半期		2			◎抽	有		
			中国語ⅡB a	1	半期		2			◎抽	有		
			中国語ⅡB b	1	半期		2			◎抽	有		
			中国語ⅡD a	1	半期		2				有		《学生番号指定》
			中国語ⅡD b	1	半期		2				有		
			スペイン語ⅡA a	1	半期		2			◎抽	有		《再クラス》
			スペイン語ⅡA b	1	半期		2			◎抽	有		
			スペイン語ⅡB a	1	半期		2			◎抽	有		
			スペイン語ⅡB b	1	半期		2			◎抽	有		
			スペイン語ⅡD a	1	半期		2				有		《学生番号指定》
			スペイン語ⅡD b	1	半期		2				有		
			ロシア語ⅡA a	1	半期		2				有		《再クラス》
			ロシア語ⅡA b	1	半期		2				有		
ロシア語ⅡB a	1	半期		2				有					
ロシア語ⅡB b	1	半期		2				有					
ロシア語ⅡD a	1	半期		2				有		《学生番号指定》			
ロシア語ⅡD b	1	半期		2				有					
選択			実用英会話（日常生活編）	1	半期	1	2	3	4	◎予			
			実用英会話（旅行編）	1	半期	1	2	3	4	◎予			
			実用英語資格試験Ⅰa（聴解）	1	半期	1	2	3	4	◎予			
			実用英語資格試験Ⅰb（文法・読解）	1	半期	1	2	3	4	◎予			
			ビジネス英語Ⅰ	1	半期	1	2	3	4	◎予			
			英語プレゼンテーションⅠa	1	半期	1	2	3	4	◎予			
			英語プレゼンテーションⅠb	1	半期	1	2	3	4	◎予			
			実用英語資格試験Ⅱa（聴解）	1	半期	1	2	3	4	◎予			

法律学科フレックス A

必 選	卒業必要		科目名	単位	開講期	配当年次				抽選	履修 不可 科目	本年 度休 講	注意事項
	科目 数	単位 数				1	2	3	4				
選 択			実用英語資格試験Ⅱ b (文法・読解)	1	半期	1	2	3	4	○予			
			ビジネス英語Ⅱ	1	半期	1	2	3	4	○予			
			英語プレゼンテーションⅡ a	1	半期	1	2	3	4	○予			
			英語プレゼンテーションⅡ b	1	半期	1	2	3	4	○予			
			英語ディスカッションⅠ a	1	半期	1	2	3	4	○予			
			英語ディスカッションⅠ b	1	半期	1	2	3	4	○予			
			学術英語資格試験Ⅰ a (読解)	1	半期	1	2	3	4	○予			
			学術英語資格試験Ⅰ b (聴解・会話)	1	半期	1	2	3	4	○予			
			英語アカデミック・ライティングⅠ a	1	半期	1	2	3	4	○予			
			英語アカデミック・ライティングⅠ b	1	半期	1	2	3	4	○予			
			実用英語資格試験Ⅲ a (聴解)	1	半期	1	2	3	4	○予			
			実用英語資格試験Ⅲ b (文法・読解)	1	半期	1	2	3	4	○予			
			総合英語資格試験 a (読解)	1	半期	1	2	3	4	○予			
			総合英語資格試験 b (聴解・二次)	1	半期	1	2	3	4	○予			
			英語ディスカッションⅡ a	1	半期	1	2	3	4	○予			
			英語ディスカッションⅡ b	1	半期	1	2	3	4	○予			
			学術英語資格試験Ⅱ a (読解)	1	半期	1	2	3	4	○予			
			学術英語資格試験Ⅱ b (聴解・会話)	1	半期	1	2	3	4	○予			
			英語アカデミック・ライティングⅡ	1	半期	1	2	3	4	○予			
			英語多読・多聴 a	1	半期	1	2	3	4	○予			
			英語多読・多聴 b	1	半期	1	2	3	4	○予			
			英語クリエイティブ・ライティング	1	半期	1	2	3	4	○予			
			パフォーマンス・イン・イングリッシュ	1	半期	1	2	3	4	○予			
			英語で学ぶ教養 (言語Ⅰ)	2	半期	1	2	3	4	○予			
			英語で学ぶ教養 (言語Ⅱ)	2	半期	1	2	3	4	○予			
			英語で学ぶ教養 (言語Ⅲ)	2	半期	1	2	3	4	○予			
			英語で学ぶ教養 (言語Ⅳ)	2	半期	1	2	3	4	○予			
			英語で学ぶ教養 (言語Ⅴ)	2	半期	1	2	3	4	○予			
			英語で学ぶ教養 (言語Ⅵ)	2	半期	1	2	3	4	○予			
			英語で学ぶ教養 (言語Ⅶ)	2	半期	1	2	3	4	○予			
			英語で学ぶ教養 (言語Ⅷ)	2	半期	1	2	3	4	○予			
			英語で学ぶ教養 (文化Ⅰ)	2	半期	1	2	3	4	○予			
			英語で学ぶ教養 (文化Ⅱ)	2	半期	1	2	3	4	○予			
			英語で学ぶ教養 (文化Ⅲ)	2	半期	1	2	3	4	○予			
			英語で学ぶ教養 (文化Ⅳ)	2	半期	1	2	3	4	○予			
			英語で学ぶ教養 (文化Ⅴ)	2	半期	1	2	3	4	○予			
			英語で学ぶ教養 (文化Ⅵ)	2	半期	1	2	3	4	○予			
			英語で学ぶ教養 (歴史と社会Ⅰ)	2	半期	1	2	3	4	○予			
			英語で学ぶ教養 (歴史と社会Ⅱ)	2	半期	1	2	3	4	○予			
			英語で学ぶ教養 (歴史と社会Ⅲ)	2	半期	1	2	3	4	○予			
		英語で学ぶ教養 (歴史と社会Ⅳ)	2	半期	1	2	3	4	○予				
		英語で学ぶ教養 (歴史と社会Ⅴ)	2	半期	1	2	3	4	○予				
		英語で学ぶ教養 (歴史と社会Ⅵ)	2	半期	1	2	3	4	○予				
		ドイツ語Ⅰ A a (選)	1	半期	1	2	3	4	○予	有			
		ドイツ語Ⅰ A b (選)	1	半期	1	2	3	4	○予	有			
		ドイツ語Ⅰ B a (選)	1	半期	1	2	3	4	○予	有			
		ドイツ語Ⅰ B b (選)	1	半期	1	2	3	4	○予	有			

法律学科フレックス A

必 選	卒業必要		科目名	単位	開講期	配当年次			抽選	履修 不可 科目	本学 度休 講	注意事項
	科目数	単位数										
選 択			ドイツ語Ⅱ a (選)	1	半期		2	3	4	◎予	有	・当該外国語科目の以下のいずれかの単位を修得済みであることが望ましい。 ・「IAa」・「IAb」・「IBa」・「IBb」(選択必修科目) ・「IAa (選)」・「IAb (選)」・「IBa (選)」・「IBb (選)」
			ドイツ語Ⅱ b (選)	1	半期		2	3	4	◎予	有	
			ドイツ語コミュニケーションA a	1	半期		2	3	4	◎予	有	
			ドイツ語コミュニケーションA b	1	半期		2	3	4	◎予	有	
			ドイツ語コミュニケーションB a	1	半期		2	3	4	◎予	有	
			ドイツ語コミュニケーションB b	1	半期		2	3	4	◎予	有	
			名文で味わうドイツ語 a	2	半期			3	4	◎予	有	
			名文で味わうドイツ語 b	2	半期			3	4	◎予	有	
			現代を読むドイツ語 a	2	半期			3	4	◎予	有	
			現代を読むドイツ語 b	2	半期			3	4	◎予	有	
			ドイツ語スキルアップ a	1	半期		2	3	4	◎予	有	
			ドイツ語スキルアップ b	1	半期		2	3	4	◎予	有	
			フランス語Ⅰ A a (選)	1	半期	1	2	3	4	◎予	有	
			フランス語Ⅰ A b (選)	1	半期	1	2	3	4	◎予	有	
			フランス語Ⅰ B a (選)	1	半期	1	2	3	4	◎予	有	
			フランス語Ⅰ B b (選)	1	半期	1	2	3	4	◎予	有	
			フランス語Ⅱ a (選)	1	半期		2	3	4	◎予	有	・当該外国語科目の以下のいずれかの単位を修得済みであることが望ましい。 ・「IAa」・「IAb」・「IBa」・「IBb」(選択必修科目) ・「IAa (選)」・「IAb (選)」・「IBa (選)」・「IBb (選)」
			フランス語Ⅱ b (選)	1	半期		2	3	4	◎予	有	
			フランス語コミュニケーションA a	1	半期		2	3	4	◎予	有	
			フランス語コミュニケーションA b	1	半期		2	3	4	◎予	有	
			フランス語コミュニケーションB a	1	半期		2	3	4	◎予	有	
			フランス語コミュニケーションB b	1	半期		2	3	4	◎予	有	
			名文で味わうフランス語 a	2	半期			3	4	◎予	有	
			名文で味わうフランス語 b	2	半期			3	4	◎予	有	
			現代を読むフランス語 a	2	半期			3	4	◎予	有	
			現代を読むフランス語 b	2	半期			3	4	◎予	有	
			フランス語スキルアップ a	1	半期		2	3	4	◎予	有	
			フランス語スキルアップ b	1	半期		2	3	4	◎予	有	
			中国語Ⅰ A a (選)	1	半期	1	2	3	4	◎予	有	
			中国語Ⅰ A b (選)	1	半期	1	2	3	4	◎予	有	
		中国語Ⅰ B a (選)	1	半期	1	2	3	4	◎予	有		
		中国語Ⅰ B b (選)	1	半期	1	2	3	4	◎予	有		
		中国語Ⅱ a (選)	1	半期		2	3	4	◎予	有	・当該外国語科目の以下のいずれかの単位を修得済みであることが望ましい。 ・「IAa」・「IAb」・「IBa」・「IBb」(選択必修科目) ・「IAa (選)」・「IAb (選)」・「IBa (選)」・「IBb (選)」	
		中国語Ⅱ b (選)	1	半期		2	3	4	◎予	有		
		中国語コミュニケーションA a	1	半期		2	3	4	◎予	有		
		中国語コミュニケーションA b	1	半期		2	3	4	◎予	有		
		中国語コミュニケーションB a	1	半期		2	3	4	◎予	有		
		中国語コミュニケーションB b	1	半期		2	3	4	◎予	有		
		名文で味わう中国語 a	2	半期			3	4	◎予	有		

法律学科フレックス A

必 選	卒業必要		科目名	単位	開講期	配当年次				抽選	履修不可科目	本年度休講	注意事項
	科目数	単位数											
選 択			名文で味わう中国語 b	2	半期			3	4	◎予	有		
			現代を読む中国語 a	2	半期			3	4	◎予	有		
			現代を読む中国語 b	2	半期			3	4	◎予	有		
			中国語スキルアップ a	1	半期		2	3	4	◎予	有		
			中国語スキルアップ b	1	半期		2	3	4	◎予	有		
			スペイン語 I A a (選)	1	半期	1	2	3	4	◎予	有		
			スペイン語 I A b (選)	1	半期	1	2	3	4	◎予	有		
			スペイン語 I B a (選)	1	半期	1	2	3	4	◎予	有		
			スペイン語 I B b (選)	1	半期	1	2	3	4	◎予	有		
			スペイン語 II a (選)	1	半期		2	3	4	◎予	有		・当該外国語科目の以下のいずれかの単位を修得済みであることが望ましい。 ・「I A a」・「I A b」・「I B a」・「I B b」(選択必修科目) ・「I A a (選)」・「I A b (選)」・「I B a (選)」・「I B b (選)」
			スペイン語 II b (選)	1	半期		2	3	4	◎予	有		
			スペイン語コミュニケーションA a	1	半期		2	3	4	◎予	有		
			スペイン語コミュニケーションA b	1	半期		2	3	4	◎予	有		
			スペイン語コミュニケーションB a	1	半期		2	3	4	◎予	有		
			スペイン語コミュニケーションB b	1	半期		2	3	4	◎予	有		
			名文で味わうスペイン語 a	2	半期			3	4	◎予	有		
			名文で味わうスペイン語 b	2	半期			3	4	◎予	有		
			現代を読むスペイン語 a	2	半期			3	4	◎予	有		
			現代を読むスペイン語 b	2	半期			3	4	◎予	有		
			スペイン語スキルアップ a	1	半期		2	3	4	◎予	有		
			スペイン語スキルアップ b	1	半期		2	3	4	◎予	有		
			ロシア語 I A a (選)	1	半期	1	2	3	4	◎予	有		
			ロシア語 I A b (選)	1	半期	1	2	3	4	◎予	有		
			ロシア語 I B a (選)	1	半期	1	2	3	4	◎予	有		
			ロシア語 I B b (選)	1	半期	1	2	3	4	◎予	有		
			ロシア語 II a (選)	1	半期		2	3	4	◎予	有		・当該外国語科目の以下のいずれかの単位を修得済みであることが望ましい。 ・「I A a」・「I A b」・「I B a」・「I B b」(選択必修科目) ・「I A a (選)」・「I A b (選)」・「I B a (選)」・「I B b (選)」
			ロシア語 II b (選)	1	半期		2	3	4	◎予	有		
			ロシア語コミュニケーションA a	1	半期		2	3	4	◎予	有		
			ロシア語コミュニケーションA b	1	半期		2	3	4	◎予	有		
			ロシア語コミュニケーションB a	1	半期		2	3	4	◎予	有		
			ロシア語コミュニケーションB b	1	半期		2	3	4	◎予	有		
			名文で味わうロシア語 a	2	半期			3	4	◎予	有		
		名文で味わうロシア語 b	2	半期			3	4	◎予	有			
		現代を読むロシア語 a	2	半期			3	4	◎予	有			
		現代を読むロシア語 b	2	半期			3	4	◎予	有			
		ロシア語スキルアップ a	1	半期		2	3	4	◎予	有			
		ロシア語スキルアップ b	1	半期		2	3	4	◎予	有			
		朝鮮語 I A a (選)	1	半期	1	2	3	4	◎予	有			
		朝鮮語 I A b (選)	1	半期	1	2	3	4	◎予	有			
		朝鮮語 I B a (選)	1	半期	1	2	3	4	◎予	有			
		朝鮮語 I B b (選)	1	半期	1	2	3	4	◎予	有			

法律学科フレックス A

必 選	卒業必要		科目名	単位	開講期	配当年次				抽選	履修 不可 科目	本年 度休 講	注意事項
	科目 数	単 位数				1	2	3	4				
選 択			朝鮮語Ⅱ a (選)	1	半期	1	2	3	4	◎予	有		・ 当該外国語科目の以下のいずれかの単位を修得済みであることが望ましい。 ・ 「I A a (選)」・「I A b (選)」・「I B a (選)」・「I B b (選)」
			朝鮮語Ⅱ b (選)	1	半期	1	2	3	4	◎予	有		
			外国文化 a	2	半期	1	2	3	4	◎予			
			外国文化 b	2	半期	1	2	3	4	◎予			

3. 履修不可対象科目

下表の旧科目名で単位を修得済みの場合、現行科目名を履修することはできません。

現行科目名	旧科目名	修得年度	現行科目名	旧科目名	修得年度
英語 I A a	英語 I A	平成25 (2013) 年度以前	ドイツ語Ⅱ D a	ドイツ語Ⅱ D	平成25 (2013) 年度以前
英語 I A b			ドイツ語Ⅱ D b		
英語 I B a	英語 I B		フランス語Ⅱ A a	フランス語Ⅱ A	
英語 I B b			フランス語Ⅱ A b		
ドイツ語 I A a	ドイツ語 I A		フランス語Ⅱ B a	フランス語Ⅱ B	
ドイツ語 I A b			フランス語Ⅱ B b		
ドイツ語 I B a	ドイツ語 I B		フランス語Ⅱ D a	フランス語Ⅱ D	
ドイツ語 I B b			フランス語Ⅱ D b		
フランス語 I A a	フランス語 I A		中国語Ⅱ A a	中国語Ⅱ A	
フランス語 I A b			中国語Ⅱ A b		
フランス語 I B a	フランス語 I B		中国語Ⅱ B a	中国語Ⅱ B	
フランス語 I B b			中国語Ⅱ B b		
中国語 I A a	中国語 I A		中国語Ⅱ D a	中国語Ⅱ D	
中国語 I A b			中国語Ⅱ D b		
中国語 I B a	中国語 I B		スペイン語Ⅱ A a	スペイン語Ⅱ A	
中国語 I B b			スペイン語Ⅱ A b		
スペイン語 I A a	スペイン語 I A		スペイン語Ⅱ B a	スペイン語Ⅱ B	
スペイン語 I A b			スペイン語Ⅱ B b		
スペイン語 I B a	スペイン語 I B		スペイン語Ⅱ D a	スペイン語Ⅱ D	
スペイン語 I B b			スペイン語Ⅱ D b		
ロシア語 I A a	ロシア語 I A		ロシア語Ⅱ A a	ロシア語Ⅱ A	
ロシア語 I A b			ロシア語Ⅱ A b		
ロシア語 I B a	ロシア語 I B		ロシア語Ⅱ B a	ロシア語Ⅱ B	
ロシア語 I B b			ロシア語Ⅱ B b		
英語Ⅱ A a	英語Ⅱ A		ロシア語Ⅱ D a	ロシア語Ⅱ D	
英語Ⅱ A b			ロシア語Ⅱ D b		
英語Ⅱ B a	英語Ⅱ B		ドイツ語 I A a (選)	ドイツ語 I A (選)	
英語Ⅱ B b			ドイツ語 I A b (選)		
英語Ⅱ D a	英語Ⅱ D		ドイツ語 I B a (選)	ドイツ語 I B (選)	
英語Ⅱ D b			ドイツ語 I B b (選)		
ドイツ語Ⅱ A a	ドイツ語Ⅱ A		ドイツ語Ⅱ a (選)	ドイツ語Ⅱ (選)	
ドイツ語Ⅱ A b			ドイツ語Ⅱ b (選)		
ドイツ語Ⅱ B a	ドイツ語Ⅱ B		ドイツ語コミュニケーション A a	ドイツ語コミュニケーション I	
ドイツ語Ⅱ B b			ドイツ語コミュニケーション A b		

現行科目名	旧科目名	修得年度
フランス語 I A a (選)	フランス語 I A (選)	平成25 (2013) 年度以前
フランス語 I A b (選)		
フランス語 I B a (選)	フランス語 I B (選)	
フランス語 I B b (選)		
フランス語 II a (選)	フランス語 II (選)	
フランス語 II b (選)		
フランス語コミュニケーション A a	フランス語コミュニケーション I	
フランス語コミュニケーション A b		
フランス語コミュニケーション B a	フランス語コミュニケーション II	
フランス語コミュニケーション B b		
中国語 I A a (選)	中国語 I A (選)	
中国語 I A b (選)		
中国語 I B a (選)	中国語 I B (選)	
中国語 I B b (選)		
中国語 II a (選)	中国語 II (選)	
中国語 II b (選)		
中国語コミュニケーション A a	中国語コミュニケーション I	
中国語コミュニケーション A b		
中国語コミュニケーション B a	中国語コミュニケーション II	
中国語コミュニケーション B b		

現行科目名	旧科目名	修得年度
スペイン語 I A a (選)	スペイン語 I A (選)	平成25 (2013) 年度以前
スペイン語 I A b (選)		
スペイン語 I B a (選)	スペイン語 I B (選)	
スペイン語 I B b (選)		
スペイン語 II a (選)	スペイン語 II (選)	
スペイン語 II b (選)		
スペイン語コミュニケーション A a	スペイン語コミュニケーション I	
スペイン語コミュニケーション A b		
スペイン語コミュニケーション B a	スペイン語コミュニケーション II	
スペイン語コミュニケーション B b		
ロシア語 I A a (選)	ロシア語 I A (選)	
ロシア語 I A b (選)		
ロシア語 I B a (選)	ロシア語 I B (選)	
ロシア語 I B b (選)		
ロシア語 II a (選)	ロシア語 II (選)	
ロシア語 II b (選)		
ロシア語コミュニケーション A a	ロシア語コミュニケーション I	
ロシア語コミュニケーション A b		
ロシア語コミュニケーション B a	ロシア語コミュニケーション II	
ロシア語コミュニケーション B b		
朝鮮語 I A a (選)	朝鮮語 I A (選)	
朝鮮語 I A b (選)		
朝鮮語 I B a (選)	朝鮮語 I B (選)	
朝鮮語 I B b (選)		
朝鮮語 II a (選)	朝鮮語 II (選)	
朝鮮語 II b (選)		

4. 廃講科目

下表の科目は、廃講年度以降は開講されません。ただし、廃講となった科目の単位を廃講年度以前に修得済みの場合、卒業に必要な単位数として算入され、成績表に記載されます。

廃講科目名	廃講年度	廃講科目名	廃講年度	
英語 I A	平成26 (2014) 年度以降	英文講読	平成26 (2014) 年度以降	
英語 I B		時事英語研究		
ドイツ語 I A		マルチ・メディア		
ドイツ語 I B		英会話 II		
フランス語 I A		英会話 III		
フランス語 I B		英語 LL II		
中国語 I A		英語 LL III		
中国語 I B		ドイツ語コミュニケーション I		
スペイン語 I A		フランス語コミュニケーション I		
スペイン語 I B		中国語コミュニケーション I		
ロシア語 I A		スペイン語コミュニケーション I		
ロシア語 I B		ロシア語コミュニケーション I		
英語 II A		ドイツ語コミュニケーション II		
英語 II B		フランス語コミュニケーション II		
英語 II D		中国語コミュニケーション II		
ドイツ語 II A		スペイン語コミュニケーション II		
ドイツ語 II B		ロシア語コミュニケーション II		
ドイツ語 II D		ドイツ語 II (選)		
フランス語 II A		フランス語 II (選)		
フランス語 II B		中国語 II (選)		
フランス語 II D		スペイン語 II (選)		
中国語 II A		ロシア語 II (選)		
中国語 II B		朝鮮語 II (選)		
中国語 II D		ドイツ語 II C (会話) (2単位・通年)		平成18 (2006) 年度以降 ※平成17 (2005) 年度まで左記の外国語科目「II D」の振替科目として、履修することができました。
スペイン語 II A		ドイツ語 LL I (2単位・通年)		
スペイン語 II B		フランス語 II C (会話) (2単位・通年)		
スペイン語 II D		フランス語 LL I (2単位・通年)		
ロシア語 II A		中国語 II C (会話) (2単位・通年)		
ロシア語 II B		中国語 LL I (2単位・通年)		
ロシア語 II D		スペイン語 II C (会話) (2単位・通年)		
英会話 I		スペイン語 LL I (2単位・通年)		
英語 LL I		ロシア語 II C (会話) (2単位・通年)		
ドイツ語 I A (選)	ロシア語 LL I (2単位・通年)			
ドイツ語 I B (選)	ドイツ語 LL I	平成18 (2006) 年度以降		
フランス語 I A (選)	ドイツ語 LL II			
フランス語 I B (選)	フランス語 LL I			
中国語 I A (選)	フランス語 LL II			
中国語 I B (選)	中国語 LL I			
スペイン語 I A (選)	中国語 LL II			
スペイン語 I B (選)	スペイン語 LL I			
ロシア語 I A (選)	スペイン語 LL II			
ロシア語 I B (選)	ロシア語 LL I			
朝鮮語 I A (選)	ロシア語 LL II			
朝鮮語 I B (選)				

5. 教養特別履修該当科目一覧

「教養特別履修（英語）」

領域	配置科目	単位	必要単位数
英語の読解・聴解力を高める	実用英語資格試験Ⅱ a (聴解)	1	8
	実用英語資格試験Ⅱ b (文法・読解)	1	
	ビジネス英語Ⅱ	1	
	英語プレゼンテーションⅡ a	1	
	英語プレゼンテーションⅡ b	1	
	英語ディスカッションⅠ a	1	
	英語ディスカッションⅠ b	1	
	学術英語資格試験Ⅰ a (読解)	1	
	学術英語資格試験Ⅰ b (聴解・会話)	1	
	英語アカデミック・ライティングⅠ a	1	
	英語アカデミック・ライティングⅠ b	1	
	実用英語資格試験Ⅲ a (聴解)	1	
	実用英語資格試験Ⅲ b (文法・読解)	1	
	総合英語資格試験 a (読解)	1	
	総合英語資格試験 b (聴解・二次)	1	
	英語ディスカッションⅡ a	1	
	英語ディスカッションⅡ b	1	
	学術英語資格試験Ⅱ a (読解)	1	
	学術英語資格試験Ⅱ b (聴解・会話)	1	
	英語アカデミック・ライティングⅡ	1	
英語によって教養を学ぶ	英語で学ぶ教養（言語Ⅰ）	2	8
	英語で学ぶ教養（言語Ⅱ）	2	
	英語で学ぶ教養（言語Ⅲ）	2	
	英語で学ぶ教養（言語Ⅳ）	2	
	英語で学ぶ教養（言語Ⅴ）	2	
	英語で学ぶ教養（言語Ⅵ）	2	
	英語で学ぶ教養（言語Ⅶ）	2	
	英語で学ぶ教養（言語Ⅷ）	2	
	英語で学ぶ教養（文化Ⅰ）	2	
	英語で学ぶ教養（文化Ⅱ）	2	
	英語で学ぶ教養（文化Ⅲ）	2	
	英語で学ぶ教養（文化Ⅳ）	2	
	英語で学ぶ教養（文化Ⅴ）	2	
	英語で学ぶ教養（文化Ⅵ）	2	
	英語で学ぶ教養（歴史と社会Ⅰ）	2	
	英語で学ぶ教養（歴史と社会Ⅱ）	2	
	英語で学ぶ教養（歴史と社会Ⅲ）	2	
	英語で学ぶ教養（歴史と社会Ⅳ）	2	
	英語で学ぶ教養（歴史と社会Ⅴ）	2	
	英語で学ぶ教養（歴史と社会Ⅵ）	2	
合計必要単位		16	

「教養特別履修（ドイツ語）」

領域	配置科目	単位	必要単位数
	ドイツ語Ⅰ A a	1	16
	ドイツ語Ⅰ A b	1	
	ドイツ語Ⅰ B a	1	
	ドイツ語Ⅰ B b	1	
	ドイツ語Ⅱ A a	1	
	ドイツ語Ⅱ A b	1	
	ドイツ語Ⅱ B a	1	
	ドイツ語Ⅱ B b	1	
	ドイツ語Ⅱ D a	1	
	ドイツ語Ⅱ D b	1	
	ドイツ語Ⅰ A a (選)	1	
	ドイツ語Ⅰ A b (選)	1	
	ドイツ語Ⅰ B a (選)	1	
	ドイツ語Ⅰ B b (選)	1	
	ドイツ語Ⅱ a (選)	1	
	ドイツ語Ⅱ b (選)	1	
	ドイツ語コミュニケーション A a	1	
	ドイツ語コミュニケーション A b	1	
	ドイツ語コミュニケーション B a	1	
	ドイツ語コミュニケーション B b	1	
名文で味わうドイツ語 a	2		
名文で味わうドイツ語 b	2		
現代を読むドイツ語 a	2		
現代を読むドイツ語 b	2		
ドイツ語スキルアップ a	1		
ドイツ語スキルアップ b	1		
合計必要単位		16	

「教養特別履修（フランス語）」

領域	配置科目	単位	必要単位数
	フランス語 I A a	1	16
	フランス語 I A b	1	
	フランス語 I B a	1	
	フランス語 I B b	1	
	フランス語 II A a	1	
	フランス語 II A b	1	
	フランス語 II B a	1	
	フランス語 II B b	1	
	フランス語 II D a	1	
	フランス語 II D b	1	
	フランス語 I A a（選）	1	
	フランス語 I A b（選）	1	
	フランス語 I B a（選）	1	
	フランス語 I B b（選）	1	
	フランス語 II a（選）	1	
	フランス語 II b（選）	1	
	フランス語コミュニケーションA a	1	
	フランス語コミュニケーションA b	1	
	フランス語コミュニケーションB a	1	
	フランス語コミュニケーションB b	1	
	名文で味わうフランス語 a	2	
	名文で味わうフランス語 b	2	
	現代を読むフランス語 a	2	
	現代を読むフランス語 b	2	
	フランス語スキルアップ a	1	
	フランス語スキルアップ b	1	
海外語学短期留学 セミナー認定科目	フランス語（海外演習）	2	
合計必要単位			16

「教養特別履修（中国語）」

領域	配置科目	単位	必要単位数
	中国語 I A a	1	16
	中国語 I A b	1	
	中国語 I B a	1	
	中国語 I B b	1	
	中国語 II A a	1	
	中国語 II A b	1	
	中国語 II B a	1	
	中国語 II B b	1	
	中国語 II D a	1	
	中国語 II D b	1	
	中国語 I A a（選）	1	
	中国語 I A b（選）	1	
	中国語 I B a（選）	1	
	中国語 I B b（選）	1	
	中国語 II a（選）	1	
	中国語 II b（選）	1	
	中国語コミュニケーションA a	1	
	中国語コミュニケーションA b	1	
	中国語コミュニケーションB a	1	
	中国語コミュニケーションB b	1	
	名文で味わう中国語 a	2	
	名文で味わう中国語 b	2	
	現代を読む中国語 a	2	
	現代を読む中国語 b	2	
	中国語スキルアップ a	1	
	中国語スキルアップ b	1	
海外語学短期留学 セミナー認定科目	中国語（海外演習）	2	
合計必要単位			16

「教養特別履修（スペイン語）」

領域	配置科目	単位	必要単位数
	スペイン語 I A a	1	16
	スペイン語 I A b	1	
	スペイン語 I B a	1	
	スペイン語 I B b	1	
	スペイン語 II A a	1	
	スペイン語 II A b	1	
	スペイン語 II B a	1	
	スペイン語 II B b	1	
	スペイン語 II D a	1	
	スペイン語 II D b	1	
	スペイン語 I A a (選)	1	
	スペイン語 I A b (選)	1	
	スペイン語 I B a (選)	1	
	スペイン語 I B b (選)	1	
	スペイン語 II a (選)	1	
	スペイン語 II b (選)	1	
	スペイン語コミュニケーションA a	1	
	スペイン語コミュニケーションA b	1	
	スペイン語コミュニケーションB a	1	
	スペイン語コミュニケーションB b	1	
	名文で味わうスペイン語 a	2	
	名文で味わうスペイン語 b	2	
	現代を読むスペイン語 a	2	
	現代を読むスペイン語 b	2	
	スペイン語スキルアップ a	1	
	スペイン語スキルアップ b	1	
合計必要単位			16

「教養特別履修（ロシア語）」

領域	配置科目	単位	必要単位数
	ロシア語 I A a	1	16
	ロシア語 I A b	1	
	ロシア語 I B a	1	
	ロシア語 I B b	1	
	ロシア語 II A a	1	
	ロシア語 II A b	1	
	ロシア語 II B a	1	
	ロシア語 II B b	1	
	ロシア語 II D a	1	
	ロシア語 II D b	1	
	ロシア語 I A a (選)	1	
	ロシア語 I A b (選)	1	
	ロシア語 I B a (選)	1	
	ロシア語 I B b (選)	1	
	ロシア語 II a (選)	1	
	ロシア語 II b (選)	1	
	ロシア語コミュニケーションA a	1	
	ロシア語コミュニケーションA b	1	
	ロシア語コミュニケーションB a	1	
	ロシア語コミュニケーションB b	1	
	名文で味わうロシア語 a	2	
	名文で味わうロシア語 b	2	
	現代を読むロシア語 a	2	
	現代を読むロシア語 b	2	
	ロシア語スキルアップ a	1	
	ロシア語スキルアップ b	1	
合計必要単位			16

保健体育科目

1. 履修上の注意

- ①保健体育科目は、全学共通科目の選択科目として設置されており、実技科目・講義実技科目・講義科目に分かれています。
- ②選択科目として修得した単位数は、保健体育科目として認定され、卒業に必要な広域選択の単位数に算入されます。ただし、履修の上限は6単位までとします。
- ③玉川キャンパスの「実技科目」は、種目によっては天候等に左右され、本来の授業計画が変更される場合があります。
- ・受講する学生の習熟度によって学習の進度が変更になる場合があります。
 - ・『シラバス』に掲載された各種目の授業計画案はあくまでも目安です。
- ④玉川キャンパスでは、雨天等の指示など特別な連絡事項がある場合は、授業が行われる校舎の掲示板等で周知します。
- ⑤見学について
- ・体調不良者は指導教員の許可を得て、授業を見学することができます。
 - ・やむを得ない事情により、長期にわたる運動制限を余儀なくされた場合、長期見学者扱いとします。授業の参加形態は指導教員と相談してください。
- ⑥服装について
- ・服装および更衣室については、指導教員の指示に従ってください。
- ⑦事故・負傷・貴重品の管理について
- ・実技の時間に事故・負傷が発生した場合、直ちに指導教員に報告し、指示を受けてください。
 - ・貴重品の管理は、各自で行い、貴重品ロッカーを利用するなど十分注意してください。
- ⑧「生涯スポーツ演習Ⅰ・Ⅱ」について
- ・『授業時間表』では、「特时限」に掲載されています。
 - ・同一年度に「生涯スポーツ演習Ⅰ」から1科目、「生涯スポーツ演習Ⅱ」から1科目履修できます。
 - ・オリエンテーションに出席し、「受講許可書」の発行を受けてください。受講許可を受けた後、実習費を納入した学生が履修できます。
 - ・1回目のオリエンテーションで定員に達しない場合、2回目のオリエンテーションを実施します。
 - ・オリエンテーション日程
1回目：4月 5日（土）12:10～12:40 1-304教場
2回目：4月 12日（土）12:10～12:40 1-304教場
 - ・この科目は教務部でKONECO履修登録を行います。従って、年間履修制限単位数から、履修する「生涯スポーツ演習Ⅰ・Ⅱ」の単位数分を差し引いた状態で履修登録を完了させてください。履修確認期間に科目の登録が行われているかを必ず確認してください。
 - ・授業日程

生涯スポーツ演習Ⅰ	①種目・定員：ゴルフ・40名 ②日程 (1) 事前授業 7月19日（土）13:00～16:10 教場はオリエンテーション時にお知らせします。 (2) 合宿授業 9月1日（月）に玉川校舎の玉-306教場で実施 9月2日（火）～5日（金）3泊4日
生涯スポーツ演習Ⅱ	①種目・定員：スキー・25名、スノーボード・35名 ②日程 (1) 事前授業 1月8日（木）13:00～16:10 教場はオリエンテーション時にお知らせします。 (2) 合宿授業 1月27日（火）～31日（土）4泊5日

2. 開設科目一覧

法律学科フレックス A

必・選	卒業必要		科目名	単位	開講期	配当年次				抽選	履修不可科目	本年度休講	注意事項
	科目数	単位数				1	2	3	4				
選択	履修上限6単位	実技	健康・スポーツ実習	2	通年	1							《玉川キャンパス》 《再クラス》 《種目・定員》 ・前期と後期で異なる種目を受講してください。 ・4月初回の授業で種目を決定しますので、必ず出席してください。服装は普段着で構いません。 ・複数担当教員がいる授業なので、自分の種目の担当教員名を把握しておいてください。
		実技	生涯スポーツ実習Ⅰ（前期・基礎）	1	半期	1				◎予			「1. 履修上の注意」を参照してください。
			生涯スポーツ実習Ⅱ（前期・基礎）	1	半期		2			◎予			
			生涯スポーツ実習Ⅲ（前期・基礎）	1	半期			3		◎予			
			生涯スポーツ実習Ⅳ（前期・基礎）	1	半期				4	◎予			
			生涯スポーツ実習Ⅰ（後期・基礎）	1	半期	1				◎予			
			生涯スポーツ実習Ⅱ（後期・基礎）	1	半期		2			◎予			
			生涯スポーツ実習Ⅲ（後期・基礎）	1	半期			3		◎予			
			生涯スポーツ実習Ⅳ（後期・基礎）	1	半期				4	◎予			
			生涯スポーツ実習Ⅰ（前期・応用）	1	半期	1				◎予			
			生涯スポーツ実習Ⅱ（前期・応用）	1	半期		2			◎予			
			生涯スポーツ実習Ⅲ（前期・応用）	1	半期			3		◎予			
			生涯スポーツ実習Ⅳ（前期・応用）	1	半期				4	◎予			
			生涯スポーツ実習Ⅰ（後期・応用）	1	半期	1				◎予			
	生涯スポーツ実習Ⅱ（後期・応用）	1	半期		2			◎予					
	生涯スポーツ実習Ⅲ（後期・応用）	1	半期			3		◎予					
	生涯スポーツ実習Ⅳ（後期・応用）	1	半期				4	◎予					
	講義実技	生涯スポーツ演習Ⅰ（シーズン基礎A）	2	シーズン	1	2	3	4				「1. 履修上の注意」を参照してください。	
		生涯スポーツ演習Ⅰ（シーズン基礎B）	2	シーズン	1	2	3	4					
		生涯スポーツ演習Ⅰ（シーズン応用A）	2	シーズン	1	2	3	4					
		生涯スポーツ演習Ⅰ（シーズン応用B）	2	シーズン	1	2	3	4					
		生涯スポーツ演習Ⅱ（シーズン基礎A）	2	シーズン	1	2	3	4					
		生涯スポーツ演習Ⅱ（シーズン基礎B）	2	シーズン	1	2	3	4					
		生涯スポーツ演習Ⅱ（シーズン応用A）	2	シーズン	1	2	3	4					
		生涯スポーツ演習Ⅱ（シーズン応用B）	2	シーズン	1	2	3	4					
	講義	健康・スポーツ論1	2	半期	1				◎予			《玉川キャンパス》	
		健康・スポーツ論2	2	半期	1	2	3	4	◎予				

3. 廃講科目

下表の科目は、廃講年度以降は開講されません。ただし、廃講となった科目の単位を廃講年度以前に修得済みの場合、卒業に必要な単位数として算入され、成績表に記載されます。

廃講科目名	廃講年度
生涯スポーツ実習（集中前期・基礎）	平成25（2013）年度以降
生涯スポーツ実習（集中前期・応用）	
生涯スポーツ実習（集中後期・基礎）	
生涯スポーツ実習（集中後期・応用）	
生涯スポーツ演習Ⅰ（シーズン・基礎）	
生涯スポーツ演習Ⅰ（シーズン・応用）	
生涯スポーツ演習Ⅱ（シーズン・基礎）	
生涯スポーツ演習Ⅱ（シーズン・応用）	

専門教育科目

1. 履修上の注意

- ①専門教育科目は、必修科目、選択必修科目および選択科目に分かれ、定められた単位を修得しなければなりません。専門教育科目全般にわたって十分検討して履修することが必要です。
- ②定められた単位を超えて修得した選択必修科目の単位数は、専門教育科目の選択科目として卒業に必要な単位数に算入されます。
- ③定められた単位を超えて修得した選択科目の単位数は、専門教育科目として認定され、卒業に必要な広域選択の単位数に算入されます。
- ④フレックスB時間帯（月～金曜日6～7時限、土曜日3～7時限）に開講されている専門教育科目の選択科目（開設科目一覧・開講時限「B」印）を卒業までに40単位まで修得できます。なお、開設科目一覧・開講時限に「○」印がある科目は、フレックスB時間帯だけに開講している科目です。「B」印の説明にある修得制限単位数には含まれません。
また、フレックスA時間帯に休講であっても、フレックスB時間帯に開講されている科目は、履修することができます。
- ⑤前年度までに単位を修得した科目は、その時点で指定されていた履修単位の区分（必修・選択必修・選択）で単位が認定されます。従って、前年度と同一名称の科目であっても、履修単位の区分が変更していた場合、単位を修得した時点の履修単位の区分で単位が認定されます（例：前年度は選択科目だった科目Aが、今年度は選択必修として開講していた。前年度までに科目Aの単位を修得している場合、それは選択科目として単位が認定される。逆に前年度までに科目Aの単位を未修得の場合、今年度以降に単位を修得すると選択必修として単位が認定される）。
- ⑥開設科目一覧上に指定されている卒業に必要な単位数・科目数も、前年度に指定されていた条件に該当する科目名で単位を修得済みの場合、今年度に対象科目名が変更していたとしても、前年度までに指定されていた卒業必要科目数・単位数を満たしていると判断します。また、前年度までに指定されていた卒業必要科目数・単位数を満たしていない場合は、今年度開講している科目名で条件を満たすことになります。

2. 開設科目一覧

対象入学年度：法律学科フレックス A 平成21（2009）年度以降入学生

必・選	卒業必要		科目名	単位	開講期	昼夜制限	配当年次			抽選	履修不可科目	本年度休講	注意事項
	科目数	単位数											
必修	4科目	14単位	法学概論	2	半期		1						《学生番号指定》
			憲法	4	通年		1						
			民法総則	4	通年		1						
			刑法総論	4	通年		1						
選択必修	2科目	8単位	会社法	4	通年			2					《学生番号指定》
			債権総論	4	通年			2		○予			
			物権法	4	通年			2		○予			
			行政法	4	通年			2		○予			
選択	68単位以上	新入生演習	2	通年			1					《学生番号指定》 ・「新入生演習」は、法律学科で法律学を学修していくための基本的なスキルや学修方法を修得することを目的とする実践的目的の科目です。設定は、選択科目になっていますが、すべての1年次生が履修できるようにクラス分けして配置してあります。 できる限り履修するようにしてください。 授業形態は、教室での一斉演習と、担当教員の研究室での個別指導との組み合わせです。 ・1年次生のみ履修可能です。	
		比較憲法	4	通年			1			○先			
		法社会学	4	通年			1			○予			
		日本法制史	4	通年	B	1				○先			
		西洋法制史	4	通年	B	1				○予			
		政治学原論	4	通年	B	1				○予			
		政治史	4	通年		1				○予			
		経済原論	4	通年	B	1				○先			
		行政学	4	通年	B	1				○予			
		法律時事英語	4	通年		1				○予			
		商法総則・商行為法	4	通年				2		○予			
		刑法各論	4	通年				2		○予			
		刑事政策	4	通年	B	2				○予			
		裁判法	4	通年	B	2				○予			
		国際法	4	通年				2		○予			
		債権各論	4	通年	B	2				○予			
		英米法	4	通年				2		○予			
		仏法	4	通年				2		○予			
		独法	4	通年				2		○予			
		基礎演習	4	通年				2					《受講制限》 ・1年次10月上旬に行う履修希望者の募集で許可された2年次生のみ履修可能です。
		法思想史	4	通年	B	2				○予			
		演習 I	4	通年					3				《受講制限》 ・2年次10月上旬に行う履修希望者の募集で許可された3年次生のみ履修可能です。
		外書講読 I（英書）	4	通年					3		○予		
外書講読 I（独書）	4	通年					3		○予				
外書講読 I（仏書）	4	通年					3		○予				

対象入学年度：法律学科フレックス A 平成21（2009）年度以降入学生

必・選	卒業必要		科目名	単位	開講期	昼夜制限	配当年次			抽選	履修不可科目	本年度休講	注意事項	
	科目数	単位数												
選 択	68 単 位 以 上		外書講読Ⅰ（中国書）	4	通年			3	◎予					
			担保物権法	4	通年			3	◎予					
			家族法	4	通年			3	◎予					
			有価証券法	4	通年			3	◎予					
			登記法	4	通年	○		3	◎予					
			保険・海商法	4	通年	B		3	◎予		休		・隔年開講	
			民事訴訟法	4	通年	B		3	◎予					
			刑事訴訟法	4	通年			3	◎予					
			労働法	4	通年			3	◎予					
			社会保障法	4	通年			3	◎予					
			行政救済法	4	通年			3	◎予					
			税法	4	通年	B		3	◎予					
			地方自治法	4	通年	B		3	◎予					
			国際紛争解決法	4	通年			3	◎予					
			国際私法	4	通年			3	◎予					
			環境法	4	通年	B		3	◎予		休			
			経済法	4	通年	B		3	◎予					
			消費者法	4	通年			3	◎予					
			知的財産権法	4	通年	B		3	◎予					
			民事執行・保全法	4	通年	B		3	◎予					
			倒産処理法	4	通年	B		3	◎予					
			法哲学	4	通年			3	◎予					
			法律学特殊講義	4	通年			3	◎予		休			
			財政学	4	通年	B		3	◎予					
			国際関係論	4	通年	B		3	◎予					
			経済政策	4	通年	B		3	◎予					
			社会政策	4	通年			3	◎予					
			実務演習Ⅰ	4	通年	○		3						《受講制限》 ・4月初回の授業に出席して担当教員から受講許可を得なければ履修できません。
			実務演習Ⅱ	4	通年	○		3						
			実務演習Ⅲ	4	通年	○		3						
			現代企業論	2	半期			3	◎予					・駒澤大学会計人会協力講座です。
			演習Ⅱ	4	通年			4						《受講制限》
	外書講読Ⅱ（英書）	4	通年			4	◎予							
	外書講読Ⅱ（独書）	4	通年			4	◎予							
	外書講読Ⅱ（仏書）	4	通年			4	◎予							
	外書講読Ⅱ（中国書）	4	通年			4	◎予							

対象入学年度：法律学科フレックス A 平成20（2008）年度以前入学生

必・選	卒業必要		科目名	単位	開講期	昼夜制限	配当年次			抽選	履修不可科目	本年度休講	注意事項		
	科目数	単位数													
必修	6科目	18単位	法学概論	2	半期		1								
			公法入門	2	半期		1								
			私法入門	2	半期		1								
			憲法	4	通年		1								
			民法総則	4	通年		1								
			刑法総論	4	通年		1								
選択必修	2科目	8単位	会社法	4	通年			2					《学生番号指定》		
			債権総論	4	通年			2		○予					
			物権法	4	通年			2		○予					
			行政法	4	通年			2		○予					
選択	64単位以上	↑	新入生演習	2	通年		1						《学生番号指定》 ・「新入生演習」は、法律学科で法律学を学修していくための基本的なスキルや学修方法を修得することを目的とする実践的科目です。設定は、選択科目になっていますが、すべての1年次生が履修できるようにクラス分けして配置してあります。できる限り履修するようにしてください。 授業形態は、教室での一斉演習と、担当教員の研究室での個別指導との組み合わせです。 ・1年次生のみ履修可能です。		
			比較憲法	4	通年		1			○先					
			法社会学	4	通年		1				○予				
			日本法制史	4	通年	B	1				○先				
			西洋法制史	4	通年	B	1				○予				
			政治学原論	4	通年	B	1				○予				
			政治史	4	通年		1				○予				
			経済原論	4	通年	B	1				○先				
			行政学	4	通年	B	1				○予				
			法律時事英語	4	通年		1				○予				
			商法総則・商行為法	4	通年				2		○予				
			刑法各論	4	通年				2		○予				
			刑事政策	4	通年	B			2		○予				
			裁判法	4	通年	B			2		○予				
			国際法	4	通年				2		○予				
			債権各論	4	通年	B			2		○予				
			英米法	4	通年				2		○予				
			仏法	4	通年				2		○予				
			独法	4	通年				2		○予				
			基礎演習	4	通年				2						《受講制限》 ・1年次10月上旬に行う履修希望者の募集で許可された2年次生のみ履修可能です。
			法思想史	4	通年	B			2		○予				
			演習 I	4	通年					3					《受講制限》 ・2年次10月上旬に行う履修希望者の募集で許可された3年次生のみ履修可能です。
外書講読 I（英書）	4	通年					3		○予						
外書講読 I（独書）	4	通年					3		○予						

対象入学年度：法律学科フレックス A 平成20（2008）年度以前入学生

必・選	卒業必要		科目名	単位	開講期	昼夜制限	配当年次			抽選	履修不可科目	本年度休講	注意事項
	科目数	単位数											
選 択	64 単 位 以 上		外書講読Ⅰ（仏書）	4	通年			3	◎予				
			外書講読Ⅰ（中国書）	4	通年			3	◎予				
			担保物権法	4	通年			3	◎予				
			家族法	4	通年			3	◎予				
			有価証券法	4	通年			3	◎予				
			登記法	4	通年	○		3	◎予				
			保険・海商法	4	通年	B		3	◎予		休		・隔年開講
			民事訴訟法	4	通年	B		3	◎予				
			刑事訴訟法	4	通年			3	◎予				
			労働法	4	通年			3	◎予				
			社会保障法	4	通年			3	◎予				
			行政救済法	4	通年			3	◎予				
			税法	4	通年	B		3	◎予				
			地方自治法	4	通年	B		3	◎予				
			国際紛争解決法	4	通年			3	◎予				
			国際私法	4	通年			3	◎予				
			環境法	4	通年	B		3	◎予		休		
			経済法	4	通年	B		3	◎予				
			消費者法	4	通年			3	◎予				
			知的財産権法	4	通年	B		3	◎予				
			民事執行・保全法	4	通年	B		3	◎予				
			倒産処理法	4	通年	B		3	◎予				
			法哲学	4	通年			3	◎予				
			法律学特殊講義	4	通年			3	◎予		休		
			財政学	4	通年	B		3	◎予				
			国際関係論	4	通年	B		3	◎予				
			経済政策	4	通年	B		3	◎予				
			社会政策	4	通年			3	◎予				
			実務演習Ⅰ	4	通年	○		3					《受講制限》 ・4月初回の授業に出席して担当教員から受講許可を得なければ履修できません。
			実務演習Ⅱ	4	通年	○		3					
	実務演習Ⅲ	4	通年	○		3							
	現代企業論	2	半期			3	◎予				・駒澤大学会計人会協力講座です。		
	演習Ⅱ	4	通年			4					《受講制限》		
	外書講読Ⅱ（英書）	4	通年			4	◎予						
	外書講読Ⅱ（独書）	4	通年			4	◎予						
	外書講読Ⅱ（仏書）	4	通年			4	◎予						
	外書講読Ⅱ（中国書）	4	通年			4	◎予						

他学部履修科目

1. 履修上の注意

(1) 他学部履修科目とは

所属学科以外の学部・学科が、他学部履修科目として公開した専門教育科目の中から、所属学科が履修を認めた授業科目を履修することができます。

(2) 履修方法

①履修年次

3年次以上を対象とします。

②履修・修得可能単位数

卒業までに修得できる単位数は、**16単位以内**とします。

③履修制限単位

他学部履修する授業科目の単位は、各年次の履修制限単位数に含まれます。

④受講制限

他学部履修科目には、科目ごとに履修定員を設けています。定員を超える履修申込があった場合には、KONECO 上で抽選が行われ履修者が決定されます。

⑤単位認定

修得した単位数は、所属学科の専門教育科目の選択科目として認定され、**卒業に必要な専門選択の単位数に算入**されます。

(3) 履修登録の流れ

他学部履修科目を履修する場合、下記の手続きが必要となります。

①他学部履修希望科目を決める

※『他学部履修科目授業時間表』『シラバス』を参照し、開講曜日・時限、授業概要等を確認する。



② KONECO で履修登録する（履修申込期間より受付開始）

※履修申込者数が履修定員を超えた場合、KONECO 上で抽選が行われ履修者が決定する。



③履修登録完了

※履修申込者数が履修定員に満たなかった他学部履修科目は、履修訂正期間に先着順で申込みことができるようになります。

※申し込んだ他学部履修科目の履修を取り消したい場合は、履修訂正期間内に KONECO 上で取消を行うこと。



④履修確認期間に、申し込んだ科目が登録されているか KONECO 上で確認する。

2. 開設科目一覧

《文学部》

開講学科	科目名	単位	開講期	本年度休講	履修上の注意事項
社会学科	産業と変動の社会学	2	半期		・履修不可対象科目 平成20(2008)年度以前に「産業・職業社会学」で単位を修得済の場合は履修できません。
	雇用と労働の社会学	2	半期	休	
	社会心理学A	2	半期		
	社会心理学B	2	半期		・隔年開講

《経済学部》

開講学科	科目名	単位	開講期	本年度休講	履修上の注意事項
経済学科	日本経済史a	2	半期		・履修不可対象科目 平成25(2013)年度以前に「日本経済史」で単位を修得済の場合は履修できません。
	日本経済史b	2	半期		
	日本経済論a	2	半期		・履修不可対象科目 平成25(2013)年度以前に「日本経済論」で単位を修得済の場合は履修できません。
	日本経済論b	2	半期		
	中国経済論a	2	半期		・履修不可対象科目 平成25(2013)年度以前に「中国経済論」で単位を修得済の場合は履修できません。
	中国経済論b	2	半期		
	アメリカ経済論a	2	半期		・履修不可対象科目 平成25(2013)年度以前に「アメリカ経済論」で単位を修得済の場合は履修できません。
	アメリカ経済論b	2	半期		
	ロシア・東欧経済論a	2	半期		・履修不可対象科目 平成25(2013)年度以前に「ロシア・東欧経済論」で単位を修得済の場合は履修できません。
	ロシア・東欧経済論b	2	半期		

開講学科	科目名	単位	開講期	本年度休講	履修上の注意事項
商学科	財務会計論a	2	半期		・履修不可対象科目 平成25(2013)年度以前に「財務会計論」で単位を修得済の場合は履修できません。
	財務会計論b	2	半期		
	会計監査論a	2	半期		・履修不可対象科目 平成25(2013)年度以前に「会計監査論」で単位を修得済の場合は履修できません。
	会計監査論b	2	半期		
	管理会計論a	2	半期		
	管理会計論b	2	半期		
	貿易論a	2	半期	休	・隔年開講 平成25(2013)年度以前に「貿易論」で単位を修得済の場合は履修できません。
	貿易論b	2	半期	休	

《法学部》

開講学科	科目名	単位	開講期	本年度休講	履修上の注意事項
政治学科	国際社会入門	2	半期		
	国際関係入門	2	半期		
	ヨーロッパ政治史	4	通年		
	比較政治学	4	通年		
	現代国家論	4	通年		

《経営学部》

開講学科	科目名	単位	開講期	本年度休講	履修上の注意事項
経営学科 (フレックスA)	経営労務論	4	通年		
	経営分析論	4	通年		
	税務会計論	4	通年		

随意科目

1. 履修上の注意

随意科目として修得した科目の単位は、卒業に必要な単位に含まれません。

2. 開設科目一覧

科目名	単位	開講期	配当年次				抽選	履修上の注意事項
英語（海外演習）	2		1	2	3	4		・ 海外協定校で行われる短期語学セミナーです。詳細については、国際センターが配布する各セミナーのパンフレットを参照してください。（パンフレットは募集時期に配布されます）
フランス語（海外演習）	2		1	2	3			
中国語（海外演習）	2		1	2	3	4		
比較思想特講	4	通年		2	3	4	◎予	・ 当該科目の履修を希望する者は、履修登録申込期間に履修登録を行ってください。

「日本語」・「日本事情」科目

1. 履修上の注意

(1) 「日本語」科目の履修方法

- ① 「日本語」科目は『外国人留学生』および日本語を母語としない『帰国生』を対象とする科目です。
- ② 「日本語」科目は、各所属学科の定めるところにより、選択必修科目として履修してください。
- ③ 原則として1・2年次において履修してください。
- ④ 修得した単位は、外国語科目として認定され、卒業に必要な単位数に算入されます。
- ⑤ 外国語科目として代替できる単位数を超えて修得した単位は、卒業に必要な広域選択の単位数に算入されません。
- ⑥ 当該科目の履修を希望する者は、履修登録申込期間に履修登録を行ってください。

(2) 「日本語」科目の卒業に必要な単位数

履修年次	卒業必要単位数
1年次	10
2年次	

(3) 「日本事情」科目の履修方法

- ① 「日本事情」科目は『外国人留学生』および日本語を母語としない『帰国生』を対象とする科目です。
- ② 修得した単位は、教養教育科目の選択必修科目として認定され、卒業に必要な単位数に算入されます。
- ③ 教養教育科目として代替できる単位数を超えて修得した単位数は、卒業に必要な広域選択の単位数に算入されません。
- ④ 当該科目の履修を希望する者は、履修登録申込期間に履修登録を行ってください。

(4) 「日本事情」科目の卒業に必要な単位数

科目の区分	卒業必要単位数	履修方法
人文分野	16	「日本事情」科目を含めて、16単位履修すること。
社会分野		
自然分野		
ライフデザイン分野		

2. 開設科目一覧

<日本語科目>

科目名	単位	開講期	配当年次				履修上の注意事項	
日本語入門Ⅰa	1	半期	1	2			・初級	・以下のいずれかに該当しなければ履修できません。 ①交換留学生 ②非漢字圏の学生 ・当該科目の「a」・「b」は、セットで履修することが望ましい。 <<受講制限>> ・履修者制限をする場合があります。初回の授業で教員の許可を得てください。
日本語入門Ⅰb	1	半期	1	2			・初級	
日本語入門Ⅱa	1	半期	1	2			・初級	
日本語入門Ⅱb	1	半期	1	2			・初級	
日本語Ⅰa	1	半期	1	2			・中級程度	
日本語Ⅰb	1	半期	1	2			・中級程度	
日本語Ⅱa	1	半期	1	2			・中級程度	
日本語Ⅱb	1	半期	1	2			・中級程度	
日本語Ⅲa	1	半期	1	2			・上級程度	
日本語Ⅲb	1	半期	1	2			・上級程度	
日本語Ⅳa	1	半期	1	2			・上級程度	
日本語Ⅳb	1	半期	1	2			・上級程度	
日本語Ⅴa	1	半期	1	2			・中級演習	
日本語Ⅴb	1	半期	1	2			・中級演習	
日本語Ⅵa	1	半期	1	2			・上級演習	
日本語Ⅵb	1	半期	1	2			・上級演習	

<日本事情科目>

科目名	単位	開講期	配当年次				履修上の注意事項
日本事情Ⅰ	2	半期	1	2	3	4	(地理) について学びます。
日本事情Ⅱ	2	半期	1	2	3	4	(自然) について学びます。
日本事情Ⅲ	2	半期	1	2	3	4	(歴史) について学びます。
日本事情Ⅳ	2	半期	1	2	3	4	(思想) について学びます。
日本事情Ⅴ	2	半期	1	2	3	4	(社会) について学びます。
日本事情Ⅵ	2	半期	1	2	3	4	(政治・法律) について学びます。
日本事情Ⅶ	2	半期	1	2	3	4	(文学) について学びます。
日本事情Ⅷ	2	半期	1	2	3	4	(文化・芸術) について学びます。
日本事情Ⅸ	2	半期	1	2	3	4	(経済) について学びます。
日本事情Ⅹ	2	半期	1	2	3	4	(経営) について学びます。

法律学科フレックス B

開設科目一覧の見方

※開設科目一覧のサンプル

対象入学年度：法律学科フレックス B 平成21（2009）年度以降入学生

必・選	卒業必要		分野	科目名	単位	開講期	昼夜制限	配当年次				抽選	履修不可科目	本年度休講	注意事項
	科目数	単位数						1	2	3	4				
選択必修	16 単位	人文分野	科目 A	4	通年		1	2	3	4	◎予		休		
			科目 B	4	通年		1	2	3	4	◎先	有			
			科目 C	2	半期	A	1	2	3	4	◎抽	有			

対象入学年度	開設科目一覧がどの学科・入学年度を対象としているかを表します。
必・選	履修単位の区分（必修・選択必修・選択科目）を表します。
卒業必要	卒業に必要な「科目数」と「単位数」を表します。科目数の指定がない場合は、卒業必要単位数に指定された単位数を修得してください。
分野	教養教育科目における4分野（人文分野・社会分野・自然分野・ライフデザイン分野）のどの分野に該当しているかを表します。
科目名	授業科目名を表します。
単位	授業科目に定められた単位数を表します。
開講期	授業科目に定められた開講期（半期・通年）を表します。 「半期」：前期または後期に始まり、半年間行われる授業 「通年」：前期から始まる1年間通して行われる授業 「集中」：夏季休業期間に約1週間かけて行われる授業 「シーズン」：夏季または冬季休業期間に短期で行われる合宿等を伴う授業
昼夜制限	法律学科フレックス A・B の教養教育科目と専門教育科目に表示があります。・法律学科フレックス B 生の開設科目一覧に表示される「A」は、フレックス A 時間帯（月～金1～5時限、土曜1～4時限、集中授業）でも履修可能（卒業までの履修制限単位数は教養教育科目12単位、専門教育科目は40単位）である科目です。
配当年次	授業科目の履修できる年次を表します。 ・下級年次に配当されている科目は、上級年次に履修可能です。 ・ただし、配当年次以外に斜線が付けられている場合は、指定された年次以外では履修できません。
抽選	抽選を伴う履修方法の種類について表します。以下の略称で表記しています。 「◎抽」：抽選科目 「◎先」：受講先行予約科目 「◎予」：受講予約科目
履修不可科目	「履修不可対象科目一覧」の記載がある場合は「有」と表記しています。 履修不可対象科目一覧は、対象の入学年次の開設科目一覧の最後に掲載されています。
本年度休講	本年度の授業科目の休講有無を表します。休講の場合は「休」と表記しています。 ただし、「昼夜制限」欄に「A」の付いた科目はフレックス A 時間帯では開講している場合がありますので、法律学科フレックス A の開設科目一覧の「本年度休講」欄を確認してください。

注意事項	<p>履修時に必要な注意事項を表します。</p> <p>「学生番号指定」：履修するクラスが学生番号で指定されている科目です。学生番号指定については、『授業時間表』で確認できます。</p> <p>「受講制限」：主に担当教員が自ら履修者数を制限している授業科目です。</p> <p>「再クラス」：再履修になった場合、再クラスでの履修となります。詳しくは、第1章 I 「再履修」の頁を参照してください。</p> <p>「玉川キャンパス」：玉川キャンパスで授業が行われる授業科目です。</p> <p>「種目・定員」：保健体育科目について、開講されている種目と定員数です。</p>
------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

教養特別履修について

全学共通科目の外国語科目において、所定の授業科目および単位数を満たすことにより、その科目区分において一定の学修成果を満たしたことを「修了証」の発行によって証明します。幅広く開講されている全学共通科目の中で、体系性を伴った履修を行うことにより、学生の皆さんの若々しい知的関心を啓発し、深化させ、涵養する一助とすることを目的としています。

修了証を発行するためには、所定の期間内に教養特別履修の登録を済ませておく必要があります。

●教養特別履修コース修了証修得までの流れ

履修科目登録

コース毎の取得条件を確認し、希望するコースに必要な科目の登録をしてください。

既修得科目も含みコース認定科目として取り扱います。必要な科目は計画的に修得してください。

履修訂正期間終了後の科目追加登録はできませんので、希望するコースに必要な科目が不足しないよう注意してください。

コース登録

下記の登録期間に、KONECOの「教養特別履修登録」画面より、希望コースを登録してください。

学部・学科により選択できる開講コースが異なります。

希望コースに必要な科目の履修・修得状況の確認期間は、登録期間終了後になります。

詳細な日程はKONECOにてお知らせします。

成績発表

前期は8月末・後期は2月中旬にKONECOにより成績発表が行われますので、科目修得状況を確認してください。

コース修了証の発行

登録済みのコースにおける必要科目を取得した場合、下記の期間においてコースの修了証を教務部ロビーの証明書自動発行機より発行します。

●教養特別履修の登録期間

前期 4月29日（火）～7月19日（土）

後期 9月29日（月）～1月10日（土）

●教養特別履修のコース修了証の発行

前期 9月16日（火）～

後期 3月13日（金）～

（注意）卒業年次生は卒業式当日までの発行となります。

3月末～4月2日までは、証明書自動発行機の停止期間となりますので、注意してください。

・教養特別履修の種類

種類	備考
「教養特別履修（英語）」	※「教養特別履修該当科目一覧」は、外国語科目の最後に掲載しています。

全学共通科目

宗教教育科目

1. 履修上の注意

- ①宗教教育科目は、全学共通科目として設置され、必修科目と選択科目に分かれており、定められた単位を修得しなければなりません。
- ②同一名称の科目でも、曜日、時限、担当教員によって内容が異なる場合があります。詳細は『シラバス』を参照してください。
- ③選択科目として修得した単位数は、宗教教育科目として認定され、卒業に必要な広域選択の単位数に算入されます。

2. 開設科目一覧

法律学科フレックス B

必・選	卒業必要		科目名	単位	開講期	配当年次				抽選	履修不可科目	本年度休講	注意事項
	科目数	単位数				1	2	3	4				
必修	1科目	4単位	仏教と人間	4	通年	1							《学生番号指定》 《再クラス》
選択			坐禅	2	半期	1	2	3	4	◎先			

教養教育科目

1. 履修上の注意

- ①教養教育科目は、全学共通科目として設置され、選択必修科目として定められた単位を修得しなければなりません。
- ②教養教育科目は、人文分野、社会分野、自然分野およびライフデザイン分野に分かれています。平成25（2013）年度以前は、人文分野、社会分野、自然分野に分かれていました。平成25年度までに修得した単位数は、修得時の分野で認定されています。
- ③同一名称の科目でも、曜日、時限、担当教員によって、内容が異なる場合があります。詳細は、『シラバス』を参照してください。
- ④「卒業に必要な単位数」の指定を超えて修得した単位数は、教養教育科目の各分野の科目として認定され、卒業に必要な広域選択の単位数に算入されます。
- ⑤フレックスA時間帯（月～金曜日1～5時限、土曜日1～4時限、集中授業）に開講されている教養教育科目を卒業までに12単位まで修得できます。

2. 開設科目一覧

法律学科フレックスB

必・選	卒業必要		分野	科目名	単位	開講期	昼夜制限	配当年次				抽選	履修不可科目	本年度休講	注意事項		
	科目数	単位数						1	2	3	4						
選択必修	16 単位	↑	人文分野	宗教学	4	通年	A	1	2	3	4	◎予	有		平成25（2013）年度以前に入学し、平成25（2013）年度までに「宗教学」を未修得の学生は、「宗教学」・「世界の宗教」・「現代社会と宗教A」・「現代社会と宗教B」のうち1科目しか履修できません。		
				世界の宗教	4	通年	A	1	2	3	4	◎予	有		平成25（2013）年度以前に入学し、平成25（2013）年度までに「宗教学」を未修得の学生は、「宗教学」・「世界の宗教」・「現代社会と宗教A」・「現代社会と宗教B」のうち1科目しか履修できません。		
						人間観 A	2	半期	A	1	2	3	4	◎予	有		
						人間観 B	2	半期	A	1	2	3	4	◎予	有		
						価値観	4	通年	A	1	2	3	4	◎予	有		
						制度とモラル	4	通年	A	1	2	3	4	◎予	有		
						現代と倫理	4	通年		1	2	3	4	◎予	有		
						東洋倫理	4	通年	A	1	2	3	4	◎予	有		
						科学方法論と現代論理	4	通年	A	1	2	3	4	◎予	有		
						知の技法	4	通年	A	1	2	3	4	◎予	有		
						西洋思想の源流	4	通年	A	1	2	3	4	◎予	有		
						近代の人間観と世界観	4	通年	A	1	2	3	4	◎予	有		
						歴史学	4	通年	A	1	2	3	4	◎予			
						文学	4	通年	A	1	2	3	4	◎予			
						人文地理学	4	通年	A	1	2	3	4	◎予			
						英語圏文化研究 a	2	半期		1	2	3	4	◎予			
			英語圏文化研究 b	2	半期		1	2	3	4	◎予						

法律学科フレックス B

必・選	卒業必要		分野	科目名	単位	開講期	昼夜制限	配当年次				抽選	履修不可科目	本年度休講	注意事項	
	科目数	単位数						1	2	3	4					
選択必修	16	単位	社会分野	経済学	4	通年		1	2	3	4	○予	有		・「経済学 A・B」の両方もしくはどちらかの単位を修得済の場合、「経済学」を履修することはできません。また「経済学 A・B」と「経済学」を同時に履修することはできません。	
				経済学 A	2	半期	A	1	2	3	4	○予	有		・「経済学」の単位を修得済の場合「経済学 A・B」を履修することはできません。また「経済学 A・B」と「経済学」を同時に履修することはできません。	
				経済学 B	2	半期	A	1	2	3	4	○予	有		・「経済学」の単位を修得済の場合「経済学 A・B」を履修することはできません。また「経済学 A・B」と「経済学」を同時に履修することはできません。	
				政治学	4	通年	A	1	2	3	4	○予				
				民族と文化 A	2	半期	A	1	2	3	4	○予	有			
				民族と文化 B	2	半期	A	1	2	3	4	○予	有			
				日本の文化と社会	4	通年	A	1	2	3	4	○予	有			
				アジアの社会と文化	4	通年	A	1	2	3	4	○予	有			
				文化人類学概論	4	通年	A	1	2	3	4	○予	有			
				統計学	4	通年	A	1	2	3	4	○予	有			・「統計学 A・B」の両方もしくはどちらかの単位を修得済の場合、「統計学」を履修することはできません。また「統計学 A・B」と「統計学」を同時に履修することはできません。
				統計学 A	2	半期	A	1	2	3	4	○予	有			・「統計学」の単位を修得済の場合「統計学 A・B」を履修することはできません。また「統計学 A・B」と「統計学」を同時に履修することはできません。
				統計学 B	2	半期	A	1	2	3	4	○予	有			・「統計学」の単位を修得済の場合「統計学 A・B」を履修することはできません。また「統計学 A・B」と「統計学」を同時に履修することはできません。
				社会学	4	通年	A	1	2	3	4	○予	有			・「社会学 A・B」の両方もしくはどちらかの単位を修得済の場合、「社会学」を履修することはできません。また「社会学 A・B」と「社会学」を同時に履修することはできません。
				社会学 A	2	半期	A	1	2	3	4	○予	有			・「社会学」の単位を修得済の場合「社会学 A・B」を履修することはできません。また「社会学 A・B」と「社会学」を同時に履修することはできません。
				社会学 B	2	半期	A	1	2	3	4	○予	有			・「社会学」の単位を修得済の場合「社会学 A・B」を履修することはできません。また「社会学 A・B」と「社会学」を同時に履修することはできません。
				社会科学論 A	2	半期	A	1	2	3	4	○予	有			
				社会科学論 B	2	半期	A	1	2	3	4	○予	有			
				現代社会と宗教 A	2	半期	A	1	2	3	4	○予	有			平成25 (2013) 年度以前に入学し、平成25 (2013) 年度までに「宗教学」を未修得の学生は、「宗教学」・「世界の宗教」・「現代社会と宗教 A」・「現代社会と宗教 B」のうち1科目しか履修できません。
				現代社会と宗教 B	2	半期	A	1	2	3	4	○予	有			平成25 (2013) 年度以前に入学し、平成25 (2013) 年度までに「宗教学」を未修得の学生は、「宗教学」・「世界の宗教」・「現代社会と宗教 A」・「現代社会と宗教 B」のうち1科目しか履修できません。
				応用倫理学	4	通年	A	1	2	3	4	○予	有			
現代文明と哲学	4	通年	A	1	2	3	4	○予	有							
都市論	4	通年		1	2	3	4	○予	有							

法律学科フレックス B

必・選	卒業必要		分野	科目名	単位	開講期	昼夜制限	配当年次				抽選	履修不可科目	本年度休講	注意事項	
	科目数	単位数						1	2	3	4					
選択必修	16単位	↓	自然分野	心理学	4	通年		1	2	3	4	◎予	有		・「心理学Ⅰ・Ⅱ」の両方もしくはどちらかの単位を修得済の場合、「心理学」を履修することはできません。また「心理学Ⅰ・Ⅱ」と「心理学」を同時に履修することはできません。 ・通年と集中で開講される講座があります。 ・集中の講座については『シラバス』掲載日程を確認の上、履修登録してください。『授業時間表』では「集中」と表示されます。	
				心理学Ⅰ	2	半期	A	1	2	3	4	◎予	有		・「心理学」の単位を修得済の場合「心理学Ⅰ・Ⅱ」を履修することはできません。また「心理学Ⅰ・Ⅱ」と「心理学」を同時に履修することはできません。	
				心理学Ⅱ	2	半期	A	1	2	3	4	◎予	有			
				数学Ⅳ	2	半期	A	1	2	3	4	◎予	有			
				自然環境論	2	半期	A	1	2	3	4	◎予	有			
				地球科学Ⅰ	2	半期	A	1	2	3	4	◎予	有			
				地球科学Ⅱ	2	半期	A	1	2	3	4	◎予	有			
				生物学Ⅰ	2	半期	A	1	2	3	4	◎予	有			
			生物学Ⅱ	2	半期	A	1	2	3	4	◎予	有				
			ライフデザイン分野	コンピュータ基礎	2	半期		1	2	3	4	◎先				
				新入生セミナー	2	半期		1								《学生番号指定》
				キャリアを考えるⅠ	2	半期	A		2			◎予				・「Ⅱ」と同時履修すること。
				キャリアを考えるⅡ	2	半期	A		2			◎予				・「Ⅱ」は「Ⅰ」と同時に履修すること。または、2年次で「Ⅰ」の単位を修得済であること。

3. 履修不可対象科目

下表の旧科目名で単位を修得済みの場合、現行科目名を履修することはできません。

現行科目名	旧科目名	修得年度
世界の宗教	宗教学	平成25 (2013) 年度以前
現代社会と宗教 A		
現代社会と宗教 B		
人間観 A	倫理学	
人間観 B		
価値観		
制度とモラル		
現代と倫理		
東洋倫理	論理学	
応用倫理学		
科学方法論と現代論理	哲学	
知の技法		
西洋思想の源流		
近代の人間観と世界観		
現代文明と哲学	経済学	
経済学 A		
経済学 B		

民族と文化 A	文化人類学	平成25 (2013) 年度以前	
民族と文化 B			
日本の文化と社会			
アジアの社会と文化			
文化人類学概論			
統計学 A	統計学		
統計学 B			
社会学 A	社会学		
社会学 B			
社会科学論 A	社会科学論		
社会科学論 B			
心理学 I	心理学		
心理学 II			
数学IV	情報数学		
自然環境論 (2単位)	自然環境論 (4単位)		
地球科学 I	地球科学		
地球科学 II			
生物学 I	生物学		
生物学 II			

4. 廃講科目

下表の科目は、廃講年度以降は開講されません。ただし、廃講となった科目の単位を廃講年度以前に修得済みの場合、卒業に必要な単位数として算入され、成績表に記載されます。

廃講科目名	廃講年度
哲学	平成26 (2014) 年度以降
倫理学	
論理学	
社会科学論	
文化人類学	
生物学	
地球科学	
自然環境論 (4単位)	
情報数学	
教育の思想	
教育と社会	
発達と学習の心理学	
カリキュラムと学習	

外国語科目

1. 履修上の注意

- ①外国語科目は、全学共通科目として設置され、選択必修科目と選択科目に分かれています。選択必修科目としての外国語と選択科目としての外国語は、1年次から両方を履修することもできます。いわゆる第2外国語は、選択科目として履修することができます。
- ②同一名称の科目でも、開講期、曜日、時限、担当教員によって、内容が異なる場合があります。詳細は、『シラバス』を参照してください。
- ③選択科目として修得した単位数は、外国語科目として認定され、卒業に必要な広域選択の単位数として算入されます。
- ④入学手続きの際に指定した外国語の I A a・I A b・I B a・I B b・II A a・II A b・II B a・II B bを、選択科目として履修することはできません。
- ⑤フレックスA時間帯（月～金曜日1～5時限、土曜日1～4時限）に開講されている外国語科目を履修することができます。
- ⑥習熟度別クラス編成について
2014（平成26）年度入学生より、英語を選択必修科目として履修する入学者は、全員「英語科目クラス分けテスト」を受験し、そのテストの成績により履修レベルを初級・中級・上級のいずれかに決定しています。（原則的に履修レベルは2年次においても継続されます。）
- ⑦英語選択科目について
英語選択科目は3つのレベルで開講されます。履修する前にクラス分けテストは行いませんが、次のウェブページの説明を読み、自分の英語力にふさわしいレベルの科目を受講してください。
外国語科目について：http://www.komazawa-u.ac.jp/cms/gaikokugo_risyu

2. 開設科目一覧

法律学科フレックスB

必・選	卒業必要		科目名	単位	開講期	配当年次	抽選	履修不可科目	本年度休講	注意事項	
	科目数	単位数									
入学手続き時に指定した外国語の I A a・I A b・I B a・I B b 選択必修	4	4	英語 I A a	1	半期	1				有	《学生番号指定》 《再クラス》
			英語 I A b	1	半期	1				有	
			英語 I B a	1	半期	1				有	
			英語 I B b	1	半期	1				有	
			ドイツ語 I A a	1	半期	1				有	《学生番号指定》 《再クラス》
			ドイツ語 I A b	1	半期	1				有	
			ドイツ語 I B a	1	半期	1				有	
			ドイツ語 I B b	1	半期	1				有	
			フランス語 I A a	1	半期	1				有	
			フランス語 I A b	1	半期	1				有	
			フランス語 I B a	1	半期	1				有	
			フランス語 I B b	1	半期	1				有	
			中国語 I A a	1	半期	1				有	
			中国語 I A b	1	半期	1				有	
			中国語 I B a	1	半期	1				有	
			中国語 I B b	1	半期	1				有	
			スペイン語 I A a	1	半期	1				有	
			スペイン語 I A b	1	半期	1				有	

法律学科フレックス B

必 選	卒業必要		科目名	単位	開講期	配当年次			抽選	履修 不可 科目	本年 度休 講	注意事項
	科目 数	単位 数										
			スペイン語 I B a	1	半期	1					有	《学生番号指定》 《再クラス》
			スペイン語 I B b	1	半期	1					有	
			ロシア語 I A a	1	半期	1					有	
			ロシア語 I A b	1	半期	1					有	
			ロシア語 I B a	1	半期	1					有	
			ロシア語 I B b	1	半期	1					有	
1 年次で履修した当該外国語の ⅡAa: ⅡAb: ⅡBa: ⅡBb:	4 科目	4 単位	英語Ⅱ Aa	1	半期		2				有	《学生番号指定》 《再クラス》
			英語Ⅱ Ab	1	半期		2				有	
			英語Ⅱ Ba	1	半期		2				有	
			英語Ⅱ Bb	1	半期		2				有	
			ドイツ語Ⅱ A a	1	半期		2				有	《再クラス》
			ドイツ語Ⅱ A b	1	半期		2				有	
			ドイツ語Ⅱ B a	1	半期		2				有	
			ドイツ語Ⅱ B b	1	半期		2				有	
			フランス語Ⅱ A a	1	半期		2				有	
			フランス語Ⅱ A b	1	半期		2				有	
			フランス語Ⅱ B a	1	半期		2				有	
			フランス語Ⅱ B b	1	半期		2				有	
			中国語Ⅱ A a	1	半期		2				有	
			中国語Ⅱ A b	1	半期		2				有	
			中国語Ⅱ B a	1	半期		2				有	
			中国語Ⅱ B b	1	半期		2				有	
			スペイン語Ⅱ A a	1	半期		2				有	
			スペイン語Ⅱ A b	1	半期		2				有	
			スペイン語Ⅱ B a	1	半期		2				有	
			スペイン語Ⅱ B b	1	半期		2				有	
			ロシア語Ⅱ A a	1	半期		2				有	
			ロシア語Ⅱ A b	1	半期		2				有	
			ロシア語Ⅱ B a	1	半期		2				有	
			ロシア語Ⅱ B b	1	半期		2				有	

法律学科フレックス B

必・選	卒業必要		科目名	単位	開講期	配当年次				抽選	履修不可科目	本年度休講	注意事項
	科目数	単位数				1	2	3	4				
選択			実用英会話（日常生活編）	1	半期	1	2	3	4	◎予			
			実用英会話（旅行編）	1	半期	1	2	3	4	◎予			
			実用英語資格試験Ⅰa（聴解）	1	半期	1	2	3	4	◎予			
			実用英語資格試験Ⅰb（文法・読解）	1	半期	1	2	3	4	◎予			
			ビジネス英語Ⅰ	1	半期	1	2	3	4	◎予			
			英語プレゼンテーションⅠa	1	半期	1	2	3	4	◎予			
			英語プレゼンテーションⅠb	1	半期	1	2	3	4	◎予			
			実用英語資格試験Ⅱa（聴解）	1	半期	1	2	3	4	◎予			
			実用英語資格試験Ⅱb（文法・読解）	1	半期	1	2	3	4	◎予			
			ビジネス英語Ⅱ	1	半期	1	2	3	4	◎予			
			英語プレゼンテーションⅡa	1	半期	1	2	3	4	◎予			
			英語プレゼンテーションⅡb	1	半期	1	2	3	4	◎予			
			英語ディスカッションⅠa	1	半期	1	2	3	4	◎予			
			英語ディスカッションⅠb	1	半期	1	2	3	4	◎予			
			学術英語資格試験Ⅰa（読解）	1	半期	1	2	3	4	◎予			
			学術英語資格試験Ⅰb（聴解・会話）	1	半期	1	2	3	4	◎予			
			英語アカデミック・ライティングⅠa	1	半期	1	2	3	4	◎予			
			英語アカデミック・ライティングⅠb	1	半期	1	2	3	4	◎予			
			実用英語資格試験Ⅲa（聴解）	1	半期	1	2	3	4	◎予			
			実用英語資格試験Ⅲb（文法・読解）	1	半期	1	2	3	4	◎予			
			総合英語資格試験a（読解）	1	半期	1	2	3	4	◎予			
			総合英語資格試験b（聴解・二次）	1	半期	1	2	3	4	◎予			
			英語ディスカッションⅡa	1	半期	1	2	3	4	◎予			
			英語ディスカッションⅡb	1	半期	1	2	3	4	◎予			
			学術英語資格試験Ⅱa（読解）	1	半期	1	2	3	4	◎予			
			学術英語資格試験Ⅱb（聴解・会話）	1	半期	1	2	3	4	◎予			
			英語アカデミック・ライティングⅡ	1	半期	1	2	3	4	◎予			
			英語多読・多聴a	1	半期	1	2	3	4	◎予			
			英語多読・多聴b	1	半期	1	2	3	4	◎予			
			英語クリエイティブ・ライティング	1	半期	1	2	3	4	◎予			
			パフォーマンス・イン・イングリッシュ	1	半期	1	2	3	4	◎予			
			英語で学ぶ教養（言語Ⅰ）	2	半期	1	2	3	4	◎予			
			英語で学ぶ教養（言語Ⅱ）	2	半期	1	2	3	4	◎予			
			英語で学ぶ教養（言語Ⅲ）	2	半期	1	2	3	4	◎予			
			英語で学ぶ教養（言語Ⅳ）	2	半期	1	2	3	4	◎予			
			英語で学ぶ教養（言語Ⅴ）	2	半期	1	2	3	4	◎予			
			英語で学ぶ教養（言語Ⅵ）	2	半期	1	2	3	4	◎予			
			英語で学ぶ教養（言語Ⅶ）	2	半期	1	2	3	4	◎予			
			英語で学ぶ教養（言語Ⅷ）	2	半期	1	2	3	4	◎予			
			英語で学ぶ教養（文化Ⅰ）	2	半期	1	2	3	4	◎予			
		英語で学ぶ教養（文化Ⅱ）	2	半期	1	2	3	4	◎予				
		英語で学ぶ教養（文化Ⅲ）	2	半期	1	2	3	4	◎予				
		英語で学ぶ教養（文化Ⅳ）	2	半期	1	2	3	4	◎予				
		英語で学ぶ教養（文化Ⅴ）	2	半期	1	2	3	4	◎予				
		英語で学ぶ教養（文化Ⅵ）	2	半期	1	2	3	4	◎予				

法律学科フレックス B

必・選	卒業必要		科目名	単位	開講期	配当年次				抽選	履修不可科目	本年度休講	注意事項	
	科目数	単位数				1	2	3	4					
選択			英語で学ぶ教養（歴史と社会Ⅰ）	2	半期	1	2	3	4	◎予				
			英語で学ぶ教養（歴史と社会Ⅱ）	2	半期	1	2	3	4	◎予				
			英語で学ぶ教養（歴史と社会Ⅲ）	2	半期	1	2	3	4	◎予				
			英語で学ぶ教養（歴史と社会Ⅳ）	2	半期	1	2	3	4	◎予				
			英語で学ぶ教養（歴史と社会Ⅴ）	2	半期	1	2	3	4	◎予				
			英語で学ぶ教養（歴史と社会Ⅵ）	2	半期	1	2	3	4	◎予				
			英語ⅠA a	1	半期	1	2	3	4	◎予	有			
			英語ⅠA b	1	半期	1	2	3	4	◎予	有			
			英語ⅠB a	1	半期	1	2	3	4	◎予	有			
			英語ⅠB b	1	半期	1	2	3	4	◎予	有			
			英語ⅡA a	1	半期		2	3	4	◎予	有		・当該外国語科目の以下のいずれかの単位を修得済みであることが望ましい。 ・「IAa」・「IAb」・「IBa」・「IBb」（選択科目）	
			英語ⅡA b	1	半期		2	3	4	◎予	有			
			英語ⅡB a	1	半期		2	3	4	◎予	有			
			英語ⅡB b	1	半期		2	3	4	◎予	有			
			ドイツ語ⅠA a	1	半期	1	2	3	4	◎予	有			
			ドイツ語ⅠA b	1	半期	1	2	3	4	◎予	有			
			ドイツ語ⅠB a	1	半期	1	2	3	4	◎予	有			
			ドイツ語ⅠB b	1	半期	1	2	3	4	◎予	有			
			ドイツ語ⅡA a	1	半期		2	3	4	◎予	有			・当該外国語科目の以下のいずれかの単位を修得済みであることが望ましい。 ・「IAa」・「IAb」・「IBa」・「IBb」（選択科目）
			ドイツ語ⅡA b	1	半期		2	3	4	◎予	有			
			ドイツ語ⅡB a	1	半期		2	3	4	◎予	有			
			ドイツ語ⅡB b	1	半期		2	3	4	◎予	有			
			フランス語ⅠA a	1	半期	1	2	3	4	◎予	有			
			フランス語ⅠA b	1	半期	1	2	3	4	◎予	有			
			フランス語ⅠB a	1	半期	1	2	3	4	◎予	有			
			フランス語ⅠB b	1	半期	1	2	3	4	◎予	有			
			フランス語ⅡA a	1	半期		2	3	4	◎予	有			・当該外国語科目の以下のいずれかの単位を修得済みであることが望ましい。 ・「IAa」・「IAb」・「IBa」・「IBb」（選択科目）
			フランス語ⅡA b	1	半期		2	3	4	◎予	有			
			フランス語ⅡB a	1	半期		2	3	4	◎予	有			
			フランス語ⅡB b	1	半期		2	3	4	◎予	有			
			中国語ⅠA a	1	半期	1	2	3	4	◎予	有			
			中国語ⅠA b	1	半期	1	2	3	4	◎予	有			
		中国語ⅠB a	1	半期	1	2	3	4	◎予	有				
		中国語ⅠB b	1	半期	1	2	3	4	◎予	有				
		中国語ⅡA a	1	半期		2	3	4	◎予	有		・当該外国語科目の以下のいずれかの単位を修得済みであることが望ましい。 ・「IAa」・「IAb」・「IBa」・「IBb」（選択科目）		
		中国語ⅡA b	1	半期		2	3	4	◎予	有				
		中国語ⅡB a	1	半期		2	3	4	◎予	有				
		中国語ⅡB b	1	半期		2	3	4	◎予	有				
		スペイン語ⅠA a	1	半期	1	2	3	4	◎予	有				
		スペイン語ⅠA b	1	半期	1	2	3	4	◎予	有				

・履修を希望する場合、教務部7～10番窓口で申請する必要があります。
 ・選択必修科目として履修した外国語「IAa」・「IAb」・「IBa」・「IBb」・「IIAa」・「IIAb」・「IIBa」・「IIBb」を選択科目として履修することはできません。

法律学科フレックス B

必・選	卒業必要		科目名	単位	開講期	配当年次				抽選	履修不可科目	本年度休講	注意事項
	科目数	単位数				1	2	3	4				
選択			スペイン語 I B a	1	半期	1	2	3	4	◎予	有		<p>・当該外国語科目の以下のいずれかの単位を修得済みであることが望ましい。 ・「IAa」・「IAb」・「IBa」・「IBb」（選択科目）</p> <p>・履修を希望する場合、教務部7～10番窓口で申請する必要があります。 ・選択必修科目として履修した外国語「IAa」・「IAb」・「IBa」・「IBb」・「IIAa」・「IIAb」・「IIBa」・「IIBb」を選択科目として履修することはできません。</p>
			スペイン語 I B b	1	半期	1	2	3	4	◎予	有		
			スペイン語 II A a	1	半期		2	3	4	◎予	有		
			スペイン語 II A b	1	半期		2	3	4	◎予	有		
			スペイン語 II B a	1	半期		2	3	4	◎予	有		
			スペイン語 II B b	1	半期		2	3	4	◎予	有		
			ロシア語 I A a	1	半期	1	2	3	4	◎予	有		
			ロシア語 I A b	1	半期	1	2	3	4	◎予	有		
			ロシア語 I B a	1	半期	1	2	3	4	◎予	有		
			ロシア語 I B b	1	半期	1	2	3	4	◎予	有		
			ロシア語 II A a	1	半期		2	3	4	◎予	有		
			ロシア語 II A b	1	半期		2	3	4	◎予	有		
			ロシア語 II B a	1	半期		2	3	4	◎予	有		
			ロシア語 II B b	1	半期		2	3	4	◎予	有		
			外国文化 a	2	半期	1	2	3	4	◎予			
		外国文化 b	2	半期	1	2	3	4	◎予				

3. 履修不可対象科目

下表の旧科目名で単位を修得済みの場合、現行科目名を履修することはできません。

現行科目名	旧科目名	修得年度	現行科目名	旧科目名	修得年度
英語 I Aa	英語 I A	平成25 (2013) 年度以前	ドイツ語 II A a	ドイツ語 II A	平成25 (2013) 年度以前
英語 I Ab			ドイツ語 II A b		
英語 I Ba	英語 I B		ドイツ語 II B a	ドイツ語 II B	
英語 I Bb			ドイツ語 II B b		
ドイツ語 I A a	ドイツ語 I A		フランス語 II A a	フランス語 II A	
ドイツ語 I A b			フランス語 II A b		
ドイツ語 I B a	ドイツ語 I B		フランス語 II B a	フランス語 II B	
ドイツ語 I B b			フランス語 II B b		
フランス語 I A a	フランス語 I A		中国語 II A a	中国語 II A	
フランス語 I A b			中国語 II A b		
フランス語 I B a	フランス語 I B		中国語 II B a	中国語 II B	
フランス語 I B b			中国語 II B b		
中国語 I A a	中国語 I A		スペイン語 II A a	スペイン語 II A	
中国語 I A b			スペイン語 II A b		
中国語 I B a	中国語 I B		スペイン語 II B a	スペイン語 II B	
中国語 I B b			スペイン語 II B b		
スペイン語 I A a	スペイン語 I A		ロシア語 II A a	ロシア語 II A	
スペイン語 I A b			ロシア語 II A b		
スペイン語 I B a	スペイン語 I B		ロシア語 II B a	ロシア語 II B	
スペイン語 I B b			ロシア語 II B b		
ロシア語 I A a	ロシア語 I A				
ロシア語 I A b					
ロシア語 I B a	ロシア語 I B				
ロシア語 I B b					
英語 II Aa	英語 II A				
英語 II Ab					
英語 II Ba	英語 II B				
英語 II Bb					

4. 廃講科目

下表の科目は、廃講年度以降は開講されません。ただし、廃講となった科目の単位を廃講年度以前に修得済みの場合、卒業に必要な単位数として算入され、成績表に記載されます。

廃講科目名	廃講年度
英語 I A	平成26 (2014) 年度以降
英語 I B	
ドイツ語 I A	
ドイツ語 I B	
フランス語 I A	
フランス語 I B	
中国語 I A	
中国語 I B	
スペイン語 I A	
スペイン語 I B	
ロシア語 I A	
ロシア語 I B	
英語 II A	
英語 II B	
ドイツ語 II A	
ドイツ語 II B	
フランス語 II A	
フランス語 II B	
中国語 II A	
中国語 II B	
スペイン語 II A	
スペイン語 II B	
ロシア語 II A	
ロシア語 II B	
英会話 I	
英語 L L I	
英会話 II	
英語 L L II	

5. 教養特別履修該当科目一覧

「教養特別履修（英語）」

領域	配置科目	単位	必要単位数
英語の読解・聴解力を高める	実用英語資格試験Ⅱ a（聴解）	1	8
	実用英語資格試験Ⅱ b（文法・読解）	1	
	ビジネス英語Ⅱ	1	
	英語プレゼンテーションⅡ a	1	
	英語プレゼンテーションⅡ b	1	
	英語ディスカッションⅠ a	1	
	英語ディスカッションⅠ b	1	
	学術英語資格試験Ⅰ a（読解）	1	
	学術英語資格試験Ⅰ b（聴解・会話）	1	
	英語アカデミック・ライティングⅠ a	1	
	英語アカデミック・ライティングⅠ b	1	
	実用英語資格試験Ⅲ a（聴解）	1	
	実用英語資格試験Ⅲ b（文法・読解）	1	
	総合英語資格試験 a（読解）	1	
	総合英語資格試験 b（聴解・二次）	1	
	英語ディスカッションⅡ a	1	
	英語ディスカッションⅡ b	1	
	学術英語資格試験Ⅱ a（読解）	1	
	学術英語資格試験Ⅱ b（聴解・会話）	1	
	英語アカデミック・ライティングⅡ	1	
英語によって教養を学ぶ	英語で学ぶ教養（言語Ⅰ）	2	8
	英語で学ぶ教養（言語Ⅱ）	2	
	英語で学ぶ教養（言語Ⅲ）	2	
	英語で学ぶ教養（言語Ⅳ）	2	
	英語で学ぶ教養（言語Ⅴ）	2	
	英語で学ぶ教養（言語Ⅵ）	2	
	英語で学ぶ教養（言語Ⅶ）	2	
	英語で学ぶ教養（言語Ⅷ）	2	
	英語で学ぶ教養（文化Ⅰ）	2	
	英語で学ぶ教養（文化Ⅱ）	2	
	英語で学ぶ教養（文化Ⅲ）	2	
	英語で学ぶ教養（文化Ⅳ）	2	
	英語で学ぶ教養（文化Ⅴ）	2	
	英語で学ぶ教養（文化Ⅵ）	2	
	英語で学ぶ教養（歴史と社会Ⅰ）	2	
	英語で学ぶ教養（歴史と社会Ⅱ）	2	
	英語で学ぶ教養（歴史と社会Ⅲ）	2	
	英語で学ぶ教養（歴史と社会Ⅳ）	2	
	英語で学ぶ教養（歴史と社会Ⅴ）	2	
	英語で学ぶ教養（歴史と社会Ⅵ）	2	
合計必要単位			16

保健体育科目

1. 履修上の注意

- ①保健体育科目は、全学共通科目の選択科目として設置されており、実技科目・講義実技科目・講義科目に分かれています。
- ②修得した単位数は、保健体育科目として認定され、卒業に必要な広域選択の単位数に算入されます。ただし、履修の上限は6単位までとします。
- ③見学について
 - ・体調不良者は指導教員の許可を得て、授業を見学することができます。
 - ・やむを得ない事情により、長期にわたる運動制限を余儀なくされた場合、長期見学者扱いとします。授業の参加形態は指導教員と相談してください。
- ④服装について
 - ・服装および更衣室については、指導教員の指示に従ってください。
- ⑤事故・負傷・貴重品の管理について
 - ・実技の時間に事故・負傷が発生した場合、直ちに指導教員に報告し、指示を受けてください。
 - ・貴重品の管理は、各自で行い、貴重品ロッカーを利用するなど十分注意してください。
- ⑥「生涯スポーツ演習Ⅰ・Ⅱ」について
 - ・『授業時間表』では、「特时限」に掲載されています。
 - ・同一年度に「生涯スポーツ演習Ⅰ」から1科目、「生涯スポーツ演習Ⅱ」から1科目履修できます。
 - ・オリエンテーションに出席し、「受講許可書」の発行を受けてください。受講許可を受けた後、実習費を納入した学生が履修できます。
 - ・1回目のオリエンテーションで定員に達しない場合、2回目のオリエンテーションを実施します。
 - ・オリエンテーション日程
 - 1回目：4月 5日（土）12:10～12:40 1-304教場
 - 2回目：4月 12日（土）12:10～12:40 1-304教場
 - ・この科目は教務部でKONECO履修登録を行います。従って、年間履修制限単位数から、履修する「生涯スポーツ演習Ⅰ・Ⅱ」の単位数分を差し引いた状態で履修登録を完了させてください。履修確認期間に科目の登録が行われているかを必ず確認してください。
 - ・授業日程

生涯スポーツ演習Ⅰ	①種目・定員：ゴルフ・40名 ②日程 (1) 事前授業 7月19日（土）13:00～16:10 教場はオリエンテーション時にお知らせします。 (2) 合宿授業 9月1日（月）に玉川校舎の玉-306教場で実施 9月2日（火）～5日（金）3泊4日
生涯スポーツ演習Ⅱ	①種目・定員：スキー・25名、スノーボード・35名 ②日程 (1) 事前授業 1月8日（木）13:00～16:10 教場はオリエンテーション時にお知らせします。 (2) 合宿授業 1月27日（火）～31日（土）4泊5日

2. 開設科目一覧

法律学科フレックス B

必 選	卒業必要		科目名	単位	開講期	配当年次				抽選	履修 不可 科目	注意事項	
	科目数	単位数				1	2	3	4				
選 択			実技 健康・スポーツ実習	2	通年	1						《種目：定員》 ・室内球技 ・4月初回の授業で種目を決定します。服装は普段着で結構ですが、必ず出席してください。	
			講義 実技	生涯スポーツ演習Ⅰ（シーズン基礎A）	2	シーズン	1	2	3	4			・「1. 履修上の注意」を参照してください。
				生涯スポーツ演習Ⅰ（シーズン基礎B）	2	シーズン	1	2	3	4			
				生涯スポーツ演習Ⅰ（シーズン応用A）	2	シーズン	1	2	3	4			
				生涯スポーツ演習Ⅰ（シーズン応用B）	2	シーズン	1	2	3	4			
				生涯スポーツ演習Ⅱ（シーズン基礎A）	2	シーズン	1	2	3	4			
				生涯スポーツ演習Ⅱ（シーズン基礎B）	2	シーズン	1	2	3	4			
				生涯スポーツ演習Ⅱ（シーズン応用A）	2	シーズン	1	2	3	4			
				生涯スポーツ演習Ⅱ（シーズン応用B）	2	シーズン	1	2	3	4			
			講義 健康・スポーツ論	2	半期	1	2	3	4	◎予			

3. 廃講科目

下表の科目は、廃講年度以降は開講されません。ただし、廃講となった科目の単位を廃講年度以前に修得済みの場合、卒業に必要な単位数として算入され、成績表に記載されます。

廃講科目名	廃講年度
生涯スポーツ演習Ⅰ（シーズン・基礎）	平成25（2013）年度以降
生涯スポーツ演習Ⅰ（シーズン・応用）	
生涯スポーツ演習Ⅱ（シーズン・基礎）	
生涯スポーツ演習Ⅱ（シーズン・応用）	
生涯スポーツ実習（集中前期・基礎）	平成22（2010）年度以降
生涯スポーツ実習（集中前期・応用）	
生涯スポーツ実習（集中後期・基礎）	
生涯スポーツ実習（集中後期・応用）	

専門教育科目

1. 履修上の注意

- ①専門教育科目は、必修科目、選択必修科目および選択科目に分かれ、定められた単位を修得しなければなりません。専門教育科目全般にわたって十分検討して履修することが必要です。
- ②定められた単位を超えて修得した選択必修科目の単位数は、専門教育科目の選択科目として卒業に必要な単位数に算入されます。
- ③定められた単位を超えて修得した選択科目の単位数は、専門教育科目として認定され、卒業に必要な広域選択の単位数に算入されます。
- ④フレックスA時間帯（月～金曜日1～5時限、土曜日1～4時限）に開講されている専門教育科目の選択科目（開設科目一覧・開講時限「A」印）を卒業までに40単位まで修得できます。なお、開設科目一覧・開講時限に「○」印がある科目は、フレックスA時間帯だけに開講している科目です。「A」印の説明にある修得制限単位数には含まれません。
また、フレックスB時間帯に休講であっても、フレックスA時間帯に開講されている科目は、履修することができます。
- ⑤前年度までに単位を修得した科目は、その時点で指定されていた履修単位の区分（必修・選択必修・選択）で単位が認定されます。従って、前年度と同一名称の科目であっても、履修単位の区分が変更していた場合、単位を修得した時点の履修単位の区分で単位が認定されます（例：前年度は選択科目だった科目Aが、今年度は選択必修として開講していた。前年度までに科目Aの単位を修得している場合、それは選択科目として単位が認定される。逆に前年度までに科目Aの単位を未修得の場合、今年度以降に単位を修得すると選択必修として単位が認定される）。
- ⑥開設科目一覧上に指定されている卒業に必要な単位数・科目数も、前年度に指定されていた条件に該当する科目名で単位を修得済みの場合、今年度に対象科目名が変更していたとしても、前年度までに指定されていた卒業必要科目数・単位数を満たしていると判断します。また、前年度までに指定されていた卒業必要科目数・単位数を満たしていない場合は、今年度開講している科目名で条件を満たすことになります。

2. 開設科目一覧

対象入学年度：法律学科フレックスB 平成21（2009）年度以降入学生

必・選	卒業必要		科目名	単位	開講期	昼夜制限	配当年次			抽選	履修不可科目	本年度休講	注意事項		
	科目数	単位数													
必修	4科目	14単位	法学概論	2	半期		1								
			憲法	4	通年		1								
			民法総則	4	通年		1								
			刑法総論	4	通年		1								
選択必修	2科目	8単位	会社法	4	通年			2		◎予					
			債権総論	4	通年			2		◎予					
			物権法	4	通年			2		◎予					
			行政法	4	通年			2		◎予					
選択	68単位以上	↑	新入生演習	2	通年		1						<p>《学生番号指定》</p> <p>・「新入生演習」は、法律学科で法学を学修していくための基本的なスキルや学修方法を修得することを目的とする実践的目的の科目です。設定は、選択科目になっていますが、すべての1年次生が履修できるようにクラス分けして配置してあります。</p> <p>できる限り履修するようにしてください。</p> <p>授業形態は、教室での一斉演習と、担当教員の研究室での個別指導との組み合わせです。</p> <p>・1年次生のみ履修可能です。</p>		
			比較憲法	4	通年	○	1				◎先				
			法社会学	4	通年	○	1				◎予				
			日本法制史	4	通年	A	1				◎予			・隔年開講	
			西洋法制史	4	通年	A	1				◎予		休	・隔年開講	
			政治学原論	4	通年	A	1				◎予				
			政治史	4	通年	○	1				◎予				
			経済原論	4	通年	A	1				◎先				
			行政学	4	通年	A	1				◎予				
			法律時事英語	4	通年	○	1				◎予				
			商法総則・商行為法	4	通年				2		◎予				
			刑法各論	4	通年				2		◎予				
			刑事政策	4	通年	A	2				◎予				
			裁判法	4	通年	A	2				◎予				
			国際法	4	通年				2		◎予				
			債権各論	4	通年	A	2				◎予				
			英米法	4	通年	A	2				◎予			・隔年開講	
			仏法	4	通年	○	2				◎予				
			独法	4	通年	○	2				◎予				
			法思想史	4	通年	A	2				◎予				
			演習Ⅰ	4	通年				3						<p>《受講制限》</p> <p>・希望者は、2年次10月上旬（日時は掲示）開催の演習説明会にて選考方法を確認のうえ、担当教員に履修を許可された者のみ履修できます。</p>
			外書講読Ⅰ（英書）	4	通年	○			3		◎予				
外書講読Ⅰ（独書）	4	通年	○			3		◎予							
外書講読Ⅰ（仏書）	4	通年	○			3		◎予							
外書講読Ⅰ（中国書）	4	通年	○			3		◎予							

対象入学年度：法律学科フレックスB 平成21（2009）年度以降入学生

必・選	卒業必要		科目名	単位	開講期	昼夜制限	配当年次			抽選	履修不可科目	本年度休講	注意事項	
	科目数	単位数												
選 択	68 単 位 以 上		担保物権法	4	通年			3	◎予					
			家族法	4	通年			3	◎予					
			有価証券法	4	通年			3	◎予					
			登記法	4	通年			3	◎予					
			保険・海商法	4	通年			3	◎予					
			民事訴訟法	4	通年	A		3	◎予					
			刑事訴訟法	4	通年			3	◎予					
			労働法	4	通年			3	◎予					
			社会保障法	4	通年			3	◎予					
			行政救済法	4	通年			3	◎予					
			税法	4	通年	A		3	◎予					
			地方自治法	4	通年	A		3	◎予					
			国際紛争解決法	4	通年	○		3	◎予					
			国際私法	4	通年			3	◎予					
			環境法	4	通年	A		3	◎予			休		
			経済法	4	通年	A		3	◎予					
			消費者法	4	通年	○		3	◎予					
			知的財産権法	4	通年	A		3	◎予					
			民事執行・保全法	4	通年	A		3	◎予					
			倒産処理法	4	通年	A		3	◎予					
			法哲学	4	通年	○		3	◎予					
			法律学特殊講義	4	通年	○		3	◎予			休		
			財政学	4	通年	A		3	◎予					
			国際関係論	4	通年	A		3	◎予					
			経済政策	4	通年	A		3	◎予					
			社会政策	4	通年	○		3	◎予					
			実務演習Ⅰ	4	通年			3						《受講制限》 ・4月初回の授業に出席して担当教員から受講許可を得なければ履修できません。
			実務演習Ⅱ	4	通年			3						
			実務演習Ⅲ	4	通年			3						
			現代企業論	2	半期	○		3	◎予					
			簿記論	4	通年			3					休	
			経営学総論	4	通年			3					休	
	会計学総論	4	通年			3					休			
	演習Ⅱ	4	通年			4						《受講制限》 ・希望者は、3年次10月上旬開催の演習説明会にて選考方法を確認のうえ、担当教員に履修を許可された者のみ履修できます。		
	外書講読Ⅱ（英書）	4	通年	○		4	◎予							
	外書講読Ⅱ（独書）	4	通年	○		4	◎予							
	外書講読Ⅱ（仏書）	4	通年	○		4	◎予							
	外書講読Ⅱ（中国書）	4	通年	○		4	◎予							

対象入学年度：法律学科フレックスB 平成20（2008）年度以前入学生

必・選	卒業必要		科目名	単位	開講期	昼夜制限	配当年次			抽選	履修不可科目	本年度休講	注意事項	
	科目数	単位数												
必修	6科目	18単位	法学概論	2	半期		1							
			公法入門	2	半期		1							
			私法入門	2	半期		1							
			憲法	4	通年		1							
			民法総則	4	通年		1							
			刑法総論	4	通年		1							
選択必修	2科目	8単位	会社法	4	通年			2		◎予				
			債権総論	4	通年			2		◎予				
			物権法	4	通年			2		◎予				
			行政法	4	通年			2		◎予				
選択	64単位以上	新入生演習	2	通年		1							<p>《学生番号指定》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「新入生演習」は、法律学科で法学を学修していくための基本的なスキルや学修方法を修得することを目的とする実践的目的の科目です。設定は、選択科目になっていますが、すべての1年次生が履修できるようにクラス分けして配置しております。できる限り履修するようにしてください。 授業形態は、教室での一斉演習と、担当教員の研究室での個別指導との組み合わせです。 ・1年次生のみ履修可能です。 	
		比較憲法	4	通年	○	1				◎先				
		法社会学	4	通年	○	1				◎予				
		日本法制史	4	通年	A	1				◎予			・隔年開講	
		西洋法制史	4	通年	A	1				◎予		休	・隔年開講	
		政治学原論	4	通年	A	1				◎予				
		政治史	4	通年	○	1				◎予				
		経済原論	4	通年	A	1				◎先				
		行政学	4	通年	A	1				◎予				
		法律時事英語	4	通年	○	1				◎予				
		商法総則・商行為法	4	通年				2			◎予			
		刑法各論	4	通年				2			◎予			
		刑事政策	4	通年	A	2					◎予			
		裁判法	4	通年	A	2					◎予			
		国際法	4	通年				2			◎予			
		債権各論	4	通年	A	2					◎予			
		英米法	4	通年	A	2					◎予		・隔年開講	
		仏法	4	通年	○	2					◎予			
		独法	4	通年	○	2					◎予			
		法思想史	4	通年	A	2					◎予			
		演習 I	4	通年					3					<p>《受講制限》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・希望者は、2年次10月上旬（日時は掲示）開催の演習説明会にて選考方法を確認のうえ、担当教員に履修を許可された者のみ履修できます。
		外書講読 I（英書）	4	通年	○			3			◎予			
		外書講読 I（独書）	4	通年	○			3			◎予			
外書講読 I（仏書）	4	通年	○			3			◎予					

対象入学年度：法律学科フレックスB 平成20（2008）年度以前入学生

必・選	卒業必要		科目名	単位	開講期	昼夜制限	配当年次			抽選	履修不可科目	本年度休講	注意事項	
	科目数	単位数												
選 択	64 単 位 以 上		外書講読Ⅰ（中国書）	4	通年	○			3	◎予				
			担保物権法	4	通年				3	◎予				
			家族法	4	通年				3	◎予				
			有価証券法	4	通年				3	◎予				
			登記法	4	通年				3	◎予				
			保険・海商法	4	通年				3	◎予				
			民事訴訟法	4	通年	A			3	◎予				
			刑事訴訟法	4	通年				3	◎予				
			労働法	4	通年				3	◎予				
			社会保障法	4	通年				3	◎予				
			行政救済法	4	通年				3	◎予				
			税法	4	通年	A			3	◎予				
			地方自治法	4	通年	A			3	◎予				
			国際紛争解決法	4	通年	○			3	◎予				
			国際私法	4	通年				3	◎予				
			環境法	4	通年	A			3	◎予			休	
			経済法	4	通年	A			3	◎予				
			消費者法	4	通年	○			3	◎予				
			知的財産権法	4	通年	A			3	◎予				
			民事執行・保全法	4	通年	A			3	◎予				
			倒産処理法	4	通年	A			3	◎予				
			法哲学	4	通年	○			3	◎予				
			法律学特殊講義	4	通年	○			3	◎予			休	
			財政学	4	通年	A			3	◎予				
			国際関係論	4	通年	A			3	◎予				
			経済政策	4	通年	A			3	◎予				
			社会政策	4	通年	○			3	◎予				
			実務演習Ⅰ	4	通年				3					《受講制限》 ・4月初回の授業に出席して担当教員から受講許可を得なければ履修できません。
			実務演習Ⅱ	4	通年				3					
			実務演習Ⅲ	4	通年				3					
			現代企業論	2	半期	○			3	◎予				
			簿記論	4	通年				3				休	
	経営学総論	4	通年				3				休			
	会計学総論	4	通年				3				休			
	演習Ⅱ	4	通年					4				《受講制限》 ・希望者は、3年次10月上旬（日時は掲示）開催の演習説明会にて選考方法を確認のうえ、担当教員に履修を許可された者のみ履修できます。		
	外書講読Ⅱ（英書）	4	通年	○			4	◎予						
	外書講読Ⅱ（独書）	4	通年	○			4	◎予						
	外書講読Ⅱ（仏書）	4	通年	○			4	◎予						
	外書講読Ⅱ（中国書）	4	通年	○			4	◎予						

他学部履修科目

1. 履修上の注意

(1) 他学部履修科目とは

所属学科以外の学部・学科が、他学部履修科目として公開した専門教育科目の中から、所属学科が履修を認めた授業科目を履修することができます。

(2) 履修方法

①履修年次

3年次以上を対象とします。

②履修・修得可能単位数

卒業までに修得できる単位数は、**16単位以内**とします。

なお、フレックスBの学生が、フレックスA時間帯で他学部履修科目を履修する場合、その単位は、フレックスA時間帯で修得できる単位数40単位に含まれます。

③履修制限単位

他学部履修する授業科目の単位は、各年次の履修制限単位数に含まれます。

④受講制限

他学部履修科目には、科目ごとに履修定員を設けています。定員を超える履修申込があった場合には、KONECO上で抽選が行われ履修者が決定されます。

⑤単位認定

修得した単位数は、所属学科の専門教育科目の選択科目として認定され、**卒業に必要な専門選択の単位数に算入**されます。

(3) 履修登録の流れ

他学部履修科目を履修する場合、下記の手続きが必要となります。

①他学部履修希望科目を決める

※『他学部履修科目授業時間表』『シラバス』を参照し、開講曜日・時限、授業概要等を確認する。



② KONECO で履修登録する（履修申込期間より受付開始）

※履修申込者数が履修定員を超えた場合、KONECO上で抽選が行われ履修者が決定する。



③履修登録完了

※履修申込者数が履修定員に満たなかった他学部履修科目は、履修訂正期間に先着順で申込みことができるようになります。

※申し込んだ他学部履修科目の履修を取り消したい場合は、履修訂正期間内に KONECO 上で取消を行うこと。



④履修確認期間に、申し込んだ科目が登録されているか KONECO 上で確認する。

2. 開設科目一覧

○フレックスA時間帯で開講される他学部履修科目

・月～金曜日：1～5時限 ・土曜日：1～4時限

《文学部》

開講学科	科目名	単位	開講期	本年度休講	履修上の注意事項
学 社 科 会	社会心理学A	2	半期		
	社会心理学B	2	半期		・隔年開講

《経済学部》

開講学科	科目名	単位	開講期	本年度休講	履修上の注意事項
経済学 科	日本経済史 a	2	半期		・履修不可対象科目 平成25 (2013) 年度 以前に「日本経済史」 で単位を修得済の場合 は履修できません。
	日本経済史 b	2	半期		
	日本経済論 a	2	半期		・履修不可対象科目 平成25 (2013) 年度 以前に「日本経済論」 で単位を修得済の場合 は履修できません。
	日本経済論 b	2	半期		
	中国経済論 a	2	半期		・履修不可対象科目 平成25 (2013) 年度 以前に「中国経済論」 で単位を修得済の場合 は履修できません。
	中国経済論 b	2	半期		
	アメリカ経済論 a	2	半期		・履修不可対象科目 平成25 (2013) 年度 以前に「アメリカ経済 論」で単位を修得済 の場合は履修でき ません。
	アメリカ経済論 b	2	半期		
	ロシア・東欧経済論 a	2	半期		・履修不可対象科目 平成25 (2013) 年度 以前に「ロシア・東 欧経済論」で単位を 修得済の場合は履 修できません。
	ロシア・東欧経済論 b	2	半期		

開講学科	科目名	単位	開講期	本年度休講	履修上の注意事項
商学 科	財務会計論 a	2	半期		・履修不可対象科目 平成25 (2013) 年度 以前に「財務会計論」 で単位を修得済の場合 は履修できません。
	財務会計論 b	2	半期		
	会計監査論 a	2	半期		・履修不可対象科目 平成25 (2013) 年度 以前に「会計監査論」 で単位を修得済の場合 は履修できません。
	会計監査論 b	2	半期		
	管理会計論 a	2	半期		
	管理会計論 b	2	半期		
	貿易論 a	2	半期	休	・隔年開講 平成25 (2013) 年度 以前に「貿易論」で 単位を修得済の場合 は履修できません。
	貿易論 b	2	半期	休	

《法学部》

開講学科	科目名	単位	開講期	本年度休講	履修上の注意事項
政治学 科	国際社会入門	2	半期		
	国際関係入門	2	半期		
	ヨーロッパ政治史	4	通年		
	比較政治学	4	通年		
	現代国家論	4	通年		

《経営学部》

開講学科	科目名	単位	開講期	本年度休講	履修上の注意事項
経営学 科 フレックスA	経営労務論	4	通年		
	経営分析論	4	通年		
	税務会計論	4	通年		

随意科目

1. 履修上の注意

随意科目として修得した科目の単位は、卒業に必要な単位に含まれません。

2. 開設科目一覧

・法律学科フレックスB

科目名	単位	開講期	配当年次				履修上の注意事項
英語（海外演習）	2		1	2	3	4	・海外協定校で行われる短期語学セミナーです。詳細については、国際センターが配布する各セミナーのパンフレットを参照してください。（パンフレットは募集時期に配布されます）
フランス語（海外演習）	2		1	2	3		
中国語（海外演習）	2		1	2	3	4	

政治学科

開設科目一覧の見方

※開設科目一覧のサンプル

対象入学年度：政治学科（現代社会と政治コース）平成26（2014）年度以降入学生

必・選	卒業必要		分野	科目名	単位	開講期	配当年次				抽選	履修不可科目	本年度休講	注意事項
	科目数	単位数					1	2	3	4				
選択必修	16	単位	人文分野	科目 A	4	通年	1	2	3	4	◎予		休	
				科目 B	4	通年	1	2	3	4	◎先	有		
				科目 C	2	半期	1	2	3	4	◎抽	有		

対象入学年度	開設科目一覧がどの学科・入学年度を対象としているかを表します。
必・選	履修単位の区分（必修・選択必修・選択科目）を表します。
卒業必要	卒業に必要な「科目数」と「単位数」を表します。科目数の指定がない場合は、卒業必要単位数に指定された単位数を修得してください。
分野	教養教育科目における4分野（人文分野・社会分野・自然分野・ライフデザイン分野）のどの分野に該当しているかを表します。
科目名	授業科目名を表します。
単位	授業科目に定められた単位数を表します。
開講期	授業科目に定められた開講期を表します。 「半期」：前期または後期に始まり、半年間行われる授業 「通年」：前期から始まる1年間通して行われる授業 「集中」：夏季休業期間に約1週間かけて行われる授業 「シーズン」：夏季または冬季休業期間に短期で行われる合宿等を伴う授業
配当年次	授業科目の履修できる年次を表します。 ・下級年次に配当されている科目は、上級年次に履修可能です。 ・ただし、配当年次以外に斜線が付けられている場合は、指定された年次以外では履修できません。
抽選	抽選を伴う履修方法の種類について表します。以下の略称で表記しています。 「◎抽」：抽選科目 「◎先」：受講先行予約科目 「◎予」：受講予約科目
履修不可科目	「履修不可対象科目一覧」の記載がある場合は「有」と表記しています。 履修不可対象科目一覧は、対象の入学年次の開設科目一覧の最後に掲載されています。
本年度休講	本年度の授業科目の休講有無を表します。休講の場合は「休」と表記しています。
注意事項	履修時に必要な注意事項を表します。 「学生番号指定」：履修するクラスが学生番号で指定されている科目です。学生番号指定については、『授業時間表』で確認できます。 「受講制限」：主に担当教員が自ら履修者数を制限している授業科目です。 「再クラス」：再履修になった場合、再クラスでの履修となります。詳しくは、第1章 I 「再履修」の頁を参照してください。 「玉川キャンパス」：玉川キャンパスで授業が行われる授業科目です。 「種目・定員」：保健体育科目について、開講されている種目と定員数です。

教養特別履修について

全学共通科目の外国語科目において、所定の授業科目および単位数を満たすことにより、その科目区分において一定の学修成果を満たしたことを「修了証」の発行によって証明します。幅広く開講されている全学共通科目の中で、体系性を伴った履修を行うことにより、学生の皆さんの若々しい知的関心を啓発し、深化させ、涵養する一助とすることを目的としています。

修了証を発行するためには、所定の期間内に教養特別履修の登録を済ませておく必要があります。

●教養特別履修コース修了証修得までの流れ

履修科目登録

コース毎の取得条件を確認し、希望するコースに必要な科目の登録をしてください。

既修得科目も含みコース認定科目として取り扱います。必要な科目は計画的に修得してください。

履修訂正期間終了後の科目追加登録はできませんので、希望するコースに必要な科目が不足しないよう注意してください。

コース登録

下記の登録期間に、KONECOの「教養特別履修登録」画面より、希望コースを登録してください。

学部・学科により選択できる開講コースが異なります。

希望コースに必要な科目の履修・修得状況の確認期間は、登録期間終了後になります。

詳細な日程はKONECOにてお知らせします。

成績発表

前期は8月末・後期は2月中旬にKONECOにより成績発表が行われますので、科目修得状況を確認してください。

コース修了証の発行

登録済みのコースにおける必要科目を取得した場合、下記の期間においてコースの修了証を教務部ロビーの証明書自動発行機より発行します。

●教養特別履修の登録期間

前期 4月29日（火）～7月19日（土）

後期 9月29日（月）～1月10日（土）

●教養特別履修のコース修了証の発行

前期 9月16日（火）～

後期 3月13日（金）～

（注意）卒業年次生は卒業式当日までの発行となります。

3月末～4月2日までは、証明書自動発行機の停止期間となりますので、注意してください。

・教養特別履修コースの種類

コース名	目標	備考
「教養特別履修（日本文化）」	日本文化について深い理解と探求心を持つ人物を養成する。	※「教養特別履修該当科目一覧」は、教養教育科目の最後に掲載しています。
「教養特別履修（自然科学）」	高校では学ぶ機会の少ない自然科学分野の科目を体系的に履修し、オールラウンドな自然科学の基礎知識を身につける。	
「教養特別履修（英語）」	体系的に外国語科目を学ぶことを目標とする。	※「教養特別履修該当科目一覧」は、外国語科目の最後に掲載しています。
「教養特別履修（ドイツ語）」		
「教養特別履修（フランス語）」		
「教養特別履修（中国語）」		
「教養特別履修（スペイン語）」		
「教養特別履修（ロシア語）」		

全学共通科目

宗教教育科目

1. 履修上の注意

- ①宗教教育科目は、全学共通科目として設置され、必修科目と選択科目に分かれており、定められた単位を修得しなければなりません。
- ②同一名称の科目でも、曜日、時限、担当教員によって内容が異なる場合があります。詳細は『シラバス』を参照してください。
- ③選択科目として修得した単位数は、宗教教育科目として認定され、卒業に必要な広域選択の単位数に算入されます。

2. 開設科目一覧

政治学科

必・選	卒業必要		科目名	単位	開講期	配当年次				抽選	履修不可科目	本年度休講	注意事項
	科目数	単位数				1	2	3	4				
必修	1科目	4単位	仏教と人間	4	通年	1							《学生番号指定》 《再クラス》 《玉川キャンパス》
選択			坐禅	2	半期	1	2	3	4	◎先			

教養教育科目

1. 履修上の注意

- ①教養教育科目は、全学共通科目として設置され、選択必修科目として定められた単位を修得しなければなりません。
- ②教養教育科目は、人文分野、社会分野、自然分野およびライフデザイン分野に分かれています。平成25（2013）年度以前は、人文分野、社会分野、自然分野および総合分野に分かれていました。平成25年度までに修得した単位数は、修得時の分野で認定されています。但し総合分野の単位数は、ライフデザイン分野の単位として認定されます。
- ③同一名称の科目でも、曜日、時限、担当教員によって、内容が異なる場合があります。詳細は、『シラバス』を参照してください。
- ④「卒業に必要な単位数」の指定を超えて修得した単位数は、教養教育科目の各分野の科目として認定され、卒業に必要な広域選択の単位数に算入されます。

2. 開設科目一覧

政治学科

必・選	卒業必要		分野	科目名	単位	開講期	配当年次				抽選	履修不可科目	本年度休講	注意事項
	科目数	単位数					1	2	3	4				
選択必修	16	単位	人文分野	宗教学	4	通年	1	2	3	4	◎予	有		平成25（2013）年度以前に入学し、平成25（2013）年度までに「宗教学」を未修得の学生は、「宗教学」・「世界の宗教」・「現代社会と宗教 A」・「現代社会と宗教 B」のうち1科目しか履修できません。
				世界の宗教	4	通年	1	2	3	4	◎予	有		平成25（2013）年度以前に入学し、平成25（2013）年度までに「宗教学」を未修得の学生は、「宗教学」・「世界の宗教」・「現代社会と宗教 A」・「現代社会と宗教 B」のうち1科目しか履修できません。
			人間観 A	2	半期	1	2	3	4	◎予	有			
			人間観 B	2	半期	1	2	3	4	◎予	有			
			価値観	4	通年	1	2	3	4	◎予	有			
			制度とモラル	4	通年	1	2	3	4	◎予	有			
			現代と倫理	4	通年	1	2	3	4	◎予	有			
			東洋倫理	4	通年	1	2	3	4	◎予	有			
			科学と技術	4	通年	1	2	3	4	◎予	有			
			近代科学の成立と展開	4	通年	1	2	3	4	◎予	有			
			科学方法論と現代論理	4	通年	1	2	3	4	◎予	有			
			知の技法	4	通年	1	2	3	4	◎予	有			
			西洋思想の源流	4	通年	1	2	3	4	◎予	有			
			近代の人間観と世界観	4	通年	1	2	3	4	◎予	有			
			日本美術	4	通年	1	2	3	4	◎予	有			
			西洋芸術	4	通年	1	2	3	4	◎予	有			
			音楽	4	通年	1	2	3	4	◎予	有			
			歴史学	4	通年	1	2	3	4	◎予				
			文学	4	通年	1	2	3	4	◎予				
			日本語テーマ研究 I	2	半期	1	2	3	4	◎予	有			
日本語テーマ研究 II	2	半期	1	2	3	4	◎予	有						
日本語文化基礎	2	半期	1	2	3	4	◎予							

政治学科

必・選	卒業必要		分野	科目名	単位	開講期	配当年次				抽選	履修不可科目	本年度休講	注意事項
	科目数	単位数					1	2	3	4				
選択必修	16 単位	人文分野	日本文化基礎	2	半期	1	2	3	4	◎予				
			実務表現Ⅰ（話すこと）	2	半期	1	2	3	4	◎予	有			
			実務表現Ⅱ（書くこと）	2	半期	1	2	3	4	◎予	有			
			日本語文化探求Ⅰ	2	半期		2	3	4	◎予	有			
			日本語文化探求Ⅱ	2	半期		2	3	4	◎予	有			
			日本文化探求ⅠA	2	半期		2	3	4	◎予	有			
			日本文化探求ⅡA	2	半期		2	3	4	◎予	有			
			日本文化探求ⅠB	2	半期		2	3	4	◎予	有			
			日本文化探求ⅡB	2	半期		2	3	4	◎予	有			
			日本語文化理会Ⅰ	2	半期	1	2	3	4	◎予	有			
			日本語文化理会Ⅱ	2	半期	1	2	3	4	◎予	有			
			日本文化理解ⅠA	2	半期	1	2	3	4	◎予	有			
			日本文化理解ⅡA	2	半期	1	2	3	4	◎予	有			
			日本文化理解ⅠB	2	半期	1	2	3	4	◎予	有			
			日本文化理解ⅡB	2	半期	1	2	3	4	◎予	有			
			人文地理学	4	通年	1	2	3	4	◎予				
	教育心理	4	通年	1	2	3	4	◎予						
	英語圏文化研究 a	2	半期	1	2	3	4	◎予						
	英語圏文化研究 b	2	半期	1	2	3	4	◎予						
		16 単位	社会分野	経済学	4	通年	1	2	3	4	◎予	有		・「経済学A・B」の両方もしくはどちらかの単位を修得済の場合、「経済学」を履修することはできません。また「経済学A・B」と「経済学」を同時に履修することはできません。
	経済学A			2	半期	1	2	3	4	◎予	有		・「経済学」の単位を修得済の場合「経済学A・B」を履修することはできません。また「経済学A・B」と「経済学」を同時に履修することはできません。	
	経済学B			2	半期	1	2	3	4	◎予	有			
	法学・憲法			4	通年 集中	1	2	3	4	◎予				・通年と集中で開講される講座があります。 ・集中の講座については、『シラバス』掲載の日程を確認し、履修してください。『授業時間表』では「集中」と表示されます。
	民族と文化A			2	半期	1	2	3	4	◎予	有			
	民族と文化B			2	半期	1	2	3	4	◎予	有			
	日本の文化と社会			4	通年	1	2	3	4	◎予	有			
	アジアの社会と文化			4	通年	1	2	3	4	◎予	有			
	文化人類学概論			4	通年	1	2	3	4	◎予	有			
	統計学			4	通年	1	2	3	4	◎予	有			・「統計学A・B」の両方もしくはどちらかの単位を修得済の場合、「統計学」を履修することはできません。また「統計学A・B」と「統計学」を同時に履修することはできません。
	統計学A	2	半期	1	2	3	4	◎予	有		・「統計学」の単位を修得済の場合「統計学A・B」を履修することはできません。また「統計学A・B」と「統計学」を同時に履修することはできません。			
	統計学B	2	半期	1	2	3	4	◎予	有					

政治学科

必・選	卒業必要		分野	科目名	単位	開講期	配当年次				抽選	履修不可科目	本年度休講	注意事項
	科目数	単位数					1	2	3	4				
選 択 必 修	16 単 位	社会 分野	社会学	4	通年	1	2	3	4	◎予	有		・「社会学A・B」の両方もしくはどちらかの単位を修得済の場合、「社会学」を履修することはできません。また「社会学A・B」と「社会学」を同時に履修することはできません。	
			社会学A	2	半期	1	2	3	4	◎予	有	・「社会学」の単位を修得済の場合「社会学A・B」を履修することはできません。また「社会学A・B」と「社会学」を同時に履修することはできません。		
			社会学B	2	半期	1	2	3	4	◎予	有			
			教育学	4	通年	1	2	3	4	◎予				
			社会科学論A	2	半期	1	2	3	4	◎予	有			
			社会科学論B	2	半期	1	2	3	4	◎予	有			
			現代社会と宗教A	2	半期	1	2	3	4	◎予	有	平成25(2013)年度以前に入学し、平成25(2013)年度までに「宗教学」を未修得の学生は、「宗教学」・「世界の宗教」・「現代社会と宗教A」・「現代社会と宗教B」のうち1科目しか履修できません。		
			現代社会と宗教B	2	半期	1	2	3	4	◎予	有	平成25(2013)年度以前に入学し、平成25(2013)年度までに「宗教学」を未修得の学生は、「宗教学」・「世界の宗教」・「現代社会と宗教A」・「現代社会と宗教B」のうち1科目しか履修できません。		
			応用倫理学	4	通年	1	2	3	4	◎予	有			
			現代文明と哲学	4	通年	1	2	3	4	◎予	有			
		都市論	4	通年	1	2	3	4	◎予	有				
		自然 分野	心理学	4	通年 集中	1	2	3	4	◎予	有	・「心理学I・II」の両方もしくはどちらかの単位を修得済の場合、「心理学」を履修することはできません。また「心理学I・II」と「心理学」を同時に履修することはできません。 ・通年と集中で開講される講座があります。 ・集中の講座については「シラバス」掲載日程を確認の上、履修登録してください。「授業時間表」では「集中」と表示されます。		
			心理学I	2	半期	1	2	3	4	◎予	有	・「心理学」の単位を修得済の場合「心理学I・II」を履修することはできません。また「心理学I・II」と「心理学」を同時に履修することはできません。		
			心理学II	2	半期	1	2	3	4	◎予	有			
			人類学I	2	半期	1	2	3	4	◎予	有			
			人類学II	2	半期	1	2	3	4	◎予	有			
			宇宙科学I	2	半期	1	2	3	4	◎予	有			
			宇宙科学II	2	半期	1	2	3	4	◎予	有			
			化学I	2	半期	1	2	3	4	◎予	有			
			化学II	2	半期	1	2	3	4	◎予	有			
物理学I	2		半期	1	2	3	4	◎予	有					
物理学II	2	半期	1	2	3	4	◎予	有						
数学I	2	半期	1	2	3	4	◎予	有						
数学II	2	半期	1	2	3	4	◎予	有						
数学III	2	半期	1	2	3	4	◎予	有						
数学IV	2	半期	1	2	3	4	◎予	有						
自然誌I	2	半期	1	2	3	4	◎予	有						

政治学科

必・選	卒業必要		分野	科目名	単位	開講期	配当年次				抽選	履修不可科目	本年度休講	注意事項	
	科目数	単位数					1	2	3	4					
選択必修	16 単位	↓	自然分野	自然誌Ⅱ	2	半期	1	2	3	4	◎予	有			
				自然環境論	2	半期	1	2	3	4	◎予	有			
				地球科学Ⅰ	2	半期	1	2	3	4	◎予	有			
				地球科学Ⅱ	2	半期	1	2	3	4	◎予	有			
				生物学Ⅰ	2	半期	1	2	3	4	◎予	有			
				生物学Ⅱ	2	半期	1	2	3	4	◎予	有			
				自然観察実習	2	半期	1	2	3	4	◎予				
			ライフデザイン分野	コンピュータ基礎	2	半期 集中	1	2	3	4	◎先				・半期と集中で開講される講座があります。 ・集中の講座については、『シラバス』掲載の日程を確認し、履修してください。『授業時間表』では「集中」と表示されます。
				コンピュータ応用Ⅰ	2	半期	1	2	3	4	◎予	有		・履修に当たり、「コンピュータ基礎」の単位を修得済であることが望ましい。	
				コンピュータ応用Ⅱ	2	半期	1	2	3	4	◎予	有			
				新入生セミナー	2	半期	1							《学生番号指定》	
				キャリアを考えるⅠ	2	半期		2			◎予			・「Ⅱ」と同時履修すること。	
				キャリアを考えるⅡ	2	半期		2			◎予			・「Ⅱ」は「Ⅰ」と同時に履修すること。または、2年次で「Ⅰ」の単位を修得済であること。	
				ITリテラシーA	2	半期	1	2	3	4	◎予				
				ITリテラシーB	2	半期	1	2	3	4	◎予				
				ITリテラシーC	2	半期	1	2	3	4	◎予				
				ITリテラシーD	2	半期	1	2	3	4	◎予				
				メディアと文化入門	2	半期	1	2	3	4	◎予				
				メディアと文化発展	2	半期	1	2	3	4	◎予				
				コミュニケーション文化入門	2	半期	1	2	3	4	◎予				
				コミュニケーション文化発展	2	半期	1	2	3	4	◎予				
				ライフデザイン入門	2	半期	1	2			◎予				
				駒澤大学の歴史	2	半期	1	2	3	4	◎予				

3. 履修不可対象科目

下表の旧科目名で単位を修得済みの場合、現行科目名を履修することはできません。

現行科目名	旧科目名	修得年度	現行科目名	旧科目名	修得年度
世界の宗教	宗教学	平成25(2013)年度以前	経済学 A	経済学	平成25(2013)年度以前
現代社会と宗教 A			経済学 B		
現代社会と宗教 B			文化人類学		
人間観 A	倫理学	民族と文化 A			
人間観 B		民族と文化 B			
価値観		日本の文化と社会			
制度とモラル		アジアの社会と文化			
現代と倫理		文化人類学概論			
東洋倫理		統計学 A		統計学	
応用倫理学		統計学 B			
科学と技術	科学史	社会学 A		社会学	
近代科学の成立と展開		社会学 B			
科学方法論と現代論理	論理学	社会科学論 A	社会科学論		
知の技法		社会科学論 B			
西洋思想の源流	哲学	都市論	総合Ⅶ		
近代の人間観と世界観		心理学 I	心理学		
現代文明と哲学		心理学 II			
日本美術	芸術学	人類学 I	人類学		
西洋芸術		人類学 II			
音楽		宇宙科学 I	宇宙科学		
日本語テーマ研究 I	宇宙科学 II				
日本語テーマ研究 II	日本文化テーマ研究 A	化学 I	化学		
実務表現 I (話すこと)	日本文化テーマ研究 B	化学 II			
実務表現 II (書くこと)	実務表現	物理学 I	物理学		
日本語文化探求 I	日本語文化研究 II	物理学 II			
日本語文化探求 II		数学 I	数学		
日本文化探求 I A	数学 II				
日本文化探求 II A	数学 III				
日本文化探求 I B	日本文化研究 II A	数学 IV		情報数学	
日本文化探求 II B	日本文化研究 II B	自然誌 I	自然誌		
日本語文化研究会 I	日本語文化研究 I	自然誌 II			
日本語文化研究会 II		自然環境論 (2単位)	自然環境論 (4単位)		
日本文化理解 I A	日本文化研究 I A	地球科学 I	地球科学		
日本文化理解 II A		地球科学 II			
日本文化理解 I B	日本文化研究 I B	生物学 I	生物学		
日本文化理解 II B		生物学 II			

4. 廃講科目

下表の科目は、廃講年度以降は開講されません。ただし、廃講となった科目の単位を廃講年度以前に修得済みの場合、卒業に必要な単位数として算入され、成績表に記載されます。

廃講科目名	廃講年度	廃講科目名	廃講年度
フレッシュマンセミナー	平成26（2014）年度以降	社会科学論	平成26（2014）年度以降
哲学		文化人類学	
倫理学		数学	
論理学		物理学	
科学史		化学	
芸術学		生物学	
日本文化テーマ研究 A		人類学	
日本文化テーマ研究 B		地球科学	
日本文化テーマ研究 C		宇宙科学	
日本文化テーマ研究 D		コンピュータ応用	
日本文化テーマ研究 E		自然誌	
日本文化テーマ研究 F		自然環境論（4単位）	
日本文化テーマ研究 G		情報数学	
日本文化テーマ研究 H		総合Ⅰ	
実務表現		総合Ⅱ	
日本文化研究Ⅰ A		総合Ⅲ	
日本文化研究Ⅰ B		総合Ⅳ	
日本言語文化研究Ⅰ		総合Ⅴ	
日本文化研究Ⅱ A		総合Ⅵ	
日本文化研究Ⅱ B		総合Ⅶ	
日本言語文化研究Ⅱ	総合Ⅷ		
		教育の思想	平成20（2008）年度以降
		教育と社会	
		発達と学習の心理学	
		カリキュラムと学習	

5. 教養特別履修該当科目一覧

「教養特別履修（日本文化）」

領域	配置科目	単位	必要単位数
日本文化	※1	日本文化探求ⅠA	2
		日本文化探求ⅠB	2
		日本語文化探求Ⅰ	2
	※2	日本文化探求ⅡA	2
		日本文化探求ⅡB	2
		日本語文化探求Ⅱ	2
		日本文化基礎	2
		日本語文化基礎	2
		日本文化理解ⅠA	2
		日本文化理解ⅡA	2
		日本文化理解ⅠB	2
		日本文化理解ⅡB	2
		日本語文化理會Ⅰ	2
		日本語文化理會Ⅱ	2
		日本語テーマ研究Ⅰ	2
		日本語テーマ研究Ⅱ	2
		実務表現Ⅰ（話すこと）	2
		実務表現Ⅱ（書くこと）	2
		合計必要単位	

※1及び※2のグループの中からそれぞれ1科目以上修得すること

「教養特別履修（自然科学）」

領域	配置科目	単位	必要単位数
古典的科目	人類学Ⅰ	2	6
	人類学Ⅱ	2	
	宇宙科学Ⅰ	2	
	宇宙科学Ⅱ	2	
	化学Ⅰ	2	
	化学Ⅱ	2	
	物理学Ⅰ	2	
	物理学Ⅱ	2	
	数学Ⅰ	2	
	数学Ⅱ	2	
	数学Ⅲ	2	
	数学Ⅳ	2	
	地球科学Ⅰ	2	
	地球科学Ⅱ	2	
	生物学Ⅰ	2	
	生物学Ⅱ	2	
	自然誌	自然誌Ⅰ	
自然誌Ⅱ		2	
自然環境論	自然環境論	2	2
自然観察実習	自然観察実習	2	2
	合計必要単位		12

外国語科目

1. 履修上の注意

- ①外国語科目は、全学共通科目として設置され、選択必修科目と選択科目に分かれています。選択必修科目としての外国語と選択科目としての外国語は、1年次から両方を履修することもできます。いわゆる第2外国語は、選択科目として履修することができます。
- ②同一名称の科目でも、開講期、曜日、時限、担当教員によって、内容が異なる場合があります。詳細は、『シラバス』を参照してください。
- ③選択科目として修得した単位数は、外国語科目として認定され、卒業に必要な広域選択の単位数として算入されます。
- ④習熟度別クラス編成について
2014（平成26）年度入学生より、英語を選択必修科目として履修する入学者は、全員「英語科目クラス分けテスト」を受験し、そのテストの成績により履修レベルを初級・中級・上級のいずれかに決定しています。（原則的に履修レベルは2年次においても継続されます。）
ただし、英語Ⅱ Da・Ⅱ Dbはレベル分けの対象外です。
なお、初級と上級の授業は、駒沢キャンパスで行います。玉川キャンパスで開講されている「英語Ⅰ Ba・Ⅰ Bb」は中級のみ受講できます。
- ⑤英語選択科目について
英語選択科目は3つのレベルで開講されます。履修する前にクラス分けテストは行いませんが、次のウェブページの説明を読み、自分の英語力にふさわしいレベルの科目を受講してください。
外国語科目について：http://www.komazawa-u.ac.jp/cms/gaikokugo_risyu

2. 開設科目一覧

政治学科

必・選	卒業必要		科目名	単位	開講期	配当年次				抽選	履修不可科目	本年度休講	注意事項
	科目数	単位数				1	2	3	4				
入学手続き時に指定した外国語のⅠAa・ⅠAb・ⅠBa・ⅠBb 選択必修	4	4	英語ⅠA a	1	半期	1					有		《学生番号指定》 《再クラス》
			英語ⅠA b	1	半期	1					有		
			英語ⅠB a	1	半期	1					有		《学生番号指定》 《玉川キャンパス》 《再クラス》
			英語ⅠB b	1	半期	1					有		
			ドイツ語ⅠA a	1	半期	1					有		《学生番号指定》 《再クラス》
			ドイツ語ⅠA b	1	半期	1					有		
			ドイツ語ⅠB a	1	半期	1					有		
			ドイツ語ⅠB b	1	半期	1					有		
			フランス語ⅠA a	1	半期	1					有		
			フランス語ⅠA b	1	半期	1					有		
			フランス語ⅠB a	1	半期	1					有		
			フランス語ⅠB b	1	半期	1					有		
			中国語ⅠA a	1	半期	1					有		

政治学科

必 選	卒業必要		科目名	単位	開講期	配当年次			抽選	履修不可科目	本年度休講	注意事項	
	科目数	単位数											
選 択 必 修	1 年 次 で 履 修 し た 当 該 外 国 語 の	6 科 目	6 単 位	中国語ⅠA b	1	半期	1				有	《学生番号指定》 《再クラス》	
				中国語ⅠB a	1	半期	1				有		
				中国語ⅠB b	1	半期	1				有		
				スペイン語ⅠA a	1	半期	1				有		
				スペイン語ⅠA b	1	半期	1				有		
				スペイン語ⅠB a	1	半期	1				有		
				スペイン語ⅠB b	1	半期	1				有		
				ロシア語ⅠA a	1	半期	1				有		
				ロシア語ⅠA b	1	半期	1				有		
				ロシア語ⅠB a	1	半期	1				有		
				ロシア語ⅠB b	1	半期	1				有		
				英語ⅡA a	1	半期	2				有	《学生番号指定》 《再クラス》	
				英語ⅡA b	1	半期	2				有		
				英語ⅡB a	1	半期	2				有		
				英語ⅡB b	1	半期	2				有		
				英語ⅡD a	1	半期	2				有	《学生番号指定》	
				英語ⅡD b	1	半期	2				有		
				ドイツ語ⅡA a	1	半期	2				◎抽	有	《再クラス》
				ドイツ語ⅡA b	1	半期	2				◎抽	有	
				ドイツ語ⅡB a	1	半期	2				◎抽	有	
	ドイツ語ⅡB b	1	半期	2				◎抽	有				
	ドイツ語ⅡD a	1	半期	2					有	《学生番号指定》			
	ドイツ語ⅡD b	1	半期	2					有				
	フランス語ⅡA a	1	半期	2				◎抽	有	《再クラス》			
	フランス語ⅡA b	1	半期	2				◎抽	有				
	フランス語ⅡB a	1	半期	2				◎抽	有				
	フランス語ⅡB b	1	半期	2				◎抽	有				
	フランス語ⅡD a	1	半期	2					有	《学生番号指定》			
	フランス語ⅡD b	1	半期	2					有				
	中国語ⅡA a	1	半期	2				◎抽	有	《再クラス》			
	中国語ⅡA b	1	半期	2				◎抽	有				
	中国語ⅡB a	1	半期	2				◎抽	有				
	中国語ⅡB b	1	半期	2				◎抽	有				
	中国語ⅡD a	1	半期	2					有	《学生番号指定》			
	中国語ⅡD b	1	半期	2					有				
	スペイン語ⅡA a	1	半期	2				◎抽	有	《再クラス》			
	スペイン語ⅡA b	1	半期	2				◎抽	有				
	スペイン語ⅡB a	1	半期	2				◎抽	有				
	スペイン語ⅡB b	1	半期	2				◎抽	有				
	スペイン語ⅡD a	1	半期	2					有	《学生番号指定》			
スペイン語ⅡD b	1	半期	2					有					
ロシア語ⅡA a	1	半期	2					有	《再クラス》				
ロシア語ⅡA b	1	半期	2					有					
ロシア語ⅡB a	1	半期	2					有					
ロシア語ⅡB b	1	半期	2					有					

政治学科

必 選	卒業必要		科目名	単位	開講期	配当年次				抽選	履修 不可 科目	本年 度休 講	注意事項
	科目数	単 位 数											
		↓	ロシア語Ⅱ D a	1	半期		2				有		《学生番号指定》
			ロシア語Ⅱ D b	1	半期		2				有		
選 択			実用英会話（日常生活編）	1	半期	1	2	3	4	◎予			
			実用英会話（旅行編）	1	半期	1	2	3	4	◎予			
			実用英語資格試験Ⅰ a（聴解）	1	半期	1	2	3	4	◎予			
			実用英語資格試験Ⅰ b（文法・読解）	1	半期	1	2	3	4	◎予			
			ビジネス英語Ⅰ	1	半期	1	2	3	4	◎予			
			英語プレゼンテーションⅠ a	1	半期	1	2	3	4	◎予			
			英語プレゼンテーションⅠ b	1	半期	1	2	3	4	◎予			
			実用英語資格試験Ⅱ a（聴解）	1	半期	1	2	3	4	◎予			
			実用英語資格試験Ⅱ b（文法・読解）	1	半期	1	2	3	4	◎予			
			ビジネス英語Ⅱ	1	半期	1	2	3	4	◎予			
			英語プレゼンテーションⅡ a	1	半期	1	2	3	4	◎予			
			英語プレゼンテーションⅡ b	1	半期	1	2	3	4	◎予			
			英語ディスカッションⅠ a	1	半期	1	2	3	4	◎予			
			英語ディスカッションⅠ b	1	半期	1	2	3	4	◎予			
			学術英語資格試験Ⅰ a（読解）	1	半期	1	2	3	4	◎予			
			学術英語資格試験Ⅰ b（聴解・会話）	1	半期	1	2	3	4	◎予			
			英語アカデミック・ライティングⅠ a	1	半期	1	2	3	4	◎予			
			英語アカデミック・ライティングⅠ b	1	半期	1	2	3	4	◎予			
			実用英語資格試験Ⅲ a（聴解）	1	半期	1	2	3	4	◎予			
			実用英語資格試験Ⅲ b（文法・読解）	1	半期	1	2	3	4	◎予			
			総合英語資格試験 a（読解）	1	半期	1	2	3	4	◎予			
			総合英語資格試験 b（聴解・二次）	1	半期	1	2	3	4	◎予			
			英語ディスカッションⅡ a	1	半期	1	2	3	4	◎予			
			英語ディスカッションⅡ b	1	半期	1	2	3	4	◎予			
			学術英語資格試験Ⅱ a（読解）	1	半期	1	2	3	4	◎予			
			学術英語資格試験Ⅱ b（聴解・会話）	1	半期	1	2	3	4	◎予			
			英語アカデミック・ライティングⅡ	1	半期	1	2	3	4	◎予			
			英語多読・多聴 a	1	半期	1	2	3	4	◎予			
			英語多読・多聴 b	1	半期	1	2	3	4	◎予			
			英語クリエイティブ・ライティング	1	半期	1	2	3	4	◎予			
			パフォーマンス・イン・イングリッシュ	1	半期	1	2	3	4	◎予			
			英語で学ぶ教養（言語Ⅰ）	2	半期	1	2	3	4	◎予			
			英語で学ぶ教養（言語Ⅱ）	2	半期	1	2	3	4	◎予			
			英語で学ぶ教養（言語Ⅲ）	2	半期	1	2	3	4	◎予			
		英語で学ぶ教養（言語Ⅳ）	2	半期	1	2	3	4	◎予				
		英語で学ぶ教養（言語Ⅴ）	2	半期	1	2	3	4	◎予				
		英語で学ぶ教養（言語Ⅵ）	2	半期	1	2	3	4	◎予				
		英語で学ぶ教養（言語Ⅶ）	2	半期	1	2	3	4	◎予				
		英語で学ぶ教養（言語Ⅷ）	2	半期	1	2	3	4	◎予				
		英語で学ぶ教養（文化Ⅰ）	2	半期	1	2	3	4	◎予				
		英語で学ぶ教養（文化Ⅱ）	2	半期	1	2	3	4	◎予				
		英語で学ぶ教養（文化Ⅲ）	2	半期	1	2	3	4	◎予				
		英語で学ぶ教養（文化Ⅳ）	2	半期	1	2	3	4	◎予				

政治学科

必 選	卒業必要		科目名	単位	開講期	配当年次				抽選	履修 不可 科目	本年 度休 講	注意事項
	科目数	単 位 数				1	2	3	4				
選 択			英語で学ぶ教養（文化Ⅴ）	2	半期	1	2	3	4	◎予			
			英語で学ぶ教養（文化Ⅵ）	2	半期	1	2	3	4	◎予			
			英語で学ぶ教養（歴史と社会Ⅰ）	2	半期	1	2	3	4	◎予			
			英語で学ぶ教養（歴史と社会Ⅱ）	2	半期	1	2	3	4	◎予			
			英語で学ぶ教養（歴史と社会Ⅲ）	2	半期	1	2	3	4	◎予			
			英語で学ぶ教養（歴史と社会Ⅳ）	2	半期	1	2	3	4	◎予			
			英語で学ぶ教養（歴史と社会Ⅴ）	2	半期	1	2	3	4	◎予			
			英語で学ぶ教養（歴史と社会Ⅵ）	2	半期	1	2	3	4	◎予			
			ドイツ語ⅠA a（選）	1	半期	1	2	3	4	◎予	有		
			ドイツ語ⅠA b（選）	1	半期	1	2	3	4	◎予	有		
			ドイツ語ⅠB a（選）	1	半期	1	2	3	4	◎予	有		
			ドイツ語ⅠB b（選）	1	半期	1	2	3	4	◎予	有		
			ドイツ語Ⅱ a（選）	1	半期		2	3	4	◎予	有		・当該外国語科目の以下のいずれかの単位を修得済みであることが望ましい。 ・「ⅠA a」・「ⅠA b」・「ⅠB a」・「ⅠB b」（選択必修科目） ・「ⅠA a（選）」・「ⅠA b（選）」・「ⅠB a（選）」・「ⅠB b（選）」
			ドイツ語Ⅱ b（選）	1	半期		2	3	4	◎予	有		
			ドイツ語コミュニケーションA a	1	半期		2	3	4	◎予	有		
			ドイツ語コミュニケーションA b	1	半期		2	3	4	◎予	有		
			ドイツ語コミュニケーションB a	1	半期		2	3	4	◎予	有		
			ドイツ語コミュニケーションB b	1	半期		2	3	4	◎予	有		
			名文で味わうドイツ語 a	2	半期			3	4	◎予	有		
			名文で味わうドイツ語 b	2	半期			3	4	◎予	有		
			現代を読むドイツ語 a	2	半期			3	4	◎予	有		
			現代を読むドイツ語 b	2	半期			3	4	◎予	有		
			ドイツ語スキルアップ a	1	半期		2	3	4	◎予	有		
			ドイツ語スキルアップ b	1	半期		2	3	4	◎予	有		
			フランス語ⅠA a（選）	1	半期	1	2	3	4	◎予	有		
			フランス語ⅠA b（選）	1	半期	1	2	3	4	◎予	有		
			フランス語ⅠB a（選）	1	半期	1	2	3	4	◎予	有		
			フランス語ⅠB b（選）	1	半期	1	2	3	4	◎予	有		
			フランス語Ⅱ a（選）	1	半期		2	3	4	◎予	有		・当該外国語科目の以下のいずれかの単位を修得済みであることが望ましい。 ・「ⅠA a」・「ⅠA b」・「ⅠB a」・「ⅠB b」（選択必修科目） ・「ⅠA a（選）」・「ⅠA b（選）」・「ⅠB a（選）」・「ⅠB b（選）」
			フランス語Ⅱ b（選）	1	半期		2	3	4	◎予	有		
			フランス語コミュニケーションA a	1	半期		2	3	4	◎予	有		
			フランス語コミュニケーションA b	1	半期		2	3	4	◎予	有		
		フランス語コミュニケーションB a	1	半期		2	3	4	◎予	有			
		フランス語コミュニケーションB b	1	半期		2	3	4	◎予	有			
		名文で味わうフランス語 a	2	半期			3	4	◎予	有			
		名文で味わうフランス語 b	2	半期			3	4	◎予	有			
		現代を読むフランス語 a	2	半期			3	4	◎予	有			
		現代を読むフランス語 b	2	半期			3	4	◎予	有			
		フランス語スキルアップ a	1	半期		2	3	4	◎予	有			
		フランス語スキルアップ b	1	半期		2	3	4	◎予	有			

政治学科

必 選	卒業必要		科目名	単位	開講期	配当年次				抽選	履修不可科目	本年度休講	注意事項	
	科目数	単位数				1	2	3	4					
選 択			中国語ⅠA a (選)	1	半期	1	2	3	4	◎予	有			
			中国語ⅠA b (選)	1	半期	1	2	3	4	◎予	有			
			中国語ⅠB a (選)	1	半期	1	2	3	4	◎予	有			
			中国語ⅠB b (選)	1	半期	1	2	3	4	◎予	有			
			中国語Ⅱ a (選)	1	半期		2	3	4	◎予	有		・当該外国語科目の以下のいずれかの単位を修得済みであることが望ましい。 ・「ⅠA a」・「ⅠA b」・「ⅠB a」・「ⅠB b」(選択必修科目) ・「ⅠA a (選)」・「ⅠA b (選)」・「ⅠB a (選)」・「ⅠB b (選)」	
			中国語Ⅱ b (選)	1	半期		2	3	4	◎予	有			
			中国語コミュニケーションA a	1	半期		2	3	4	◎予	有		・当該外国語科目の以下のいずれかの単位を修得済みであることが望ましい。	
			中国語コミュニケーションA b	1	半期		2	3	4	◎予	有			
			中国語コミュニケーションB a	1	半期		2	3	4	◎予	有			
			中国語コミュニケーションB b	1	半期		2	3	4	◎予	有			
			名文で味わう中国語 a	2	半期			3	4	◎予	有			
			名文で味わう中国語 b	2	半期			3	4	◎予	有			
			現代を読む中国語 a	2	半期			3	4	◎予	有			
			現代を読む中国語 b	2	半期			3	4	◎予	有			
			中国語スキルアップ a	1	半期		2	3	4	◎予	有			
			中国語スキルアップ b	1	半期		2	3	4	◎予	有			
			スペイン語ⅠA a (選)	1	半期	1	2	3	4	◎予	有			
			スペイン語ⅠA b (選)	1	半期	1	2	3	4	◎予	有			
			スペイン語ⅠB a (選)	1	半期	1	2	3	4	◎予	有			
			スペイン語ⅠB b (選)	1	半期	1	2	3	4	◎予	有			
			スペイン語Ⅱ a (選)	1	半期		2	3	4	◎予	有			・当該外国語科目の以下のいずれかの単位を修得済みであることが望ましい。 ・「ⅠA a」・「ⅠA b」・「ⅠB a」・「ⅠB b」(選択必修科目) ・「ⅠA a (選)」・「ⅠA b (選)」・「ⅠB a (選)」・「ⅠB b (選)」
			スペイン語Ⅱ b (選)	1	半期		2	3	4	◎予	有			
			スペイン語コミュニケーションA a	1	半期		2	3	4	◎予	有		・当該外国語科目の以下のいずれかの単位を修得済みであることが望ましい。	
			スペイン語コミュニケーションA b	1	半期		2	3	4	◎予	有			
			スペイン語コミュニケーションB a	1	半期		2	3	4	◎予	有			
			スペイン語コミュニケーションB b	1	半期		2	3	4	◎予	有			
			名文で味わうスペイン語 a	2	半期			3	4	◎予	有			
			名文で味わうスペイン語 b	2	半期			3	4	◎予	有			
		現代を読むスペイン語 a	2	半期			3	4	◎予	有				
		現代を読むスペイン語 b	2	半期			3	4	◎予	有				
		スペイン語スキルアップ a	2	半期		2	3	4	◎予	有				
		スペイン語スキルアップ b	2	半期		2	3	4	◎予	有				
		ロシア語ⅠA a (選)	1	半期	1	2	3	4	◎予	有				
		ロシア語ⅠA b (選)	1	半期	1	2	3	4	◎予	有				
		ロシア語ⅠB a (選)	1	半期	1	2	3	4	◎予	有				
		ロシア語ⅠB b (選)	1	半期	1	2	3	4	◎予	有				

政治学科

必・選	卒業必要		科目名	単位	開講期	配当年次				抽選	履修不可科目	本年度休講	注意事項	
	科目数	単位数												
選択			ロシア語Ⅱ a (選)	1	半期		2	3	4	◎予	有		・当該外国語科目の以下のいずれかの単位を修得済みであることが望ましい。 ・「I A a」・「I A b」・「I B a」・「I B b」(選択必修科目) ・「I A a (選)」・「I A b (選)」・「I B a (選)」・「I B b (選)」	
			ロシア語Ⅱ b (選)	1	半期		2	3	4	◎予	有			
			ロシア語コミュニケーションA a	1	半期		2	3	4	◎予	有			
			ロシア語コミュニケーションA b	1	半期		2	3	4	◎予	有			
			ロシア語コミュニケーションB a	1	半期		2	3	4	◎予	有			
			ロシア語コミュニケーションB b	1	半期		2	3	4	◎予	有			
			名文で味わうロシア語 a	2	半期			3	4	◎予	有			
			名文で味わうロシア語 b	2	半期			3	4	◎予	有			
			現代を読むロシア語 a	2	半期			3	4	◎予	有			
			現代を読むロシア語 b	2	半期			3	4	◎予	有			
			ロシア語スキルアップ a	1	半期		2	3	4	◎予	有			
			ロシア語スキルアップ b	1	半期		2	3	4	◎予	有			
			朝鮮語Ⅰ A a (選)	1	半期	1	2	3	4	◎予	有			
			朝鮮語Ⅰ A b (選)	1	半期	1	2	3	4	◎予	有			
			朝鮮語Ⅰ B a (選)	1	半期	1	2	3	4	◎予	有			
			朝鮮語Ⅰ B b (選)	1	半期	1	2	3	4	◎予	有			
			朝鮮語Ⅱ a (選)	1	半期	1	2	3	4	◎予	有	・当該外国語科目の以下のいずれかの単位を修得済みであることが望ましい。 ・「I A a (選)」・「I A b (選)」・「I B a (選)」・「I B b (選)」		
			朝鮮語Ⅱ b (選)	1	半期	1	2	3	4	◎予	有			
			外国文化 a	2	半期	1	2	3	4	◎予				
			外国文化 b	2	半期	1	2	3	4	◎予				

3. 履修不可対象科目

下表の旧科目名で単位を修得済みの場合、現行科目名を履修することはできません。

現行科目名	旧科目名	修得年度	現行科目名	旧科目名	修得年度	
英語Ⅰ A a	英語Ⅰ A	平成25 (2013) 年度以前	スペイン語Ⅰ A a	スペイン語Ⅰ A	平成25 (2013) 年度以前	
英語Ⅰ A b			スペイン語Ⅰ A b			
英語Ⅰ B a			スペイン語Ⅰ B			
英語Ⅰ B b						
ドイツ語Ⅰ A a	ドイツ語Ⅰ A	平成25 (2013) 年度以前	ロシア語Ⅰ A a	ロシア語Ⅰ A	平成25 (2013) 年度以前	
ドイツ語Ⅰ A b						
ドイツ語Ⅰ B a	ドイツ語Ⅰ B		ロシア語Ⅰ B a	ロシア語Ⅰ B		
ドイツ語Ⅰ B b						
フランス語Ⅰ A a	フランス語Ⅰ A	平成25 (2013) 年度以前	英語Ⅱ A a	英語Ⅱ A	平成25 (2013) 年度以前	
フランス語Ⅰ A b						
フランス語Ⅰ B a			フランス語Ⅰ B	英語Ⅱ B a		英語Ⅱ B
フランス語Ⅰ B b						
中国語Ⅰ A a	中国語Ⅰ A	平成25 (2013) 年度以前	英語Ⅱ D a	英語Ⅱ D	平成25 (2013) 年度以前	
中国語Ⅰ A b						
中国語Ⅰ B a	中国語Ⅰ B		ドイツ語Ⅱ A a	ドイツ語Ⅱ A		
中国語Ⅰ B b						

現行科目名	旧科目名	修得年度
ドイツ語ⅡB a	ドイツ語ⅡB	平成25 (2013)年度以前
ドイツ語ⅡB b		
ドイツ語ⅡD a	ドイツ語ⅡD	
ドイツ語ⅡD b		
フランス語ⅡA a	フランス語ⅡA	
フランス語ⅡA b		
フランス語ⅡB a	フランス語ⅡB	
フランス語ⅡB b		
フランス語ⅡD a	フランス語ⅡD	
フランス語ⅡD b		
中国語ⅡA a	中国語ⅡA	
中国語ⅡA b		
中国語ⅡB a	中国語ⅡB	
中国語ⅡB b		
中国語ⅡD a	中国語ⅡD	
中国語ⅡD b		
スペイン語ⅡA a	スペイン語ⅡA	
スペイン語ⅡA b		
スペイン語ⅡB a	スペイン語ⅡB	
スペイン語ⅡB b		
スペイン語ⅡD a	スペイン語ⅡD	
スペイン語ⅡD b		
ロシア語ⅡA a	ロシア語ⅡA	
ロシア語ⅡA b		
ロシア語ⅡB a	ロシア語ⅡB	
ロシア語ⅡB b		
ロシア語ⅡD a	ロシア語ⅡD	
ロシア語ⅡD b		
ドイツ語ⅠA a (選)	ドイツ語ⅠA (選)	
ドイツ語ⅠA b (選)		
ドイツ語ⅠB a (選)	ドイツ語ⅠB (選)	
ドイツ語ⅠB b (選)		
ドイツ語Ⅱ a (選)	ドイツ語Ⅱ (選)	
ドイツ語Ⅱ b (選)		
ドイツ語コミュニケーションA a	ドイツ語コミュニケーションⅠ	
ドイツ語コミュニケーションA b		
ドイツ語コミュニケーションB a	ドイツ語コミュニケーションⅡ	
ドイツ語コミュニケーションB b		
フランス語ⅠA a (選)	フランス語ⅠA (選)	
フランス語ⅠA b (選)		
フランス語ⅠB a (選)	フランス語ⅠB (選)	
フランス語ⅠB b (選)		
フランス語Ⅱ a (選)	フランス語Ⅱ (選)	
フランス語Ⅱ b (選)		
フランス語コミュニケーションA a	フランス語コミュニケーションⅠ	
フランス語コミュニケーションA b		
フランス語コミュニケーションB a	フランス語コミュニケーションⅡ	
フランス語コミュニケーションB b		

現行科目名	旧科目名	修得年度
中国語ⅠA a (選)	中国語ⅠA (選)	平成25 (2013)年度以前
中国語ⅠA b (選)		
中国語ⅠB a (選)	中国語ⅠB (選)	
中国語ⅠB b (選)		
中国語Ⅱ a (選)	中国語Ⅱ (選)	
中国語Ⅱ b (選)		
中国語コミュニケーションA a	中国語コミュニケーションⅠ	
中国語コミュニケーションA b		
中国語コミュニケーションB a	中国語コミュニケーションⅡ	
中国語コミュニケーションB b		
スペイン語ⅠA a (選)	スペイン語ⅠA (選)	
スペイン語ⅠA b (選)		
スペイン語ⅠB a (選)	スペイン語ⅠB (選)	
スペイン語ⅠB b (選)		
スペイン語Ⅱ a (選)	スペイン語Ⅱ (選)	
スペイン語Ⅱ b (選)		
スペイン語コミュニケーションA a	スペイン語コミュニケーションⅠ	
スペイン語コミュニケーションA b		
スペイン語コミュニケーションB a	スペイン語コミュニケーションⅡ	
スペイン語コミュニケーションB b		
ロシア語ⅠA a (選)	ロシア語ⅠA (選)	
ロシア語ⅠA b (選)		
ロシア語ⅠB a (選)	ロシア語ⅠB (選)	
ロシア語ⅠB b (選)		
ロシア語Ⅱ a (選)	ロシア語Ⅱ (選)	
ロシア語Ⅱ b (選)		
ロシア語コミュニケーションA a	ロシア語コミュニケーションⅠ	
ロシア語コミュニケーションA b		
ロシア語コミュニケーションB a	ロシア語コミュニケーションⅡ	
ロシア語コミュニケーションB b		
朝鮮語ⅠA a (選)	朝鮮語ⅠA (選)	
朝鮮語ⅠA b (選)		
朝鮮語ⅠB a (選)	朝鮮語ⅠB (選)	
朝鮮語ⅠB b (選)		
朝鮮語Ⅱ a (選)	朝鮮語Ⅱ (選)	
朝鮮語Ⅱ b (選)		

4. 廃講科目

下表の科目は、廃講年度以降は開講されません。ただし、廃講となった科目の単位を廃講年度以前に修得済みの場合、卒業に必要な単位数として算入され、成績表に記載されます。

廃講科目名	廃講年度	廃講科目名	廃講年度
英語 I A	平成26 (2014) 年度以降	英文講読	平成26 (2014) 年度以降
英語 I B		時事英語研究	
ドイツ語 I A		マルチ・メディア	
ドイツ語 I B		英会話 II	
フランス語 I A		英会話 III	
フランス語 I B		英語 LL II	
中国語 I A		英語 LL III	
中国語 I B		ドイツ語コミュニケーション I	
スペイン語 I A		フランス語コミュニケーション I	
スペイン語 I B		中国語コミュニケーション I	
ロシア語 I A		スペイン語コミュニケーション I	
ロシア語 I B		ロシア語コミュニケーション I	
英語 II A		ドイツ語コミュニケーション II	
英語 II B		フランス語コミュニケーション II	
英語 II D		中国語コミュニケーション II	
ドイツ語 II A		スペイン語コミュニケーション II	
ドイツ語 II B		ロシア語コミュニケーション II	
ドイツ語 II D		ドイツ語 II (選)	
フランス語 II A		フランス語 II (選)	
フランス語 II B		中国語 II (選)	
フランス語 II D		スペイン語 II (選)	
中国語 II A		ロシア語 II (選)	
中国語 II B		朝鮮語 II (選)	
中国語 II D		ドイツ語 II C (会話) (2単位・通年)	
スペイン語 II A		ドイツ語 LL I (2単位・通年)	
スペイン語 II B		フランス語 II C (会話) (2単位・通年)	
スペイン語 II D		フランス語 LL I (2単位・通年)	
ロシア語 II A		中国語 II C (会話) (2単位・通年)	
ロシア語 II B		中国語 LL I (2単位・通年)	
ロシア語 II D		スペイン語 II C (会話) (2単位・通年)	
英会話 I		スペイン語 LL I (2単位・通年)	
英語 LL I		ロシア語 II C (会話) (2単位・通年)	
ドイツ語 I A (選)		ロシア語 LL I (2単位・通年)	
ドイツ語 I B (選)		ドイツ語 LL I	
フランス語 I A (選)	ドイツ語 LL II		
フランス語 I B (選)	フランス語 LL I		
中国語 I A (選)	フランス語 LL II		
中国語 I B (選)	中国語 LL I		
スペイン語 I A (選)	中国語 LL II		
スペイン語 I B (選)	スペイン語 LL I		
ロシア語 I A (選)	スペイン語 LL II		
ロシア語 I B (選)	ロシア語 LL I		
朝鮮語 I A (選)	ロシア語 LL II		
朝鮮語 I B (選)			

平成18 (2006) 年度以降
 ※平成17 (2005) 年度まで左記の外国語科目「II D」の振替科目として、履修することができました。

平成18 (2006) 年度以降

5. 教養特別履修該当科目一覧

「教養特別履修（英語）」

領域	配置科目	単位	必要単位数
英語の読解・聴解力を高める	実用英語資格試験Ⅱ a(聴解)	1	8
	実用英語資格試験Ⅱ b(文法・読解)	1	
	ビジネス英語Ⅱ	1	
	英語プレゼンテーションⅡ a	1	
	英語プレゼンテーションⅡ b	1	
	英語ディスカッションⅠ a	1	
	英語ディスカッションⅠ b	1	
	学術英語資格試験Ⅰ a(読解)	1	
	学術英語資格試験Ⅰ b(聴解・会話)	1	
	英語アカデミック・ライティングⅠ a	1	
	英語アカデミック・ライティングⅠ b	1	
	実用英語資格試験Ⅲ a(聴解)	1	
	実用英語資格試験Ⅲ b(文法・読解)	1	
	総合英語資格試験 a(読解)	1	
	総合英語資格試験 b(聴解・二次)	1	
	英語ディスカッションⅡ a	1	
	英語ディスカッションⅡ b	1	
	学術英語資格試験Ⅱ a(読解)	1	
	学術英語資格試験Ⅱ b(聴解・会話)	1	
	英語アカデミック・ライティングⅡ	1	
英語によって教養を学ぶ	英語で学ぶ教養（言語Ⅰ）	2	8
	英語で学ぶ教養（言語Ⅱ）	2	
	英語で学ぶ教養（言語Ⅲ）	2	
	英語で学ぶ教養（言語Ⅳ）	2	
	英語で学ぶ教養（言語Ⅴ）	2	
	英語で学ぶ教養（言語Ⅵ）	2	
	英語で学ぶ教養（言語Ⅶ）	2	
	英語で学ぶ教養（言語Ⅷ）	2	
	英語で学ぶ教養（文化Ⅰ）	2	
	英語で学ぶ教養（文化Ⅱ）	2	
	英語で学ぶ教養（文化Ⅲ）	2	
	英語で学ぶ教養（文化Ⅳ）	2	
	英語で学ぶ教養（文化Ⅴ）	2	
	英語で学ぶ教養（文化Ⅵ）	2	
	英語で学ぶ教養（歴史と社会Ⅰ）	2	
	英語で学ぶ教養（歴史と社会Ⅱ）	2	
	英語で学ぶ教養（歴史と社会Ⅲ）	2	
	英語で学ぶ教養（歴史と社会Ⅳ）	2	
	英語で学ぶ教養（歴史と社会Ⅴ）	2	
	英語で学ぶ教養（歴史と社会Ⅵ）	2	
合計必要単位		16	

「教養特別履修（ドイツ語）」

領域	配置科目	単位	必要単位数
	ドイツ語Ⅰ A a	1	16
	ドイツ語Ⅰ A b	1	
	ドイツ語Ⅰ B a	1	
	ドイツ語Ⅰ B b	1	
	ドイツ語Ⅱ A a	1	
	ドイツ語Ⅱ A b	1	
	ドイツ語Ⅱ B a	1	
	ドイツ語Ⅱ B b	1	
	ドイツ語Ⅱ D a	1	
	ドイツ語Ⅱ D b	1	
	ドイツ語Ⅰ A a（選）	1	
	ドイツ語Ⅰ A b（選）	1	
	ドイツ語Ⅰ B a（選）	1	
	ドイツ語Ⅰ B b（選）	1	
	ドイツ語Ⅱ a（選）	1	
	ドイツ語Ⅱ b（選）	1	
	ドイツ語コミュニケーションA a	1	
	ドイツ語コミュニケーションA b	1	
	ドイツ語コミュニケーションB a	1	
	ドイツ語コミュニケーションB b	1	
名文で味わうドイツ語 a	2		
名文で味わうドイツ語 b	2		
現代を読むドイツ語 a	2		
現代を読むドイツ語 b	2		
ドイツ語スキルアップ a	1		
ドイツ語スキルアップ b	1		
合計必要単位		16	

「教養特別履修（フランス語）」

領域	配置科目	単位	必要単位数
	フランス語 I A a	1	16
	フランス語 I A b	1	
	フランス語 I B a	1	
	フランス語 I B b	1	
	フランス語 II A a	1	
	フランス語 II A b	1	
	フランス語 II B a	1	
	フランス語 II B b	1	
	フランス語 II D a	1	
	フランス語 II D b	1	
	フランス語 I A a (選)	1	
	フランス語 I A b (選)	1	
	フランス語 I B a (選)	1	
	フランス語 I B b (選)	1	
	フランス語 II a (選)	1	
	フランス語 II b (選)	1	
	フランス語コミュニケーションA a	1	
	フランス語コミュニケーションA b	1	
	フランス語コミュニケーションB a	1	
	フランス語コミュニケーションB b	1	
	名文で味わうフランス語 a	2	
	名文で味わうフランス語 b	2	
	現代を読むフランス語 a	2	
	現代を読むフランス語 b	2	
	フランス語スキルアップ a	1	
	フランス語スキルアップ b	1	
海外語学短期留学 セミナー認定科目	フランス語（海外演習）	2	
合計必要単位			16

「教養特別履修（中国語）」

領域	配置科目	単位	必要単位数
	中国語 I A a	1	16
	中国語 I A b	1	
	中国語 I B a	1	
	中国語 I B b	1	
	中国語 II A a	1	
	中国語 II A b	1	
	中国語 II B a	1	
	中国語 II B b	1	
	中国語 II D a	1	
	中国語 II D b	1	
	中国語 I A a (選)	1	
	中国語 I A b (選)	1	
	中国語 I B a (選)	1	
	中国語 I B b (選)	1	
	中国語 II a (選)	1	
	中国語 II b (選)	1	
	中国語コミュニケーションA a	1	
	中国語コミュニケーションA b	1	
	中国語コミュニケーションB a	1	
	中国語コミュニケーションB b	1	
	名文で味わう中国語 a	2	
	名文で味わう中国語 b	2	
	現代を読む中国語 a	2	
	現代を読む中国語 b	2	
	中国語スキルアップ a	1	
	中国語スキルアップ b	1	
海外語学短期留学 セミナー認定科目	中国語（海外演習）	2	
合計必要単位			16

「教養特別履修（スペイン語）」

領域	配置科目	単位	必要単位数
	スペイン語ⅠA a	1	16
	スペイン語ⅠA b	1	
	スペイン語ⅠB a	1	
	スペイン語ⅠB b	1	
	スペイン語ⅡA a	1	
	スペイン語ⅡA b	1	
	スペイン語ⅡB a	1	
	スペイン語ⅡB b	1	
	スペイン語ⅡD a	1	
	スペイン語ⅡD b	1	
	スペイン語ⅠA a（選）	1	
	スペイン語ⅠA b（選）	1	
	スペイン語ⅠB a（選）	1	
	スペイン語ⅠB b（選）	1	
	スペイン語Ⅱ a（選）	1	
	スペイン語Ⅱ b（選）	1	
	スペイン語コミュニケーションA a	1	
	スペイン語コミュニケーションA b	1	
	スペイン語コミュニケーションB a	1	
	スペイン語コミュニケーションB b	1	
	名文で味わうスペイン語 a	2	
	名文で味わうスペイン語 b	2	
	現代を読むスペイン語 a	2	
	現代を読むスペイン語 b	2	
	スペイン語スキルアップ a	1	
	スペイン語スキルアップ b	1	
合計必要単位			16

「教養特別履修（ロシア語）」

領域	配置科目	単位	必要単位数
	ロシア語ⅠA a	1	16
	ロシア語ⅠA b	1	
	ロシア語ⅠB a	1	
	ロシア語ⅠB b	1	
	ロシア語ⅡA a	1	
	ロシア語ⅡA b	1	
	ロシア語ⅡB a	1	
	ロシア語ⅡB b	1	
	ロシア語ⅡD a	1	
	ロシア語ⅡD b	1	
	ロシア語ⅠA a（選）	1	
	ロシア語ⅠA b（選）	1	
	ロシア語ⅠB a（選）	1	
	ロシア語ⅠB b（選）	1	
	ロシア語Ⅱ a（選）	1	
	ロシア語Ⅱ b（選）	1	
	ロシア語コミュニケーションA a	1	
	ロシア語コミュニケーションA b	1	
	ロシア語コミュニケーションB a	1	
	ロシア語コミュニケーションB b	1	
	名文で味わうロシア語 a	2	
	名文で味わうロシア語 b	2	
	現代を読むロシア語 a	2	
	現代を読むロシア語 b	2	
	ロシア語スキルアップ a	1	
	ロシア語スキルアップ b	1	
合計必要単位			16

保健体育科目

1. 履修上の注意

- ①保健体育科目は、全学共通科目として設置されており、実技科目・講義実技科目・講義科目に分かれています。
- ②選択科目として修得した単位数は、保健体育科目として認定され、卒業に必要な広域選択の単位数に算入されます。ただし、履修の上限は6単位までとします。
- ③玉川キャンパスの「実技科目」は、種目によっては天候等に左右され、本来の授業計画が変更される場合があります。
- ・受講する学生の習熟度によって学習の進度が変更になる場合があります。
 - ・『シラバス』に掲載された各種目の授業計画案はあくまでも目安です。
- ④玉川キャンパスでは、雨天等の指示など特別な連絡事項がある場合は、授業が行われる校舎の掲示板等で周知します。
- ⑤見学について
- ・体調不良者は指導教員の許可を得て、授業を見学することができます。
 - ・やむを得ない事情により、長期にわたる運動制限を余儀なくされた場合、長期見学者扱いとします。授業の参加形態は指導教員と相談してください。
- ⑥服装について
- ・服装および更衣室については、指導教員の指示に従ってください。
- ⑦事故・負傷・貴重品の管理について
- ・実技の時間に事故・負傷が発生した場合、直ちに指導教員に報告し、指示を受けてください。
 - ・貴重品の管理は、各自で行い、貴重品ロッカーを利用するなど十分注意してください。
- ⑧「生涯スポーツ演習Ⅰ・Ⅱ」について
- ・『授業時間表』では、「特时限」に掲載されています。
 - ・同一年度に「生涯スポーツ演習Ⅰ」から1科目、「生涯スポーツ演習Ⅱ」から1科目履修できます。
 - ・オリエンテーションに出席し、「受講許可書」の発行を受けてください。受講許可を受けた後、実習費を納入した学生が履修できます。
 - ・1回目のオリエンテーションで定員に達しない場合、2回目のオリエンテーションを実施します。
 - ・オリエンテーション日程
1回目：4月 5日（土）12:10～12:40 1-304教場
2回目：4月 12日（土）12:10～12:40 1-304教場
 - ・この科目は教務部でKONECO履修登録を行います。従って、年間履修制限単位数から、履修する「生涯スポーツ演習Ⅰ・Ⅱ」の単位数分を差し引いた状態で履修登録を完了させてください。履修確認期間に科目の登録が行われているかを必ず確認してください。
 - ・授業日程

生涯スポーツ演習Ⅰ	①種目・定員：ゴルフ・40名 ②日程 (1) 事前授業 7月19日（土）13:00～16:10 教場はオリエンテーション時にお知らせします。 (2) 合宿授業 9月1日（月）に玉川校舎の玉-306教場で実施 9月2日（火）～5日（金）3泊4日
生涯スポーツ演習Ⅱ	①種目・定員：スキー・25名、スノーボード・35名 ②日程 (1) 事前授業 1月8日（木）13:00～16:10 教場はオリエンテーション時にお知らせします。 (2) 合宿授業 1月27日（火）～31日（土）4泊5日

2. 開設科目一覧

政治学科

必 ・ 選	卒業必要		科目名	単位	開講期	配当年次				抽選	履修不可科目	本年度休講	注意事項
	科目数	単位数				1	2	3	4				
選 択	履修の上 限 6 単 位	実 技	健康・スポーツ実習	2	通年	1							《種目・定員》 ・4月初回の授業で種目を決定しますので、必ず出席してください。服装は普段着で構いません。 ・前期・後期で異なる種目を受講してください。 ・複数担当教員がいる授業なので、自分の種目の担当教員名を把握しておいてください。 《玉川キャンパス》 《再クラス》
			生涯スポーツ実習Ⅰ（前期・基礎）	1	半期	1				○予		「1. 履修上の注意」を参照してください。	
			生涯スポーツ実習Ⅱ（前期・基礎）	1	半期		2			○予			
			生涯スポーツ実習Ⅲ（前期・基礎）	1	半期			3		○予			
			生涯スポーツ実習Ⅳ（前期・基礎）	1	半期				4	○予			
			生涯スポーツ実習Ⅰ（後期・基礎）	1	半期	1				○予			
			生涯スポーツ実習Ⅱ（後期・基礎）	1	半期		2			○予			
			生涯スポーツ実習Ⅲ（後期・基礎）	1	半期			3		○予			
			生涯スポーツ実習Ⅳ（後期・基礎）	1	半期				4	○予			
			生涯スポーツ実習Ⅰ（前期・応用）	1	半期	1				○予			
			生涯スポーツ実習Ⅱ（前期・応用）	1	半期		2			○予			
			生涯スポーツ実習Ⅲ（前期・応用）	1	半期			3		○予			
			生涯スポーツ実習Ⅳ（前期・応用）	1	半期				4	○予			
			生涯スポーツ実習Ⅰ（後期・応用）	1	半期	1				○予			
	生涯スポーツ実習Ⅱ（後期・応用）	1	半期		2			○予					
	生涯スポーツ実習Ⅲ（後期・応用）	1	半期			3		○予					
	生涯スポーツ実習Ⅳ（後期・応用）	1	半期				4	○予					
	講 義 実 技	生涯スポーツ演習Ⅰ（シーズン基礎A）	2	シーズン	1	2	3	4			・「1. 履修上の注意」を参照してください。		
		生涯スポーツ演習Ⅰ（シーズン基礎B）	2	シーズン	1	2	3	4					
		生涯スポーツ演習Ⅰ（シーズン応用A）	2	シーズン	1	2	3	4					
		生涯スポーツ演習Ⅰ（シーズン応用B）	2	シーズン	1	2	3	4					
		生涯スポーツ演習Ⅱ（シーズン基礎A）	2	シーズン	1	2	3	4					
		生涯スポーツ演習Ⅱ（シーズン基礎B）	2	シーズン	1	2	3	4					
		生涯スポーツ演習Ⅱ（シーズン応用A）	2	シーズン	1	2	3	4					
	生涯スポーツ演習Ⅱ（シーズン応用B）	2	シーズン	1	2	3	4						
	講 義	健康・スポーツ論1	2	半期	1				○予		《玉川キャンパス》		
		健康・スポーツ論2	2	半期	1	2	3	4	○予				

3. 廃講科目

下表の科目は、廃講年度以降は開講されません。ただし、廃講となった科目の単位を廃講年度以前に修得済みの場合、卒業に必要な単位数として算入され、成績表に記載されます。

廃講科目名	廃講年度
生涯スポーツ実習（集中前期・基礎）	平成25（2013）年度以降
生涯スポーツ実習（集中前期・応用）	
生涯スポーツ実習（集中後期・基礎）	
生涯スポーツ実習（集中後期・応用）	
生涯スポーツ演習Ⅰ（シーズン・基礎）	
生涯スポーツ演習Ⅰ（シーズン・応用）	
生涯スポーツ演習Ⅱ（シーズン・基礎）	
生涯スポーツ演習Ⅱ（シーズン・応用）	

専門教育科目

1. 履修上の注意

- ①専門教育科目は、必修科目（平成25年度以前入学生に該当）、選択必修科目および選択科目に分かれ、定められた単位を修得しなければなりません。専門教育科目全般にわたって十分検討して履修することが必要です。
- ②定められた単位を超えて修得した選択必修科目の単位数は、専門教育科目の選択科目として卒業に必要な単位数に算入されます。
- ③定められた単位を超えて修得した選択科目の単位数は、専門教育科目として認定され、卒業に必要な広域選択の単位数に算入されます。
- ④前年度までに単位を修得した科目は、その時点で指定されていた履修単位の区分（必修・選択必修・選択）で単位が認定されます。従って、前年度と同一名称の科目であっても、履修単位の区分が変更していた場合、単位を修得した時点の履修単位の区分で単位が認定されます（例：前年度は選択科目だった科目 A が、今年度は選択必修として開講していた。前年度までに科目 A の単位を修得している場合、それは選択科目として単位が認定される。逆に前年度までに科目 A の単位を未修得の場合、今年度以降に単位を修得すると選択必修として単位が認定される）。
- ⑤開設科目一覧上に指定されている卒業に必要な単位数・科目数も、前年度に指定されていた条件に該当する科目名で単位を修得済みの場合、今年度に対象科目名が変更していたとしても、前年度までに指定されていた卒業必要科目数・単位数を満たしていると判断します。また、前年度までに指定されていた卒業必要科目数・単位数を満たしていない場合は、今年度開講している科目名で条件を満たすこととなります。

2. コース制について

政治学全般の入門としての「政治学基礎」と政治を考える土台となる「憲法」の2科目は1年次に全員が必ず履修しなければなりません。また、政治学の基本的理論と考え方の理解を深めるため「現代政治分析入門1」・「現代政治分析入門2」・「日本政治入門」・「現代政治理論入門」・「行政学・公共政策入門」・「国際社会入門」・「国際関係入門」の7科目のうちから自らの関心にあわせて科目を選択し、全員履修の2科目（「政治学基礎」と「憲法」）とあわせて16単位以上を修得する必要があります。「ヨーロッパ政治史」も1年次から履修できる専門教育科目ですが、この科目は「発展科目」です。こうした科目を学んだ上で2年次からどれか1つのコースを選択することになります。コースは各学生の自主性にまかせた届け出制であり、選抜制ではありません。

コースは4つに分かれ、それぞれのコースでは次のような人材の育成を目指しています。

・「現代社会と政治コース」

教員をはじめ、社会の各分野で次世代の人間育成と持続可能な社会の形成に深く携わる人材。他にも、省庁、地方自治体、銀行、証券、商社、製造業、IT サービスなど幅広い分野で社会への貢献を目指す人材。

※全員履修科目の「政治学基礎」および「憲法」に加えて、1年次または2年次に「現代政治理論入門」「日本政治入門」を履修することが望ましい。

・「行政・公共政策コース」

公務員および行政の公共性を理解したうえで、望ましい・住みやすい地域社会の構築に主体的に関与できる社会人。

※全員履修科目の「政治学基礎」および「憲法」に加えて、1年次または2年次に「行政学・公共政策入門」を履修することが望ましい。

・「国際・地域研究コース」

海外の地域やそこに住む人々に関する深い造詣を有し、国際機関、グローバルに活躍する企業や団体、国際社会や地域・団体交流の場で積極的役割を担う国際社会人。

※全員履修科目の「政治学基礎」および「憲法」に加えて、1年次または2年次に「国際社会入門」「国際関係入門」を履修することが望ましい。

・「政治とメディア研究コース」

幅広い情報収集技術と情報を正確に読みこなせるメディア・リテラシーを身につけ、各種マスコミおよび企業の企画・商品開発・宣伝広報部門で活躍できる人材。

※全員履修科目の「政治学基礎」および「憲法」に加えて、1年次または2年次に「現代政治分析入門1」「現代政治分析入門2」を履修することが望ましい。

学生諸君は、卒業後の進路も見据えて最も自分に適すると思われるコースを選択してください。選択したコースの科目群から24単位以上を履修しなければなりません。選択しなかった他の3つのコースにおかれた選択必修科目はすべて選択科目として履修できます。

・コース登録方法

1年次生はコース登録が必要です。

11月上旬に KONECO で登録します。詳細な登録方法および期間等については、KONECO および掲示等を参照してください。

3. 開設科目一覧

対象入学年度：政治学科（現代社会と政治コース）平成26（2014）年度以降入学生

必・選	単位数	科目名	単位	開講期	配当年次				抽選	履修不可科目	本年度休講	注意事項	
必・選	全員	政治学基礎	4	通年	1							・1年次に全員履修すること	
		憲法	4	通年	1								
	基礎	16単位	日本政治入門	4	通年	1	2	3	4				・1年次または2年次に履修することが望ましい。
			現代政治理論入門	2	半期	1	2	3	4				
			国際社会入門	2	半期	1	2	3	4				
			国際関係入門	2	半期	1	2	3	4				
			現代政治分析入門1	2	半期	1	2	3	4				
			現代政治分析入門2	2	半期	1	2	3	4				
			行政学・公共政策入門	4	通年	1	2	3	4				
			ヨーロッパ政治史	4	通年		2	3	4	◎予			
	発展	24単位	政治学原論	4	通年		2	3	4	◎予			
			現代政治理論応用	2	半期		2	3	4	◎予			
			政治思想史	4	通年		2	3	4	◎予			
			政治制度論	4	通年		2	3	4	◎予			
			政治過程論	4	通年		2	3	4	◎予			
			国際関係論	4	通年		2	3	4	◎予			
			比較政治学	4	通年		2	3	4	◎予			
			政治経済学	4	通年		2	3	4	◎予			
			政治社会学	4	通年		2	3	4	◎予			
			安全保障論	4	通年		2	3	4	◎予			
			日本政治史	4	通年		2	3	4	◎予			
			選択	52単位以上	基礎演習	4	通年		2				
	演習Ⅰ	4			通年			3					《受講制限》 ・2年次10月に行う履修希望者の募集で許可された3年次生のみ履修可能となります。
	演習Ⅱ	4			通年				4				《受講制限》
政治学特殊講義（1）	2	半期				2	3	4	◎予				
政治学特殊講義（2）	2	半期				2	3	4	◎予				
政治学特殊講義（3）	2	半期				2	3	4	◎予				
政治学特殊講義（4）	2	半期				2	3	4	◎予				
外書講読Ⅰ（英書）	4	通年					3		◎予				
外書講読Ⅰ（独書）	4	通年					3		◎予				
外書講読Ⅰ（仏書）	4	通年					3		◎予				
外書講読Ⅰ（中国書）	4	通年					3		◎予				
外書講読Ⅱ（英書）	4	通年						4	◎予				
外書講読Ⅱ（独書）	4	通年						4	◎予				
外書講読Ⅱ（仏書）	4	通年						4	◎予				
外書講読Ⅱ（中国書）	4	通年						4	◎予				
国際法	4	通年				2	3	4	◎予				
北米政治論	2	半期				2	3	4	◎予				
中南米政治論	2	半期				2	3	4	◎予				
オセアニア政治論	2	半期		2	3	4	◎予						
東南アジア政治論	2	半期		2	3	4	◎予						

対象入学年度：政治学科（現代社会と政治コース）平成26（2014）年度以降入学生

必・選	単位数	科目名	単位	開講期	配当年次			抽選	履修不可科目	本年度休講	注意事項
選 択	52 単 位 以 上	東アジア政治論	2	半期	2	3	4	◎予			
		南アジア政治論	2	半期	2	3	4	◎予			
		ロシア政治論	2	半期	2	3	4	◎予			
		ヨーロッパ政治論	2	半期	2	3	4	◎予			
		EU 政治論	2	半期	2	3	4	◎予			
		中東政治論	2	半期	2	3	4	◎予			
		アフリカ政治論	2	半期	2	3	4	◎予			
		政治学方法論	2	半期	2	3	4	◎予			
		比較憲法	4	通年	2	3	4	◎予			
		現代国家論	4	通年	2	3	4	◎予			
		外交史	4	通年	2	3	4	◎予			
		国際関係とメディア	2	半期	2	3	4	◎予			
		世界政治とメディア	2	半期	2	3	4	◎予			
		NPO/NGO とメディア	2	半期	2	3	4	◎予			
		マス・コミュニケーション論	4	通年	2	3	4	◎予			
		ジャーナリズム論	4	通年	2	3	4	◎予			
		比較メディア論	4	通年	2	3	4	◎予			・「マス・コミュニケーション論」「ジャーナリズム論」を履修済み、または同時履修であることが望ましい。
		数量政治学	4	通年	2	3	4	◎予			
		政治心理学	4	通年	2	3	4	◎予			
		地方行政	4	通年	2	3	4	◎予			・「行政学・公共政策入門」を履修済み、または同時履修であることが望ましい。
		政策決定論	4	通年	2	3	4	◎予			・「政治過程論」を履修済み、または同時履修であることが望ましい。
		都市・まちづくり論	4	通年	2	3	4	◎予			・「地方行政」を履修済み、または同時履修であることが望ましい。
		行政法総論	4	通年	2	3	4	◎予			
		行政救済法	4	通年		3	4	◎予			・「行政法総論」を履修済み、または同時履修であることが望ましい。
		地方自治法	4	通年	2	3	4	◎予			
		民法（総則・物権法）	4	通年	2	3	4	◎予			
		刑法総論	4	通年	2	3	4	◎予			
		労働法	4	通年		3	4	◎予			
		社会政策	4	通年	2	3	4	◎予			
		環境政策	4	通年	2	3	4	◎予			
		社会学原理	4	通年	2	3	4	◎予			
		財政学	4	通年	2	3	4	◎予			
		経済原論	4	通年	2	3	4	◎先			
日本法制史	4	通年	2	3	4	◎先					
西洋法制史	4	通年	2	3	4	◎予					
経済政策	4	通年	2	3	4	◎予					
会社法	4	通年	2	3	4	◎予					
英米法	4	通年	2	3	4	◎予					
刑事政策	4	通年	2	3	4	◎予					
刑法各論	4	通年	2	3	4	◎予					
民法（債権）	4	通年	2	3	4	◎予					
時事英語	2	半期	2	3	4	◎予					
実務者講座	2	半期	2	3	4	◎予			・「政治学基礎」または「政治学概論」の単位を修得済みであることが望ましい。		

対象入学年度：政治学科（現代社会と政治コース）平成26（2014）年度以降入学生

必・選	単位数	科目名	単位	開講期	配当年次			抽選	履修不可科目	本年度休講	注意事項
選択	52 単位以上	国際経済論 a	2	半期		2	3	4	◎予		
		国際経済論 b	2	半期		2	3	4	◎予		
		農業政策 a	2	半期		2	3	4	◎予		
		農業政策 b	2	半期		2	3	4	◎予		
		工業政策 a	2	半期		2	3	4	◎予		
		工業政策 b	2	半期		2	3	4	◎予		
		流通政策 a	2	半期		2	3	4	◎予		
		流通政策 b	2	半期		2	3	4	◎予		
		地方財政論 a	2	半期		2	3	4	◎予		
		地方財政論 b	2	半期		2	3	4	◎予		
		交通論 a	2	半期		2	3	4	◎予		休
		交通論 b	2	半期		2	3	4	◎予		休
		地域計画論 A	2	半期		2	3	4	◎予		
		地域計画論 B	2	半期		2	3	4	◎予		
		現代産業事情Ⅲ	2	半期	1	2	3	4	◎予		・駒澤大学会計人会協力講座です。
		経済法	4	通年			3	4	◎予		
		国際紛争解決法	4	通年			3	4	◎予		
		社会保障法	4	通年			3	4	◎予		
		非営利組織論 a	2	半期			3	4	◎予		・「b」は同一名称の科目の「a」の単位を修得済みであることが望ましい。
非営利組織論 b	2	半期			3	4	◎予				

対象入学年度：政治学科（行政・公共政策コース）平成26（2014）年度以降入学生

必・選	単位数	科目名	単位	開講期	配当年次				抽選	履修不可科目	本年度休講	注意事項			
選 取 必 修	全 員	政治学基礎	4	通年	1							・1年次に全員履修すること			
		憲法	4	通年	1										
	基 礎	16 単 位	現代政治分析入門1	2	半期	1	2	3	4				・1年次または2年次に履修することが望ましい。		
			現代政治分析入門2	2	半期	1	2	3	4						
			日本政治入門	4	通年	1	2	3	4						
			現代政治理論入門	2	半期	1	2	3	4						
			行政学・公共政策入門	4	通年	1	2	3	4						
			国際社会入門	2	半期	1	2	3	4						
			国際関係入門	2	半期	1	2	3	4						
			地方行政	4	通年		2	3	4	◎予				・「行政学・公共政策入門」を履修済み、または同時履修であることが望ましい。	
	発 展	24 単 位	政策決定論	4	通年		2	3	4	◎予			・「政治過程論」を履修済み、または同時履修であることが望ましい。		
			都市・まちづくり論	4	通年		2	3	4	◎予			・「地方行政」を履修済み、または同時履修であることが望ましい。		
			行政法総論	4	通年		2	3	4	◎予					
			行政救済法	4	通年			3	4	◎予			・「行政法総論」を履修済み、または同時履修であることが望ましい。		
			地方自治法	4	通年		2	3	4	◎予					
			民法（総則・物権法）	4	通年		2	3	4	◎予					
			刑法総論	4	通年		2	3	4	◎予					
			労働法	4	通年			3	4	◎予					
			社会政策	4	通年		2	3	4	◎予					
			環境政策	4	通年		2	3	4	◎予					
			選 取	52 単 位 以 上	基礎演習	4	通年		2						《受講制限》 ・1年次10月に行う履修希望者の募集で許可された2年次生のみ履修可能となります。
					演習Ⅰ	4	通年			3					《受講制限》 ・2年次10月に行う履修希望者の募集で許可された3年次のみ履修可能となります。
	演習Ⅱ	4			通年				4				《受講制限》		
	政治学特殊講義（1）	2			半期		2	3	4	◎予					
政治学特殊講義（2）	2	半期				2	3	4	◎予						
政治学特殊講義（3）	2	半期				2	3	4	◎予						
政治学特殊講義（4）	2	半期				2	3	4	◎予						
外書講読Ⅰ（英書）	4	通年					3		◎予						
外書講読Ⅰ（独書）	4	通年					3		◎予						
外書講読Ⅰ（仏書）	4	通年					3		◎予						
外書講読Ⅰ（中国書）	4	通年					3		◎予						
外書講読Ⅱ（英書）	4	通年						4	◎予						
外書講読Ⅱ（独書）	4	通年						4	◎予						
外書講読Ⅱ（仏書）	4	通年						4	◎予						
外書講読Ⅱ（中国書）	4	通年						4	◎予						
政治学原論	4	通年				2	3	4	◎予						
現代政治理論応用	2	半期		2	3	4	◎予								
政治思想史	4	通年		2	3	4	◎予								
政治制度論	4	通年		2	3	4	◎予								

対象入学年度：政治学科（行政・公共政策コース） 平成26（2014）年度以降入学生

必・選	単位数	科目名	単位	開講期	配当年次			抽選	履修不可科目	本年度休講	注意事項
					2	3	4				
選 択	52 単位以上	ヨーロッパ政治史	4	通年	2	3	4	◎予			
		政治過程論	4	通年	2	3	4	◎予			
		国際関係論	4	通年	2	3	4	◎予			
		比較政治学	4	通年	2	3	4	◎予			
		政治社会学	4	通年	2	3	4	◎予			
		政治経済学	4	通年	2	3	4	◎予			
		安全保障論	4	通年	2	3	4	◎予			
		日本政治史	4	通年	2	3	4	◎予			
		国際法	4	通年	2	3	4	◎予			
		北米政治論	2	半期	2	3	4	◎予			
		中南米政治論	2	半期	2	3	4	◎予			
		オセアニア政治論	2	半期	2	3	4	◎予			
		東南アジア政治論	2	半期	2	3	4	◎予			
		東アジア政治論	2	半期	2	3	4	◎予			
		南アジア政治論	2	半期	2	3	4	◎予			
		ロシア政治論	2	半期	2	3	4	◎予			
		ヨーロッパ政治論	2	半期	2	3	4	◎予			
		EU 政治論	2	半期	2	3	4	◎予			
		中東政治論	2	半期	2	3	4	◎予			
		アフリカ政治論	2	半期	2	3	4	◎予			
		政治学方法論	2	半期	2	3	4	◎予			
		比較憲法	4	通年	2	3	4	◎予			
		現代国家論	4	通年	2	3	4	◎予			
		外交史	4	通年	2	3	4	◎予			
		国際関係とメディア	2	半期	2	3	4	◎予			
		世界政治とメディア	2	半期	2	3	4	◎予			
		NPO/NGOとメディア	2	半期	2	3	4	◎予			
		マス・コミュニケーション論	4	通年	2	3	4	◎予			
		ジャーナリズム論	4	通年	2	3	4	◎予			
		比較メディア論	4	通年	2	3	4	◎予			・「マス・コミュニケーション論」「ジャーナリズム論」を履修済み、または同時履修であることが望ましい。
		数量政治学	4	通年	2	3	4	◎予			
		政治心理学	4	通年	2	3	4	◎予			
社会学原理	4	通年	2	3	4	◎予					
財政学	4	通年	2	3	4	◎予					
経済原論	4	通年	2	3	4	◎先					
日本法制史	4	通年	2	3	4	◎先					
西洋法制史	4	通年	2	3	4	◎予					
経済政策	4	通年	2	3	4	◎予					
会社法	4	通年	2	3	4	◎予					
英米法	4	通年	2	3	4	◎予					
刑事政策	4	通年	2	3	4	◎予					
経済法	4	通年		3	4	◎予					
国際紛争解決法	4	通年		3	4	◎予					
刑法各論	4	通年	2	3	4	◎予					
民法（債権）	4	通年	2	3	4	◎予					

対象入学年度：政治学科（行政・公共政策コース） 平成26（2014）年度以降入学生

必・選	単位数	科目名	単位	開講期	配当年次			抽選	履修不可科目	本年度休講	注意事項
選 択	52 単 位 以 上	社会保障法	4	通年		3	4	◎予			・「政治学基礎」または「政治学概論」の単位を修得済みであることが望ましい。 ・「b」は同一名称の科目「a」の単位を修得済みであることが望ましい。 ・駒澤大学会計人会協力講座です。
		時事英語	2	半期	2	3	4	◎予			
		実務者講座	2	半期	2	3	4	◎予			
		国際経済論 a	2	半期	2	3	4	◎予			
		国際経済論 b	2	半期	2	3	4	◎予			
		農業政策 a	2	半期	2	3	4	◎予			
		農業政策 b	2	半期	2	3	4	◎予			
		工業政策 a	2	半期	2	3	4	◎予			
		工業政策 b	2	半期	2	3	4	◎予			
		流通政策 a	2	半期	2	3	4	◎予			
		流通政策 b	2	半期	2	3	4	◎予			
		地方財政論 a	2	半期	2	3	4	◎予			
		地方財政論 b	2	半期	2	3	4	◎予			
		交通論 a	2	半期	2	3	4	◎予		休	
		交通論 b	2	半期	2	3	4	◎予		休	
		地域計画論 A	2	半期	2	3	4	◎予			
		地域計画論 B	2	半期	2	3	4	◎予			
		非営利組織論 a	2	半期		3	4	◎予			
		非営利組織論 b	2	半期		3	4	◎予			
現代産業事情Ⅲ	2	半期	1	2	3	4	◎予				

対象入学年度：政治学科（行政・公共政策コース）平成24（2012）・25（2013）年度入学生

必・選	単位数	科目名	単位	開講期	配当年次				抽選	履修不可科目	本年度休講	注意事項
					1	2	3	4				
必修	2単位	政治学概論	4	通年	1							
		憲法	4	通年	1							
選択必修	8単位	政治学原論	4	通年	1	2	3	4	◎予			
		現代政治理論入門	2	半期	1	2	3	4		有		
		日本政治入門	4	通年	1	2	3	4		有		
		現代政治分析入門1	2	半期	1	2	3	4				
		現代政治分析入門2	2	半期	1	2	3	4				
	8単位	政治思想史	4	通年	1	2	3	4	◎予			
		行政学・公共政策入門	4	通年	1	2	3	4		有		・1年次または2年次に履修することが望ましい。
		国際社会入門	2	半期	1	2	3	4				
		国際関係入門	2	半期	1	2	3	4				
		政治制度論	4	通年	1	2	3	4	◎予			
		政治過程論	4	通年	1	2	3	4	◎予			
		日本政治史	4	通年	1	2	3	4	◎予			
		ヨーロッパ政治史	4	通年		2	3	4	◎予			
	20単位	地方行政	4	通年		2	3	4	◎予			・「行政学・公共政策入門」を履修済み、または同時履修であることが望ましい。
		政策決定論	4	通年		2	3	4	◎予			・「政治過程論」を履修済み、または同時履修であることが望ましい。
		行政法総論	4	通年		2	3	4	◎予			
		行政救済法	4	通年		2	3	4	◎予			・「行政法総論」を履修済み、または同時履修であることが望ましい。
		地方自治法	4	通年		2	3	4	◎予			
		民法（総則・物権法）	4	通年		2	3	4	◎予			
		刑法総論	4	通年		2	3	4	◎予			
労働法		4	通年		2	3	4	◎予				
刑事政策		4	通年		2	3	4	◎予				
環境政策		4	通年		2	3	4	◎予				
社会政策	4	通年		2	3	4	◎予					
48単位以上	基礎演習	基礎演習	4	通年		2						《受講制限》 ・1年次10月に行う履修希望者の募集で許可された2年次生のみ履修可能となります。
		現代政治理論応用	2	半期		2	3	4	◎予	有		
	国際関係論	4	通年		2	3	4	◎予				
	比較政治学	4	通年		2	3	4	◎予				
	国際経済論 a	2	半期		2	3	4	◎予	有			
	国際経済論 b	2	半期		2	3	4	◎予	有			
	国際法	4	通年		2	3	4	◎予				
	北米政治論	2	半期		2	3	4	◎予	有			
	オセアニア政治論	2	半期		2	3	4	◎予				
	東南アジア政治論	2	半期		2	3	4	◎予	有			
	南アジア政治論	2	半期		2	3	4	◎予				
	東アジア政治論	2	半期		2	3	4	◎予	有			
	アフリカ政治論	2	半期		2	3	4	◎予				
	ヨーロッパ政治論	2	半期		2	3	4	◎予	有			
	ロシア政治論	2	半期		2	3	4	◎予				
EU 政治論	2	半期		2	3	4	◎予	有				

対象入学年度：政治学科（行政・公共政策コース）平成24（2012）・25（2013）年度入学生

必・選	単位 数	科目名	単位	開講期	配当年次			抽選	履修 不可 科目	本年 度休 講	注意事項
					2	3	4				
選 択 48 単 位 以 上		政治学方法論	2	半期		2	3	4	◎予		
		中東政治論	2	半期		2	3	4	◎予	有	
		中南米政治論	2	半期		2	3	4	◎予		
		都市・まちづくり論	4	通年		2	3	4	◎予	有	・「地方行政」を履修済み、または同時履修であることが望ましい。
		マス・コミュニケーション論	4	通年		2	3	4	◎予		・「マス・コミュニケーション論」「ジャーナリズム論」を履修済み、または同時履修であることが望ましい。
		数量政治学	4	通年		2	3	4	◎予		
		ジャーナリズム論	4	通年		2	3	4	◎予	有	
		政治心理学	4	通年		2	3	4	◎予		
		政治社会学	4	通年		2	3	4	◎予		
		比較メディア論	4	通年		2	3	4	◎予		
		政治経済学	4	通年		2	3	4	◎予		
		比較憲法	4	通年		2	3	4	◎予		
		現代国家論	4	通年		2	3	4	◎予		・「マス・コミュニケーション論」「ジャーナリズム論」を履修済み、または同時履修であることが望ましい。
		外交史	4	通年		2	3	4	◎予		
		安全保障論	4	通年		2	3	4	◎予		
		社会学原理	4	通年		2	3	4	◎予		
		財政学	4	通年		2	3	4	◎予		
		経済原論	4	通年		2	3	4	◎先		
		日本法制史	4	通年		2	3	4	◎先		
		西洋法制史	4	通年		2	3	4	◎予		
		経済政策	4	通年		2	3	4	◎予		
		会社法	4	通年		2	3	4	◎予		
		英米法	4	通年		2	3	4	◎予		
		経済法	4	通年		2	3	4	◎予		
		国際紛争解決法	4	通年		2	3	4	◎予		・「マス・コミュニケーション論」「ジャーナリズム論」を履修済み、または同時履修であることが望ましい。
		政治学特殊講義（1）	2	半期		2	3	4	◎予		
		政治学特殊講義（2）	2	半期		2	3	4	◎予		
		政治学特殊講義（3）	2	半期		2	3	4	◎予		
		政治学特殊講義（4）	2	半期		2	3	4	◎予		
		刑法各論	4	通年		2	3	4	◎予		
		民法（債権）	4	通年		2	3	4	◎予		
		社会保障法	4	通年		2	3	4	◎予		
		農業政策 a	2	半期		2	3	4	◎予	有	
		農業政策 b	2	半期		2	3	4	◎予	有	
		工業政策 a	2	半期		2	3	4	◎予	有	
		工業政策 b	2	半期		2	3	4	◎予	有	
		流通政策 a	2	半期		2	3	4	◎予	有	
		流通政策 b	2	半期		2	3	4	◎予	有	
		地方財政論 a	2	半期		2	3	4	◎予	有	
		地方財政論 b	2	半期		2	3	4	◎予	有	
		交通論 a	2	半期		2	3	4	◎予	有	休
		交通論 b	2	半期		2	3	4	◎予	有	休
		地域計画論 A	2	半期		2	3	4	◎予	有	
		地域計画論 B	2	半期		2	3	4	◎予	有	

対象入学年度：政治学科（行政・公共政策コース）平成24（2012）・25（2013）年度入学生

必・選	単位数	科目名	単位	開講期	配当年次			抽選	履修不可科目	本年度休講	注意事項
					2	3	4				
選 48 単 位 以 上 ↓		非営利組織論 a	2	半期		2	3	4	◎予		・「b」は同一名称の科目「a」の単位を修得済みであることが望ましい。
		非営利組織論 b	2	半期		2	3	4	◎予		
		世界政治とメディア	2	半期		2	3	4	◎予		
		NPO/NGOとメディア	2	半期		2	3	4	◎予		
		国際関係とメディア	2	半期		2	3	4	◎予		
		時事英語	2	半期		2	3	4	◎予	有	
		実務者講座	2	半期		2	3	4	◎予		
		演習Ⅰ	4	通年			3				《受講制限》 ・2年次10月に行う履修希望者の募集で許可された3年次のみ履修可能となります。
		外書講読Ⅰ（英書）	4	通年			3		◎予		
		外書講読Ⅰ（独書）	4	通年			3		◎予		
		外書講読Ⅰ（仏書）	4	通年			3		◎予		
		外書講読Ⅰ（中国書）	4	通年			3		◎予		
		現代産業事情Ⅲ	2	半期	1	2	3	4	◎予	有	・駒澤大学会計人会協力講座です。
		演習Ⅱ	4	通年				4			《受講制限》
		外書講読Ⅱ（英書）	4	通年				4	◎予		
		外書講読Ⅱ（独書）	4	通年				4	◎予		
	外書講読Ⅱ（仏書）	4	通年				4	◎予			
	外書講読Ⅱ（中国書）	4	通年				4	◎予			

対象入学年度：政治学科（行政・公共政策コース）平成23（2011）年度以前入学生

必・選	単位数	科目名	単位	開講期	配当年次				抽選	履修不可科目	本年度休講	注意事項
					1	2	3	4				
必修	2単位	政治学概論	4	通年	1							
		憲法	4	通年	1							
選択必修	8単位	政治学原論	4	通年	1	2	3	4	○予			
		現代政治理論入門	2	半期	1	2	3	4		有		
		日本政治入門	4	通年	1	2	3	4		有		
		現代政治分析入門1	2	半期	1	2	3	4				
		現代政治分析入門2	2	半期	1	2	3	4				
	8単位	政治思想史	4	通年	1	2	3	4	○予			
		行政学・公共政策入門	4	通年	1	2	3	4		有		・1年次または2年次に履修することが望ましい。
		国際社会入門	2	半期	1	2	3	4				
		国際関係入門	2	半期	1	2	3	4				
		政治制度論	4	通年	1	2	3	4	○予			
		政治過程論	4	通年	1	2	3	4	○予			
		日本政治史	4	通年	1	2	3	4	○予			
		ヨーロッパ政治史	4	通年		2	3	4	○予			
	20単位	地方行政	4	通年		2	3	4	○予			・「行政学・公共政策入門」を履修済み、または同時履修であることが望ましい。
		政策決定論	4	通年		2	3	4	○予			・「政治過程論」を履修済み、または同時履修であることが望ましい。
		行政法総論	4	通年		2	3	4	○予			
		行政救済法	4	通年		2	3	4	○予	有		・「行政法総論」を履修済み、または同時履修であることが望ましい。
		地方自治法	4	通年		2	3	4	○予			
民法（総則・物権法）		4	通年		2	3	4	○予				
刑法総論		4	通年		2	3	4	○予				
労働法		4	通年		2	3	4	○予				
刑事政策		4	通年		2	3	4	○予				
環境政策		4	通年		2	3	4	○予				
社会政策	4	通年		2	3	4	○予					
選択以上	48単位以上	基礎演習	4	通年		2						《受講制限》 ・1年次10月に行う履修希望者の募集で許可された2年次生のみ履修可能となります。
		現代政治理論応用	2	半期		2	3	4	○予	有		
		国際関係論	4	通年		2	3	4	○予			
		比較政治学	4	通年		2	3	4	○予			
		国際経済論 a	2	半期		2	3	4	○予	有		
		国際経済論 b	2	半期		2	3	4	○予	有		
		国際法	4	通年		2	3	4	○予			
		北米政治論	2	半期		2	3	4	○予	有		
		オセアニア政治論	2	半期		2	3	4	○予			
		東南アジア政治論	2	半期		2	3	4	○予	有		
		南アジア政治論	2	半期		2	3	4	○予			
		東アジア政治論	2	半期		2	3	4	○予	有		
		アフリカ政治論	2	半期		2	3	4	○予			
		ヨーロッパ政治論	2	半期		2	3	4	○予	有		
		ロシア政治論	2	半期		2	3	4	○予			
EU 政治論	2	半期		2	3	4	○予	有				

対象入学年度：政治学科（行政・公共政策コース）平成23（2011）年度以前入学生

必・選	単位数	科目名	単位	開講期	配当年次			抽選	履修不可科目	本年度休講	注意事項
					2	3	4				
選 択 48 単 位 以 上		政治学方法論	2	半期		2	3	4	◎予		
		中東政治論	2	半期		2	3	4	◎予	有	
		中南米政治論	2	半期		2	3	4	◎予		
		都市・まちづくり論	4	通年		2	3	4	◎予	有	・「地方行政」を履修済み、または同時履修であることが望ましい。
		マス・コミュニケーション論	4	通年		2	3	4	◎予		・「マス・コミュニケーション論」「ジャーナリズム論」を履修済み、または同時履修であることが望ましい。
		数量政治学	4	通年		2	3	4	◎予		
		ジャーナリズム論	4	通年		2	3	4	◎予	有	
		政治心理学	4	通年		2	3	4	◎予		
		政治社会学	4	通年		2	3	4	◎予		
		比較メディア論	4	通年		2	3	4	◎予		
		政治経済学	4	通年		2	3	4	◎予		
		比較憲法	4	通年		2	3	4	◎予		
		現代国家論	4	通年		2	3	4	◎予		
		外交史	4	通年		2	3	4	◎予		
		安全保障論	4	通年		2	3	4	◎予		
		社会学原理	4	通年		2	3	4	◎予		
		財政学	4	通年		2	3	4	◎予		
		経済原論	4	通年		2	3	4	◎先		
		日本法制史	4	通年		2	3	4	◎先		
		西洋法制史	4	通年		2	3	4	◎予		
		経済政策	4	通年		2	3	4	◎予		
		会社法	4	通年		2	3	4	◎予		
		英米法	4	通年		2	3	4	◎予		
		経済法	4	通年		2	3	4	◎予		
		国際紛争解決法	4	通年		2	3	4	◎予		
		政治学特殊講義（1）	2	半期		2	3	4	◎予		
		政治学特殊講義（2）	2	半期		2	3	4	◎予		
		政治学特殊講義（3）	2	半期		2	3	4	◎予		
		政治学特殊講義（4）	2	半期		2	3	4	◎予		
		刑法各論	4	通年		2	3	4	◎予		
		民法（債権）	4	通年		2	3	4	◎予		
		社会保障法	4	通年		2	3	4	◎予		
		農業政策 a	2	半期		2	3	4	◎予	有	
		農業政策 b	2	半期		2	3	4	◎予	有	
		工業政策 a	2	半期		2	3	4	◎予	有	
		工業政策 b	2	半期		2	3	4	◎予	有	
		流通政策 a	2	半期		2	3	4	◎予	有	
		流通政策 b	2	半期		2	3	4	◎予	有	
		地方財政論 a	2	半期		2	3	4	◎予	有	
		地方財政論 b	2	半期		2	3	4	◎予	有	
		交通論 a	2	半期		2	3	4	◎予	有	休
		交通論 b	2	半期		2	3	4	◎予	有	休
		地域計画論 A	2	半期		2	3	4	◎予	有	
		地域計画論 B	2	半期		2	3	4	◎予	有	

対象入学年度：政治学科（行政・公共政策コース）平成23（2011）年度以前入学生

必・選	単位数	科目名	単位	開講期	配当年次				抽選	履修不可科目	本年度休講	注意事項
					2	3	4					
選 48 単 位 以 上 ↓		非営利組織論 a	2	半期		2	3	4	◎予			・「b」は同一名称の科目「a」の単位を修得済みであることが望ましい。
		非営利組織論 b	2	半期		2	3	4	◎予			
		世界政治とメディア	2	半期		2	3	4	◎予			
		国際関係とメディア	2	半期		2	3	4	◎予			
		NPO/NGOとメディア	2	半期		2	3	4	◎予			
		時事英語	2	半期		2	3	4	◎予	有		
		実務者講座	2	半期		2	3	4	◎予			
		演習Ⅰ	4	通年			3					《受講制限》 ・2年次10月に行う履修希望者の募集で許可された3年次のみ履修可能となります。
		外書講読Ⅰ（英書）	4	通年			3		◎予			
		外書講読Ⅰ（独書）	4	通年			3		◎予			
		外書講読Ⅰ（仏書）	4	通年			3		◎予			
		外書講読Ⅰ（中国書）	4	通年			3		◎予			
		現代産業事情Ⅲ	2	半期	1	2	3	4	◎予	有		・駒澤大学会計人会協力講座です。
		演習Ⅱ	4	通年				4				《受講制限》
		外書講読Ⅱ（英書）	4	通年				4	◎予			
		外書講読Ⅱ（独書）	4	通年				4	◎予			
		外書講読Ⅱ（仏書）	4	通年				4	◎予			
	外書講読Ⅱ（中国書）	4	通年				4	◎予				

対象入学年度：政治学科（国際・地域研究コース）平成26（2014）年度以降入学生

必・選	単位数	科目名	単位	開講期	配当年次				抽選	履修不可科目	本年度休講	注意事項
					1	2	3	4				
全員		政治学基礎	4	通年	1							・1年次に全員履修すること
		憲法	4	通年	1							
基礎	16単位	国際社会入門	2	半期	1	2	3	4				・1年次または2年次に履修することが望ましい。
		国際関係入門	2	半期	1	2	3	4				
		現代政治分析入門1	2	半期	1	2	3	4				
		現代政治分析入門2	2	半期	1	2	3	4				
		日本政治入門	4	通年	1	2	3	4				
		現代政治理論入門	2	半期	1	2	3	4				
		行政学・公共政策入門	4	通年	1	2	3	4				
選択必修	24単位	ヨーロッパ政治史	4	通年		2	3	4	◎予			
		国際関係論	4	通年		2	3	4	◎予			
		比較政治学	4	通年		2	3	4	◎予			
		国際法	4	通年		2	3	4	◎予			
		安全保障論	4	通年		2	3	4	◎予			
		日本政治史	4	通年		2	3	4	◎予			
		北米政治論	2	半期		2	3	4	◎予			
		中南米政治論	2	半期		2	3	4	◎予			
		オセアニア政治論	2	半期		2	3	4	◎予			
		東南アジア政治論	2	半期		2	3	4	◎予			
		東アジア政治論	2	半期		2	3	4	◎予			
		南アジア政治論	2	半期		2	3	4	◎予			
		ロシア政治論	2	半期		2	3	4	◎予			
		ヨーロッパ政治論	2	半期		2	3	4	◎予			
		EU政治論	2	半期		2	3	4	◎予			
		中東政治論	2	半期		2	3	4	◎予			
アフリカ政治論	2	半期		2	3	4	◎予					
選択	52単位以上	基礎演習	4	通年		2						《受講制限》 ・1年次10月に行う履修希望者の募集で許可された2年次生のみ履修可能となります。
		演習Ⅰ	4	通年			3					《受講制限》 ・2年次10月に行う履修希望者の募集で許可された3年次のみ履修可能となります。
		演習Ⅱ	4	通年				4				《受講制限》
		政治学特殊講義（1）	2	半期		2	3	4	◎予			
		政治学特殊講義（2）	2	半期		2	3	4	◎予			
		政治学特殊講義（3）	2	半期		2	3	4	◎予			
		政治学特殊講義（4）	2	半期		2	3	4	◎予			
		外書講読Ⅰ（英書）	4	通年			3		◎予			
		外書講読Ⅰ（独書）	4	通年			3		◎予			
		外書講読Ⅰ（仏書）	4	通年			3		◎予			
		外書講読Ⅰ（中国書）	4	通年			3		◎予			
		外書講読Ⅱ（英書）	4	通年				4	◎予			
		外書講読Ⅱ（独書）	4	通年				4	◎予			
		外書講読Ⅱ（仏書）	4	通年				4	◎予			
		外書講読Ⅱ（中国書）	4	通年				4	◎予			
時事英語	2	半期		2	3	4	◎予					

対象入学年度：政治学科（国際・地域研究コース）平成26（2014）年度以降入学生

必・選	単位数	科目名	単位	開講期	配当年次			抽選	履修不可科目	本年度休講	注意事項
					2	3	4				
選 択	52 単 位 以 上	政治学原論	4	通年	2	3	4	◎予			
		現代政治理論応用	2	半期	2	3	4	◎予			
		政治思想史	4	通年	2	3	4	◎予			
		政治制度論	4	通年	2	3	4	◎予			
		政治過程論	4	通年	2	3	4	◎予			
		政治社会学	4	通年	2	3	4	◎予			
		政治経済学	4	通年	2	3	4	◎予			
		政策決定論	4	通年	2	3	4	◎予			・「政治過程論」を履修済み、または同時履修であることが望ましい。
		政治学方法論	2	半期	2	3	4	◎予			
		外交史	4	通年	2	3	4	◎予			
		比較憲法	4	通年	2	3	4	◎予			
		現代国家論	4	通年	2	3	4	◎予			
		国際関係とメディア	2	半期	2	3	4	◎予			
		世界政治とメディア	2	半期	2	3	4	◎予			
		NPO/NGOとメディア	2	半期	2	3	4	◎予			
		マス・コミュニケーション論	4	通年	2	3	4	◎予			
		ジャーナリズム論	4	通年	2	3	4	◎予			
		比較メディア論	4	通年	2	3	4	◎予			・「マス・コミュニケーション論」「ジャーナリズム論」を履修済み、または同時履修であることが望ましい。
		数量政治学	4	通年	2	3	4	◎予			
		政治心理学	4	通年	2	3	4	◎予			
		地方行政	4	通年	2	3	4	◎予			・「行政学・公共政策入門」を履修済み、または同時履修であることが望ましい。
		都市・まちづくり論	4	通年	2	3	4	◎予			・「地方行政」を履修済み、または同時履修であることが望ましい。
		行政法総論	4	通年	2	3	4	◎予			
		行政救済法	4	通年		3	4	◎予			・「行政法総論」を履修済み、または同時履修であることが望ましい。
		地方自治法	4	通年	2	3	4	◎予			
		民法（総則・物権法）	4	通年	2	3	4	◎予			
		刑法総論	4	通年	2	3	4	◎予			
		労働法	4	通年		3	4	◎予			
		社会政策	4	通年	2	3	4	◎予			
		環境政策	4	通年	2	3	4	◎予			
		英米法	4	通年	2	3	4	◎予			
		国際紛争解決法	4	通年		3	4	◎予			
社会学原理	4	通年	2	3	4	◎予					
財政学	4	通年	2	3	4	◎予					
経済原論	4	通年	2	3	4	◎先					
日本法制史	4	通年	2	3	4	◎先					
西洋法制史	4	通年	2	3	4	◎予					
経済政策	4	通年	2	3	4	◎予					
会社法	4	通年	2	3	4	◎予					
刑事政策	4	通年	2	3	4	◎予					
経済法	4	通年		3	4	◎予					
刑法各論	4	通年	2	3	4	◎予					

対象入学年度：政治学科（国際・地域研究コース）平成26（2014）年度以降入学生

必・選	単位数	科目名	単位	開講期	配当年次			抽選	履修不可科目	本年度休講	注意事項	
					2	3	4					
選 択	52 単 位 以 上	民法（債権）	4	通年		2	3	4	◎予			
		社会保障法	4	通年				3	4	◎予		
		実務者講座	2	半期		2	3	4	◎予			・「政治学基礎」または「政治学概論」の単位を修得済みであることが望ましい。
		国際経済論 a	2	半期		2	3	4	◎予			
		国際経済論 b	2	半期		2	3	4	◎予			
		農業政策 a	2	半期		2	3	4	◎予			
		農業政策 b	2	半期		2	3	4	◎予			
		工業政策 a	2	半期		2	3	4	◎予			
		工業政策 b	2	半期		2	3	4	◎予			
		流通政策 a	2	半期		2	3	4	◎予			
		流通政策 b	2	半期		2	3	4	◎予			
		地方財政論 a	2	半期		2	3	4	◎予			
		地方財政論 b	2	半期		2	3	4	◎予			
		交通論 a	2	半期		2	3	4	◎予		休	
		交通論 b	2	半期		2	3	4	◎予		休	
		地域計画論 A	2	半期		2	3	4	◎予			
		地域計画論 B	2	半期		2	3	4	◎予			
		非営利組織論 a	2	半期				3	4	◎予		・「b」は同一名称の科目「a」の単位を修得済みであることが望ましい。
		非営利組織論 b	2	半期				3	4	◎予		
		現代産業事情Ⅲ	2	半期	1	2	3	4	◎予			・駒澤大学会計人会協力講座です。

対象入学年度：政治学科（国際・地域研究コース）平成24（2012）・25（2013）年度入学生

必・選	単位数	科目名	単位	開講期	配当年次				抽選	履修不可科目	本年度休講	注意事項
					1	2	3	4				
必修	8単位	政治学概論	4	通年	1							
		憲法	4	通年	1							
選択必修	8単位	政治学原論	4	通年	1	2	3	4	◎予			
		現代政治理論入門	2	半期	1	2	3	4		有		
		日本政治入門	4	通年	1	2	3	4		有		
		現代政治分析入門1	2	半期	1	2	3	4				
		現代政治分析入門2	2	半期	1	2	3	4				
	8単位	政治思想史	4	通年	1	2	3	4	◎予			
		行政学・公共政策入門	4	通年	1	2	3	4		有		
		国際社会入門	2	半期	1	2	3	4				・1年次または2年次に履修することが望ましい。
		国際関係入門	2	半期	1	2	3	4				
	20単位	政治制度論	4	通年	1	2	3	4	◎予			
		政治過程論	4	通年	1	2	3	4	◎予			
		日本政治史	4	通年	1	2	3	4	◎予			
		ヨーロッパ政治史	4	通年		2	3	4	◎予			
		国際関係論	4	通年		2	3	4	◎予			
		比較政治学	4	通年		2	3	4	◎予			
		国際法	4	通年		2	3	4	◎予			
		安全保障論	4	通年		2	3	4	◎予			
		北米政治論	2	半期		2	3	4	◎予	有		
		中南米政治論	2	半期		2	3	4	◎予			
		オセアニア政治論	2	半期		2	3	4	◎予			
		東南アジア政治論	2	半期		2	3	4	◎予	有		
		東アジア政治論	2	半期		2	3	4	◎予	有		
	48単位以上	南アジア政治論	2	半期		2	3	4	◎予			
		ロシア政治論	2	半期		2	3	4	◎予			
		ヨーロッパ政治論	2	半期		2	3	4	◎予	有		
		EU政治論	2	半期		2	3	4	◎予	有		
		中東政治論	2	半期		2	3	4	◎予	有		
		アフリカ政治論	2	半期		2	3	4	◎予			
都市・まちづくり論		4	通年		2	3	4	◎予	有		・「地方行政」を履修済み、または同時履修であることが望ましい。	
48単位以上	基礎演習	4	通年		2						《受講制限》 ・1年次10月に行う履修希望者の募集で許可された2年次生のみ履修可能となります。	
	現代政治理論応用	2	半期		2	3	4	◎予	有			
	政治社会学	4	通年		2	3	4	◎予				
	政治経済学	4	通年		2	3	4	◎予				
	政策決定論	4	通年		2	3	4	◎予			・「政治過程論」を履修済み、または同時履修であることが望ましい。	
	政治学方法論	2	半期		2	3	4	◎予				
	マス・コミュニケーション論	4	通年		2	3	4	◎予				
	ジャーナリズム論	4	通年		2	3	4	◎予	有			
	比較メディア論	4	通年		2	3	4	◎予			・「マス・コミュニケーション論」「ジャーナリズム論」を履修済み、または同時履修であることが望ましい。	
数量政治学	4	通年		2	3	4	◎予					
政治心理学	4	通年		2	3	4	◎予					

対象入学年度：政治学科（国際・地域研究コース）平成24（2012）・25（2013）年度入学生

必・選	単位 数	科目名	単位	開講期	配当年次			抽選	履修 不可 科目	本年 度休 講	注意事項
					2	3	4				
選 択 48 単 位 以 上		地方行政	4	通年	2	3	4	○予			・「行政学・公共政策入門」を履修済み、または同時履修であることが望ましい。
		行政法総論	4	通年	2	3	4	○予			
		民法（総則・物権法）	4	通年	2	3	4	○予			
		刑法総論	4	通年	2	3	4	○予			
		地方自治法	4	通年	2	3	4	○予			
		社会政策	4	通年	2	3	4	○予			
		環境政策	4	通年	2	3	4	○予			
		行政救済法	4	通年	2	3	4	○予			・「行政法総論」を履修済み、または同時履修であることが望ましい。
		労働法	4	通年	2	3	4	○予			
		比較憲法	4	通年	2	3	4	○予			
		現代国家論	4	通年	2	3	4	○予			
		外交史	4	通年	2	3	4	○予			
		社会学原理	4	通年	2	3	4	○予			
		財政学	4	通年	2	3	4	○予			
		経済原論	4	通年	2	3	4	○先			
		日本法制史	4	通年	2	3	4	○先			
		西洋法制史	4	通年	2	3	4	○予			
		経済政策	4	通年	2	3	4	○予			
		会社法	4	通年	2	3	4	○予			
		英米法	4	通年	2	3	4	○予			
		刑事政策	4	通年	2	3	4	○予			
		経済法	4	通年	2	3	4	○予			
		国際紛争解決法	4	通年	2	3	4	○予			
		政治学特殊講義（1）	2	半期	2	3	4	○予			
		政治学特殊講義（2）	2	半期	2	3	4	○予			
		政治学特殊講義（3）	2	半期	2	3	4	○予			
		政治学特殊講義（4）	2	半期	2	3	4	○予			
		刑法各論	4	通年	2	3	4	○予			
		民法（債権）	4	通年	2	3	4	○予			
		社会保障法	4	通年	2	3	4	○予			
		国際経済論 a	2	半期	2	3	4	○予	有		
		国際経済論 b	2	半期	2	3	4	○予	有		
		農業政策 a	2	半期	2	3	4	○予	有		
		農業政策 b	2	半期	2	3	4	○予	有		
		工業政策 a	2	半期	2	3	4	○予	有		
		工業政策 b	2	半期	2	3	4	○予	有		
		流通政策 a	2	半期	2	3	4	○予	有		
		流通政策 b	2	半期	2	3	4	○予	有		
		地方財政論 a	2	半期	2	3	4	○予	有		
		地方財政論 b	2	半期	2	3	4	○予	有		
		交通論 a	2	半期	2	3	4	○予	有	休	
		交通論 b	2	半期	2	3	4	○予	有	休	
		地域計画論 A	2	半期	2	3	4	○予	有		
		地域計画論 B	2	半期	2	3	4	○予	有		

対象入学年度：政治学科（国際・地域研究コース）平成24（2012）・25（2013）年度入学生

必・選	単位数	科目名	単位	開講期	配当年次			抽選	履修不可科目	本年度休講	注意事項	
					2	3	4					
選 択 ↓	48 単 位 以 上	非営利組織論 a	2	半期		2	3	4	◎予		・「b」は同一名称の科目「a」の単位を修得済みであることが望ましい。	
		非営利組織論 b	2	半期		2	3	4	◎予			
		世界政治とメディア	2	半期		2	3	4	◎予			
		NPO/NGOとメディア	2	半期		2	3	4	◎予			
		国際関係とメディア	2	半期		2	3	4	◎予			
		時事英語	2	半期		2	3	4	◎予	有		
		実務者講座	2	半期		2	3	4	◎予			・「政治学基礎」または「政治学概論」の単位を修得済みであることが望ましい。
		演習Ⅰ	4	通年			3					《受講制限》 ・2年次10月に行う履修希望者の募集で許可された3年次のみ履修可能となります。
		外書講読Ⅰ（英書）	4	通年			3		◎予			
		外書講読Ⅰ（独書）	4	通年			3		◎予			
		外書講読Ⅰ（仏書）	4	通年			3		◎予			
		外書講読Ⅰ（中国書）	4	通年			3		◎予			
		現代産業事情Ⅲ	2	半期	1	2	3	4	◎予	有		・駒澤大学会計人会協力講座です。
		演習Ⅱ	4	通年				4				《受講制限》
		外書講読Ⅱ（英書）	4	通年				4	◎予			
		外書講読Ⅱ（独書）	4	通年				4	◎予			
外書講読Ⅱ（仏書）	4	通年				4	◎予					
外書講読Ⅱ（中国書）	4	通年				4	◎予					

対象入学年度：政治学科（国際・地域研究コース）平成23（2011）年度以前入学生

必・選	単位数	科目名	単位	開講期	配当年次				抽選	履修不可科目	本年度休講	注意事項	
					1	2	3	4					
必修	8単位	政治学概論	4	通年	1								
		憲法	4	通年	1								
選択必修	8単位	政治学原論	4	通年	1	2	3	4	◎予				
		現代政治理論入門	2	半期	1	2	3	4		有			
		日本政治入門	4	通年	1	2	3	4		有			
		現代政治分析入門（1）	2	半期	1	2	3	4					
		現代政治分析入門（2）	2	半期	1	2	3	4					
	8単位	政治思想史	4	通年	1	2	3	4	◎予				
		行政学・公共政策入門	4	通年	1	2	3	4		有			
		国際社会入門	2	半期	1	2	3	4				・1年次または2年次に履修することが望ましい。	
		国際関係入門	2	半期	1	2	3	4					
		政治制度論	4	通年	1	2	3	4	◎予				
		政治過程論	4	通年	1	2	3	4	◎予				
		日本政治史	4	通年	1	2	3	4	◎予				
		ヨーロッパ政治史	4	通年		2	3	4	◎予				
		20単位	国際関係論	4	通年		2	3	4	◎予			
			比較政治学	4	通年		2	3	4	◎予			
			国際法	4	通年		2	3	4	◎予			
			北米政治論	2	半期		2	3	4	◎予	有		
			中南米政治論	2	半期		2	3	4	◎予			
	オセアニア政治論		2	半期		2	3	4	◎予				
	東南アジア政治論		2	半期		2	3	4	◎予	有			
	東アジア政治論		2	半期		2	3	4	◎予	有			
	南アジア政治論		2	半期		2	3	4	◎予				
	ロシア政治論		2	半期		2	3	4	◎予				
	48単位以上	ヨーロッパ政治論	2	半期		2	3	4	◎予	有			
		EU政治論	2	半期		2	3	4	◎予	有			
		中東政治論	2	半期		2	3	4	◎予	有			
		アフリカ政治論	2	半期		2	3	4	◎予				
		都市・まちづくり論	4	通年		2	3	4	◎予	有		・「地方行政」を履修済み、または同時履修であることが望ましい。	
安全保障論		4	通年		2	3	4	◎予					
↑		基礎演習	4	通年		2						《受講制限》 ・1年次10月に行う履修希望者の募集で許可された2年次生のみ履修可能となります。	
		現代政治理論応用	2	半期		2	3	4	◎予	有			
	政治社会学	4	通年		2	3	4	◎予					
	政治経済学	4	通年		2	3	4	◎予					
	政策決定論	4	通年		2	3	4	◎予			・「政治過程論」を履修済み、または同時履修であることが望ましい。		
	政治学方法論	2	半期		2	3	4	◎予					
	マス・コミュニケーション論	4	通年		2	3	4	◎予					
	ジャーナリズム論	4	通年		2	3	4	◎予	有				
選択	比較メディア論	4	通年		2	3	4	◎予			・「マス・コミュニケーション論」「ジャーナリズム論」を履修済み、または同時履修であることが望ましい。		
	数量政治学	4	通年		2	3	4	◎予					
	政治心理学	4	通年		2	3	4	◎予					

対象入学年度：政治学科（国際・地域研究コース）平成23（2011）年度以前入学生

必・選	単位数	科目名	単位	開講期	配当年次			抽選	履修不可科目	本年度休講	注意事項
					2	3	4				
選 択 48 単 位 以 上		地方行政	4	通年	2	3	4	○予			・「行政学・公共政策入門」を履修済み、または同時履修であることが望ましい。
		行政法総論	4	通年	2	3	4	○予			
		民法（総則・物権法）	4	通年	2	3	4	○予			
		刑法総論	4	通年	2	3	4	○予			
		地方自治法	4	通年	2	3	4	○予			
		社会政策	4	通年	2	3	4	○予			
		環境政策	4	通年	2	3	4	○予			
		行政救済法	4	通年	2	3	4	○予	有		・「行政法総論」を履修済み、または同時履修であることが望ましい。
		労働法	4	通年	2	3	4	○予			
		比較憲法	4	通年	2	3	4	○予			
		現代国家論	4	通年	2	3	4	○予			
		外交史	4	通年	2	3	4	○予			
		社会学原理	4	通年	2	3	4	○予			
		財政学	4	通年	2	3	4	○予			
		経済原論	4	通年	2	3	4	○先			
		日本法制史	4	通年	2	3	4	○先			
		西洋法制史	4	通年	2	3	4	○予			
		経済政策	4	通年	2	3	4	○予			
		会社法	4	通年	2	3	4	○予			
		英米法	4	通年	2	3	4	○予			
		刑事政策	4	通年	2	3	4	○予			
		経済法	4	通年	2	3	4	○予			
		国際紛争解決法	4	通年	2	3	4	○予			
		政治学特殊講義（1）	2	半期	2	3	4	○予			
		政治学特殊講義（2）	2	半期	2	3	4	○予			
		政治学特殊講義（3）	2	半期	2	3	4	○予			
		政治学特殊講義（4）	2	半期	2	3	4	○予			
		刑法各論	4	通年	2	3	4	○予			
		民法（債権）	4	通年	2	3	4	○予			
		社会保障法	4	通年	2	3	4	○予			
		国際経済論 a	2	半期	2	3	4	○予	有		
		国際経済論 b	2	半期	2	3	4	○予	有		
		農業政策 a	2	半期	2	3	4	○予	有		
		農業政策 b	2	半期	2	3	4	○予	有		
		工業政策 a	2	半期	2	3	4	○予	有		
		工業政策 b	2	半期	2	3	4	○予	有		
		流通政策 a	2	半期	2	3	4	○予	有		
		流通政策 b	2	半期	2	3	4	○予	有		
		地方財政論 a	2	半期	2	3	4	○予	有		
		地方財政論 b	2	半期	2	3	4	○予	有		
		交通論 a	2	半期	2	3	4	○予	有	休	
		交通論 b	2	半期	2	3	4	○予	有	休	
		地域計画論 A	2	半期	2	3	4	○予	有		
		地域計画論 B	2	半期	2	3	4	○予	有		

対象入学年度：政治学科（国際・地域研究コース）平成23（2011）年度以前入学生

必・選	単位数	科目名	単位	開講期	配当年次				抽選	履修不可科目	本年度休講	注意事項
選 択	48 単 位 以 上	非営利組織論 a	2	半期		2	3	4	◎予			・「b」は同一名称の科目「a」の単位を修得済みであることが望ましい。
		非営利組織論 b	2	半期		2	3	4	◎予			
		世界政治とメディア	2	半期		2	3	4	◎予			
		NPO/NGOとメディア	2	半期		2	3	4	◎予			
		国際関係とメディア	2	半期		2	3	4	◎予			
		時事英語	2	半期		2	3	4	◎予	有		
		実務者講座	2	半期		2	3	4	◎予			
		演習 I	4	通年			3					《受講制限》 ・2年次10月に行う履修希望者の募集で許可された3年次のみ履修可能となります。
		外書講読 I（英書）	4	通年			3		◎予			
		外書講読 I（独書）	4	通年			3		◎予			
		外書講読 I（仏書）	4	通年			3		◎予			
		外書講読 I（中国書）	4	通年			3		◎予			
		現代産業事情Ⅲ	2	半期	1	2	3	4	◎予	有		・駒澤大学会計人会協力講座です。
		演習 II	4	通年				4				《受講制限》
		外書講読 II（英書）	4	通年				4	◎予			
		外書講読 II（独書）	4	通年				4	◎予			
		外書講読 II（仏書）	4	通年				4	◎予			
外書講読 II（中国書）	4	通年				4	◎予					

対象入学年度：政治学科（政治とメディア研究コース）平成26（2014）年度以降入学生

必・選	単位数	科目名	単位	開講期	配当年次				抽選	履修不可科目	本年度休講	注意事項
					1	2	3	4				
全員 基礎 選択必修 発展 選択 52単位以上	16単位	政治学基礎	4	通年	1							・1年次に全員履修すること
		憲法	4	通年	1							
	16単位	現代政治分析入門1	2	半期	1	2	3	4				・1年次または2年次に履修することが望ましい。
		現代政治分析入門2	2	半期	1	2	3	4				
		日本政治入門	4	通年	1	2	3	4				
		現代政治理論入門	2	半期	1	2	3	4				
		行政学・公共政策入門	4	通年	1	2	3	4				
		国際社会入門	2	半期	1	2	3	4				
		国際関係入門	2	半期	1	2	3	4				
		政治制度論	4	通年		2	3	4	◎予			
	政治過程論	4	通年		2	3	4	◎予				
	政策決定論	4	通年		2	3	4	◎予			・「政治過程論」を履修済み、または同時履修であることが望ましい。	
	比較政治学	4	通年		2	3	4	◎予				
	政治学方法論	2	半期		2	3	4	◎予				
	マス・コミュニケーション論	4	通年		2	3	4	◎予				
	ジャーナリズム論	4	通年		2	3	4	◎予				
	比較メディア論	4	通年		2	3	4	◎予			・「マス・コミュニケーション論」「ジャーナリズム論」を履修済み、または同時履修であることが望ましい。	
	数量政治学	4	通年		2	3	4	◎予				
	政治心理学	4	通年		2	3	4	◎予				
	政治社会学	4	通年		2	3	4	◎予				
	政治経済学	4	通年		2	3	4	◎予				
	52単位以上	基礎演習	4	通年		2						《受講制限》 ・1年次10月に行う履修希望者の募集で許可された2年次生のみ履修可能となります。
		演習Ⅰ	4	通年			3					《受講制限》 ・2年次10月に行う履修希望者の募集で許可された3年次生のみ履修可能となります。
		演習Ⅱ	4	通年				4				《受講制限》
政治学特殊講義（1）		2	半期		2	3	4	◎予				
政治学特殊講義（2）		2	半期		2	3	4	◎予				
政治学特殊講義（3）		2	半期		2	3	4	◎予				
政治学特殊講義（4）		2	半期		2	3	4	◎予				
外書講読Ⅰ（英書）		4	通年			3		◎予				
外書講読Ⅰ（独書）		4	通年			3		◎予				
外書講読Ⅰ（仏書）		4	通年			3		◎予				
外書講読Ⅰ（中国書）		4	通年			3		◎予				
外書講読Ⅱ（英書）		4	通年				4	◎予				
外書講読Ⅱ（独書）		4	通年				4	◎予				
外書講読Ⅱ（仏書）		4	通年				4	◎予				
外書講読Ⅱ（中国書）		4	通年				4	◎予				
政治学原論		4	通年		2	3	4	◎予				
現代政治理論応用		2	半期		2	3	4	◎予				
政治思想史		4	通年		2	3	4	◎予				
ヨーロッパ政治史	4	通年		2	3	4	◎予					
国際関係論	4	通年		2	3	4	◎予					

対象入学年度：政治学科（政治とメディア研究コース）平成26（2014）年度以降入学生

必・選	単位数	科目名	単位	開講期	配当年次			抽選	履修不可科目	本年度休講	注意事項	
					2	3	4					
選 択	52 単 位 以 上	国際法	4	通年		2	3	4	◎予			
		安全保障論	4	通年		2	3	4	◎予			
		日本政治史	4	通年		2	3	4	◎予			
		北米政治論	2	半期		2	3	4	◎予			
		中南米政治論	2	半期		2	3	4	◎予			
		オセアニア政治論	2	半期		2	3	4	◎予			
		東南アジア政治論	2	半期		2	3	4	◎予			
		東アジア政治論	2	半期		2	3	4	◎予			
		南アジア政治論	2	半期		2	3	4	◎予			
		ロシア政治論	2	半期		2	3	4	◎予			
		ヨーロッパ政治論	2	半期		2	3	4	◎予			
		EU政治論	2	半期		2	3	4	◎予			
		中東政治論	2	半期		2	3	4	◎予			
		アフリカ政治論	2	半期		2	3	4	◎予			
		地方行政	4	通年		2	3	4	◎予			・「行政学・公共政策入門」を履修済み、または同時履修であることが望ましい。
		都市・まちづくり論	4	通年		2	3	4	◎予			・「地方行政」を履修済み、または同時履修であることが望ましい。
		行政法総論	4	通年		2	3	4	◎予			
		行政救済法	4	通年			3	4	◎予			・「行政法総論」を履修済み、または同時履修であることが望ましい。
		地方自治法	4	通年		2	3	4	◎予			
		民法（総則・物権法）	4	通年		2	3	4	◎予			
		刑法総論	4	通年		2	3	4	◎予			
		労働法	4	通年			3	4	◎予			
		社会政策	4	通年		2	3	4	◎予			
		環境政策	4	通年		2	3	4	◎予			
		比較憲法	4	通年		2	3	4	◎予			
		現代国家論	4	通年		2	3	4	◎予			
		外交史	4	通年		2	3	4	◎予			
		社会学原理	4	通年		2	3	4	◎予			
		財政学	4	通年		2	3	4	◎予			
		経済原論	4	通年		2	3	4	◎先			
		日本法制史	4	通年		2	3	4	◎先			
		西洋法制史	4	通年		2	3	4	◎予			
経済政策	4	通年		2	3	4	◎予					
会社法	4	通年		2	3	4	◎予					
英米法	4	通年		2	3	4	◎予					
刑事政策	4	通年		2	3	4	◎予					
経済法	4	通年			3	4	◎予					
国際紛争解決法	4	通年			3	4	◎予					
刑法各論	4	通年		2	3	4	◎予					
民法（債権）	4	通年		2	3	4	◎予					
社会保障法	4	通年			3	4	◎予					
時事英語	2	半期		2	3	4	◎予					

対象入学年度：政治学科（政治とメディア研究コース）平成26（2014）年度以降入学生

必・選	単位数	科目名	単位	開講期	配当年次			抽選	履修不可科目	本年度休講	注意事項	
					2	3	4					
選 択	52 単 位 以 上	実務者講座	2	半期		2	3	4	◎予			・「政治学基礎」または「政治学概論」の単位を修得済みであることが望ましい。
		国際経済論 a	2	半期		2	3	4	◎予			
		国際経済論 b	2	半期		2	3	4	◎予			
		農業政策 a	2	半期		2	3	4	◎予			
		農業政策 b	2	半期		2	3	4	◎予			
		工業政策 a	2	半期		2	3	4	◎予			
		工業政策 b	2	半期		2	3	4	◎予			
		流通政策 a	2	半期		2	3	4	◎予			
		流通政策 b	2	半期		2	3	4	◎予			
		地方財政論 a	2	半期		2	3	4	◎予			
		地方財政論 b	2	半期		2	3	4	◎予			
		交通論 a	2	半期		2	3	4	◎予		休	
		交通論 b	2	半期		2	3	4	◎予		休	
		地域計画論 A	2	半期		2	3	4	◎予			
		地域計画論 B	2	半期		2	3	4	◎予			
		非営利組織論 a	2	半期			3	4	◎予			・「b」は同一名称の科目「a」の単位を修得済みであることが望ましい。
		非営利組織論 b	2	半期			3	4	◎予			
		世界政治とメディア	2	半期		2	3	4	◎予			
		NPO/NGO とメディア	2	半期		2	3	4	◎予			
		国際関係とメディア	2	半期		2	3	4	◎予			
現代産業事情Ⅲ	2	半期	1	2	3	4	◎予			・駒澤大学会計人会協力講座です。		

対象入学年度：政治学科(政治とメディア研究コース)平成24(2012)・25(2013)年度入学生

必・選	単位数	科目名	単位	開講期	配当年次				抽選	履修不可科目	本年度休講	注意事項	
					1	2	3	4					
必修	8単位	政治学概論	4	通年	1								
		憲法	4	通年	1								
選択必修	8単位	政治学原論	4	通年	1	2	3	4	◎予			・1年次または2年次に履修することが望ましい。	
		現代政治理論入門	2	半期	1	2	3	4		有			
		日本政治入門	4	通年	1	2	3	4		有			
		現代政治分析入門1	2	半期	1	2	3	4					
		現代政治分析入門2	2	半期	1	2	3	4					
	8単位	政治制度論	4	通年	1	2	3	4	◎予			・「政治過程論」を履修済み、または同時履修であることが望ましい。	
		政治過程論	4	通年	1	2	3	4	◎予				
		政治思想史	4	通年	1	2	3	4	◎予				
		行政学・公共政策入門	4	通年	1	2	3	4		有			
		国際社会入門	2	半期	1	2	3	4					
		国際関係入門	2	半期	1	2	3	4					
		日本政治史	4	通年	1	2	3	4	◎予				
	20単位	ヨーロッパ政治史	4	通年		2	3	4	◎予			・「政治過程論」を履修済み、または同時履修であることが望ましい。	
		政策決定論	4	通年		2	3	4	◎予				
		比較政治学	4	通年		2	3	4	◎予				
		マス・コミュニケーション論	4	通年		2	3	4	◎予				
		ジャーナリズム論	4	通年		2	3	4	◎予	有			
		比較メディア論	4	通年		2	3	4	◎予				・「マス・コミュニケーション論」「ジャーナリズム論」を履修済み、または同時履修であることが望ましい。
		数量政治学	4	通年		2	3	4	◎予				
		政治心理学	4	通年		2	3	4	◎予				
政治社会学		4	通年		2	3	4	◎予					
政治経済学		4	通年		2	3	4	◎予					
48単位以上	都市・まちづくり論	4	通年		2	3	4	◎予	有		・「地方行政」を履修済み、または同時履修であることが望ましい。		
	地方行政	4	通年		2	3	4	◎予			・「行政学・公共政策入門」を履修済み、または同時履修であることが望ましい。		
	政治学方法論	2	半期		2	3	4	◎予					
	基礎演習	4	通年		2						《受講制限》・1年次10月に行う履修希望者の募集で許可された2年次生のみ履修可能となります。		
	現代政治理論応用	2	半期		2	3	4	◎予	有				
	国際関係論	4	通年		2	3	4	◎予					
	安全保障論	4	通年		2	3	4	◎予					
	国際法	4	通年		2	3	4	◎予					
48単位以上	北米政治論	2	半期		2	3	4	◎予	有				
	オセアニア政治論	2	半期		2	3	4	◎予					
	東南アジア政治論	2	半期		2	3	4	◎予	有				
	東アジア政治論	2	半期		2	3	4	◎予	有				
	南アジア政治論	2	半期		2	3	4	◎予					
	ロシア政治論	2	半期		2	3	4	◎予					
	ヨーロッパ政治論	2	半期		2	3	4	◎予	有				
	EU政治論	2	半期		2	3	4	◎予	有				
中東政治論	2	半期		2	3	4	◎予	有					
中南米政治論	2	半期		2	3	4	◎予						

対象入学年度：政治学科(政治とメディア研究コース)平成24(2012)・25(2013)年度入学生

必・選	単位数	科目名	単位	開講期	配当年次			抽選	履修不可科目	本年度休講	注意事項
					2	3	4				
選 48 単 位 以 上		アフリカ政治論	2	半期	2	3	4	◎予			
		行政法総論	4	通年	2	3	4	◎予			
		民法（総則・物権法）	4	通年	2	3	4	◎予			
		刑法総論	4	通年	2	3	4	◎予			
		地方自治法	4	通年	2	3	4	◎予			
		社会政策	4	通年	2	3	4	◎予			
		環境政策	4	通年	2	3	4	◎予			
		行政救済法	4	通年	2	3	4	◎予			・「行政法総論」を履修済み、または同時履修であることが望ましい。
		労働法	4	通年	2	3	4	◎予			
		比較憲法	4	通年	2	3	4	◎予			
		現代国家論	4	通年	2	3	4	◎予			
		外交史	4	通年	2	3	4	◎予			
		社会学原理	4	通年	2	3	4	◎予			
		財政学	4	通年	2	3	4	◎予			
		経済原論	4	通年	2	3	4	◎先			
		日本法制史	4	通年	2	3	4	◎先			
		西洋法制史	4	通年	2	3	4	◎予			
		経済政策	4	通年	2	3	4	◎予			
		会社法	4	通年	2	3	4	◎予			
		英米法	4	通年	2	3	4	◎予			
		刑事政策	4	通年	2	3	4	◎予			
		経済法	4	通年	2	3	4	◎予			
		国際紛争解決法	4	通年	2	3	4	◎予			
		政治学特殊講義（1）	2	半期	2	3	4	◎予			
		政治学特殊講義（2）	2	半期	2	3	4	◎予			
		政治学特殊講義（3）	2	半期	2	3	4	◎予			
		政治学特殊講義（4）	2	半期	2	3	4	◎予			
		刑法各論	4	通年	2	3	4	◎予			
		民法（債権）	4	通年	2	3	4	◎予			
		社会保障法	4	通年	2	3	4	◎予			
		国際経済論 a	2	半期	2	3	4	◎予	有		
		国際経済論 b	2	半期	2	3	4	◎予	有		
		農業政策 a	2	半期	2	3	4	◎予	有		
		農業政策 b	2	半期	2	3	4	◎予	有		
		工業政策 a	2	半期	2	3	4	◎予	有		
		工業政策 b	2	半期	2	3	4	◎予	有		
		流通政策 a	2	半期	2	3	4	◎予	有		
		流通政策 b	2	半期	2	3	4	◎予	有		
		地方財政論 a	2	半期	2	3	4	◎予	有		
		地方財政論 b	2	半期	2	3	4	◎予	有		
		交通論 a	2	半期	2	3	4	◎予	有	休	
		交通論 b	2	半期	2	3	4	◎予	有	休	
		地域計画論 A	2	半期	2	3	4	◎予	有		
		地域計画論 B	2	半期	2	3	4	◎予	有		

対象入学年度：政治学科(政治とメディア研究コース)平成24(2012)・25(2013)年度入学生

必・選	単位数	科目名	単位	開講期	配当年次			抽選	履修不可科目	本年度休講	注意事項
					2	3	4				
選 択 48 単 位 以 上 ↓		非営利組織論 a	2	半期		2	3	4	◎予		・「b」は同一名称の科目「a」の単位を修得済みであることが望ましい。
		非営利組織論 b	2	半期		2	3	4	◎予		
		世界政治とメディア	2	半期		2	3	4	◎予		
		NPO/NGOとメディア	2	半期		2	3	4	◎予		
		国際関係とメディア	2	半期		2	3	4	◎予		
		時事英語	2	半期		2	3	4	◎予	有	
		実務者講座	2	半期		2	3	4	◎予		
		演習Ⅰ	4	通年			3				《受講制限》 ・2年次10月に行う履修希望者の募集で許可された3年次のみ履修可能となります。
		外書講読Ⅰ(英書)	4	通年			3		◎予		
		外書講読Ⅰ(独書)	4	通年			3		◎予		
		外書講読Ⅰ(仏書)	4	通年			3		◎予		
		外書講読Ⅰ(中国書)	4	通年			3		◎予		
		現代産業事情Ⅲ	2	半期	1	2	3	4	◎予	有	・駒澤大学会計人会協力講座です。
		演習Ⅱ	4	通年				4			《受講制限》
		外書講読Ⅱ(英書)	4	通年				4	◎予		
		外書講読Ⅱ(独書)	4	通年				4	◎予		
	外書講読Ⅱ(仏書)	4	通年				4	◎予			
	外書講読Ⅱ(中国書)	4	通年				4	◎予			

対象入学年度：政治学科（政治とメディア研究コース） 平成23（2011）年度以前入学生

必・選	単位数	科目名	単位	開講期	配当年次				抽選	履修不可科目	本年度休講	注意事項
					1	2	3	4				
必修	8単位	政治学概論	4	通年	1							
		憲法	4	通年	1							
選択必修	8単位	政治学原論	4	通年	1	2	3	4	◎予			・1年次または2年次に履修することが望ましい。
		現代政治理論入門	2	半期	1	2	3	4		有		
		日本政治入門	4	通年	1	2	3	4		有		
		現代政治分析入門1	2	半期	1	2	3	4				
		現代政治分析入門2	2	半期	1	2	3	4				
	8単位	政治制度論	4	通年	1	2	3	4	◎予			・「政治過程論」を履修済み、または同時履修であることが望ましい。
		政治過程論	4	通年	1	2	3	4	◎予			
		政治思想史	4	通年	1	2	3	4	◎予			
		行政学・公共政策入門	4	通年	1	2	3	4		有		
		国際社会入門	2	半期	1	2	3	4				
		国際関係入門	2	半期	1	2	3	4				
		日本政治史	4	通年	1	2	3	4	◎予			
	20単位	ヨーロッパ政治史	4	通年		2	3	4	◎予			
		政策決定論	4	通年		2	3	4	◎予			・「政治過程論」を履修済み、または同時履修であることが望ましい。
		比較政治学	4	通年		2	3	4	◎予			
		政治学方法論	2	半期		2	3	4	◎予			
		マス・コミュニケーション論	4	通年		2	3	4	◎予			
		ジャーナリズム論	4	通年		2	3	4	◎予	有		
		比較メディア論	4	通年		2	3	4	◎予			・「マス・コミュニケーション論」「ジャーナリズム論」を履修済み、または同時履修であることが望ましい。
		数量政治学	4	通年		2	3	4	◎予			
政治心理学		4	通年		2	3	4	◎予				
都市・まちづくり論		4	通年		2	3	4	◎予	有		・「地方行政」を履修済み、または同時履修であることが望ましい。	
48単位以上	政治社会学	4	通年		2	3	4	◎予				
	政治経済学	4	通年		2	3	4	◎予				
	地方行政	4	通年		2	3	4	◎予			・「行政学・公共政策入門」を履修済み、または同時履修であることが望ましい。	
	48単位以上	基礎演習	4	通年		2						《受講制限》 ・1年次10月に行う履修希望者の募集で許可された2年次生のみ履修可能となります。
		現代政治理論応用	2	半期		2	3	4	◎予	有		
		国際関係論	4	通年		2	3	4	◎予			
		安全保障論	4	通年		2	3	4	◎予			
		国際法	4	通年		2	3	4	◎予			
		北米政治論	2	半期		2	3	4	◎予	有		
		中南米政治論	2	半期		2	3	4	◎予			
		オセアニア政治論	2	半期		2	3	4	◎予			
		東南アジア政治論	2	半期		2	3	4	◎予	有		
		東アジア政治論	2	半期		2	3	4	◎予	有		
南アジア政治論		2	半期		2	3	4	◎予				
ロシア政治論		2	半期		2	3	4	◎予				
ヨーロッパ政治論		2	半期		2	3	4	◎予	有			
EU政治論	2	半期		2	3	4	◎予	有				
中東政治論	2	半期		2	3	4	◎予	有				

対象入学年度：政治学科（政治とメディア研究コース） 平成23（2011）年度以前入学生

必・選	単位数	科目名	単位	開講期	配当年次			抽選	履修不可科目	本年度休講	注意事項
					2	3	4				
48 単位以上 選択		アフリカ政治論	2	半期	2	3	4	◎予			
		行政法総論	4	通年	2	3	4	◎予			
		民法（総則・物権法）	4	通年	2	3	4	◎予			
		刑法総論	4	通年	2	3	4	◎予			
		地方自治法	4	通年	2	3	4	◎予			
		社会政策	4	通年	2	3	4	◎予			
		環境政策	4	通年	2	3	4	◎予			
		行政救済法	4	通年	2	3	4	◎予	有		・「行政法総論」を履修済み、または同時履修であることが望ましい。
		労働法	4	通年	2	3	4	◎予			
		比較憲法	4	通年	2	3	4	◎予			
		現代国家論	4	通年	2	3	4	◎予			
		外交史	4	通年	2	3	4	◎予			
		社会学原理	4	通年	2	3	4	◎予			
		財政学	4	通年	2	3	4	◎予			
		経済原論	4	通年	2	3	4	◎先			
		日本法制史	4	通年	2	3	4	◎先			
		西洋法制史	4	通年	2	3	4	◎予			
		経済政策	4	通年	2	3	4	◎予			
		会社法	4	通年	2	3	4	◎予			
		英米法	4	通年	2	3	4	◎予			
		刑事政策	4	通年	2	3	4	◎予			
		経済法	4	通年	2	3	4	◎予			
		国際紛争解決法	4	通年	2	3	4	◎予			
		政治学特殊講義（1）	2	半期	2	3	4	◎予			
		政治学特殊講義（2）	2	半期	2	3	4	◎予			
		政治学特殊講義（3）	2	半期	2	3	4	◎予			
		政治学特殊講義（4）	2	半期	2	3	4	◎予			
		刑法各論	4	通年	2	3	4	◎予			
		民法（債権）	4	通年	2	3	4	◎予			
		社会保障法	4	通年	2	3	4	◎予			
		国際経済論 a	2	半期	2	3	4	◎予	有		
		国際経済論 b	2	半期	2	3	4	◎予	有		
		農業政策 a	2	半期	2	3	4	◎予	有		
		農業政策 b	2	半期	2	3	4	◎予	有		
		工業政策 a	2	半期	2	3	4	◎予	有		
		工業政策 b	2	半期	2	3	4	◎予	有		
		流通政策 a	2	半期	2	3	4	◎予	有		
		流通政策 b	2	半期	2	3	4	◎予	有		
		地方財政論 a	2	半期	2	3	4	◎予	有		
		地方財政論 b	2	半期	2	3	4	◎予	有		
		交通論 a	2	半期	2	3	4	◎予	有	休	
		交通論 b	2	半期	2	3	4	◎予	有	休	
		地域計画論 A	2	半期	2	3	4	◎予	有		
		地域計画論 B	2	半期	2	3	4	◎予	有		

対象入学年度：政治学科（政治とメディア研究コース）平成23（2011）年度以前入学生

必・選	単位数	科目名	単位	開講期	配当年次			抽選	履修不可科目	本年度休講	注意事項
					2	3	4				
選 択 ↓	48 単 位 以 上	非営利組織論 a	2	半期		2	3	4	◎予		・「b」は同一名称の科目「a」の単位を修得済みであることが望ましい。
		非営利組織論 b	2	半期		2	3	4	◎予		
		世界政治とメディア	2	半期		2	3	4	◎予		
		NPO/NGOとメディア	2	半期		2	3	4	◎予		
		国際関係とメディア	2	半期		2	3	4	◎予		
		時事英語	2	半期		2	3	4	◎予	有	
		実務者講座	2	半期		2	3	4	◎予		・「政治学基礎」または「政治学概論」の単位を修得済みであることが望ましい。
		演習Ⅰ	4	通年			3				《受講制限》 ・2年次10月に行う履修希望者の募集で許可された3年次のみ履修可能となります。
		外書講読Ⅰ（英書）	4	通年			3		◎予		
		外書講読Ⅰ（独書）	4	通年			3		◎予		
		外書講読Ⅰ（仏書）	4	通年			3		◎予		
		外書講読Ⅰ（中国書）	4	通年			3		◎予		
		現代産業事情Ⅲ	2	半期	1	2	3	4	◎予	有	・駒澤大学会計人会協力講座です。
		演習Ⅱ	4	通年				4			《受講制限》
		外書講読Ⅱ（英書）	4	通年				4	◎予		
		外書講読Ⅱ（独書）	4	通年				4	◎予		
外書講読Ⅱ（仏書）	4	通年				4	◎予				
外書講読Ⅱ（中国書）	4	通年				4	◎予				

4. 履修不可対象科目

下表の旧科目名で単位を修得済みの場合、現行科目名を履修することはできません。

政治学科

現行科目名	旧科目名	修得年度
現代政治理論入門	現代政治理論	平成25（2013）年度以前
現代政治理論応用		
日本政治入門	日本政治論	
行政学・公共政策入門	行政学	
国際経済論 a	国際経済学	
国際経済論 b		
中東政治論	アラブ・イスラム政治論	
東南アジア政治論	東南アジア政治論（1）	
	東南アジア政治論（2）	
北米政治論	北米政治論（1）	
	北米政治論（2）	
東アジア政治論	中国政治論（1）	
	中国政治論（2）	
ヨーロッパ政治論	ヨーロッパ政治論（1）	
	ヨーロッパ政治論（2）	
EU 政治論	ヨーロッパ政治論（3）	
	ヨーロッパ政治論（4）	
都市・まちづくり論	比較都市論	
ジャーナリズム論	メディア社会論	
農業政策 a	農業政策	
農業政策 b		
工業政策 a	工業政策	
工業政策 b		
地方財政論 a	地方財政論	
地方財政論 b		
交通論 a	交通論	
交通論 b		
地域計画論 A	地域計画論	
地域計画論 B		
時事英語	時事英語講座	
現代産業事情Ⅲ	現代企業論	
流通政策 a	流通政策	平成23（2011）年度以前
流通政策 b		
流通政策 a	商業政策	
流通政策 b		
行政救済法	行政法各論	

5. 廃講科目

下表の科目は、廃講年度以降は開講されません。ただし、廃講となった科目の単位を廃講年度以前に修得済みの場合、卒業に必要な単位数として算入され、成績表に記載されます。

・政治学科

廃講科目	廃講年度
現代政治理論	平成26（2014）年度以降廃講
日本政治論	
国際政治学	
国際経済学	
行政学	
アラブ・イスラム政治論	
東南アジア政治論（1）	
東南アジア政治論（2）	
北米政治論（1）	
北米政治論（2）	
中国政治論（1）	
中国政治論（2）	
ヨーロッパ政治論（1）	
ヨーロッパ政治論（2）	
ヨーロッパ政治論（3）	
ヨーロッパ政治論（4）	
比較都市論	
メディア社会論	
農業政策	
工業政策	
流通政策	
地方財政論	
交通論	
地域計画論	
時事英語講座	
現代企業論	
国家安全保障論	
行政法各論	
商業政策	平成24（2012）年度以降廃講
国際行政学	平成20（2008）年度以降廃講

他学部履修科目

1. 履修上の注意

(1) 他学部履修科目とは

所属学科以外の学部・学科が、他学部履修科目として公開した専門教育科目の中から、所属学科が履修を認めた授業科目を履修することができます。

(2) 履修方法

①履修年次

3年次以上を対象とします。

②履修・修得可能単位数

卒業までに修得できる単位数は、**16単位以内**とします。

③履修制限単位

他学部履修する授業科目の単位は、各年次の履修制限単位数に含まれます。

④受講制限

他学部履修科目には、科目ごとに履修定員を設けています。定員を超える履修申込があった場合には、KONECO 上で抽選が行われ履修者が決定されます。

⑤単位認定

修得した単位数は、所属学科の専門教育科目の選択科目として認定され、**卒業に必要な専門選択の単位数に算入**されます。

(3) 履修登録の流れ

他学部履修科目を履修する場合、下記の手続きが必要となります。

①他学部履修希望科目を決める

※『他学部履修科目授業時間表』『シラバス』を参照し、開講曜日・時限、授業概要等を確認する。



② KONECO で履修登録する（履修申込期間より受付開始）

※履修申込者数が履修定員を超えた場合、KONECO 上で抽選が行われ履修者が決定する。



③履修登録完了

※履修申込者数が履修定員に満たなかった他学部履修科目は、履修訂正期間に先着順で申込みことができるようになります。

※申し込んだ他学部履修科目の履修を取り消したい場合は、履修訂正期間内に KONECO 上で取消を行うこと。



④履修確認期間に、申し込んだ科目が登録されているか KONECO 上で確認する。

2. 開設科目一覧

○フレックスA時間帯で開講される他学部履修科目

・月～金曜日：1～5時限 ・土曜日：1～4時限

《文学部》

開講 学科	科目名	単位	開講期	本年度 休講	履修上の注意事項
社会学科	産業と変動の社会学	2	半期		・履修不可対象科目 平成 20 (2008) 年 度以前に「産業・ 職業社会学」で単 位を修得済の場合 は履修できません。
	雇用と労働の社会学	2	半期	休	
	社会心理学 A	2	半期		
	社会心理学 B	2	半期		・隔年開講

《経済学部》

開講 学科	科目名	単位	開講期	本年度 休講	履修上の注意事項
経済学科	日本経済史 a	2	半期		・履修不可対象科目 平成 25 (2013) 年 度以前に「日本経済 史」で単位を修得済 の場合は履修できま せん。
	日本経済史 b	2	半期		
	日本経済論 a	2	半期		・履修不可対象科目 平成 25 (2013) 年 度以前に「日本経済 論」で単位を修得済 の場合は履修できま せん。
	日本経済論 b	2	半期		
	中国経済論 a	2	半期		・履修不可対象科目 平成 25 (2013) 年 度以前に「中国経済 論」で単位を修得済 の場合は履修できま せん。
	中国経済論 b	2	半期		
	アメリカ経済論 a	2	半期		・履修不可対象科目 平成 25 (2013) 年 度以前に「アメリカ 経済論」で単位を修 得済の場合は履修で きません。
	アメリカ経済論 b	2	半期		
	ロシア・東欧経済論 a	2	半期		・履修不可対象科目 平成 25 (2013) 年 度以前に「ロシア・ 東欧経済論」で単位 を修得済の場合は履 修できません。
	ロシア・東欧経済論 b	2	半期		
	EU 統合論	2	半期		
	現代西欧経済論	2	半期		

開講 学科	科目名	単位	開講期	本年度 休講	履修上の注意事項
商学科	財務会計論 a	2	半期		・履修不可対象科目 平成 25 (2013) 年 度以前に「財務会計 論」で単位を修得済 の場合は履修できま せん。
	財務会計論 b	2	半期		
	会計監査論 a	2	半期		・履修不可対象科目 平成 25 (2013) 年 度以前に「会計監査 論」で単位を修得済 の場合は履修できま せん。
	会計監査論 b	2	半期		
	管理会計論 a	2	半期		
	管理会計論 b	2	半期		
	貿易論 a	2	半期	休	・隔年開講 平成 25 (2013) 年 度以前に「貿易論」 で単位を修得済の場 合は履修できませ ん。
	貿易論 b	2	半期	休	

《経営学部》

開講学科	科目名	単位	開講期	本年度休講	履修上の注意事項
経営学科 (フレックスA)	経営労務論	4	通年		
	経営分析論	4	通年		
	税務会計論	4	通年		
	経営史	4	通年		
	国際経済論	4	通年		
市場戦略学科	リスクマネジメント論	4	通年		
	消費者行動論	4	通年		
	マーケティング・コミュニケーション論	4	通年		

《グローバル・メディア・スタディーズ学部》

開講学科	科目名	単位	開講期	本年度休講	履修上の注意事項
グローバル・メディア学科	情報メディア産業論Ⅰ	2	半期		・履修不可対象科目 平成25(2013)年度以前に「グローバルアート政策論」または「グローバル創造都市論」で単位を修得済の場合は履修できません。
	比較メディア制度論	2	半期		
	東南アジアの文化と社会	2	半期		
	グローバル創造都市とアート政策	2	半期		
	情報保護と社会	2	半期		
	情報メディア開発論	2	半期		

○フレックスB時間帯で開講される他学部履修科目

・月～金曜日：6・7時限 ・土曜日：3～7時限

《法学部》

開講学科	科目名	単位	開講期	本年度休講	履修上の注意事項
法律学科 (フレックスB)	法思想史	4	通年		
	倒産処理法	4	通年		

随意科目

1. 履修上の注意

随意科目として修得した科目の単位は、卒業に必要な単位に含まれません。

2. 開設科目一覧

・政治学科

科目名	単位	開講期	配当年次				抽選	履修上の注意事項
英語（海外演習）	2		1	2	3	4		・海外協定校で行われる短期語学セミナーです。詳細については、国際センターが配布する各セミナーのパンフレットを参照してください。（パンフレットは募集時期に配布されず）
フランス語（海外演習）	2		1	2	3			
中国語（海外演習）	2		1	2	3	4		
比較思想特講	4	通年		2	3	4	◎予	・当該科目の履修を希望する者は、履修登録申込期間に履修登録を行ってください。

「日本語」・「日本事情」科目

1. 履修上の注意

(1) 「日本語」科目の履修方法

- ① 「日本語」科目は『外国人留学生』および日本語を母語としない『帰国生』を対象とする科目です。
- ② 「日本語」科目は、選択必修科目として履修してください。
- ③ 「日本語」科目は、原則1・2年次に履修してください。
- ④ 修得した単位数は、外国語科目として認定され、卒業に必要な単位数に算入されます。
- ⑤ 外国語科目として代替できる単位数を超えて修得した単位数は、卒業に必要な広域選択の単位数に算入されません。
- ⑥ 当該科目の履修を希望する者は、履修登録申込期間に履修登録を行ってください。

(2) 「日本語」科目の卒業に必要な単位数

履修年次	卒業必要単位数
1年次	10
2年次	

(3) 「日本事情」科目の履修方法

- ① 「日本事情」科目は『外国人留学生』および日本語を母語としない『帰国生』を対象とする科目です。
- ② 修得した単位数は、教養教育科目の選択必修科目として認定され、卒業に必要な単位数に算入されます。
- ③ 教養教育科目として代替できる単位数を超えて修得した単位数は、卒業に必要な広域選択の単位数に算入されません。
- ④ 当該科目の履修を希望する者は、履修登録申込期間に履修登録を行ってください。

(4) 「日本事情」科目の卒業に必要な単位数

科目の区分	卒業必要単位数	履修方法
人文分野	16	「日本事情」科目を含めて、16単位履修すること。
社会分野		
自然分野		
ライフデザイン分野		

2. 開設科目一覧

<日本語科目>

科目名	単位	開講期	配当年次				履修上の注意事項	
日本語入門Ⅰ a	1	半期	1	2			・初級	・以下のいずれかに該当しなければ履修できません。 ①交換留学生 ②非漢字圏の学生
日本語入門Ⅰ b	1	半期	1	2			・初級	
日本語入門Ⅱ a	1	半期	1	2			・初級	
日本語入門Ⅱ b	1	半期	1	2			・初級	
日本語Ⅰ a	1	半期	1	2			・中級程度	・当該科目の「a」「b」は、セットで履修することが望ましい。 ≪受講制限≫ ・履修者制限をする場合があります。初回の授業で教員の許可を得てください。
日本語Ⅰ b	1	半期	1	2			・中級程度	
日本語Ⅱ a	1	半期	1	2			・中級程度	
日本語Ⅱ b	1	半期	1	2			・中級程度	
日本語Ⅲ a	1	半期	1	2			・上級程度	
日本語Ⅲ b	1	半期	1	2			・上級程度	
日本語Ⅳ a	1	半期	1	2			・上級程度	
日本語Ⅳ b	1	半期	1	2			・上級程度	
日本語Ⅴ a	1	半期	1	2			・中級演習	
日本語Ⅴ b	1	半期	1	2			・中級演習	
日本語Ⅵ a	1	半期	1	2			・上級演習	
日本語Ⅵ b	1	半期	1	2			・上級演習	

<日本事情科目>

科目名	単位	開講期	配当年次				履修上の注意事項
日本事情Ⅰ	2	半期	1	2	3	4	(地理) について学びます。
日本事情Ⅱ	2	半期	1	2	3	4	(自然) について学びます。
日本事情Ⅲ	2	半期	1	2	3	4	(歴史) について学びます。
日本事情Ⅳ	2	半期	1	2	3	4	(思想) について学びます。
日本事情Ⅴ	2	半期	1	2	3	4	(社会) について学びます。
日本事情Ⅵ	2	半期	1	2	3	4	(政治・法律) について学びます。
日本事情Ⅶ	2	半期	1	2	3	4	(文学) について学びます。
日本事情Ⅷ	2	半期	1	2	3	4	(文化・芸術) について学びます。
日本事情Ⅸ	2	半期	1	2	3	4	(経済) について学びます。
日本事情Ⅹ	2	半期	1	2	3	4	(経営) について学びます。

Ⅲ 教職課程・資格講座

1. 受講可能な資格

法律学科フレックスA・フレックスBと政治学科で履修可能な教職課程・資格講座は、以下のとおりです。

資格取得のためには、卒業必要科目以外に教職課程・資格講座に関する専門科目を履修し、単位を修得する必要があります。

課程・講座名	内容
教職課程	教員免許状の取得を目指します。 以下の条件を満たすことで資格を取得できます。 ①所定の科目の単位を修得 ②学士の学位を有する（大学を卒業する） ③免許申請を行う
学校図書館司書教諭講座	学校教育の充実を目的とした学校図書館の専門職としての資格です。 教職課程と併せて登録する必要があります（「図書館司書」の資格とは異なります）。所定の科目の単位を修得し、申請を行うことで資格を取得できます。
社会福祉主事講座 ※法律学科フレックスBは除く	社会福祉の行政機関において、保護や援助を必要とする人々の相談、指導、援助を行う専門職である「社会福祉主事」の任用資格を取得できます。
社会教育主事講座	社会教育活動を行う者に対し、求めに応じて専門的・技術的な助言と指導を与える専門職員である「社会教育主事」の任用資格を取得できます。

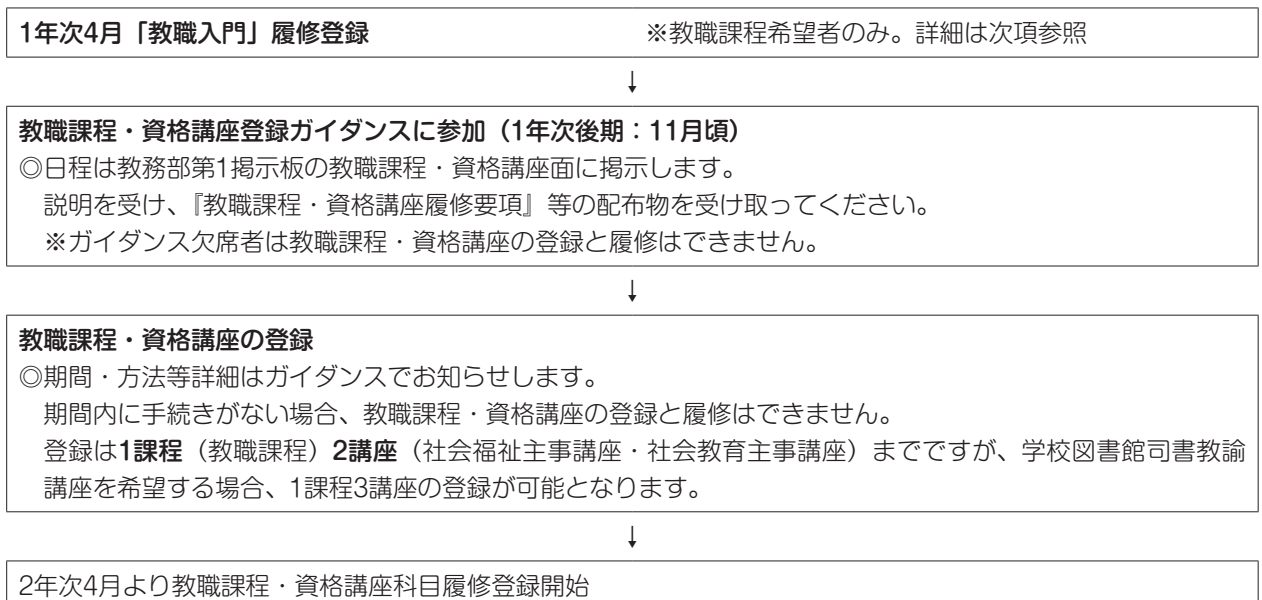
●取得可能な免許状の種類

各学科で取得できる免許状は以下のとおりです。

学科	中学校教諭1種免許状	高等学校教諭1種免許状
法律学科フレックスA	社会	地理歴史・公民
法律学科フレックスB		
政治学科		

2. 教職課程・資格講座の登録

課程・講座は登録制をとっています。登録には以下の手続きが必要です。



※新2年生以上でまだ教職課程・資格講座の登録をしていない場合は1年遅れての登録になります。詳細は教務部2番窓口（教職係）で確認してください。

3. 1年次の関連履修科目（教職課程）

①下記の科目を1年次に履修してください。

科目名	開講期	曜日時限	履修コード
教職入門	後期	木5	076711
		木6	305401
		土3	076701
<ul style="list-style-type: none"> ・教職希望者必修科目です。 ・教職専門科目のため卒業必要単位数に含まれません（学科の年間履修制限単位数にも含まれません）。 ・履修希望者数が定員を超えた場合は、KONECO 上で抽選が行われます。もし落選した場合は、他の履修コードの「教職入門」を再度履修申請してください。 ・授業は、後期（9月）より開始されます。 ・教場は、KONECO や「授業時間表」で確認してください。 			

②下記の科目は1年次から履修可能であり、どの教科の免許状を希望する場合でも使用できます。修得した単位数は卒業必要単位数に含まれますので、年間履修制限単位数内に収める必要があります。

なお、履修希望者が定員を超えた場合は、KONECO 上で抽選となります。落選した場合は、再度履修申請を行ってください。

科目名	単位数	注意事項
憲法	4	
健康・スポーツ実習	2	
コンピュータ基礎	2	} ・いずれか1科目を履修してください。
コンピュータ応用Ⅰ	2	
コンピュータ応用Ⅱ	2	

③下記の科目は全学共通科目ですが、各教科の免許取得に必要な単位の一部として使用できます。

修得した単位数は卒業必要単位に含まれますので、年間履修制限単位数内に収める必要があります。

なお、履修希望者が定員を超えた場合は、KONECO 上で抽選となります。落選した場合は、再度履修申請を行ってください。

免許の種類	科目名	注意事項
中学校（社会）	人文地理学 ※	※「人文地理学」を履修することも可能ですが、教員免許状取得用に開講されている「人文地理学概説（教職課程登録後に履修可能）」を履修するように努めてください。
	政治学	
高等学校（地理歴史）	人文地理学 ※	
高等学校（公民）	政治学	

・平成22（2010）年度以前入学生については対象科目が異なります。詳細は、教務部2番窓口（教職係）または『教職課程・資格講座履修要項』で確認してください。

④その他の注意事項

転部・転科をした場合は単位認定の関係上、免許状取得のための単位として使用できなくなることもあります。

4. 学校図書館司書教諭講座・社会福祉主事講座・社会教育主事講座

1年次で履修できる関連科目はありません。2年次以降計画的に履修してください。詳細は、教職課程・資格講座登録ガイダンスで配付される『教職課程・資格講座履修要項』で確認してください。

IV 学修支援

学業不振者への勧告

4年間で卒業するには、各年次に計画的に科目を履修し単位を修得していくことが理想とされます。正当な理由なく成績不振に陥り、修得単位数が著しく少ない学生には、学業を督励するために、保証人宛成績表送付時に単位修得状況に応じたメッセージが記載されます。

●勧告対象基準

年次	勧告対象基準
1年次	修得単位数の合計が30単位未満または選択必修外国語 I A a・I A b・I B a・I B bのいずれか未修得
2年次	修得単位数合計60単位未満
3年次	修得単位数合計90単位未満
4年次	卒業に必要な単位数に1単位以上不足

●修学指導

法学部では、学業不振学生を対象として、日常の学修状況や生活環境を把握し、教員が面談等により適切な助言・指導等を行うことで、対象学生が有意義な学生生活を送ることができるよう手助けするために、修学指導を行っています。

対象となる学生には、法学部から連絡しますので、指示に従って必ず修学指導を受けてください。

対象学生

- ・2年次生は、1年次の修得単位が13単位未満の者および原級留置の者
- ・3年次生は、2年次までの修得単位数の合計が40単位未満の者
- ・卒業未了者のうち卒業に必要な単位数に28単位以上不足している者

V キャリア形成

1. 大学院進学

法学研究科 公法学専攻

公法学専攻の専門領域は、憲法をはじめとして行政法・刑法・刑事訴訟法・刑事政策・租税法・法哲学・法史学・国際公法である。各自の専門分野を中心に、隣接科目や関連科目を履修し、学際的な研究を展開することができるようにしてある。

修士課程では、学部での学習を基礎に、更に深く広く精緻な方法論・学説・実務の検討に努め、博士後期課程では、各自の専門分野における独自の論理を展開して学会に表明することができる能力を養う。

本学からは、博士後期課程を終えて大学の教員として研究活躍している者もいるが、修士課程を修了して税理士・司法書士・行政書士などの資格を取得し実務活動をしている者や公務員または高校教員として社会貢献している者もいる。

つまり、本学では、研究者希望か実務家希望かという各自の方針に応じた指導をしているので、院生各自の努力姿勢が微妙に影響しあい、幅広い教養のある社会人育成に役立っている。このために、社会人・外国人留学生には特別入学試験制度もある。

しかし、所詮、大学院は研究が基本であるので、世界的規模で現象化している疲弊しきった経済活動・宗教的対立ないし民族的対立と殺戮・人類の存亡を左右する環境問題・伝統的文化の衰退など、深刻な事態に陥っている世界情勢のなかで、かかる問題解決に資する巨視的・展望的な公法学の研究が望まれる。そのためには、国内法の国内的研究に終始することなく、諸国の公法学の研究が必須になるので、原書講読による新しい視座の確立が待たれる。

法学研究科 私法学専攻

私法学専攻においては、現代社会の求める現実的な課題に対処し、問題解決のための方策を立てることができるような法律学の研究者および専門的職業人の養成に主眼を置き、幅広い視野と豊かな応用力を培うことによって、いわゆる「行学一如」の達成をめざしている。

修士課程においては、広い視野に立ち、かつまた精深な学識を身に付け、専攻分野における研究能力または高度の専門性を有する職業に必要な高い能力を養うことが教育の目的とされており、また博士後期課程においては、法律学に関する専攻分野について自立的な研究活動が可能な、あるいはその他のより高度に専門的な業務に従事するのに必要な、高いレベルの研究能力、および基礎となる豊かな学識を養うことが、その目的として設定されている。

そのため、本専攻では多彩な講義科目を用意すると同時に、高度の研究指導（演習）を重視したカリキュラムを採用している。具体的には、契約法や物権法、不法行為法、家族法等からなる民法、会社法、手形・小切手法、保険法等からなる商法、私人間の生活関係に関する紛争を解決するための裁判手続を扱う民事訴訟法等の授業科目が設けられている。

また入学時に、各々の研究科目・研究テーマの選定に合わせて、修士論文作成等の指導を受ける教員が決定され、主としてマンツーマン方式により、きめ細かな指導が行われている。その結果、現在にいたるまでに多くの専任教員や非常勤講師等の研究者あるいは税理士等の専門的職業人を輩出している。

なお、院生の論文集として『私法学研究』が1975年以来発行されており、院生の研鑽の場として、利用されている。

法科大学院

駒澤大学法科大学院では、入学定員36人という少数精鋭教育を特色とし、ソクラティック・メソッドによる双方向・多方向授業を実践しています。さらに「クラス担任制」の採用により、履修や進路に関してきめ細やかな「個別指導」を行い、同時に教員と学生・学生同士における交流の接点としています。

また、この少人数制教育を活かし、1年次で法律の基礎知識を身につけた後、2年次では少人数クラス・ゼミ形式の演習科目を中心に一人ひとりの問題意識を高め、柔軟な思考力を養っていきます。そして3年次には、展開・先端科目を系統的に学修することで法曹としての専門分野を確立するとともに、複眼的な視野を養うための多様な科目選択を可能とし、社会が求める法曹を養成しています。

2. 就職（キャリアセンターの利用）

就職するのは学生の皆さん自身であり、どのような就職活動を行うか、最終的にどこを就職先とするかを決定するのも皆さん自身です。本学「キャリアセンター」は、就職活動に必要な情報を提供し、皆さんの相談にのるなど、さまざまな支援活動を行っています。

具体的には、新入生オリエンテーション、2年次5月・11月、3年次7月・10月・1月に行う就職ガイダンス、各種の就職講座（教職、公務員、マスコミ、文章、就職英語）、業界・企業研究会、企業別OB・OG懇談会、公務員採用説明会などの開催、『就職状況・入社試験報告書』、『就職手帳』の発行、キャリアセンター「窓口」での個別相談などです。

資料室には、公務員・教員の募集要項、企業別の事業内容・採用状況、OB・OGの就職活動体験記や企業関係の様々な文献・資料や情報機器を用意してあります。「キャリアセンター」を十分に利用しましょう。

3. 研究所

研究所	活動内容
経理研究所	<p>国際化、情報化、サービス化が急速に進展し、民間企業のリストラや財政緊縮などによって新卒者の就職条件が非常に厳しくなってきた今日、職業資格に対する学生の関心が高まってきています。こうした状況に対応するため、駒澤大学経理研究所では、日商簿記検定試験（3級、2級、1級）の受験指導を行っています。税理士試験、公認会計士試験に合格する先輩が増えています。これらの試験の受験勉強を始めるにあたっては、日商2級の実力があることが前提となります。また、日商1級の保有者は、多くの場合、就職活動を比較的有效に進めることが可能です。</p> <p>専任教員と専属スタッフが熱心に指導に当たっています。平日だけではなく必要に応じて休日も利用し、夏季休暇には2級工業簿記の集中授業も行われています。</p> <p>なお、本学で日商簿記検定試験が受験できます。</p> <p>詳細に関しては、経理研究所事務室（深沢校舎5階 03-6381-8905）にお問い合わせください。</p>
法学研究所	<p>昭和47年4月に設立された法学研究所は、研究部と研修部から構成されています。研究部は、学界、法曹界から講師を招いて講演会を開催したり、司法試験合格者から体験的学習方法を伝授してもらったりしています。</p> <p>研修部は、法学への研究意欲をさらに高め、基礎的、実践的な知識を修得することを目的として、次のような講座を開設しています。(1) 入門講座（おもに1年生）①憲法入門、②民法入門、③刑法入門 (2) 基礎講座（おもに2年生）①基礎憲法、②基礎民法、③基礎民法Ⅰ（総則・物権法）、基礎民法Ⅱ（債権法）(3) 上級講座（おもに3年生以上）①公法（憲法・行政法）、②刑法（刑法総論・刑法各論）、③民法Ⅰ（総則・物権法）、④民法Ⅱ（債権法・家族法）、⑤商法（会社法・有価証券法）、⑥訴訟法（民事訴訟法・刑事訴訟法）、⑦不動産登記法、⑧商業登記法。</p> <p>上記の講座は、順を追って法学の知識を深め、法科大学院の入学試験および司法書士試験に対応できるように編成されています。上級講座は、すべて現役の弁護士および司法書士によって指導され、資格取得だけでなく公務員志望や民間企業で活躍したい諸君にとっても、有益な講座内容になっています。</p> <p>本学の在学学生・卒業生であれば、所定の手続きを踏むことにより、誰でも研修部会員になることができます（上級講座については、一般・社会人にも門戸が開放されています）。また研究所内の特別研究室では、専用の机を利用して、勉強に専念することができます。ただし、特別研究室を利用するためには、入室試験を受ける必要があります。</p> <p>詳細に関しては、法学研究所事務室（深沢校舎1階 03-6381-8900）にお問い合わせください。</p>
マス・コミュニケーション研究所	<p>本研究所では、将来、新聞・テレビ・出版・広告などのマス・メディアを目指す学生を育成する、マス・メディアの現状と今後の展望について学生の知見を深める、この二点に主眼を置いてマス・メディア各界から人材を求め、本研究所の研究員として学生諸君の指導にあたっていただいております。</p> <p>研究所での授業は、今日のマスコミ研究の最新の成果をもとに編成されています。これらは学部の授業（単位）とは全く別個なもので、自主的な学習意欲があれば自由に学ぶことができる学習の場です。平成20年度からは、各授業に参加し一定の評価を得た学生には、その科目修了の「認定証」を発行しています。この「認定証」は本研究所が発行する公的なもので、学生諸君の履歴書にも記載できます。</p> <p>また本研究所の開設する講座は「公開講座」となっており、本学の学生以外の一般人も多数聴講しています。学生や主婦、定年退職した人まで様々な年齢層の人々が受講し、とても刺激のある授業になっています。</p> <p>開講科目につきましては下記の講座の中から1年間にいくつでも履修できます。授業は原則として5時限、6時限に開講していますので学部の授業とは重ならないよう配慮しています。また、通常の講義とは別に、毎年秋に、各界で活躍する有名なお招きし、特別講義や講演会を開催しております。</p> <p>※「報道メディア論」、「現代メディアと報道論」、「マスコミの中の公共放送」、「メディアスポーツ解体」、「高度情報社会のメディア・リテラシー」、「現代広告論」、「映像を通して現代を考える」、「鉄腕アトムの誕生と継承」、「新聞の国際報道と日本」。</p> <p>なお、学生の入所試験は4月の下旬に、小論文および面接によって行われます。詳細に関しては、マス・コミュニケーション研究所事務室（深沢校舎1階03-6381-8901）にお問い合わせいただくか、インターネットの本研究所HPをご参照下さい。</p>

※本学にはこの他に、「仏教経済研究所」、「応用地理研究所」、「禅研究所」、「仏教文学研究所」、「司法研究所」、「駒澤大学グローバル・メディア・スタディーズ・ラボラトリ」といった研究所があります。詳細は、本学ホームページを参照してください。

4. 国家試験について

試験についての詳しい情報は、下記の URL を参照のこと。

<国家試験>

司法試験 法務省

http://www.moj.go.jp/shikaku_saiyo_index1.html

司法書士試験 法務省

http://www.moj.go.jp/shikaku_saiyo_index3.html

行政書士試験 (財) 行政書士試験研究センター

<http://gyosei-shiken.or.jp/>

宅地建物取引主任者 (財) 不動産適正取引推進機構

<http://www.retio.or.jp/exam/exam01.html>

社会保険労務士 全国社会保険労務士会連合会 試験センター

<http://www.sharosi-siken.or.jp/>

<国家公務員試験>

国家公務員総合職試験

国家公務員一般職試験 (大卒程度試験) 人事院

<http://www.jinji.go.jp/saiyo/jouhou02.htm>

裁判所職員採用総合職試験 (法律・経済区分)

裁判所職員採用一般職試験 (大卒程度試験) 最高裁判所

<http://www.courts.go.jp/saiyo/index2.html>

検察事務官

* 国家公務員採用一般職試験 (大卒程度試験) 合格者及び国家公務員採用一般職試験 (高卒者試験) 合格者に対し、各検察庁において面接を行うなどした上で、検察事務官への採用を行っています。

問い合わせは、各検察庁へ。

VI その他

専任教員紹介・研究室

法学部の専任教員の研究室は、第2研究館にあります。不明な点は、第2研究館1階の「受付窓口」にお問い合わせてください。

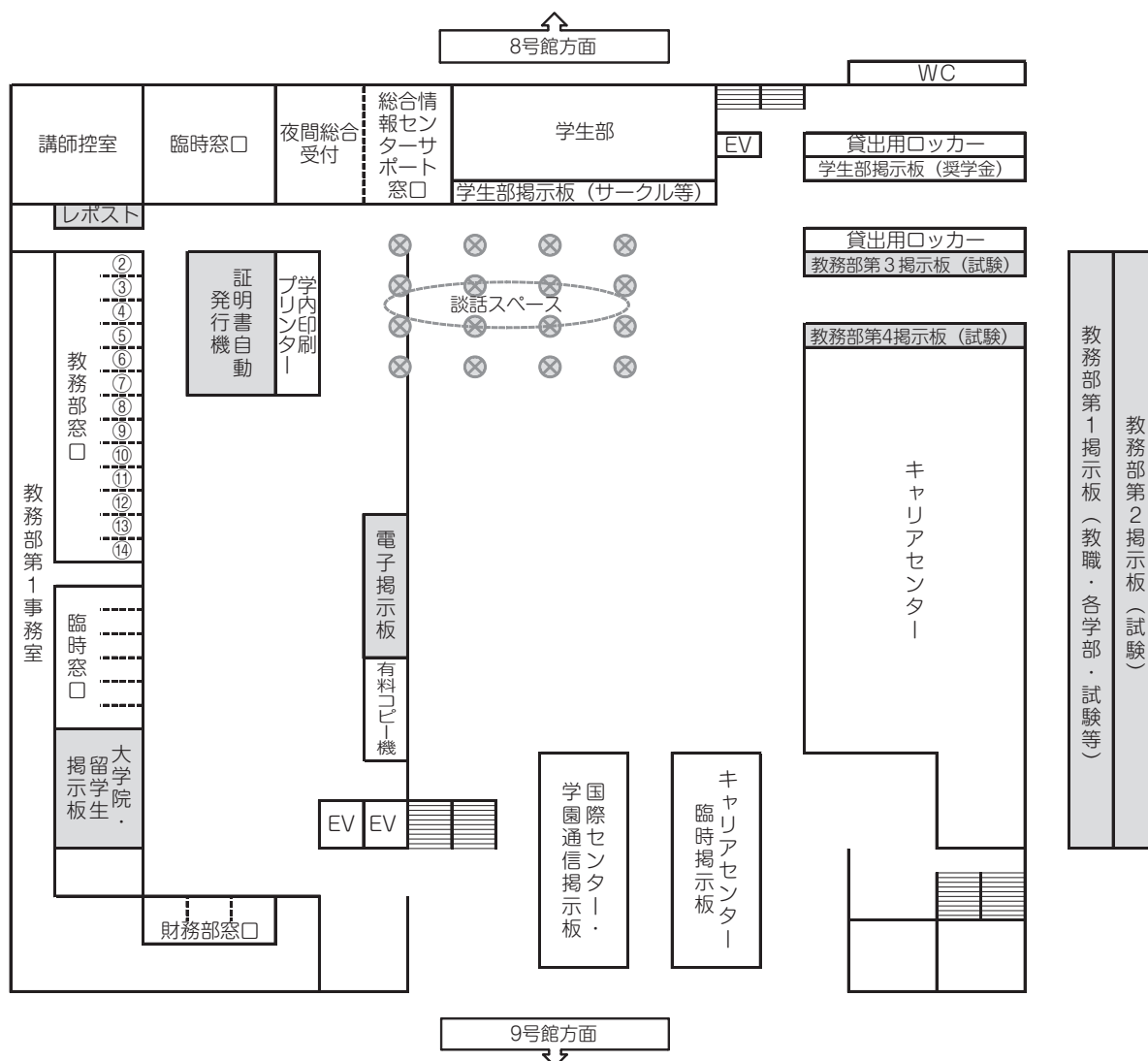
●専任教員一覧（五十音順）

法律学科	
漢字氏名	カナ氏名
赤松 晃	アカマツ アキラ
荒木 正孝	アラキ マサタカ
井上 健一	イノウエ ケンイチ
王 志安	オウ シアン
大西 楠, テア	オオニシ ナミ・テア
大宮 隆	オオミヤ タカシ
岡田 好弘	オカダ ヨシヒロ
奥村 公輔	オクムラ コウスケ
金子 昇平	カネコ ショウヘイ
北野 かほる	キタノ カオル
熊谷 芝青	クマガイ シセイ
佐藤 多美夫	サトウ タミオ
高橋 洋城	タカハシ ヒロキ
竹中 智香	タケナカ チカ
田中 優企	タナカ ヨウキ
鶴井 俊吉	ツルイ シュンキチ
富樫 景子	トガシ ケイコ
中田 英幸	ナカタ ヒデユキ
中濱 義章	ナカハマ ヨシアキ
原口 伸夫	ハラグチ ノブオ
原田 啓一郎	ハラダ ケイイチロウ
間瀬 清史	マブチ キヨシ
三浦 康平	ミウラ コウヘイ
向田 正巳	ムカイダ マサミ

政治学科	
漢字氏名	カナ氏名
内海 麻利	ウチウミ マリ
浦田 早苗	ウラタ サナエ
大塚 桂	オオツカ カツラ
大山 礼子	オオヤマ レイコ
清滝 仁志	キヨタキ ヒトシ
塩入 みほも	シオイリ ミホモ
田丸 大	タマル ダイ
富崎 隆	トミサキ タカシ
中野 裕二	ナカノ ユウジ
早川 純貴	ハヤカワ ヨシキ
三竹 直哉	ミタケ ナオヤ
三船 恵美	ミフネ エミ
村井 良太	ムライ リョウタ
山崎 望	ヤマザキ ノゾム

事務局・掲示板案内図

●教務部掲示板等配置図



●図の説明

電子掲示板	本日の休講、翌日以降の休講（1週間分）、教場変更情報（当曜日分）。ここに掲示されている情報は、KONECOでも閲覧できます。
証明書自動発行機	各種証明書を自動で発行できます。証明書については、「第1章V証明書発行」を参照。
レポスト	担当教員からレポート提出の指示があった場合、このポストに提出できます。
教務部第1～第4掲示板	教務部第1掲示板には、教職課程・資格講座に関する掲示と各学部からの掲示があります。教務部第2～第4掲示板には、主に試験関係の掲示があります。
大学院・留学生掲示板	大学院生と留学生のための掲示があります。

●駒沢キャンパス構内案内図

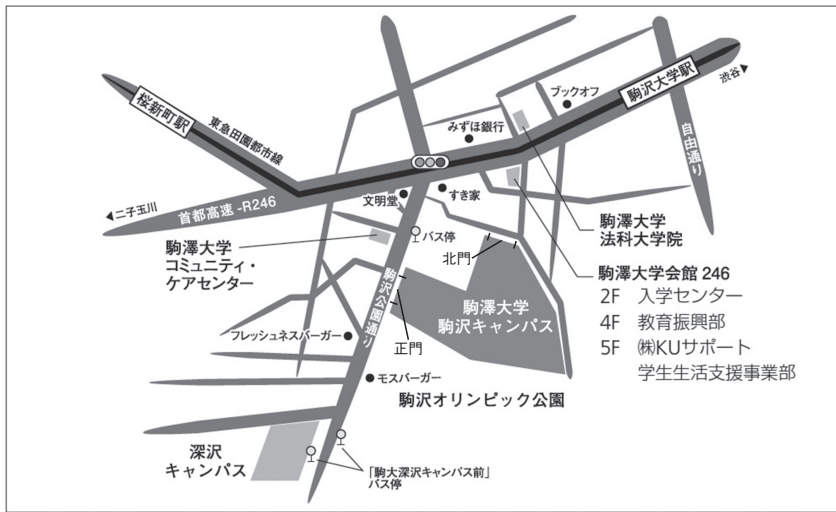
①第1研究館 ②第3研究館 ⑥9号館 ⑩第2研究館 ⑬学生会館
 ③7号館 ④総合情報センター(4号館) ⑦体育館 ⑧学生会館 ⑭学生食堂
 ①1号館 ②本部棟 ③記念講堂 ④図書館 受付・守衛室
 ⑩8号館 北門 正門

● 図書施設
 ● 食事
 ● 喫茶・軽食
 ● 多目的トイレ
 ● AED
 ● 喫煙所

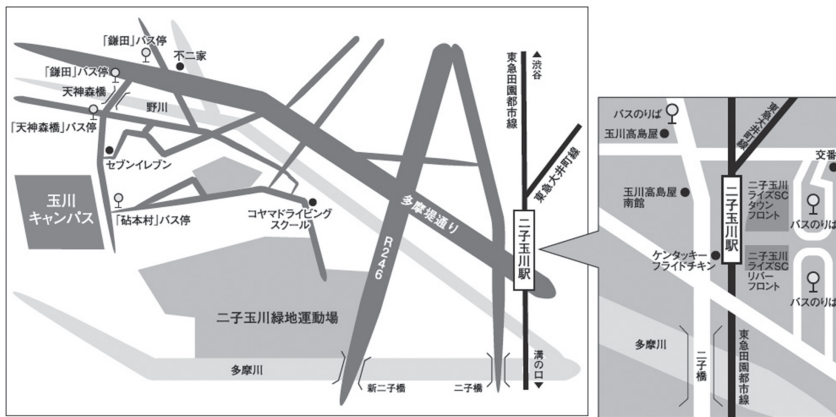
● AED設置場所
 受付・守衛室
 保健管理センター
 本部棟2F受付郵便室前
 体育館2Fロビー
 教務部ロビー

①第1研究館 文学部・医療健康科学部・グローバル・メディア・スタディーズ学部・総合教育研究部の専任教員の研究室があります。 ②第3研究館 ③7号館 1F 7-101 (社会福祉講義室) 7-102~116 2F 7-201・202 7-203~208 (放射線実験室) 3F 7-301~308 4F 7-401~408 5F 7-501~511	④総合情報センター(4号館) 1F 4-102 (心理学実験室) パソコン自習室 2F 4-203~205 総合情報センター 3F 4-301~305 ⑤1号館 1F 学生部・キャリアセンター 2F 1-201~204 ATM (みずほ銀行・ゆうちょ銀行) 3F 1-301~306・eコンシェル 4F 1-401~409 5F 1-501~516・本部連絡通路	⑥9号館 1F 9-170~179 2F 9-280~289 3F 9-390~392 4F 9-400~409 ⑦体育館 1F 体-8~12・学生談話室・自習室 2F 体育館競技フロア ⑧本部棟 1F 教務部・講師控室・経理部・人事部・夜間事務センター・総合情報センターサポート窓口 ⑨記念講堂	⑩8号館 1F 8-150~152 2F 8-255~259 3F 8-360~364 4F 8-465~469 ⑪第2研究館 B1 紀伊國屋書店カメラフォトアート 1F 2研-101・102 2F 2研-201~209 仏教学部・経済学部・法学部・経営学部・総合教育研究部スポーツ・健康科学部門の専任教員の研究室があります。	⑬学生会館 1F 食室・セブインレブ 2F 食室オファックスシンクレスト 駒大書房 ⑭学生食堂 1F 食室・セブインレブ 2F 食室オファックスシンクレスト ⑮学生会館 2F~4F 課外活動団体部室 ⑯図書館
----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

●大学へのアクセス



駒沢キャンパスへのアクセス



玉川キャンパスへのアクセス

No.

Name